

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48002001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】教職概論 1／General Principles of Teaching Profession		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	佐野 茂(SANO SHIGERU)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職志望の学生が、教職の意義や教員の役割・職務内容等、さらには教職に就くことの責任を理解し、進路として教職を選択すべきかどうかということについて深く考えることである。授業は講義を中心とするが、受講生が、授業中に発問を受けそれにかかわる討議を行うことによって理解を深めることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to the understand roles, significance, and responsibility of the teaching profession and to provide various kinds of opportunities for students to consider when deciding whether to become teachers or not.		
到達目標/Learning Goals	授業の到達目標及びテーマ 1. 教職の意義に対する理解 2. 教員養成の歴史と現状に関する理解 3. 教員の任用と服務に関する理解 4. 教員の役割・職務内容(「チームとしての学校」の実現の重要性を含む)に関する理解 5. 以上の1～4の理解を前提に教職を進路として選択することに伴う責任の理解		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of a) the significance of the teaching profession, b) the history of teacher education, c) appointment and public service as a teacher, d) roles and duties of a teacher, e) the responsibilities associated with deciding to aim to be a teacher.		
授業方法 Course Format	【オンライン受講許可学生対象】1回目より「ZOOMによる同時双方向」で配信予定。授業5分前までにZoomに入っておくこと。URLは第1回目授業日の前日にLUNAに掲示。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(授業の概要や評価方法等に関する説明)	第1回目授業のための予習 本シラバス通読のこと 第1回目授業の復習 教職へのモチベーションについて考える
第2回 Session 2	教職の意義とは何か	第2回目ための予習 SOCIETY5.0、GIGA、PDCA等の用語 チェック 第2回目復習 :シュブランガーの理想的人間についての感想提出
第3回 Session 3	教員養成の歴史	第3回目ための予習 学校安全指導の考察(AED、アナフィラキシーショック等) 第3回目復習:近代以前の各種学校の意義
第4回 Session 4	教員養成の現状と課題	第4回目ための予習 LUNA添付資料から義務教育(学法25条)についての考察する 第4回目復習 開放性教員養成の意義について
第5回 Session 5	教員の種類と職務	第5回目ための予習 LUNA添付資料アランの幸福論から、教師にとって大切な資質を考察する 第5回目復習 今日の教員組織の特徴について
第6回 Session 6	教員の服務(服務の根本基準、職務上・身分上課せられる義務)と分限・懲戒(処分)	第6回目ための予習 LUNA添付資料「教育と福祉の垣根について」考察する 第6回目復習 5つの服務について詳述
第7回 Session 7	教師の職場環境(「チームとしての学校」の実現の重要性を含む)	第7回目ための予習 「生きる力」について考察する 復習 チーム学校構成員の職種と職務内容
第8回 Session 8	多忙化する教師	第8回目ための予習 教科書p102～109(学級崩壊)通読して教師の権威を考察する 第8回目復習 教師の精神疾患の予防方法
第9回 Session 9	学級経営とは何か	第9回目ための予習 LUNA添付資料:「不登校の原因について」考察する 第9回目復習 学級崩壊の原因について考える
第10回 Session 10	生徒指導上の諸問題と学級経営	第10回目ための予習 教科書p116～117(教師のリーダーシップの在り方)を考察する 第10回目復習 教育機会確保等の法律についての意味
第11回 Session 11	教師の資質・能力とは何か	第11回目ための予習 LUNA添付資料:教員の研修制度通読 第11回目復習 教師のいじめ対応のポイント
第12回 Session 12	教師の力量形成と研修制度	第12回目ための予習 LUNA添付資料:教育実習の意義を通読 第12回目復習 初任研のポイント
第13回 Session 13	教育実習の意義と心得	第13回目ための予習 採用試験予定県のHPより受験情報の概観 第13回目復習 教育実習の心得のポイント
第14回 Session 14	教職への進路選択と教員採用選考について(各回のまとめも含む)	第14回目ための予習 進路適性テストの感想と各自の採用試験予定府・県の特徴のレポート

授業外学修 Study Required outside Class	各回の予習・復習内容を提示していますが、復習課題については、原則各回の終わりにワークシートを配布するので、それに記入して、翌週提出。復習レポートに対する講評は原則、次の授業回において全体の好評を口頭で伝えます。

教科書/Required texts	著者名:南本長穂・伴恒信編 タイトル:発達・制度・社会からみた教育学 発行所:北大路書房 出版年:2010 ISBN:
教科書 Required texts	南本長穂・伴恒信編『発達・制度・社会からみた教育学』北大路書房、2010年
参考書/Reference books	著者名:長尾和英 タイトル:教職と人間形成 発行所:八千代出版 出版年:2004 ISBN:
	著者名:有村久春 タイトル:キーワードで学ぶ特別活動 生徒指導・教育相談 発行所:金子書房 出版年:2012 ISBN:
	著者名:玉井康之 タイトル:学校評価時の地域学校運営 発行所:教育開発研究所 出版年:2008 ISBN:
	著者名:高階玲治 タイトル:学校の安全を守る「危機対応力」 発行所:ぎょうせい 出版年:2006 ISBN:
	著者名:山崎聡一郎 タイトル:こども六法 発行所:弘文堂 出版年:2020 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	LUNAより添付で適宜資料を配布する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	100%	
	備考 Note オンライン受講許可学生対象 平常レポート100% LUNAからレポート課題を課す 小レポート2回、中レポート1回 大レポート1回予定。		
更新日時/Date of Update	2021年12月15日 17時15分42秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期/Spring	木曜1時限	春学期/Spring	B-304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48002002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】教職概論 2／General Principles of Teaching Profession		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	南本 長穂(MINAMIMOTO OSAO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職の意義及び教師の担うべき役割について理解をふかめることである。具体的には、学校教師は、いかなる役割を担いながら、仕事に取り組んでいるのか。わが国の学校教育の発展の歴史を踏まえ、社会から教師に期待される役割は何か。今日求められている役割(職務内容)は何か。また、公立学校の教師は、どのような法的基準の下で職務を遂行すべきか。そして、学生に自己の適性や能力、及び進路について熟考させながら教師になるにはどのような課題を解決していくことが求められているか等、教職に関しての基礎的な概念や職務内容への理解を深めることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the significance of the teaching profession and the roles that teachers should play. Specifically, students will learn basic knowledge of such issues as the roles that school teachers play when they approach their work, the roles of teachers expected by society based on the history of the development of school education in Japan, the roles of teachers (job specifications) required today, the legal standards under which public school teachers should fulfill their duties, and the challenges that need to be solved for students to become teachers based on contemplation of their aptitude, abilities, and career path.		
到達目標/Learning Goals	わが国の学校教育の成立、その進展を踏まえながら、教職の意義や役割を理解できることである。具体的には、1. わが国における教職の意義、及び、教職員の免許に関する法的基準、2. 教員養成の仕組みやその歴史、3. 教員の職務内容、4. わが国における教員の資質能力の向上に関する政策の動向、5. わが国の教育の身分・地位に関わる法令(研修、服務及び身分の保障等を含め)。上記の内容を理解し、教職に関する知識、職業としての教職への動機付け、教師としての生き方や教職への社会的期待を、法的身分や地位を考慮に入れて、教師の仕事の世界がどのようなものかについて理解・説明できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of the significance and roles of the teaching profession based on the establishment and development of school education in Japan. Specifically, students will learn 1. the number of teachers in Japan and legal standards for a teacher's license, 2. the structure of teacher training, 3. job specifications of teachers, 4. policy trends concerning improvement of the quality and capacity of teachers in Japan, and 5. laws concerning the status and position of education in Japan (including training, services, and guarantee of status). With an understanding of the abovementioned issues, students will be able to understand and explain what the field of teaching is like by taking into account knowledge of the teaching profession, the motivation to choose a career in teaching, the way of life as a teacher, the social expectations for the teaching profession, and the legal status and positions of teachers.		
授業の概要・背景 Course Outline	近年、社会の複雑化とともに職業として教職の置かれた状況を見た場合に、一昔前の牧歌的な教師の職業生活は過去の残像に過ぎない。多忙化、管理化、期待過剰化、官僚化、ブラック化等、職業としての教員の仕事(働き方)や教育を取り巻く環境を象徴的に形容する言葉から推測すると、必ずしも夢あふれる職業とは言えない。しかし、こうした状況におかれていても、教職の持つ意義や役割、あるいは教職の魅力や働き方等、社会的には必要不可欠な職業であり、教職の持つ役割や意義の重要性には疑いがない。 こうした教職という職業に関して、知識を身につけ、専門的職業人として生徒を育てることを通して、社会の健全な発展に貢献できる、教育という公的事業をになっている教職を、多様な視点から理解を深めることが求められる。教職を希望する学生にとって、学んでおかなければならないと思われる教職に関する基礎的・基本的な知識を身につけることを求めている。		
授業方法 Course Format	講義形式の対面授業で実施する予定である。 授業で用いる教科書に記載されている内容や資料を中心に講義を進めるが、教科書に掲載されていない内容や資料については、適宜レジュメを配布し、補足する。		
関連科目/Related Courses	その他の教職科目		
検索キーワード/Keywords	教職の意義/教員の免許法と養成制度/教師の仕事と役割/公立学校教員の服務/教員の地位と身分		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション ― 本講義の進め方と学校の種類と教員に必要な資格	わが国で学校教育制度を構成する学校の種類にはどのようなものがあるか。また、その学校の教員の資格はどのようなものか。を復習としてまとめる。毎回、講義内容について復習時間として90分以上を期待する。
第2回 Session 2	教員養成の歴史を概説的に理解する	教員養成に歴史に関して、戦前・戦後の動向を理解する。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第3回 Session 3	教師の主な仕事(職務内容)は ― 授業・学級経営・校務分掌 ―	教員の仕事内容について、主なものを知る。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第4回 Session 4	働き方改革の中での教師の仕事 ― 多忙化という問題 ―	国の働き方改革に見られる、教員の職務内容の整理について、最低限知っておく。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第5回 Session 5	教師への社会的な期待 ― 教師に求められる資質・能力 ―	教科書をよく読み、教師は保護者等からの社会的な期待の内容はどのようなものかについての理解を進める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第6回 Session 6	答申にみられる教師に求められる資質・能力 ― その1 ―	わが国の教育にかかわる答申をよく調べ、その中で教員に求めるものは何かを大まかにでも把握できるようになるように復習を中心に学習を進める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第7回 Session 7	答申にみられる教師に求められる資質・能力 ― その2 ―	第6回と同様に復習的な学習を深める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第8回 Session 8	教員研修を通じた資質・能力の向上策 ― 法定研修を中心に ―	教員の資質向上策である研修の意味や意義をよく理解できるように学習を進める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第9回	教員の身分と地位 ― 教員の身分と任用を中心に ―	法律の上で、教員の身分や地位がどのように規定されている

第9回 Session 9		かを、法律の条文に直接あたって学習を深める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第10回 Session 10	教員の服務 ー地方公務員としての教員が守るべき義務ー	地方公務員法における教員の義務について、よく学習を進め、教員になった将来の地位を考えて、理解を深める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第11回 Session 11	教員の懲戒と分限 ー教員の服務の違反を中心にー	法律に示されている義務違反としての懲戒と分限について、理解を自主的に進める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第12回 Session 12	教育の対象である高校生の学習と生活の現状を踏まえて	教師が教育の対象とする生徒(教師の教育対象)の生活と学習の現状に関心を持ち、生徒理解に必要な知識への関心を高める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第13回 Session 13	教師はどのような職業か ー教師論の検討を踏まえてー	この講義を通じてどのような教職観を身に付けてきたかを再考し、今後の教職への道を考える。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第14回 Session 14	授業内容の振り返りとまとめ(要点整理)、授業中試験	教職に関する基礎的・基本的知識や情報をどの程度身に付けたかを確認する。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。

授業計画 Overview for each class	授業時の提出レポート等に関しては、2～3週間後をめどに、全体の講評をLUNAへ掲載したい。受講の学生数が多い場合、少ない場合もあるので、一定程度のレポート点検作業時間を確保した後の公表になるかは考えていきたい。
授業外学修 Study Required outside Class	指定している教科書を毎回よく読むことで学習課題をおおまかに理解して授業の望むと同時に、日頃から、わが国や外国での教師の働き方に関する新聞・雑誌・著書等に関心を持つことをすすめます。そのためにも、毎回の講義あたり、各90分程度の予習、復習、講義のなかで興味を持ったテーマに関して図書館等で関連する書物や論文を読んでみることをすすめます。

教科書/Required texts	著者名:南本長穂編 タイトル:新しい教職概論 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2016 ISBN:978-4-623-07032-9
教科書 Required texts	南本長穂編『新しい教職概論』ミネルヴァ書房、2016年
参考文献・資料 Reference books	教職について国レベルで何が求められているかを知るために、文科省のホームページを検索し、教職に関する中央教育審議会の各種の答申を、時系列的に調べて、答申内容をよく読み込んで理解を深めること。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中に実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	教職に必要な基礎知識についての小レポートと授業内試験
	備考 Note 授業中に実施する予定の何回かの小レポートの評価得点(25%)と期末授業中試験の得点(75%)等によって総合的に判断する。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_191986_1&cmp_tab_id=_228026_1&mode=view		
更新日時/Date of Update	2022年03月03日 10時55分10秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	月曜1時限	春学期／Spring	B－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48002003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】教職概論 3／General Principles of Teaching Profession		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	南本 長穂(MINAMIMOTO OSAO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職の意義及び教師の担うべき役割について理解をふかめることである。具体的には、学校教師は、いかなる役割を担いながら、仕事に取り組んでいるのか。わが国の学校教育の発展の歴史を踏まえ、社会から教師に期待される役割は何か。今日求められている役割(職務内容)は何か。また、公立学校の教師は、どのような法的基準の下で職務を遂行すべきか。そして、学生に自己の適性や能力、及び進路について熟考させながら教師になるにはどのような課題を解決していくことが求められているか等、教職に関しての基礎的な概念や職務内容への理解を深めることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the significance of the teaching profession and the roles that teachers should play. Specifically, students will learn basic knowledge of such issues as the roles that school teachers play when they approach their work, the roles of teachers expected by society based on the history of the development of school education in Japan, the roles of teachers (job specifications) required today, the legal standards under which public school teachers should fulfill their duties, and the challenges that need to be solved for students to become teachers based on contemplation of their aptitude, abilities, and career path.		
到達目標/Learning Goals	わが国の学校教育の成立、その進展を踏まえながら、教職の意義や役割を理解できることである。具体的には、1. わが国における教職の意義、及び、教職員の免許に関する法的基準、2. 教員養成の仕組みやその歴史、3. 教員の職務内容、4. わが国における教員の資質能力の向上に関する政策の動向、5. わが国の教育の身分・地位に関わる法令(研修、服務及び身分の保障等を含め)。上記の内容を理解し、教職に関する知識、職業としての教職への動機付け、教師としての生き方や教職への社会的期待を、法的身分や地位を考慮に入れて、教師の仕事の世界がどのようなものかについて理解・説明できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of the significance and roles of the teaching profession based on the establishment and development of school education in Japan. Specifically, students will learn 1. the number of teachers in Japan and legal standards for a teacher's license, 2. the structure of teacher training, 3. job specifications of teachers, 4. policy trends concerning improvement of the quality and capacity of teachers in Japan, and 5. laws concerning the status and position of education in Japan (including training, services, and guarantee of status). With an understanding of the abovementioned issues, students will be able to understand and explain what the field of teaching is like by taking into account knowledge of the teaching profession, the motivation to choose a career in teaching, the way of life as a teacher, the social expectations for the teaching profession, and the legal status and positions of teachers.		
授業の概要・背景 Course Outline	近年、社会の複雑化とともに職業として教職の置かれた状況を見た場合に、一昔前の牧歌的な教師の職業生活は過去の残像に過ぎない。多忙化、管理化、期待過剰化、官僚化、ブラック化等、職業としての教員の仕事(働き方)や教育を取り巻く環境を象徴的に形容する言葉から推測すると、必ずしも夢あふれる職業とは言えない。しかし、こうした状況におかれていても、教職の持つ意義や役割、あるいは教職の魅力や働き方等、社会的には必要不可欠な職業であり、教職の持つ役割や意義の重要性には疑いがない。 こうした教職という職業に関して、知識を身につけ、専門的職業人として生徒を育てることを通して、社会の健全な発展に貢献できる、教育という公的事業をになっている教職を、多様な視点から理解を深めることが求められる。教職を希望する学生にとって、学んでおかなければならないと思われる教職に関する基礎的・基本的な知識を身につけることを求めている。		
授業方法 Course Format	講義形式の対面授業で実施する予定である。 授業で用いる教科書に記載されている内容や資料を中心に講義を進めるが、教科書に掲載されていない内容や資料については、適宜レジュメを配布し、補足する。		
関連科目/Related Courses	その他の教職科目		
検索キーワード/Keywords	教職の意義/教員の免許法と養成制度/教師の仕事と役割/公立学校教員の服務/教員の地位と身分		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション ― 本講義の進め方と学校の種類と教員に必要な資格	わが国で学校教育制度を構成する学校の種類にはどのようなものがあるか。また、その学校の教員の資格はどのようなものか。を復習としてまとめる。毎回、講義内容について復習時間として90分以上を期待する。
第2回 Session 2	教員養成の歴史を概説的に理解する	教員養成に歴史に関して、戦前・戦後の動向を理解する。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第3回 Session 3	教師の主な仕事(職務内容)は ― 授業・学級経営・校務分掌 ―	教員の仕事内容について、主なものを知る。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第4回 Session 4	働き方改革の中での教師の仕事 ― 多忙化という問題 ―	国の働き方改革に見られる、教員の職務内容の整理について、最低限知っておく。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第5回 Session 5	教師への社会的な期待 ― 教師に求められる資質・能力 ―	教科書をよく読み、教師は保護者等からの社会的な期待の内容はどのようなものかについての理解を進める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第6回 Session 6	答申にみられる教師に求められる資質・能力 ― その1 ―	わが国の教育にかかわる答申をよく調べ、その中で教員に求めるものは何かを大まかにでも把握できるようになるように復習を中心に学習を進める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第7回 Session 7	答申にみられる教師に求められる資質・能力 ― その2 ―	第6回と同様に復習的な学習を深める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第8回 Session 8	教員研修を通じた資質・能力の向上策 ― 法定研修を中心に ―	教員の資質向上策である研修の意味や意義をよく理解できるように学習を進める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第9回	教員の身分と地位 ― 教員の身分と任用を中心に ―	法律の上で、教員の身分や地位がどのように規定されている

第9回 Session 9		かを、法律の条文に直接あたって学習を深める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第10回 Session 10	教員の服務 ー地方公務員としての教員が守るべき義務ー	地方公務員法における教員の義務について、よく学習を進め、教員になった将来の地位を考えて、理解を深める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第11回 Session 11	教員の懲戒と分限 ー教員の服務の違反を中心にー	法律に示されている義務違反としての懲戒と分限について、理解を自主的に進める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第12回 Session 12	教育の対象である高校生の学習と生活の現状を踏まえて	教師が教育の対象とする生徒(教師の教育対象)の生活と学習の現状に関心を持ち、生徒理解に必要な知識への関心を高める。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第13回 Session 13	教師はどのような職業か ー教師論の検討を踏まえてー	この講義を通じてどのような教職観を身に付けてきたかを再考し、今後の教職への道を考える。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。
第14回 Session 14	授業内容の振り返りとまとめ(要点整理)、授業中試験	教職に関する基礎的・基本的知識や情報をどの程度身に付けたかを確認する。主に復習時間については、第1回と同じ時間量が必要であろう。

授業計画 Overview for each class	授業時の提出レポート等に関しては、2～3週間後をめどに、全体の講評をLUNAへ掲載したい。受講の学生数が多い場合、少ない場合もあるので、一定程度のレポート点検作業時間を確保した後の公表になるかは考えていきたい。
授業外学修 Study Required outside Class	指定している教科書を毎回よく読むことで学習課題をおおまかに理解して授業の望むと同時に、日頃から、わが国や外国での教師の働き方に関する新聞・雑誌・著書等に関心を持つことをすすめます。そのためにも、毎回の講義あたり、各90分程度の予習、復習、講義のなかで興味を持ったテーマに関して図書館等で関連する書物や論文を読んでみることをすすめます。

教科書/Required texts	著者名:南本長穂編 タイトル:新しい教職概論 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2016 ISBN:978-4-623-07032-9
教科書 Required texts	南本長穂編『新しい教職概論』ミネルヴァ書房、2016年
参考文献・資料 Reference books	教職について国レベルで何が求められているかを知るために、文科省のホームページを検索し、教職に関する中央教育審議会の各種の答申を、時系列的に調べて、答申内容をよく読み込んで理解を深めること。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中に実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	教職に必要な基礎知識についての小レポートと授業内試験
	備考 Note 授業中に実施する予定の何回かの小レポートの評価得点(25%)と期末授業中試験の得点(75%)等によって総合的に判断する。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_191986_1&cmp_tab_id=_228026_1&mode=view		
更新日時/Date of Update	2022年03月03日 10時55分36秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜5時限	秋学期／Fall	B－104

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48002004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】教職概論 4／General Principles of Teaching Profession		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	佐野 茂(SANO SHIGERU)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職志望の学生が、教職の意義や教員の役割・職務内容等、さらには教職に就くことの責任を理解し、進路として教職を選択すべきかどうかということについて深く考えることである。授業は講義を中心とするが、受講生が、授業中に発問を受けそれにかかわる討議を行うことによって理解を深めることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to the understand roles, significance, and responsibility of the teaching profession and to provide various kinds of opportunities for students to consider when deciding whether to become teachers or not.		
到達目標/Learning Goals	授業の到達目標及びテーマ 1. 教職の意義に対する理解 2. 教員養成の歴史と現状に関する理解 3. 教員の任用と服務に関する理解 4. 教員の役割・職務内容(「チームとしての学校」の実現の重要性を含む)に関する理解 5. 以上の1～4の理解を前提に教職を進路として選択することに伴う責任の理解		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of a) the significance of the teaching profession, b) the history of teacher education, c) appointment and public service as a teacher, d) roles and duties of a teacher, e) the responsibilities associated with deciding to aim to be a teacher.		
授業方法 Course Format	【オンライン受講許可学生対象】1回目より「ZOOMによる同時双方向」で配信予定。授業5分前までにZoomに入っておくこと。URLは第1回目授業日の前日にLUNAに掲示。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(授業の概要や評価方法等に関する説明)	第1回目授業のための予習 本シラバス通読のこと 第1回目授業の復習 教職へのモチベーションについて考える
第2回 Session 2	教職の意義とは何か	第2回目ための予習 SOCIETY5.0、GIGA、PDCA等の用語 チェック 第2回目復習 :シュブランガーの理想的人間についての感想提出
第3回 Session 3	教員養成の歴史	第3回目ための予習 学校安全指導の考察(AED、アナフィラキシーショック等) 第3回目復習:近代以前の各種学校の意義
第4回 Session 4	教員養成の現状と課題	第4回目ための予習 LUNA添付資料から義務教育(学法25条)についての考察する 第4回目復習 開放性教員養成の意義について
第5回 Session 5	教員の種類と職務	第5回目ための予習 LUNA添付資料アランの幸福論から、教師にとって大切な資質を考察する 第5回目復習 今日の教員組織の特徴について
第6回 Session 6	教員の服務(服務の根本基準、職務上・身分上課せられる義務)と分限・懲戒(処分)	第6回目ための予習 LUNA添付資料「教育と福祉の垣根について」考察する 第6回目復習 5つの服務について詳述
第7回 Session 7	教師の職場環境(「チームとしての学校」の実現の重要性を含む)	第7回目ための予習 「生きる力」について考察する 復習 チーム学校構成員の職種と職務内容
第8回 Session 8	多忙化する教師	第8回目ための予習 教科書p102～109(学級崩壊)通読して教師の権威を考察する 第8回目復習 教師の精神疾患の予防方法
第9回 Session 9	学級経営とは何か	第9回目ための予習 LUNA添付資料:「不登校の原因について」考察する 第9回目復習 学級崩壊の原因について考える
第10回 Session 10	生徒指導上の諸問題と学級経営	第10回目ための予習 教科書p116～117(教師のリーダーシップの在り方)を考察する 第10回目復習 教育機会確保等の法律についての意味
第11回 Session 11	教師の資質・能力とは何か	第11回目ための予習 LUNA添付資料:教員の研修制度通読 第11回目復習 教師のいじめ対応のポイント
第12回 Session 12	教師の力量形成と研修制度	第12回目ための予習 LUNA添付資料:教育実習の意義を通読 第12回目復習 初任研のポイント
第13回 Session 13	教育実習の意義と心得	第13回目ための予習 採用試験予定県のHPより受験情報の概観 第13回目復習 教育実習の心得のポイント
第14回 Session 14	教職への進路選択と教員採用選考について(各回のまとめも含む)	第14回目ための予習 進路適性テストの感想と各自の採用試験予定府・県の特徴のレポート

授業外学修 Study Required outside Class	各回の予習・復習内容を提示していますが、復習課題については、原則各回の終わりにワークシートを配布するので、それに記入して、翌週提出。復習レポートに対する講評は原則、次の授業回において全体の好評を口頭で伝えます。

教科書/Required texts	著者名:南本長穂・伴恒信編 タイトル:発達・制度・社会からみた教育学 発行所:北大路書房 出版年:2010 ISBN:
教科書 Required texts	南本長穂・伴恒信編『発達・制度・社会からみた教育学』北大路書房、2010年
参考書/Reference books	著者名:長尾和英 タイトル:教職と人間形成 発行所:八千代出版 出版年:2004 ISBN:
	著者名:有村久春 タイトル:キーワードで学ぶ特別活動 生徒指導・教育相談 発行所:金子書房 出版年:2012 ISBN:
	著者名:玉井康之 タイトル:学校評価時の地域学校運営 発行所:教育開発研究所 出版年:2008 ISBN:
	著者名:高階玲治 タイトル:学校の安全を守る「危機対応力」 発行所:ぎょうせい 出版年:2006 ISBN:
	著者名:山崎聡一郎 タイトル:こども六法 発行所:弘文堂 出版年:2020 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	LUNAより添付で適宜資料を配布する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	100%	
	備考 Note オンライン受講許可学生対象 平常レポート100% LUNAからレポート課題を課す 小レポート2回、中レポート1回 大レポート1回予定。		
更新日時/Date of Update	2021年12月15日 17時23分57秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期/Fall	金曜4時限	秋学期/Fall	B-204

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48002005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】教職概論 5/General Principles of Teaching Profession		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	前原 健三(MAEHARA KENZO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職の意義及び教員の担うべき役割・職務内容等について、理解を図ることである。なお、チーム学校運営への対応を含む。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the significance of the teaching profession and the roles that teachers should play, their job specifications, etc. Their actions for school management as a team are also covered.		
到達目標/Learning Goals	下記1～4を通じた、教職を進路として選択することに伴う責任に対する理解力を培うこと。 1. 教職の意義に対する理解 2. 教員養成の歴史と現状に関する理解 3. 教員の任用と服務と現状に関する理解 4. 教員の役割・職務内容に関する理解		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will develop the ability to understand the responsibilities that come with the choice of the teaching profession as a career path by acquiring an understanding of the following four items: 1. the significance of the teaching profession, 2. the history and current situation of teacher training, 3. the current situation of appointment and public service as a teacher, and 4. the roles and job specifications of teachers.		
授業の概要・背景 Course Outline	1. 本授業の目的は、教職志望の学生を対象に、教職の意義や教員の役割・職務内容等、さらには教職に就くことの責任を理解させるとともに、進路として教職を選択すべきかどうかということについて深く考える各種の機会を提供することにある。2. 以って、関西学院大学スクールモットーに基づく広義の教育者及び世界市民の育成にささやかながら資する。		
授業方法 Course Format	1. 履修者の主体的・対話的・深い学びの基礎力を形成するため、対面授業による課題学修を行う。2. 自問自答・自学自修による課題学修を通して、教職についての学修過程を主体化し、教職への更なる理解を深め、将来的に中高生の主体的・対話的・深い学びを育む実践力へとつなげる。3. 質問事項等については、LUNAフォーラム又は前原e-mail:coy16890@kwansei.ac.jpをご利用ください。		
関連科目/Related Courses	日本国憲法、教育原論、学校教育論、人権教育論、教育課程論、教育方法基礎論、各教科教育法、教育実習、教職実践演習等、教職課程全般		
検索キーワード/Keywords	関西学院大学スクールモットー、関学らしい教員像、SDGs、ESD、教員養成、学校教育、教員、公教育、教職実践力、教育実習、教職課程履修カルテ等		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	4月8日(金)【導入課題】「本授業のシラバス」及び「『教職概論5』履修案内(1)～(4)」を熟読した上で、これらについての質問や意見・確認事項などについて解説し、エントリーシートを作成する。【課題①】(1)関西学院大学スクールモットー並びにKwanseiコンピテンシーと(2)教員養成の理念・目的(大学・学部・学科)、これらに基づく(3)「関学らしい教員」像に関する基礎的なデータを調べ、これらの概要・要点について自問自答・自学自修し、質疑応答・意見交換等を踏まえその過程をレポートする。	授業前日正午までに、下記シラバス付加情報欄にて関連資料Ⅰ～Ⅳを公開するので確認し、【導入課題】に取り組む。【課題①】に対応する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第2回 Session 2	4月15日(金)【導入課題】エントリーシートの回答状況を踏まえ、授業運営方針及び計画細案を公表し、質疑応答や調整等を行う。(2)それぞれの履修方法を確定し、課題レポート作成あるいはプレゼンテーション用データ作成等の打ち合わせ(発表予定の章並びに予定日・分担・メンバー連絡方法の確認等々)や具体的作業を行う。【課題①】について追加・補足説明を行い、質疑応答を行う。	【課題①】に対応する。加えて、【導入課題】を踏まえて自らの履修方法を確定し、各自選択のレポート課題に、各自の又はチーム独自の方法で取り組む。
第3回 Session 3	4月22日(金)【課題②】SDGsについて広く学び、さらに探究を深めよう。テキスト序章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	【課題②】のレポート又はプレゼン用データ(希望チーム)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第4回 Session 4	5月6日(金)【課題③】学校論: SDGs時代における学校教育について学び、探究を深めよう。テキスト第1章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	【課題③】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第5回 Session 5	5月13日(金)【課題③】学校論: SDGs時代における学校教育について学び、探究を深めよう。テキスト第1章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	同上
第6回 Session 6	5月20日(金)【課題④】教員論: SDGs時代に求められる教員の役割と資質・能力について学び、さらに探究を深めよう。テキスト第2章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	【課題④】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第7回 Session 7	5月27日(金)【課題④】教員論: SDGs時代に求められる教員の役割と資質・能力について学び、さらに探究を深めよう。テキスト第2章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	同上
第8回	6月3日(金)【課題⑤】教育課程論: 持続可能な社会づくりに向けた教育課程について学び、探究を深めよう。テキスト第3章を	【課題⑤】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。

第8回 Session 8	熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第9回 Session 9	6月10日(金)【課題⑤】教育課程論:持続可能な社会づくりに向けた教育課程について学び、探究を深めよう。テキスト第3章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	同上
第10回 Session 10	6月17日(金)【課題⑥】授業論:授業のESD的転換について学び、探究を深めよう。テキスト第4章を熟読し、概要を把握しつつ、自問自答・自学自修しプレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	【課題⑥】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第11回 Session 11	6月24日(金)【課題⑥】授業論:授業のESD的転換について学び、探究を深めよう。テキスト第4章を熟読し、概要を把握しつつ、自問自答・自学自修しプレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	同上
第12回 Session 12	7月1日(金)【課題⑦】職務内容論:教員の仕事と役割について学び、探究を深めよう。テキスト第5章を熟読しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえて、その過程での学びをレポートする。	【課題⑦】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第13回 Session 13	7月8日(金)【課題⑧】地域連携論:地域社会と学校・教員について学び、探究を深めよう。テキスト第6章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	【課題⑧】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第14回 Session 14	7月15日(金)【課題⑨】教育課題:SDGs時代における教育課題について学び、探究を深めよう。第7章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	【課題⑨】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第15回 Session 15	7月22日(金)【課題⑩】(1)関西学院大学はじめ他大学や中学校・高等学校等におけるSDGsの取り組みについて、教職課程の観点から、インターネット情報等を調査し、その概要及び特徴等についてレポートする。(2)本授業全体を通して学んだことについて自問自答し、今後の課題等について振り返り、考えたこと10項目以上をレポートする。	【課題⑩】のレポートを作成する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。

教科書 Required texts	『[SDGsと学校]教職概論―「包括的で質の高い教育」のために―』岩本泰・児玉敏也・降旗信一編著 学文社 2019
参考文献・資料 Reference books	1.『新しい教職論―教師と子どもの社会―』南本長穂編著 ミネルヴァ書房 2019 2.『現代日本の教師―仕事と役割―』由布佐和子 放送大学教育振興会 2015 3.『変動社会の教師教育』今津孝次郎著 名古屋大学出版会 2017 4.『新時代の教職概論―学校の役割を知る 教師の仕事を知る―』八尾坂修編著 ジダイ社 2018 5.『教師が育つ条件』今津孝次郎 岩波新書 2015 6.『教職論』吉田武男監修 ミネルヴァ書房 2019 7.『新版 教職概論―ワークシートを用いた実践的理解―』新潟医療福祉大学教職実践研究会編 大学教育出版 2019 8.『SDGs時代の教育―すべての人に高い学びの機会を―』北村友人他編著 学文社 2019
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	1. 授業中に本学にて指示された方法により実施する。 2. 本授業独自に実施する場合もある。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	平常レポート／Individual reports(04)	100%	課題レポート又はプレゼンテーション用データ等による。	
	備考 Note			
	(1)シラバス記載の【課題①～⑩】について、期限までに提出されたりレポートによる評価(100点)。 (2)プレゼンテーションを希望する場合は、上記【課題②～⑨】より1題について、チーム(4名程度)でプレゼンテーション用データを作成・公開し、ディスカッションに供することができる(30点)。この場合、課題レポート数につき、10題から2題を免除し、計8題を課す。			
備考 Note	本授業への履修案内(0)(1)(2)(3)(4)に関するデータ資料ⅠⅡⅢⅣを公開しています。必ず初回授業までに、資料内容を熟読・確認して、この授業の運営方法について正しく理解した上で、計画的に履修することをお勧めします。本件に関する問い合わせは、coy16890@kwansei.ac.jpまで願います。			
添付ファイル1/File Attachment 1	♥資料Ⅰ：『教職概論5』の履修案内(0)(1).docx	説明1/Explanation 1	資料Ⅰ：2022年度春学期「教職概論5」の履修案内(0)(1)	
添付ファイル2/File Attachment 2	♥資料Ⅱ：『教職概論5』の履修案内(2)―課題レポート及びプレゼンテーション用データの選択対象と提出期限―.docx	説明2/Explanation 2	資料Ⅱ：2022年春学期『教職概論5』の履修案内(2)	
添付ファイル3/File Attachment 3	♥資料Ⅲ：『教職概論5』の履修案内(3)―プレゼンテーション用データ作成・LUNA掲示板公開希望調査ファイル―.docx	説明3/Explanation 3	資料Ⅲ：2022年春学期『教職概論5』の履修案内(3)	
添付ファイル4/File Attachment 4	♥資料Ⅳ：『教職概論5』の履修案内(4)―エントリーシート(自己紹介)―.docx	説明4/Explanation 4	資料Ⅳ：2022年度春学期『教職概論5』の履修案内(4)	
更新日時/Date of Update	2022年03月25日 18時02分08秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	金曜3時限	春学期／Spring	IV－401

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48002006	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】教職概論 6/General Principles of Teaching Profession		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期/Fall
担当者/Instructor	前原 健三(MAEHARA KENZO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職の意義及び教員の担うべき役割・職務内容等について、理解を図ることである。なお、チーム学校運営への対応を含む。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the significance of the teaching profession and the roles that teachers should play, their job specifications, etc. Their actions for school management as a team are also covered.		
到達目標/Learning Goals	下記1～4を通じた、教職を進路として選択することに伴う責任に対する理解力を培うこと。 1. 教職の意義に対する理解 2. 教員養成の歴史と現状に関する理解 3. 教員の任用とサービスと現状に関する理解 4. 教員の役割・職務内容に関する理解		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will develop the ability to understand the responsibilities that come with the choice of the teaching profession as a career path by acquiring an understanding of the following four items: 1. the significance of the teaching profession, 2. the history and current situation of teacher training, 3. the current situation of appointment and public service as a teacher, and 4. the roles and job specifications of teachers.		
授業の概要・背景 Course Outline	1. 本授業の目的は、教職志望の学生を対象に、教職の意義や教員の役割・職務内容等、さらには教職に就くことの責任を理解させるとともに、進路として教職を選択すべきかどうかということについて深く考える各種の機会を提供することにある。2. 以って、関西学院大学スクールモットーに基づく広義の教育者及び世界市民の育成に資することを期するものである。		
授業方法 Course Format	1. 履修者の主体的・対話的・深い学びの基礎力を形成するため、対面授業による課題学修を行う。2. 自問自答・自学自修による課題学修を通して、教職についての学修過程を主体化し、教職への更なる理解を深め、将来的に中高生の主体的・対話的・深い学びを育む実践力へとつなげる。3. 個人的質問事項については、LUNAフォーラム又は前原e-mail:coy16890@kwansei.ac.jpをご利用ください。		
関連科目/Related Courses	日本国憲法、外国語コミュニケーション、情報機器操作、教育原論、学校教育論、各教科に関する科目、教職実践演習等、教職課程全般		
検索キーワード/Keywords	関西学院大学スクールモットー、関学らしい教員像、SDGs、ESD、教員養成、学校教育、教員、公教育、教職実践力、教育実習、教職課程履修カルテ等		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	9月22日(木)【導入課題】「本授業のシラバス」及び「第1報『教職概論6』履修案内(1)～(4)を熟読した上で、これらについての質問や意見・確認事項などに即して、エントリーシートにて回答しよう。【課題①】(1)関西学院スクールモットー並びにKwanseiコンピテンシーと(2)教員養成の理念・目的(大学・学部・学科)」、これらに基づく(3)「関学らしい教員像」に関する基礎的なデータを調べ、これらの概要・要点について自問自答・自学自修し、質疑応答・意見交換等を踏まえその過程をレポートする。	授業前日正午までに、下記シラバス付加情報欄にて関連資料を公開するので確認し、エントリーシートを作成し、投稿する。 【課題①】のレポートを作成する。LUNAフォーラムにて質疑応答可。
第2回 Session 2	9月29日(木)【導入課題】(1)エントリーシートの回答状況とともに、本授業運営方針及び授業計画細案を公表し、質疑応答や調整等を行う。(2)それぞれの履修方法を確定し、課題レポートの作成あるいはプレゼンテーション用データ作成等の打ち合わせ(発表予定の章並びに予定日・分担・メンバー連絡方法の確認等々)や具体的作業を行う。【課題①】について補足追加説明を行い、質疑応答する。	【課題①】各自の履修方法を確定し、直近のレポート課題に取り組む。LUNAフォーラムでコメントし、質疑応答可。
第3回 Session 3	10月6日(木)【課題②】SDGsについて広く学び、さらに探究を深めよう。テキスト序章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	【課題②】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第4回 Session 4	10月13日(木)【課題③】学校論:SDGs時代における学校教育について学び、探究を深めよう。テキスト第1章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	【課題③】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第5回 Session 5	10月20日(木)【課題③】学校論:SDGs時代における学校教育について学び、探究を深めよう。テキスト第1章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修しプレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	同上
第6回 Session 6	10月27日(木)【課題④】教員論:SDGs時代に求められる教員の役割と資質・能力について学び、さらに探究を深めよう。テキスト第2章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	【課題④】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第7回 Session 7	11月10日(木)【必修課題④】教員論:SDGs時代に求められる教員の役割と資質・能力について学び、さらに探究を深めよう。テキスト第2章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	同上
第8回	11月17日(木)【課題⑤】教育課程論:持続可能な社会づくりに向けた教育課程について学び、探究を深めよう。テキスト第3章を	【課題⑤】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。

第8回 Session 8	熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第9回 Session 9	11月24日(木)【課題⑤】教育課程論：持続可能な社会づくりに向けた教育課程について学び、探究を深めよう。テキスト第3章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	同上
第10回 Session 10	12月1日(木)【課題⑥】授業論：授業のESD的転換について学び、探究を深めよう。テキスト第4章を熟読し、概要を把握しつつ、自問自答・自学自修し、質疑応答・意見交換等を踏まえその過程での学びをレポートする。	【課題⑥】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、にて質疑応答可。
第11回 Session 11	12月8日(木)【課題⑥】授業論：授業のESD的転換について学び、探究を深めよう。テキスト第4章を熟読し、概要を把握しつつ自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	同上
第12回 Session 12	12月15日(木)【課題⑦】職務内容論：教員の仕事と役割について学び、探究を深めよう。テキスト第5章を熟読しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえて、その過程での学びをレポートする。	【課題⑦】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第13回 Session 13	12月22日(木)【課題⑧】地域連携論：地域社会と学校・教員について学び、探究を深めよう。テキスト第6章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	【課題⑧】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第14回 Session 14	1月12日(木)【課題⑨】教育課題：SDGs時代における教育課題について学び、探究を深めよう。第7章を熟読し概要・要点を把握しながら自問自答・自学自修し、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートする。	【課題⑨】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、学修の手引きを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第15回 Session 15	1月19日(木)【課題⑩】(1)関西学院大学はじめ他大学や中学校・高等学校等におけるSDGsの取り組みについて、教職課程の視点から、インターネット情報を調査し、その概要及び特徴等についてレポートする。(2)本授業を通して学んだことについて自問自答し、今後の課題等について振り返り、考えたこと10項目以上をレポートする。	【課題⑩】のレポートを作成する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。

教科書 Required texts	『[SDGsと学校]教職概論―「包括的で質の高い教育」のために―』岩本泰・児玉敏也・降旗信一編著 学文社 2019
参考文献・資料 Reference books	1. 『新しい教職論―教師と子どもの社会―』南本長穂編著 ミネルヴァ書房 2019 2. 『現代日本の教師―仕事と役割―』由布佐和子 放送大学教育振興会 2015 3. 『変動社会の教師教育』今津孝次郎著 名古屋大学出版会 2017 4. 『新時代の教職概論―学校の役割を知る 教師の仕事を知る―』八尾坂修編著 ジダイ社 2018 5. 『教師が育つ条件』今津孝次郎 岩波新書 2015 6. 『教職論』吉田武男監修 ミネルヴァ書房 2019 7. 『新版 教職概論―ワークシートを用いた実践的理解―』新潟医療福祉大学教職実践研究会編 大学教育出版 2019 8. 『SDGs時代の教育―すべての人に高い学びの機会を―』北村友人他編著 学文社 2019
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	1. 授業中に本学にて指示された方法により実施する。 2. 本授業独自に実施する場合もある。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	課題レポート又はプレゼンテーション用データ等による。
	備考 Note (1)シラバス記載の【課題①～⑩】について、期限までに提出されたレポートによる評価(100点)。 (2)プレゼンテーション用データ作成を希望する場合は、上記【課題②～⑨】より1題について、チーム(4名程度)でプレゼンテーション用データを作成・公開し、ディスカッションに供することができる(30点)。この場合、レポート課題数につき、10題より2題を免除する。		
更新日時/Date of Update		2022年02月27日 00時02分42秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	木曜3時限	秋学期／Fall	Ⅱ－305

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48003001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】教育原論 1／General Principles of Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	白銀 夏樹(SHIROKANE NATSUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想について理解し、教師に求められるさまざまな観点や基本的な態度を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand educational history and philosophy in Japan and the West and to acquire the viewpoints and fundamental attitudes required for teachers.		
到達目標/Learning Goals	教育に関する基本的な知識と理解を発展させ、さまざまな学問的観点、特に歴史的・哲学的な観点から、教育の諸問題を分析し考察できるようになることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to develop their basic knowledge and understanding of education and analyze and consider educational problems from various academic perspectives, especially historical and philosophical perspectives.		
授業方法 Course Format	対面授業。LUNAを通して教材や課題を提示する場合がある。 【オンライン受講許可学生対象】3回目以降「オンデマンド」で動画を配信予定。各授業回から2日後以内にLUNAへ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords	教育思想／教育史		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教育の理念と目的の考察	授業日に資料等をLUNAで配信する(第1回は印刷して授業に参加する必要は無い)。
第2回 Session 2	古代ギリシャの教育思想に見る教育思想の類型	
第3回 Session 3	西欧中世の教育思想を手がかりに考察する宗教と教育の関係	
第4回 Session 4	近代の子ども観～子どもの発見	
第5回 Session 5	啓蒙と教育	
第6回 Session 6	近代教育思想の隆盛～自然概念と教育	
第7回 Session 7	教育学の成立と広がり	
第8回 Session 8	公教育の成立と広がり	
第9回 Session 9	子どもの世紀としての20世紀	
第10回 Session 10	現在の諸外国の教育	
第11回 Session 11	近代以前の日本の教育史	
第12回 Session 12	日本における近代公教育制度の展開	
第13回 Session 13	戦後日本の教育	
第14回 Session 14	これからの教育の考察・本講義のまとめ・授業中試験	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	予習としては、西洋史と日本史についての基礎的な知識を確認したうえで(1時間)、第2回以降の授業ではLUNAに事前に掲載した資料を授業の前に理解しておくこと(1時間)。復習としては、授業に登場した主なキーワードや人物について、簡単に解説できるようにしたうえで、自分で情報を集めながら理解を深めること(2時間)。

参考書/Reference books	著者名:小笠原道雄、森川直、坂越正樹編 タイトル:教育的思考の作法2——教育学概論 発行所:福村出版 出版年:2008 ISBN:978-4571101403
	著者名:眞壁宏幹編 タイトル:西洋教育思想史 発行所:慶應義塾大学出版会 出版年:2016 ISBN:978-4-7664-2327-3
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	70%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】平常レポート100%とし、LUNAでレポート課題を課す。LUNAに題目・提出期日等を掲載するので確認すること。		
更新日時/Date of Update	2022年01月12日 11時05分02秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	月曜2時限	春学期／Spring	B-302

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48003002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】教育原論 2／General Principles of Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	白銀 夏樹(SHIROKANE NATSUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想について理解し、教師に求められるさまざまな観点や基本的な態度を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand educational history and philosophy in Japan and the West and to acquire the viewpoints and fundamental attitudes required for teachers.		
到達目標/Learning Goals	教育に関する基本的な知識と理解を発展させ、さまざまな学問的観点、特に歴史的・哲学的な観点から、教育の諸問題を分析し考察できるようになることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to develop their basic knowledge and understanding of education and analyze and consider educational problems from various academic perspectives, especially historical and philosophical perspectives.		
授業方法 Course Format	対面授業。LUNAを通して教材や課題を提示する場合がある。 【オンライン受講許可学生対象】3回目以降「オンデマンド」で動画を配信予定。各授業回から2日後以内にLUNAへ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords	教育思想／教育史		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教育の理念と目的の考察	授業日に資料等をLUNAで配信する(第1回は印刷して授業に参加する必要は無い)。
第2回 Session 2	古代ギリシャの教育思想に見る教育思想の類型	
第3回 Session 3	西欧中世の教育思想を手がかりに考察する宗教と教育の関係	
第4回 Session 4	近代の子ども観～子どもの発見	
第5回 Session 5	啓蒙と教育	
第6回 Session 6	近代教育思想の隆盛～自然概念と教育	
第7回 Session 7	教育学の成立と広がり	
第8回 Session 8	公教育の成立と広がり	
第9回 Session 9	子どもの世紀としての20世紀	
第10回 Session 10	現在の諸外国の教育	
第11回 Session 11	近代以前の日本の教育史	
第12回 Session 12	日本における近代公教育制度の展開	
第13回 Session 13	戦後日本の教育	
第14回 Session 14	これからの教育の考察・本講義のまとめ・授業中試験	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	予習としては、西洋史と日本史についての基礎的な知識を確認したうえで(1時間)、第2回以降の授業ではLUNAに事前に掲載した資料を授業の前に理解しておくこと(1時間)。復習としては、授業に登場した主なキーワードや人物について、簡単に解説できるようにしたうえで、自分で情報を集めながら理解を深めること(2時間)。

参考書/Reference books	著者名:小笠原道雄、森川直、坂越正樹編 タイトル:教育的思考の作法2——教育学概論 発行所:福村出版 出版年:2008 ISBN:978-4571101403 著者名:眞壁宏幹編 タイトル:西洋教育思想史 発行所:慶應義塾大学出版会 出版年:2016 ISBN:978-4-7664-2327-3
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	70%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】平常レポート100%とし、LUNAでレポート課題を課す。LUNAに題目・提出期日等を掲載するので確認すること。		
更新日時/Date of Update	2022年01月12日 11時04分33秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	B－304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48003003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】教育原論 3／General Principles of Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	白銀 夏樹(SHIROKANE NATSUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想について理解し、教師に求められるさまざまな観点や基本的な態度を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand educational history and philosophy in Japan and the West and to acquire the viewpoints and fundamental attitudes required for teachers.		
到達目標/Learning Goals	教育に関する基本的な知識と理解を発展させ、さまざまな学問的観点、特に歴史的・哲学的な観点から、教育の諸問題を分析し考察できるようになることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to develop their basic knowledge and understanding of education and analyze and consider educational problems from various academic perspectives, especially historical and philosophical perspectives.		
授業方法 Course Format	対面授業。LUNAを通して教材や課題を提示する場合がある。 【オンライン受講許可学生対象】3回目以降「オンデマンド」で動画を配信予定。各授業回から2日後以内にLUNAへ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords	教育思想／教育史		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教育の理念と目的の考察	授業日に資料等をLUNAで配信する(第1回は印刷して授業に参加する必要は無い)。
第2回 Session 2	古代ギリシャの教育思想に見る教育思想の類型	
第3回 Session 3	西欧中世の教育思想を手がかりに考察する宗教と教育の関係	
第4回 Session 4	近代の子ども観～子どもの発見	
第5回 Session 5	啓蒙と教育	
第6回 Session 6	近代教育思想の隆盛～自然概念と教育	
第7回 Session 7	教育学の成立と広がり	
第8回 Session 8	公教育の成立と広がり	
第9回 Session 9	子どもの世紀としての20世紀	
第10回 Session 10	現在の諸外国の教育	
第11回 Session 11	近代以前の日本の教育史	
第12回 Session 12	日本における近代公教育制度の展開	
第13回 Session 13	戦後日本の教育	
第14回 Session 14	これからの教育の考察・本講義のまとめ・授業中試験	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	予習としては、西洋史と日本史についての基礎的な知識を確認したうえで(1時間)、第2回以降の授業ではLUNAに事前に掲載した資料を授業の前に理解しておくこと(1時間)。復習としては、授業に登場した主なキーワードや人物について、簡単に解説できるようにしたうえで、自分で情報を集めながら理解を深めること(2時間)。

参考書/Reference books	著者名:小笠原道雄、森川直、坂越正樹編 タイトル:教育的思考の作法2——教育学概論 発行所:福村出版 出版年:2008 ISBN:978-4571101403 著者名:眞壁宏幹編 タイトル:西洋教育思想史 発行所:慶應義塾大学出版会 出版年:2016 ISBN:978-4-7664-2327-3
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	70%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】平常レポート100%とし、LUNAでレポート課題を課す。LUNAに題目・提出期日等を掲載するので確認すること。		
更新日時/Date of Update	2022年01月12日 11時05分41秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜1時限	秋学期／Fall	B－304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48003004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】教育原論 4／General Principles of Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	白銀 夏樹(SHIROKANE NATSUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想について理解し、教師に求められるさまざまな観点や基本的な態度を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand educational history and philosophy in Japan and the West and to acquire the viewpoints and fundamental attitudes required for teachers.		
到達目標/Learning Goals	教育に関する基本的な知識と理解を発展させ、さまざまな学問的観点、特に歴史的・哲学的な観点から、教育の諸問題を分析し考察できるようになることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to develop their basic knowledge and understanding of education and analyze and consider educational problems from various academic perspectives, especially historical and philosophical perspectives.		
授業方法 Course Format	対面授業。LUNAを通して教材や課題を提示する場合がある。 【オンライン受講許可学生対象】3回目以降「オンデマンド」で動画を配信予定。各授業回から2日後以内にLUNAへ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords	教育思想／教育史		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教育の理念と目的の考察	授業日に資料等をLUNAで配信する(第1回は印刷して授業に参加する必要は無い)。
第2回 Session 2	古代ギリシャの教育思想に見る教育思想の類型	
第3回 Session 3	西欧中世の教育思想を手がかりに考察する宗教と教育の関係	
第4回 Session 4	近代の子ども観～子どもの発見	
第5回 Session 5	啓蒙と教育	
第6回 Session 6	近代教育思想の隆盛～自然概念と教育	
第7回 Session 7	教育学の成立と広がり	
第8回 Session 8	公教育の成立と広がり	
第9回 Session 9	子どもの世紀としての20世紀	
第10回 Session 10	現在の諸外国の教育	
第11回 Session 11	近代以前の日本の教育史	
第12回 Session 12	日本における近代公教育制度の展開	
第13回 Session 13	戦後日本の教育	
第14回 Session 14	これからの教育の考察・本講義のまとめ・授業中試験	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	予習としては、西洋史と日本史についての基礎的な知識を確認したうえで(1時間)、第2回以降の授業ではLUNAに事前に掲載した資料を授業の前に理解しておくこと(1時間)。復習としては、授業に登場した主なキーワードや人物について、簡単に解説できるようにしたうえで、自分で情報を集めながら理解を深めること(2時間)。

参考書/Reference books	著者名:小笠原道雄、森川直、坂越正樹編 タイトル:教育的思考の作法2——教育学概論 発行所:福村出版 出版年:2008 ISBN:978-4571101403
	著者名:眞壁宏幹編 タイトル:西洋教育思想史 発行所:慶應義塾大学出版会 出版年:2016 ISBN:978-4-7664-2327-3
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	70%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】平常レポート100%とし、LUNAでレポート課題を課す。LUNAに題目・提出期日等を掲載するので確認すること。		
更新日時/Date of Update	2022年01月12日 11時06分14秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜1時限	秋学期／Fall	B-304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48003005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】教育原論 5/General Principles of Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	白銀 夏樹(SHIROKANE NATSUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想について理解し、教師に求められるさまざまな観点や基本的な態度を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand educational history and philosophy in Japan and the West and to acquire the viewpoints and fundamental attitudes required for teachers.		
到達目標/Learning Goals	教育に関する基本的な知識と理解を発展させ、さまざまな学問的観点、特に歴史的・哲学的な観点から、教育の諸問題を分析し考察できるようになることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to develop their basic knowledge and understanding of education and analyze and consider educational problems from various academic perspectives, especially historical and philosophical perspectives.		
授業方法 Course Format	対面授業。LUNAを通して教材や課題を提示する場合がある。 【オンライン受講許可学生対象】3回目以降「オンデマンド」で動画を配信予定。各授業回から2日後以内にLUNAへ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords	教育思想/教育史		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教育の理念と目的の考察	授業日に資料等をLUNAで配信する(第1回は印刷して授業に参加する必要は無い)。
第2回 Session 2	古代ギリシャの教育思想に見る教育思想の類型	
第3回 Session 3	西欧中世の教育思想を手がかりに考察する宗教と教育の関係	
第4回 Session 4	近代の子ども観~子どもの発見	
第5回 Session 5	啓蒙と教育	
第6回 Session 6	近代教育思想の隆盛~自然概念と教育	
第7回 Session 7	教育学の成立と広がり	
第8回 Session 8	公教育の成立と広がり	
第9回 Session 9	子どもの世紀としての20世紀	
第10回 Session 10	現在の諸外国の教育	
第11回 Session 11	近代以前の日本の教育史	
第12回 Session 12	日本における近代公教育制度の展開	
第13回 Session 13	戦後日本の教育	
第14回 Session 14	これからの教育の考察・本講義のまとめ・授業中試験	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	予習としては、西洋史と日本史についての基礎的な知識を確認したうえで(1時間)、第2回以降の授業ではLUNAに事前に掲載した資料を授業の前に理解しておくこと(1時間)。復習としては、授業に登場した主なキーワードや人物について、簡単に解説できるようにしたうえで、自分で情報を集めながら理解を深めること(2時間)。

参考書/Reference books	著者名:小笠原道雄、森川直、坂越正樹編 タイトル:教育的思考の作法2——教育学概論 発行所:福村出版 出版年:2008 ISBN:978-4571101403
	著者名:眞壁宏幹編 タイトル:西洋教育思想史 発行所:慶應義塾大学出版会 出版年:2016 ISBN:978-4-7664-2327-3
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	70%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】平常レポート100%とし、LUNAでレポート課題を課す。LUNAに題目・提出期日等を掲載するので確認すること。		
更新日時/Date of Update	2022年01月12日 11時06分45秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	金曜2時限	春学期／Spring	VII-103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48003006	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】教育原論 6/General Principles of Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期/Fall
担当者/Instructor	白銀 夏樹(SHIROKANE NATSUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想について理解し、教師に求められるさまざまな観点や基本的な態度を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand educational history and philosophy in Japan and the West and to acquire the viewpoints and fundamental attitudes required for teachers.		
到達目標/Learning Goals	教育に関する基本的な知識と理解を発展させ、さまざまな学問的観点、特に歴史的・哲学的な観点から、教育の諸問題を分析し考察できるようになることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to develop their basic knowledge and understanding of education and analyze and consider educational problems from various academic perspectives, especially historical and philosophical perspectives.		
授業方法 Course Format	対面授業。LUNAを通して教材や課題を提示する場合がある。 【オンライン受講許可学生対象】3回目以降「オンデマンド」で動画を配信予定。各授業回から2日後以内にLUNAへ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords	教育思想/教育史		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教育の理念と目的の考察	授業日に資料等をLUNAで配信する(第1回は印刷して授業に参加する必要は無い)。
第2回 Session 2	古代ギリシャの教育思想に見る教育思想の類型	
第3回 Session 3	西欧中世の教育思想を手がかりに考察する宗教と教育の関係	
第4回 Session 4	近代の子ども観~子どもの発見	
第5回 Session 5	啓蒙と教育	
第6回 Session 6	近代教育思想の隆盛~自然概念と教育	
第7回 Session 7	教育学の成立と広がり	
第8回 Session 8	公教育の成立と広がり	
第9回 Session 9	子どもの世紀としての20世紀	
第10回 Session 10	現在の諸外国の教育	
第11回 Session 11	近代以前の日本の教育史	
第12回 Session 12	日本における近代公教育制度の展開	
第13回 Session 13	戦後日本の教育	
第14回 Session 14	これからの教育の考察・本講義のまとめ・授業中試験	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	予習としては、西洋史と日本史についての基礎的な知識を確認したうえで(1時間)、第2回以降の授業ではLUNAに事前に掲載した資料を授業の前に理解しておくこと(1時間)。復習としては、授業に登場した主なキーワードや人物について、簡単に解説できるようにしたうえで、自分で情報を集めながら理解を深めること(2時間)。

参考書/Reference books	著者名:小笠原道雄、森川直、坂越正樹編 タイトル:教育的思考の作法2——教育学概論 発行所:福村出版 出版年:2008 ISBN:978-4571101403
	著者名:眞壁宏幹編 タイトル:西洋教育思想史 発行所:慶應義塾大学出版会 出版年:2016 ISBN:978-4-7664-2327-3
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	70%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】平常レポート100%とし、LUNAでレポート課題を課す。LUNAに題目・提出期日等を掲載するので確認すること。		
更新日時/Date of Update	2022年01月12日 11時07分14秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜3時限	秋学期／Fall	VIII-402

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48004001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】発達・学習過程論 1／Process of Development and Learning		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	荻田 純久(OGITA YOSHIHISA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、発達過程とその特徴及び学習に関する基本的な理論を理解することです。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the process of development, its characteristics, and basic theory on learning.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点の理解を授業の目標として設定しています。 a)発達の概念及び教育における発達理解の意義 b)各発達段階の具体的特徴 c)学習に関する基礎的理論		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of a) the concept of development and significance of developmental understanding in education, b) the specific characteristics of each stage of development, c) basic theory on learning.		
授業方法 Course Format	・原則、全ての授業において対面で実施します。もしも休講にすることがあれば、その補講はオンデマンドA型オンライン授業で実施します。 ・遅くとも授業の前日までにPDFの教材をLUNAにアップします。必要に応じて、ダウンロード、プリントアウトなどして下さい。 ・授業は、講義が中心となりますが、復習問題、教員採用試験対策問題、心理テストなどを扱った演習も取り入れていきます。 【オンライン受講許可学生対象】 ・PDFの教材、課題に関しては、対面授業の受講生と同じです。 ・その他に関しては、以下のとおりです。 履修登録確定前(1回目から3回目の予定):「オンデマンド」で動画ファイルを配信予定(各授業終了後)。 履修登録確定後(4回目以降の予定):「Zoom」による同時双方向」で配信予定。「オンライン受講許可学生」は、担当者(荻田)宛に大学のメールアドレスからメールを送信して下さい。Zoom情報を個別に通知します。担当者のメールアドレスは、LUNAで通知します。		
検索キーワード/Keywords	発達 学習 動機づけ		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	<対面授業で実施> 【講義】 ・オリエンテーション(授業科目の概要、シラバス、授業運営、評価の方法) 【演習】 ・どのような教師になりたいか ・生涯の発達を学ぶ意義 【講義】 ・発達・学習過程を理解することの意義(教師に求められる発達支援と学習支援):OECD LEARNING COMPASS 2030	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.9～22を読む
第2回 Session 2	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達・学習過程を理解することの意義(教師に求められる発達支援と学習支援):これからの教育のあり方 【演習】 ・これからの教師に求められること	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.24～27を読む
第3回 Session 3	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達理論の変遷と諸問題1(発達の規定要因を中心に) 【演習】 ・身近な遺伝と環境の問題について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.27～29を読む
第4回 Session 4	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達理論の変遷と諸問題2(相互作用説と臨界期) 【演習】 ・臨界期問題について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.29～34を読む
第5回 Session 5	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・初期学習の重要性と生涯発達	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.35～36を読む

	【演習】 ・親の養育態度と子ども ・アタッチメント理論から	
第6回 Session 6	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・エリクソンの発達理論1(理論の概要と特徴、フロイトの発達理論との相違点など) 【演習】 ・フロイトの発達理論について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.36～41を読む
第7回 Session 7	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・エリクソンの発達理論2(各発達段階とライフタスク) 【演習】 ・自らの自我同一性について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.64～69を読む
第8回 Session 8	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・ピアジェの発達理論(ピアジェ理論の概要と特徴及びその限界) 【演習】 ・同化と調節について ・児童生徒の学力について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.54～60、75～79を読む
第9回 Session 9	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・教授・学習過程と主体的学習(学習意欲とメタ認知能力、自己調整学習を中心に) 【演習】 ・自律した学習者について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.73～75を読む
第10回 Session 10	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学習意欲の諸問題1(学習性無力感と原因帰属、自己効力感) 【演習】 ・自己効力感の低い生徒への関わり方について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.69～73を読む
第11回 Session 11	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学習意欲の諸問題2(外発的動機づけと内発的動機づけ) 【演習】 ・内発的動機づけについて	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.69～73を読む
第12回 Session 12	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 【演習】 ・認知的葛藤を中心としたバーラインの認知的動機づけ理論 【演習】 ・授業とBerlyneの認知的動機づけ理論	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.69～73を読む
第13回 Session 13	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・授業実践と動機づけ(認知的葛藤を喚起する教材提示や発問のあり方) 【演習】 ・発問について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書のうち、授業で扱った内容に関して見直しておく
第14回 Session 14	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・まとめと発展的学習への誘い	【復習課題】 190分 ・振り返りシートの作成と提出 ・全てのPDF教材、ノートなどを復習する

教科書/Required texts	著者名: 善明宣夫 タイトル: 学校教育心理学 発行所: 福村出版 出版年: 2013 ISBN: 978-4-571-22052-4
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	本学所定の形式により学期末に行います。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	30%	学期末に1回、レポート課題をLUNAで提出してもらいます(30点満点×1回=30点)
	その他/Others(99)	70%	毎回の振り返りシートにより評価します(5点満点×14回=70点))
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_219148_1&cmp_tab_id=_261266_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年03月14日 19時43分59秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期/Spring	火曜5時限	春学期/Spring	B-302

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48004002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】発達・学習過程論 2／Process of Development and Learning		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	善明 宣夫(ZENMYOU NOBUO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、発達過程とその特徴、及び学習に関する基本的な理論を理解することにある。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the process of development, its characteristics, and basic theory on learning.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点の理解を授業の目標として設定している。 a)発達の概念及び教育における発達理解の意義 b)各発達段階の具体的特徴 c)学習に関する基礎的理論		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of a) the concept of development and significance of developmental understanding in education, b) the specific characteristics of each stage of development, c) basic theory on learning.		
授業方法 Course Format	講義形式による対面授業で実施。教材や資料等については毎回、LUNAで提示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(授業科目の概要、シラバス、授業運営、評価の方法など)	シラバスを参考に教科書を概観し、講義全体のイメージをつかんでおくこと。(100分)
第2回 Session 2	発達・学習過程を理解することの意義(教師に求められる発達支援と学習支援)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第3回 Session 3	発達理論の変遷と諸問題1(発達の規定要因を中心に)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第4回 Session 4	発達理論の変遷と諸問題2(相互作用説と臨界期)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第5回 Session 5	初期学習の重要性と生涯発達	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第6回 Session 6	エリクソンの発達理論1(生涯発達からみた理論の概要と特徴、フロイトの発達理論との相違点など)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第7回 Session 7	エリクソンの発達理論2(各発達段階とライフタスク)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第8回 Session 8	ピアジェの発達理論(ピアジェ理論の概要と特徴及びその限界)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第9回 Session 9	教授・学習過程と主体的学習(学習意欲とメタ認知能力の重要性を中心に)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第10回 Session 10	学習意欲の諸問題1(学習性無力感と原因帰属、自己効力感)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第11回 Session 11	学習意欲の諸問題2(外発的動機づけと内発的動機づけ)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第12回 Session 12	認知的葛藤を中心としたバーラインの認知的動機づけ理論	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第13回 Session 13	授業実践と動機づけ(認知的葛藤を喚起する教材提示や発問のあり方)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第14回 Session 14	まとめ(授業のふり返りと試験等について)	講義全体について、その内容を理解し、整理しておくこと(190分)

授業外学修 Study Required outside Class	平常リポートの講評については、次の授業回に口頭で行う。

教科書/Required texts	著者名: 善明宣夫 タイトル: 学校教育心理学 発行所: 福村出版 出版年: 2013 ISBN: 978-4-571-22052-4
参考文献・資料 Reference books	参考文献については適時紹介する。また資料については事前にLUNAで提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	本学所定の形式により学期末に行う。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	90%	
	平常レポート／Individual reports(04)	10%	
	備考 Note		
	【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計3回)。授業の4回目以降、LUNAに題目・提出期日等を掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_204673_1&cmp_tab_id=_240713_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 15時51分31秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜4時限	春学期／Spring	B-204

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48004003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】発達・学習過程論 3／Process of Development and Learning		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	荻田 純久(OGITA YOSHIHISA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、発達過程とその特徴及び学習に関する基本的な理論を理解することです。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the process of development, its characteristics, and basic theory on learning.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点の理解を授業の目標として設定しています。 a)発達の概念及び教育における発達理解の意義 b)各発達段階の具体的特徴 c)学習に関する基礎的理論		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of a) the concept of development and significance of developmental understanding in education, b) the specific characteristics of each stage of development, c) basic theory on learning.		
授業方法 Course Format	・原則、全ての授業において対面で実施します。もしも休講にすることがあれば、その補講はオンデマンドA型オンライン授業で実施します。 ・遅くとも授業の前日までにPDFの教材をLUNAにアップします。必要に応じて、ダウンロード、プリントアウトなどして下さい。 ・授業は、講義が中心となりますが、復習問題、教員採用試験対策問題、心理テストなどを扱った演習も取り入れていきます。 【オンライン受講許可学生対象】 ・PDFの教材、課題に関しては、対面授業の受講生と同じです。 ・その他に関しては、以下のとおりです。 履修登録確定前(1回目から3回目の予定):「オンデマンド」で動画ファイルを配信予定(各授業終了後)。 履修登録確定後(4回目以降の予定):「Zoom」による同時双方向」で配信予定。「オンライン受講許可学生」は、担当者(荻田)宛に大学のメールアドレスからメールを送信して下さい。Zoom情報を個別に通知します。担当者のメールアドレスは、LUNAで通知します。		
検索キーワード/Keywords	発達 学習 動機づけ		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	＜対面授業で実施＞ 【講義】 ・オリエンテーション(授業科目の概要、シラバス、授業運営、評価の方法) 【演習】 ・どのような教師になりたいか ・生涯の発達を学ぶ意義 【講義】 ・発達・学習過程を理解することの意義(教師に求められる発達支援と学習支援):OECD LEARNING COMPASS 2030	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.9～22を読む
第2回 Session 2	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達・学習過程を理解することの意義(教師に求められる発達支援と学習支援):これからの教育のあり方 【演習】 ・これからの教師に求められること	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.24～27を読む
第3回 Session 3	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達理論の変遷と諸問題1(発達の規定要因を中心に) 【演習】 ・身近な遺伝と環境の問題について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.27～29を読む
第4回 Session 4	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達理論の変遷と諸問題2(相互作用説と臨界期) 【演習】 ・臨界期問題について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.29～34を読む
第5回 Session 5	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・初期学習の重要性と生涯発達	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.35～36を読む

	【演習】 ・親の養育態度と子ども ・アタッチメント理論から	
第6回 Session 6	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・エリクソンの発達理論1(理論の概要と特徴、フロイトの発達理論との相違点など) 【演習】 ・フロイトの発達理論について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.36～41を読む
第7回 Session 7	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・エリクソンの発達理論2(各発達段階とライフタスク) 【演習】 ・自らの自我同一性について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.64～69を読む
第8回 Session 8	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・ピアジェの発達理論(ピアジェ理論の概要と特徴及びその限界) 【演習】 ・同化と調節について ・児童生徒の学力について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.54～60、75～79を読む
第9回 Session 9	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・教授・学習過程と主体的学習(学習意欲とメタ認知能力、自己調整学習を中心に) 【演習】 ・自律した学習者について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.73～75を読む
第10回 Session 10	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学習意欲の諸問題1(学習性無力感と原因帰属、自己効力感) 【演習】 ・自己効力感の低い生徒への関わり方について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.69～73を読む
第11回 Session 11	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学習意欲の諸問題2(外発的動機づけと内発的動機づけ) 【演習】 ・内発的動機づけについて	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.69～73を読む
第12回 Session 12	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 【演習】 ・認知的葛藤を中心としたバーラインの認知的動機づけ理論 【演習】 ・授業とBerlyneの認知的動機づけ理論	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.69～73を読む
第13回 Session 13	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・授業実践と動機づけ(認知的葛藤を喚起する教材提示や発問のあり方) 【演習】 ・発問について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書のうち、授業で扱った内容に関して見直しておく
第14回 Session 14	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・まとめと発展的学習への誘い	【復習課題】 190分 ・振り返りシートの作成と提出 ・全てのPDF教材、ノートなどを復習する

教科書/Required texts	著者名: 善明宣夫 タイトル: 学校教育心理学 発行所: 福村出版 出版年: 2013 ISBN: 978-4-571-22052-4
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	本学所定の形式により学期末に行います。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	30%	学期末に1回、レポート課題をLUNAで提出してもらいます(30点満点×1回=30点)
	その他/Others(99)	70%	毎回の振り返りシートにより評価します(5点満点×14回=70点))
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_221099_1&cmp_tab_id=_263217_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年03月14日 19時45分12秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期/Fall	月曜2時限	秋学期/Fall	5別-2

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48004004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】発達・学習過程論 4／Process of Development and Learning		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	善明 宣夫(ZENMYOU NOBUO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、発達過程とその特徴、及び学習に関する基本的な理論を理解することにある。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the process of development, its characteristics, and basic theory on learning.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点の理解を授業の目標として設定している。 a)発達の概念及び教育における発達理解の意義 b)各発達段階の具体的特徴 c)学習に関する基礎的理論		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of a) the concept of development and significance of developmental understanding in education, b) the specific characteristics of each stage of development, c) basic theory on learning.		
授業方法 Course Format	講義形式による対面授業で実施。教材や資料等については毎回、LUNAで提示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(授業科目の概要、シラバス、授業運営、評価の方法など)	シラバスを参考に教科書を概観し、講義全体のイメージをつかんでおくこと(100分)。
第2回 Session 2	発達・学習過程を理解することの意義(教師に求められる発達支援と学習支援)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第3回 Session 3	発達理論の変遷と諸問題1(発達の規定要因を中心に)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第4回 Session 4	発達理論の変遷と諸問題2(相互作用説と臨界期)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第5回 Session 5	初期学習の重要性と生涯発達	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第6回 Session 6	エリクソンの発達理論1(生涯発達からみた理論の概要と特徴、フロイトの発達理論との相違点など)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第7回 Session 7	エリクソンの発達理論2(各発達段階とライフタスク)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第8回 Session 8	ピアジェの発達理論(ピアジェ理論の概要と特徴及びその限界)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第9回 Session 9	教授・学習過程と主体的学習(学習意欲とメタ認知能力の重要性を中心に)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第10回 Session 10	学習意欲の諸問題1(学習性無力感と原因帰属、自己効力感)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第11回 Session 11	学習意欲の諸問題2(外発的動機づけと内発的動機づけ)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第12回 Session 12	認知的葛藤を中心としたバーラインの認知的動機づけ理論	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第13回 Session 13	授業実践と動機づけ(認知的葛藤を喚起する教材提示や発問のあり方)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第14回 Session 14	まとめ(授業の振り返りと試験について)	講義全体について、その内容を理解し、整理しておくこと(190分)。
授業外学修 Study Required outside Class	平常リポートの講評については、次の授業回に口頭で行う。	

教科書/Required texts	著者名:善明宣夫 タイトル:学校教育心理学 発行所:福村出版 出版年:2013 ISBN:978－4－571－22052－4
参考文献・資料 Reference books	参考文献については適時紹介する。また資料については事前にLUNAで提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	本学所定の形式により学期末に行う。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	90%	
	平常レポート／Individual reports(04)	10%	
	備考 Note		
	【オンライン授業許可学生対象】 平常レポート100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計3回)。授業の4回目以降、LUNAに題目・提出期日等を掲載するので確認のこと。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_186420_1&cmp_tab_id=_215287_1&mode=view		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 15時52分43秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜5時限	秋学期／Fall	B－204

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48004005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】発達・学習過程論 5／Process of Development and Learning		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	荻田 純久(OGITA YOSHIHISA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、発達過程とその特徴及び学習に関する基本的な理論を理解することです。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the process of development, its characteristics, and basic theory on learning.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点の理解を授業の目標として設定しています。 a)発達の概念及び教育における発達理解の意義 b)各発達段階の具体的特徴 c)学習に関する基礎的理論		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of a) the concept of development and significance of developmental understanding in education, b) the specific characteristics of each stage of development, c) basic theory on learning.		
授業方法 Course Format	・原則、全ての授業において対面で実施します。もしも休講にすることがあれば、その補講はオンデマンドA型オンライン授業で実施します。 ・遅くとも授業の前日までにPDFの教材をLUNAにアップします。必要に応じて、ダウンロード、プリントアウトなどして下さい。 ・授業は、講義が中心となりますが、復習問題、教員採用試験対策問題、心理テストなどを扱った演習も取り入れていきます。 【オンライン受講許可学生対象】 ・PDFの教材、課題に関しては、対面授業の受講生と同じです。 ・その他に関しては、以下のとおりです。 履修登録確定前(1回目から3回目の予定):「オンデマンド」で動画ファイルを配信予定(各授業終了後)。 履修登録確定後(4回目以降の予定):「Zoom」による同時双方向」で配信予定。「オンライン受講許可学生」は、担当者(荻田)宛に大学のメールアドレスからメールを送信して下さい。Zoom情報を個別に通知します。担当者のメールアドレスは、LUNAで通知します。		
検索キーワード/Keywords	発達 学習 動機づけ		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	＜対面授業で実施＞ 【講義】 ・オリエンテーション(授業科目の概要、シラバス、授業運営、評価の方法) 【演習】 ・どのような教師になりたいか ・生涯の発達を学ぶ意義 【講義】 ・発達・学習過程を理解することの意義(教師に求められる発達支援と学習支援):OECD LEARNING COMPASS 2030	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.9～22を読む
第2回 Session 2	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達・学習過程を理解することの意義(教師に求められる発達支援と学習支援):これからの教育のあり方 【演習】 ・これからの教師に求められること	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.24～27を読む
第3回 Session 3	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達理論の変遷と諸問題1(発達の規定要因を中心に) 【演習】 ・身近な遺伝と環境の問題について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.27～29を読む
第4回 Session 4	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達理論の変遷と諸問題2(相互作用説と臨界期) 【演習】 ・臨界期問題について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.29～34を読む
第5回 Session 5	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・初期学習の重要性と生涯発達	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.35～36を読む

	【演習】 ・親の養育態度と子ども ・アタッチメント理論から	
第6回 Session 6	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・エリクソンの発達理論1(理論の概要と特徴、フロイトの発達理論との相違点など) 【演習】 ・フロイトの発達理論について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.36～41を読む
第7回 Session 7	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・エリクソンの発達理論2(各発達段階とライフタスク) 【演習】 ・自らの自我同一性について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.64～69を読む
第8回 Session 8	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・ピアジェの発達理論(ピアジェ理論の概要と特徴及びその限界) 【演習】 ・同化と調節について ・児童生徒の学力について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.54～60、75～79を読む
第9回 Session 9	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・教授・学習過程と主体的学習(学習意欲とメタ認知能力、自己調整学習を中心に) 【演習】 ・自律した学習者について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.73～75を読む
第10回 Session 10	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学習意欲の諸問題1(学習性無力感と原因帰属、自己効力感) 【演習】 ・自己効力感の低い生徒への関わり方について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.69～73を読む
第11回 Session 11	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学習意欲の諸問題2(外発的動機づけと内発的動機づけ) 【演習】 ・内発的動機づけについて	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.69～73を読む
第12回 Session 12	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 【演習】 ・認知的葛藤を中心としたバーラインの認知的動機づけ理論 【演習】 ・授業とBerlyneの認知的動機づけ理論	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.69～73を読む
第13回 Session 13	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・授業実践と動機づけ(認知的葛藤を喚起する教材提示や発問のあり方) 【演習】 ・発問について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書のうち、授業で扱った内容に関して見直しておく
第14回 Session 14	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・まとめと発展的学習への誘い	【復習課題】 190分 ・振り返りシートの作成と提出 ・全てのPDF教材、ノートなどを復習する

教科書/Required texts	著者名: 善明宣夫 タイトル: 学校教育心理学 発行所: 福村出版 出版年: 2013 ISBN: 978-4-571-22052-4
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	本学所定の形式により学期末に行います。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	30%	学期末に1回、レポート課題をLUNAで提出してもらいます(30点満点×1回=30点)
	その他/Others(99)	70%	毎回の振り返りシートにより評価します(5点満点×14回=70点))
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_208197_1&cmp_tab_id=_250315_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年03月14日 19時46分34秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期/Spring	木曜3時限	春学期/Spring	VII-101

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48004006	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】発達・学習過程論 6／Process of Development and Learning		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	荻田 純久(OGITA YOSHIHISA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、発達過程とその特徴及び学習に関する基本的な理論を理解することです。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the process of development, its characteristics, and basic theory on learning.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点の理解を授業の目標として設定しています。 a)発達の概念及び教育における発達理解の意義 b)各発達段階の具体的特徴 c)学習に関する基礎的理論		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of a) the concept of development and significance of developmental understanding in education, b) the specific characteristics of each stage of development, c) basic theory on learning.		
授業方法 Course Format	・原則、全ての授業において対面で実施します。もしも休講にすることがあれば、その補講はオンデマンドA型オンライン授業で実施します。 ・遅くとも授業の前日までにPDFの教材をLUNAにアップします。必要に応じて、ダウンロード、プリントアウトなどして下さい。 ・授業は、講義が中心となりますが、復習問題、教員採用試験対策問題、心理テストなどを扱った演習も取り入れていきます。 【オンライン受講許可学生対象】 ・PDFの教材、課題に関しては、対面授業の受講生と同じです。 ・その他に関しては、以下のとおりです。 履修登録確定前(1回目から3回目の予定):「オンデマンド」で動画ファイルを配信予定(各授業終了後)。 履修登録確定後(4回目以降の予定):「Zoom」による同時双方向」で配信予定。「オンライン受講許可学生」は、担当者(荻田)宛に大学のメールアドレスからメールを送信して下さい。Zoom情報を個別に通知します。担当者のメールアドレスは、LUNAで通知します。		
検索キーワード/Keywords	発達 学習 動機づけ		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	＜対面授業で実施＞ 【講義】 ・オリエンテーション(授業科目の概要、シラバス、授業運営、評価の方法) 【演習】 ・どのような教師になりたいか ・生涯の発達を学ぶ意義 【講義】 ・発達・学習過程を理解することの意義(教師に求められる発達支援と学習支援):OECD LEARNING COMPASS 2030	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.9～22を読む
第2回 Session 2	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達・学習過程を理解することの意義(教師に求められる発達支援と学習支援):これからの教育のあり方 【演習】 ・これからの教師に求められること	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.24～27を読む
第3回 Session 3	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達理論の変遷と諸問題1(発達の規定要因を中心に) 【演習】 ・身近な遺伝と環境の問題について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.27～29を読む
第4回 Session 4	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達理論の変遷と諸問題2(相互作用説と臨界期) 【演習】 ・臨界期問題について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.29～34を読む
第5回 Session 5	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・初期学習の重要性と生涯発達	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.35～36を読む

	【演習】 ・親の養育態度と子ども ・アタッチメント理論から	
第6回 Session 6	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・エリクソンの発達理論1(理論の概要と特徴、フロイトの発達理論との相違点など) 【演習】 ・フロイトの発達理論について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.36～41を読む
第7回 Session 7	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・エリクソンの発達理論2(各発達段階とライフタスク) 【演習】 ・自らの自我同一性について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.64～69を読む
第8回 Session 8	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・ピアジェの発達理論(ピアジェ理論の概要と特徴及びその限界) 【演習】 ・同化と調節について ・児童生徒の学力について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.54～60、75～79を読む
第9回 Session 9	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・教授・学習過程と主体的学習(学習意欲とメタ認知能力、自己調整学習を中心に) 【演習】 ・自律した学習者について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.73～75を読む
第10回 Session 10	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学習意欲の諸問題1(学習性無力感と原因帰属、自己効力感) 【演習】 ・自己効力感の低い生徒への関わり方について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.69～73を読む
第11回 Session 11	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学習意欲の諸問題2(外発的動機づけと内発的動機づけ) 【演習】 ・内発的動機づけについて	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.69～73を読む
第12回 Session 12	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 【演習】 ・認知的葛藤を中心としたバーラインの認知的動機づけ理論 【演習】 ・授業とBerlyneの認知的動機づけ理論	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.69～73を読む
第13回 Session 13	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・授業実践と動機づけ(認知的葛藤を喚起する教材提示や発問のあり方) 【演習】 ・発問について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書のうち、授業で扱った内容に関して見直しておく
第14回 Session 14	<対面授業で実施> 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・まとめと発展的学習への誘い	【復習課題】190分 ・振り返りシートの作成と提出 ・全てのPDF教材、ノートなどを復習する

教科書/Required texts	著者名: 善明宣夫 タイトル: 学校教育心理学 発行所: 福村出版 出版年: 2013 ISBN: 978-4-571-22052-4
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	本学所定の形式により学期末に行います。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	30%	学期末に1回、レポート課題をLUNAで提出してもらいます(30点満点×1回=30点)
	その他/Others(99)	70%	毎回の振り返りシートにより評価します(5点満点×14回=70点))
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_218488_1&cmp_tab_id=_260606_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年03月14日 19時47分41秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期/Fall	木曜4時限	秋学期/Fall	IV-402

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48005001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】学校教育論 1／Principles of School Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	久保田 真功(KUBOTA MAKOTO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職志望の学生が、教育に関する社会的・制度的・経営的事項に対する理解を深めることにある。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students who aim to be teachers to understand social, systematic, and managerial matters related to education.		
到達目標/Learning Goals	本授業の到達目標は、以下の通りである。 1. 日本の教育制度についての理解 2. 公教育制度を保障するための法体系とその意義についての理解 3. 近年の教育改革の動向についての理解(認定子ども園、学校評議員制、コミュニティースクール、民間人校長の導入など) 4. 子供や教師の置かれた状況(いじめ、不登校、教師の多忙化など)に対する理解 5. 学校安全に向けた対応の必要性に対する理解		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of 1. the educational system in Japan, 2. the significance of law in securing the public educational system, 3. reform of the educational system in recent years, 4. the problems faced by children and teachers (bullying, school non-attendance, teachers being busy with many things), 5. the need for coping with school safety		
授業方法 Course Format	授業は講義形式で行う。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	学校教育の歴史(学校の起源、下構型学校系統と上構型学校系統、3つの学校体系等)	
第2回 Session 2	一条校の種類と各一条校の目的等	
第3回 Session 3	近年の教育改革の動向(認定子ども園、学校評議員制、コミュニティースクール、民間人校長の導入など)	
第4回 Session 4	公教育制度を保障するための法体系(教育行政の理念と仕組みを含む)	
第5回 Session 5	いじめ1(いじめの発生要因に関する諸仮説、学級集団といじめ)	
第6回 Session 6	いじめ2(教師に必要とされる指導態度、スクールカウンセラー制度の導入)	
第7回 Session 7	不登校(不登校者数増加の社会的背景、不登校の社会学理論、不登校の子供たちに必要とされる支援)	
第8回 Session 8	「ゆとり教育」と学力低下	
第9回 Session 9	「ゆとり教育」の煽りを受けたのは誰か(社会階層と学力)	
第10回 Session 10	学力向上に向けた学校現場の取り組み(公立学校の経営努力)	
第11回 Session 11	教育職員の制度1(教育職員の種類と職務、教育職員の免許状と任用等)	
第12回 Session 12	教育職員の制度2(教育職員の研修、教育職員の分限と懲戒)	
第13回 Session 13	教師の多忙化とバーンアウト(教員環境の国際比較の結果を含む)	
第14回 Session 14	学校安全に向けた対応の現状と課題	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	授業に臨む際には、授業計画を参考にし、授業で扱うテーマについて前もって学習しておくこと。

教科書 Required texts	資料は「LUNA」にアップしておくので、授業に臨む際に事前に印刷等しておくこと。
参考書/Reference books	著者名:岡本徹・佐々木司 タイトル:新しい時代の教育制度と経営 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2009 ISBN: 著者名:本図愛美・末富芳編 タイトル:新・教育の制度と経営【新訂版】 発行所:学事出版 出版年:2017 ISBN: 著者名:国立教育政策研究所編 タイトル:教員環境の国際比較―OECD国際教員指導環境調査(TALIS)2013年調査結果報告書 発行所:明石書店 出版年:2014 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	授業時に適宜指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業時に実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	80%	
	平常レポート／Individual reports(04)	20%	
更新日時/Date of Update	2022年02月28日 12時28分15秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜2時限	春学期／Spring	B－304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48005002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】学校教育論 2／Principles of School Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	久保田 真功(KUBOTA MAKOTO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職志望の学生が、教育に関する社会的・制度的・経営的事項に対する理解を深めることにある。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students who aim to be teachers to understand social, systematic, and managerial matters related to education.		
到達目標/Learning Goals	本授業の到達目標は、以下の通りである。 1. 日本の教育制度についての理解 2. 公教育制度を保障するための法体系とその意義についての理解 3. 近年の教育改革の動向についての理解(認定子ども園、学校評議員制、コミュニティースクール、民間人校長の導入など) 4. 子供や教師の置かれた状況(いじめ、不登校、教師の多忙化など)に対する理解 5. 学校安全に向けた対応の必要性に対する理解		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of 1. the educational system in Japan, 2. the significance of law in securing the public educational system, 3. reform of the educational system in recent years, 4. the problems faced by children and teachers (bullying, school non-attendance, teachers being busy with many things), 5. the need for coping with school safety		
授業方法 Course Format	授業は講義形式で行う。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	学校教育の歴史(学校の起源、下構型学校系統と上構型学校系統、3つの学校体系等)	
第2回 Session 2	一条校の種類と各一条校の目的等	
第3回 Session 3	近年の教育改革の動向(認定子ども園、学校評議員制、コミュニティースクール、民間人校長の導入など)	
第4回 Session 4	公教育制度を保障するための法体系(教育行政の理念と仕組みを含む)	
第5回 Session 5	いじめ1(いじめの発生要因に関する諸仮説、学級集団といじめ)	
第6回 Session 6	いじめ2(教師に必要とされる指導態度、スクールカウンセラー制度の導入)	
第7回 Session 7	不登校(不登校者数増加の社会的背景、不登校の社会学理論、不登校の子供たちに必要とされる支援)	
第8回 Session 8	「ゆとり教育」と学力低下	
第9回 Session 9	「ゆとり教育」の煽りを受けたのは誰か(社会階層と学力)	
第10回 Session 10	学力向上に向けた学校現場の取り組み(公立学校の経営努力)	
第11回 Session 11	教育職員の制度1(教育職員の種類と職務、教育職員の免許状と任用等)	
第12回 Session 12	教育職員の制度2(教育職員の研修、教育職員の分限と懲戒)	
第13回 Session 13	教師の多忙化とバーンアウト(教員環境の国際比較の結果を含む)	
第14回 Session 14	学校安全に向けた対応の現状と課題	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	授業に臨む際には、授業計画を参考にし、授業で扱うテーマについて前もって学習しておくこと。

教科書 Required texts	資料は「LUNA」にアップしておくので、授業に臨む際に事前に印刷等しておくこと。
参考書/Reference books	著者名:岡本徹・佐々木司 タイトル:新しい時代の教育制度と経営 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2009 ISBN: 著者名:本図愛美・末富芳編 タイトル:新・教育の制度と経営【新訂版】 発行所:学事出版 出版年:2017 ISBN: 著者名:国立教育政策研究所編 タイトル:教員環境の国際比較―OECD国際教員指導環境調査(TALIS)2013年調査結果報告書 発行所:明石書店 出版年:2014 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	授業時に適宜指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業時に実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	80%	
	平常レポート／Individual reports(04)	20%	
更新日時/Date of Update	2022年02月28日 12時28分54秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	木曜2時限	春学期／Spring	4別－202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48005003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】学校教育論 3／Principles of School Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	久保田 真功(KUBOTA MAKOTO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職志望の学生が、教育に関する社会的・制度的・経営的事項に対する理解を深めることにある。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students who aim to be teachers to understand social, systematic, and managerial matters related to education.		
到達目標/Learning Goals	本授業の到達目標は、以下の通りである。 1. 日本の教育制度についての理解 2. 公教育制度を保障するための法体系とその意義についての理解 3. 近年の教育改革の動向についての理解(認定子ども園、学校評議員制、コミュニティースクール、民間人校長の導入など) 4. 子供や教師の置かれた状況(いじめ、不登校、教師の多忙化など)に対する理解 5. 学校安全に向けた対応の必要性に対する理解		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of 1. the educational system in Japan, 2. the significance of law in securing the public educational system, 3. reform of the educational system in recent years, 4. the problems faced by children and teachers (bullying, school non-attendance, teachers being busy with many things), 5. the need for coping with school safety		
授業方法 Course Format	授業は講義形式で行う。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	学校教育の歴史(学校の起源、下構型学校系統と上構型学校系統、3つの学校体系等)	
第2回 Session 2	一条校の種類と各一条校の目的等	
第3回 Session 3	近年の教育改革の動向(認定子ども園、学校評議員制、コミュニティースクール、民間人校長の導入など)	
第4回 Session 4	公教育制度を保障するための法体系(教育行政の理念と仕組みを含む)	
第5回 Session 5	いじめ1(いじめの発生要因に関する諸仮説、学級集団といじめ)	
第6回 Session 6	いじめ2(教師に必要とされる指導態度、スクールカウンセラー制度の導入)	
第7回 Session 7	不登校(不登校者数増加の社会的背景、不登校の社会学理論、不登校の子供たちに必要とされる支援)	
第8回 Session 8	「ゆとり教育」と学力低下	
第9回 Session 9	「ゆとり教育」の煽りを受けたのは誰か(社会階層と学力)	
第10回 Session 10	学力向上に向けた学校現場の取り組み(公立学校の経営努力)	
第11回 Session 11	教育職員の制度1(教育職員の種類と職務、教育職員の免許状と任用等)	
第12回 Session 12	教育職員の制度2(教育職員の研修、教育職員の分限と懲戒)	
第13回 Session 13	教師の多忙化とバーンアウト(教員環境の国際比較の結果を含む)	
第14回 Session 14	学校安全に向けた対応の現状と課題	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	授業に臨む際には、授業計画を参考にし、授業で扱うテーマについて前もって学習しておくこと。

教科書 Required texts	資料は「LUNA」にアップしておくので、授業に臨む際に事前に印刷等しておくこと。
参考書/Reference books	著者名:岡本徹・佐々木司 タイトル:新しい時代の教育制度と経営 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2009 ISBN: 著者名:本図愛美・末富芳編 タイトル:新・教育の制度と経営【新訂版】 発行所:学事出版 出版年:2017 ISBN: 著者名:国立教育政策研究所編 タイトル:教員環境の国際比較―OECD国際教員指導環境調査(TALIS)2013年調査結果報告書 発行所:明石書店 出版年:2014 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	授業時に適宜指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業時に実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	80%	
	平常レポート／Individual reports(04)	20%	
更新日時/Date of Update	2022年02月28日 12時29分21秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜1時限	秋学期／Fall	B－302

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48005004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】学校教育論 4／Principles of School Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	久保田 真功(KUBOTA MAKOTO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職志望の学生が、教育に関する社会的・制度的・経営的事項に対する理解を深めることにある。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students who aim to be teachers to understand social, systematic, and managerial matters related to education.		
到達目標/Learning Goals	本授業の到達目標は、以下の通りである。 1. 日本の教育制度についての理解 2. 公教育制度を保障するための法体系とその意義についての理解 3. 近年の教育改革の動向についての理解(認定子ども園、学校評議員制、コミュニティースクール、民間人校長の導入など) 4. 子供や教師の置かれた状況(いじめ、不登校、教師の多忙化など)に対する理解 5. 学校安全に向けた対応の必要性に対する理解		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of 1. the educational system in Japan, 2. the significance of law in securing the public educational system, 3. reform of the educational system in recent years, 4. the problems faced by children and teachers (bullying, school non-attendance, teachers being busy with many things), 5. the need for coping with school safety		
授業方法 Course Format	授業は講義形式で行う。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	学校教育の歴史(学校の起源、下構型学校系統と上構型学校系統、3つの学校体系等)	
第2回 Session 2	一条校の種類と各一条校の目的等	
第3回 Session 3	近年の教育改革の動向(認定子ども園、学校評議員制、コミュニティースクール、民間人校長の導入など)	
第4回 Session 4	公教育制度を保障するための法体系(教育行政の理念と仕組みを含む)	
第5回 Session 5	いじめ1(いじめの発生要因に関する諸仮説、学級集団といじめ)	
第6回 Session 6	いじめ2(教師に必要とされる指導態度、スクールカウンセラー制度の導入)	
第7回 Session 7	不登校(不登校者数増加の社会的背景、不登校の社会学理論、不登校の子供たちに必要とされる支援)	
第8回 Session 8	「ゆとり教育」と学力低下	
第9回 Session 9	「ゆとり教育」の煽りを受けたのは誰か(社会階層と学力)	
第10回 Session 10	学力向上に向けた学校現場の取り組み(公立学校の経営努力)	
第11回 Session 11	教育職員の制度1(教育職員の種類と職務、教育職員の免許状と任用等)	
第12回 Session 12	教育職員の制度2(教育職員の研修、教育職員の分限と懲戒)	
第13回 Session 13	教師の多忙化とバーンアウト(教員環境の国際比較の結果を含む)	
第14回 Session 14	学校安全に向けた対応の現状と課題	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	授業に臨む際には、授業計画を参考にし、授業で扱うテーマについて前もって学習しておくこと。

教科書 Required texts	資料は「LUNA」にアップしておくので、授業に臨む際に事前に印刷等しておくこと。
参考書/Reference books	著者名:岡本徹・佐々木司 タイトル:新しい時代の教育制度と経営 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2009 ISBN: 著者名:本図愛美・末富芳編 タイトル:新・教育の制度と経営【新訂版】 発行所:学事出版 出版年:2017 ISBN: 著者名:国立教育政策研究所編 タイトル:教員環境の国際比較―OECD国際教員指導環境調査(TALIS)2013年調査結果報告書 発行所:明石書店 出版年:2014 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	授業時に適宜指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業時に実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	80%	
	平常レポート／Individual reports(04)	20%	
更新日時/Date of Update	2022年02月28日 12時30分00秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜3時限	秋学期／Fall	B－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48005005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】学校教育論 5/Principles of School Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	前原 健三(MAEHARA KENZO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	1. 教育に関する社会的・制度的又は経営的事項について基礎的知識を学ぶ。 2. 学校と地域社会との連携及び学校安全への対応について基礎的事項を学ぶ。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to 1. learn basic knowledge of social, institutional, and business issues concerning education, 2. learn about basic issues concerning cooperation between schools and local communities and actions for the safety of schools.		
到達目標/Learning Goals	日本の教育制度について、特に以下の事項を理解する。1. 公教育制度の理念と構造及びこれらを保障するための法体系とその意義 2. 近年の教育制度改革の動向 3. 子供や教師の置かれた現状と課題 4. 学校安全に向けた対応の必要性		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of 1. the educational system in Japan; 2. the significance of law in securing the public educational system; 3. reform of the educational system in recent years, such as the introduction of certified centers for early childhood education and care, a school trustee system, community schools, and private citizen principals; 4. the problems faced by children and teachers, such as bullying, absenteeism, and teacher busyness; and 5. the need to take actions for the safety of schools.		
授業の概要・背景 Course Outline	1. 本授業の目的は、教職志望の学生を対象に、教育に関する社会的・制度的・経営的事項に対する理解を促すことにある。2. さらには教職に就く際の責任及び意義を理解するとともに、将来の進路として教職を選択すべきかどうかということについて深く考える各種の機会を提供することにある。3. 以って、関西学院大学スクールモットーに基づく広義の教育者及び世界市民の育成にささやかながら資することを期する。		
授業方法 Course Format	1. 履修者の主体的・対話的・深い学びの基礎力を形成するため、対面授業による課題学修を行う。2. 自問自答・自学自修による課題学修を通して、教職についての学修過程を主体化し、教職への更なる理解を深め、将来的に中高生の主体的・対話的・深い学びを育み支援する実践力へとつなげる。3.個人的質問事項については、LUNAフォーラム又は前原e-mail:coy16890@kwansei.ac.jpをご利用ください。		
関連科目/Related Courses	日本国憲法、教育原論、教職概論、教育課程論、教育方法基礎論、各教科教育法、教育実習、教職実践演習等、教職課程全般		
検索キーワード/Keywords	関西学院スクールモットー・関学らしい教員像・SDGs・学校教育・教育制度・教育経営・教育行政・生涯学習・アクティブラーニング等		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	4月8日(金):【導入課題】(1)関西学院スクールモットー及び教員養成の理念等について、理解する。(2)①本授業の目的 ②授業運営計画と運営方法 ③成績評価方法等について質疑応答により確認し、理解を深める。④その上で、プレゼンテーション希望のチームはメンバーを確認し発表予定日を定め、発表データの作成作業を行う。⑤課題リポートへの対応のみの場合は、課題の選択作業を行い、履修計画を立てる。⑥エントリーシートの趣旨を理解し、これを期限(4/14(木)正午)までに作成し提出する。	授業前日正午までに、本授業シラバス及び付加情報資料により確認し、【導入課題】(2)エントリーシートを作成する。LUNAフォーラムにてコメントし質疑応答可。
第2回 Session 2	4月15日(金):【導入課題】(2)本授業運営方法及び授業計画細案について再確認を行う。その上で、①プレゼンテーション希望のチームは、メンバーを確認し、発表予定日を定め、発表希望章のデータ作成成分担作業を行う。②課題リポート対応のみの履修者は、スケジュールを立てて、直近の課題リポート作成作業に取り組む。③エントリーシートの趣旨を理解し、追加提出する。	同上。【導入課題】(2)エントリーシートを4月14日(木)正午までに作成し提出する。4月15日(金)正午までに授業計画細案を公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第3回 Session 3	4月22日(金):【課題①選択】テキスト第2章「就学前教育行政と幼稚園・保育園・認定こども園」の事前学修WORKに取り組み、生涯学習の基礎を培うための基本理念とその制度運営について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第2章を予習復習し、【課題①選択】のレポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第4回 Session 4	5月6日(金):【課題②必修】(1)テキスト第1章「教員の育成に関する行政」の事前学修WORKに取り組み、(2)我が国における教員の養成期から採用後までの制度について学び、教員の育成システムとその課題について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第1章を予習復習し、【課題②必修】レポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第5回 Session 5	5月13日(金):【課題②必修】(1)テキスト第1章「教員の育成に関する行政」の事前学修WORKに取り組み、(2)我が国における教員の養成期から採用後までの制度について学び、教員の育成システムとその課題について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	同上
第6回 Session 6	5月20日(金):【課題③必修】テキスト第16章「教育制度の法体系と原理」の事前学修WORKに取り組み、教育の機会均等の実現に向けての理念、具体的な法制度及び施策について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第16章を予習復習し、【課題③必修】レポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。

第7回 Session 7	5月27日(金):【課題④必修】テキスト第3章「初等中等教育行政と学校」の事前学修WORKに取り組み、学校制度の歴史的展開と初等中等教育の意味について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう	テキスト第3章を予習復習し、【課題④必修】レポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第8回 Session 8	6月3日(金):【課題⑤選択】テキスト第4章「高等教育・私立学校行政と学校」の事前学修WORKに取り組み、学校の設置主体としての「法人」のもつ意味について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第4章を予習復習し、【課題⑤選択】レポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第9回 Session 9	6月10日(金):【課題⑥選択】テキスト第5章「特別支援教育と学校・学校外教育」の事前学修WORKに取り組み、変動する教育機会について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第5章を予習復習し、【課題⑥選択】レポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第10回 Session 10	6月17日(金):【課題⑦必修】テキスト第6章「教育課程行政」の事前学修WORKに取り組み、教職実践における学習指導要領と教育課程の位置について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第6章を予習復習し、【課題⑦選択】レポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第11回 Session 11	6月24日(金):【課題⑦必修】テキスト第6章「教育課程行政」の事前学修WORKに取り組み、教職実践における学習指導要領と教育課程の位置について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	同上
第12回 Session 12	7月1日(金):【課題⑧選択】テキスト第7章「教育委員会と学校」の事前学修WORKに取り組み、公立学校の管理と運営について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第7章を予習復習し、【課題⑧選択】レポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第13回 Session 13	7月8日(金):【課題⑨選択】テキスト第8章「学校と外部環境」の事前学修WORKに取り組み、学校と地域の連携の在り方と課題について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第8章を予習復習し、【課題⑨選択】レポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第14回 Session 14	7月15日(金):【課題⑩必修】第10章「学校安全」の事前学修WORKに取り組み、「学校安全」について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第10章を予習復習し、【課題⑩必修】レポート又はプレゼン用データ(希望チームのみ)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。
第15回 Session 15	7月22日(金):【まとめの課題】本授業全体を通しての質疑応答及び学んだこと・今後の課題等について、振り返りシートを用いてまとめる。	授業前日正午までに、【まとめの課題】用振り返りシートを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。

教科書 Required texts	[アクティバート教育学05]教育制度を支える教育行政 青木栄一編著 ミネルヴァ書房 2019
参考文献・資料 Reference books	1.Japanese Educational System and its Administration, The Kansai Society for Educational Administration, 東信堂,2018 2.教育法規スタートアップ・ネクスト 高見茂他編著 2018 昭和堂 3.教育制度論－教育行政・教育政策の動向を掴む－早田幸政著 ミネルヴァ書房 2016 4.学校安全と危機管理 渡邊正樹編著 大修館書店 2013 5.With コロナの新しい学校経営様式－ニューノーマルな教育システムの展望－篠原清昭他編著 ジダイ社 2020 6.教師という接客業 斎藤浩著 草思社 2020 7.教育は変えられる 山口裕也著 講談社現代新書2604 2021 8.コロナ後の教育へーオックスフォードからの提唱－ 荻谷剛彦著 中公新書ラクレ708 2020
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	1. 授業中に本学にて指示された方法により実施する。 2. 本授業内で独自に実施する場合もある。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	その他／Others(99)	100%	課題レポート又はプレゼンテーション用データ等による。	
	備考 Note (1)上記授業計画の【必修課題:②③④⑦⑩】レポート:計50点 (2)【選択課題:導入課題及び①⑤⑥⑧⑨】レポート:50点。 又は、(3)4名程度のチームによるプレゼンテーションを希望する場合は、【必修/選択課題】から1課題を選択し、その1題についてプレゼンテーション用データを作成し、LUNAにて公開し、ディスカッションに供する(30点枠)。この場合、【選択課題】5題より2題を免除し、3題を課すこととする。			
備考 Note	(1) 授業案内及び【導入課題】について、添付フィル資料を公開しましたので、事前に必ず熟読・確認の上、計画的にご対応ください。 (2) LUNA掲示板フォーラムを開設しますので、お問い合わせは、そちらの方をお願いします。困難な場合又は緊急な場合は、coy16890@kwansei.ac.jpまでお知らせください。			
添付ファイル1/File Attachment 1	◆資料Ⅰ:「学校教育論5」履修案内(0)(1)―成績評価方法―.docx	説明1/Explanation 1	資料Ⅰ:2022年度春学期「学校教育論5」の履修案内(0)(1)	
添付ファイル2/File Attachment 2	◆資料Ⅱ:『学校教育論5』の履修案内(2)―課題レポート及びプレゼンテーション用データの選択対象と提出期限・提出場所.docx	説明2/Explanation 2	資料Ⅱ:2022年度春学期『学校教育論5』の履修案内(2)	
添付ファイル3/File Attachment 3	◆資料Ⅲ:『学校教育論5』の履修案内(3)―プレゼンテーション用データ作成・公開についての希望調査回答用ファイル―.docx	説明3/Explanation 3	資料Ⅲ:2022年度春学期『学校教育論5』の履修案内(3)	
添付ファイル4/File Attachment 4	◆資料Ⅳ:『学校教育論5』の履修案内(4)―エントリーシート―.docx	説明4/Explanation 4	資料Ⅳ:2022年度春学期『学校教育論5』の履修案内(4)	
更新日時/Date of Update	2022年03月25日 18時03分04秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	金曜4時限	春学期／Spring	IV－401

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48005006	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】学校教育論 6／Principles of School Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	前原 健三(MAEHARA KENZO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	1. 教育に関する社会的・制度的又は経営的事項について基礎的知識を学ぶ。 2. 学校と地域社会との連携及び学校安全への対応について基礎的事項を学ぶ。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to 1. learn basic knowledge of social, institutional, and business issues concerning education, 2. learn about basic issues concerning cooperation between schools and local communities and actions for the safety of schools.		
到達目標/Learning Goals	日本の教育制度について、特に以下の事項を理解する。1. 公教育制度の理念と構造及びこれらを保障するための法体系とその意義 2. 近年の教育制度改革の動向 3. 子供や教師の置かれた現状と課題 4. 学校安全に向けた対応の必要性		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of 1. the educational system in Japan; 2. the significance of law in securing the public educational system; 3. reform of the educational system in recent years, such as the introduction of certified centers for early childhood education and care, a school trustee system, community schools, and private citizen principals; 4. the problems faced by children and teachers, such as bullying, absenteeism, and teacher busyness; and 5. the need to take actions for the safety of schools.		
授業の概要・背景 Course Outline	1. 本授業の目的は、教職志望の学生を対象に、教育に関する社会的・制度的・経営的事項に対する理解を促すことにある。2. さらには教職に就く際の責任及び意義を理解するとともに、将来の進路として教職を選択すべきかどうかということについて深く考える各種の機会を提供することにある。3. 併せて、関西学院大学スクールモットーに基づく広義の教育者及び世界市民の育成にささやかながら資することを期するものである。		
授業方法 Course Format	1. 履修者の主体的・対話的・深い学びの基礎力を形成するため、対面授業による課題学修を行う。2. 自問自答・自学自修による課題学修を通して、教職についての学修過程を主体化し、教職への更なる理解を深め、将来的に中高生の主体的・対話的・深い学びを育み支援する実践力へとつなげる。3.個人的質問事項については、LUNAフォーラム又は前原e-mail:coy16890@kwansei.ac.jpをご利用ください。		
関連科目/Related Courses	日本国憲法、教育原論、教職概論、人権教育論、発達・学習過程論、教育課程論、各教科教育法、教育実習、教職実践演習等、教職課程全般		
検索キーワード/Keywords	関西学院スクールモットー・関学らしい教員像・SEDs・学校教育・教育制度・教育経営・教育行政・学校安全・学校とその外部環境等		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	9月30日(金):【授業導入課題】(1)関西学院スクールモットー及び教員養成の理念等について、理解する。(2)❶本授業の目的 ❷授業運営計画と運営方法 ❸成績評価方法等について質疑応答により確認し、理解を深める。(3)その上で、プレゼンテーション希望のチームはメンバーを確認し発表予定日を定め、発表データの作成作業を行う。(4)レポートのみの場合は、課題の選択作業を行い、履修計画を立てる。	授業前日正午までに、本授業シラバス及び下記シラバス付加情報欄の資料により確認し、【授業導入課題】エントリーシートを作成する。LUNAフォーラムにてコメントし質疑応答可。
第2回 Session 2	10月7日(金):(1)本授業運営方法及び授業計画細案について再確認を行う。(2)プレゼンテーション希望のチームは、メンバーを確認し、発表予定日を定め、発表希望章のデータ作成作業を行う。(3)課題レポートのみの履修者は、履修計画を立てて、直近の課題レポート作成への準備作業を行う。	同上。【授業導入課題】エントリーシートを作成する。所定の期日までに授業計画細案をLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし質疑応答可。
第3回 Session 3	10月14日(金):【課題❶選択】テキスト第2章「就学前教育行政と幼稚園・保育園・認定こども園」の事前学修WORKに取り組み、生涯学習の基礎を培うための基本理念とその制度運営について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第2章を予習復習し、【課題❶選択】レポート又はプレゼン用データ(希望者)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAに公開する。LUNAフォーラムにてコメントし質疑応答可。
第4回 Session 4	10月21日(金):【課題❷必修】(1)テキスト第1章「教員の育成に関する行政」の事前学修WORKに取り組み、(2)我が国における教員の養成期から採用後までの制度について学び、教員の育成システムとその課題について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第1章を予習復習し、【課題❷必修】レポート又はプレゼン用データ(希望者)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし質疑応答可。
第5回 Session 5	10月28日(金):【課題❸必修】テキスト第16章「教育制度の法体系と原理」の事前学修WORKに取り組み、教育の機会均等の実現に向けての理念、具体的な法制度及び施策について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第16章を予習復習し、【課題❸必修】レポート又はプレゼン用データ(希望者)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし質疑応答可。
第6回 Session 6	11月4日(金):【課題❹必修】テキスト第16章「教育制度の法体系と原理」の事前学修WORKに取り組み、教育の機会均等の実現に向けての理念、具体的な法制度及び施策について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	同上
第7回 Session 7	11月11日(金):【課題❺必修】テキスト第3章「初等中等教育行政と学校」の事前学修WORKに取り組み、学校制度の歴史的展開と初等中等教育の意味について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第3章を予習復習し、【課題❺必修】レポート又はプレゼン用データ(希望者)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし質疑応答可。

第8回 Session 8	11月18日(金):【課題⑤選択】テキスト第4章「高等教育・私立学校行政と学校」の事前学修WORKに取り組み、学校の設置主体としての「法人」のもつ意味について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第4章を予習復習し、【課題⑤選択】レポート又はプレゼン用データ(希望者)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし質疑応答可
第9回 Session 9	11月25日(金):【課題⑥選択】テキスト第5章「特別支援教育と学校・学校外教育」の事前学修WORKに取り組み、変動する教育機会について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第5章を予習復習し、【課題⑥選択】レポート又はプレゼン用データ(希望者)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし質疑応答可。
第10回 Session 10	12月2日(金):【課題⑦必修】テキスト第6章「教育課程行政」の事前学修WORKに取り組み、教職実践における学習指導要領と教育課程の位置について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第6章を予習復習し、【課題⑦必修】レポート又はプレゼン用データ(希望者)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし質疑応答可。
第11回 Session 11	12月9日(金):【課題⑦必修】テキスト第6章「教育課程行政」の事前学修WORKに取り組み、教職実践における学習指導要領と教育課程の位置について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	同上。
第12回 Session 12	12月16日(金):【課題⑧選択】テキスト第7章「教育委員会と学校」の事前学修WORKに取り組み、公立学校の管理と運営について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第7章を予習復習し、【課題⑧選択】レポート又はプレゼン用データ(希望者)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし質疑応答可。
第13回 Session 13	12月23日(金):【課題⑨選択】テキスト第8章「学校と外部環境」の事前学修WORKに取り組み、学校と地域の連携の在り方と課題について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第8章を予習復習し、【課題⑨選択】レポート又はプレゼン用データ(希望者)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし質疑応答可。
第14回 Session 14	1月6日(金):【課題⑩必修】テキスト第10章「学校安全」の事前学修WORKに取り組み、「学校安全」について自学自修により探究を深め、プレゼンテーションを巡る質疑応答・意見交換等を踏まえ、その過程での学びをレポートしよう。	テキスト第10章を予習復習し、【課題⑩必修】レポート又はプレゼン用データ(希望者)を作成する。授業前日正午までに、解説メモをLUNAにて公開する。LUNAフォーラムにてコメントし質疑応答可。
第15回 Session 15	1月13日(金):【まとめの課題】本授業全体を通しての質疑応答及び学んだこと・今後の課題等について、「振り返りシート」を用いてまとめる。	授業前日正午までに、【まとめの課題】用振り返りシートを公開する。LUNAフォーラムにてコメントし、質疑応答可。

教科書 Required texts	[アクティバート教育学05]教育制度を支える教育行政 青木栄一編著 ミネルヴァ書房 2019
参考文献・資料 Reference books	1. Japanese Educational System and its Administration, The Kansai Society for Educational Administration, 東信堂,2018 2. 教育法規スタートアップ・ネクスト 高見茂他編著 2018 昭和堂 3. 教育制度論—教育行政・教育政策の動向を掴む—早田幸政著 ミネルヴァ書房 2016 4. 学校安全と危機管理 渡邊正樹編著 大修館書店 2013 5. With コロナの新しい学校経営様式—ニューノーマルな教育システムの展望—篠原清昭他編著 ジダイ社 2020 6. 教師という接客業 斎藤浩著 草思社 2020 7. 教育は変えられる 山口裕也著 講談社現代新書2604 2021 8. コロナ後の教育へ—オックスフォードからの提唱— 荻谷剛彦著 中公新書ラクレ708 2020
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	1. 授業中に本学にて指示された方法により実施する。 2. 本授業内で独自に実施する場合もある。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	課題レポート又はプレゼンテーション用データ等による。
	備考 Note (1)上記授業計画の【必修課題②③④⑦⑩】レポート:計50点 (2)【選択課題①⑤⑥⑧⑨】レポート:計50点。又は、(3)4名程度のチームによるプレゼンテーションを希望する場合は、【必修/選択課題】から1課題を選択し、その1題についてプレゼンテーション用データを作成し、LUNAにて公開し、ディスカッションに供する(30点枠)。この場合、【選択課題】区分より、2題を免除する。		
備考 Note	(1) 本授業の運営方法等について、以下の添付ファイル資料を公開しますので、必ずご確認ください。 (2) LUNA掲示板フォーラムを開設しますので、お問い合わせは、そちらの方をお願いします。困難な場合又は緊急な場合は、 coy16890@kwansei.ac.jpまでお知らせください。		
更新日時/Date of Update	2022年02月22日 20時58分08秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜4時限	秋学期／Fall	Ⅱ－213

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48007001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育課程論 1／Principles of Curriculums in Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教育課程の編成と実施に関する基本的な概念・知識および歴史的変遷を学び、現在の教育課程をめぐる課題について理解することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will be introduced to the basic concepts, knowledge, and historical developments in the formation and implementation of educational curricula. The course aims to provide an understanding of various topics in curriculum studies.		
到達目標/Learning Goals	以下の4点を到達目標として設定する。 ・教育課程とその編成に関わる基本的概念・知識を身につける。 ・教育課程が学習指導要領などの諸法規に基づき編成されていることを理解する。 ・教育課程に関わる歴史と現状、学習指導要領の改訂の動向について自己の意見を展開できる。 ・教育課程の編成と実施に関する基礎的実践力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following four learning objectives: ・ Become familiar with the concepts and knowledge in the formation of educational curricula; ・ Become familiar with the formation of educational curricula based on various regulations within course of study; ・ Develop individual opinions on current and historical trends in course of study ・ Gain the ability to discuss topics related to the formulation and implementation of educational curricula.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育は教育活動の計画である教育課程にもとづいて、公教育・意図的教育として展開されている。そして、学校教育の中心の一つである教科教育では、教科の何(教育内容)を、どのように教え(教育方法)、どのようにその成果を検証(教育評価)するかを検討する必要がある。教科以外の領域における教育活動の内容についても、学習指導要領をもとに教育課程が編成されている。本授業では、学習指導要領をもとにどのような観点で教育計画が立てられ、教育内容として編成されているか、その指導方法・評価方法さらにカリキュラム・マネジメントについて実践をふまえて考察する。なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	教育課程 学習指導要領 教科教育 学習指導 教育評価		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教科・教育課程とは(その意義・役割・機能、学習指導要領の位置付けについて)	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	学習指導要領の歴史的変遷(1)(昭和22年度版～昭和52年度版の学習指導要領まで)	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	学習指導要領の歴史的変遷(2)(昭和52年度版から平成20年度版の学習指導要領まで)	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	新学習指導要領について(その意義、改訂の背景・内容など)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	教育課程編成の基本原則(1)(憲法、教育基本法、学校教育法などの内容について)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	教育課程編成の基本原則(2)(学校教育法施行規則、その他の関連法令について)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	教育課程に関する諸制度(1)(指導要領改訂から教科書採択までの諸手続きなど)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	教育課程に関する諸制度(2)(教科書及び補助教材の使用、著作権などについて)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分

		授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第9回 Session 9	教育課程の編成方法及び教師の役割(編成上の具体的方法及び課題について)	【予習課題】95分 前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第10回 Session 10	教育課程の実施と学習指導(教育課程上の学習指導の意義・目的及び具体的方法)	【予習課題】95分 前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	教育課程の編成と特色ある学校づくり(その取組の背景及び内容などについて)	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	教育課程の評価と改善(1)(評価の意義・目的、基準・機能による評価の分類など)	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	教育課程の評価と改善(2)(機能による評価の分類、指導要録などについて)	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	カリキュラム・マネジメントについて(その意義と重要性、カリキュラム評価について)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から教育問題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと。

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	中学校・高等学校学習指導要領
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 14時50分11秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G-301

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48007002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育課程論 2／Principles of Curriculums in Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教育課程の編成と実施に関する基本的な概念・知識および歴史的変遷を学び、現在の教育課程をめぐる課題について理解することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will be introduced to the basic concepts, knowledge, and historical developments in the formation and implementation of educational curricula. The course aims to provide an understanding of various topics in curriculum studies.		
到達目標/Learning Goals	以下の4点を到達目標として設定する。 ・教育課程とその編成に関わる基本的概念・知識を身につける。 ・教育課程が学習指導要領などの諸法規に基づき編成されていることを理解する。 ・教育課程に関わる歴史と現状、学習指導要領の改訂の動向について自己の意見を展開できる。 ・教育課程の編成と実施に関する基礎的実践力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following four learning objectives: ・ Become familiar with the concepts and knowledge in the formation of educational curricula; ・ Become familiar with the formation of educational curricula based on various regulations within course of study; ・ Develop individual opinions on current and historical trends in course of study ・ Gain the ability to discuss topics related to the formulation and implementation of educational curricula.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育は教育活動の計画である教育課程にもとづいて、公教育・意図的教育として展開されている。そして、学校教育の中心の一つである教科教育では、教科の何(教育内容)を、どのように教え(教育方法)、どのようにその成果を検証(教育評価)するかを検討する必要がある。教科以外の領域における教育活動の内容についても、学習指導要領をもとに教育課程が編成されている。本授業では、学習指導要領をもとにどのような観点で教育計画が立てられ、教育内容として編成されているか、その指導方法・評価方法さらにカリキュラム・マネジメントについて実践をふまえて考察する。なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	教育課程 学習指導要領 教科教育 学習指導 教育評価		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教科・教育課程とは(その意義・役割・機能、学習指導要領の位置付けについて)	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	学習指導要領の歴史的変遷(1)(昭和22年度版～昭和52年度版の学習指導要領まで)	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	学習指導要領の歴史的変遷(2)(昭和52年度版から平成20年度版の学習指導要領まで)	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	新学習指導要領について(その意義、改訂の背景・内容など)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	教育課程編成の基本原則(1)(憲法、教育基本法、学校教育法などの内容について)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	教育課程編成の基本原則(2)(学校教育法施行規則、その他の関連法令について)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	教育課程に関する諸制度(1)(指導要領改訂から教科書採択までの諸手続きなど)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	教育課程に関する諸制度(2)(教科書及び補助教材の使用、著作権などについて)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分

		授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第9回 Session 9	教育課程の編成方法及び教師の役割(編成上の具体的方法及び課題について)	【予習課題】95分 前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第10回 Session 10	教育課程の実施と学習指導(教育課程上の学習指導の意義・目的及び具体的方法)	【予習課題】95分 前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	教育課程の編成と特色ある学校づくり(その取組の背景及び内容などについて)	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	教育課程の評価と改善(1)(評価の意義・目的、基準・機能による評価の分類など)	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	教育課程の評価と改善(2)(機能による評価の分類、指導要録などについて)	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	カリキュラム・マネジメントについて(その意義と重要性、カリキュラム評価について)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から教育問題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと。

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	中学校・高等学校学習指導要領
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1		https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1	
更新日時/Date of Update		2022年01月14日 14時51分52秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	金曜1時限	春学期／Spring	B-202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48007003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育課程論 3／Principles of Curriculums in Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教育課程の編成と実施に関する基本的な概念・知識および歴史的変遷を学び、現在の教育課程をめぐる課題について理解することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will be introduced to the basic concepts, knowledge, and historical developments in the formation and implementation of educational curricula. The course aims to provide an understanding of various topics in curriculum studies.		
到達目標/Learning Goals	以下の4点を到達目標として設定する。 ・教育課程とその編成に関わる基本的概念・知識を身につける。 ・教育課程が学習指導要領などの諸法規に基づき編成されていることを理解する。 ・教育課程に関わる歴史と現状、学習指導要領の改訂の動向について自己の意見を展開できる。 ・教育課程の編成と実施に関する基礎的実践力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following four learning objectives: ・ Become familiar with the concepts and knowledge in the formation of educational curricula; ・ Become familiar with the formation of educational curricula based on various regulations within course of study; ・ Develop individual opinions on current and historical trends in course of study ・ Gain the ability to discuss topics related to the formulation and implementation of educational curricula.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育は教育活動の計画である教育課程にもとづいて、公教育・意図的教育として展開されている。そして、学校教育の中心の一つである教科教育では、教科の何(教育内容)を、どのように教え(教育方法)、どのようにその成果を検証(教育評価)するかを検討する必要がある。教科以外の領域における教育活動の内容についても、学習指導要領をもとに教育課程が編成されている。本授業では、学習指導要領をもとにどのような観点で教育計画が立てられ、教育内容として編成されているか、その指導方法・評価方法さらにカリキュラム・マネジメントについて実践をふまえて考察する。なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	教育課程 学習指導要領 教科教育 学習指導 教育評価		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教科・教育課程とは(その意義・役割・機能、学習指導要領の位置付けについて)	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	学習指導要領の歴史的変遷(1)(昭和22年度版～昭和52年度版の学習指導要領まで)	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	学習指導要領の歴史的変遷(2)(昭和52年度版から平成20年度版の学習指導要領まで)	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	新学習指導要領について(その意義、改訂の背景・内容など)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	教育課程編成の基本原則(1)(憲法、教育基本法、学校教育法などの内容について)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	教育課程編成の基本原則(2)(学校教育法施行規則、その他の関連法令について)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	教育課程に関する諸制度(1)(指導要領改訂から教科書採択までの諸手続きなど)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	教育課程に関する諸制度(2)(教科書及び補助教材の使用、著作権などについて)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分

		授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第9回 Session 9	教育課程の編成方法及び教師の役割(編成上の具体的方法及び課題について)	【予習課題】95分 前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第10回 Session 10	教育課程の実施と学習指導(教育課程上の学習指導の意義・目的及び具体的方法)	【予習課題】95分 前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	教育課程の編成と特色ある学校づくり(その取組の背景及び内容などについて)	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	教育課程の評価と改善(1)(評価の意義・目的、基準・機能による評価の分類など)	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	教育課程の評価と改善(2)(機能による評価の分類、指導要録などについて)	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	カリキュラム・マネジメントについて(その意義と重要性、カリキュラム評価について)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から教育問題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと。

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	中学校・高等学校学習指導要領
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1		https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1	
更新日時/Date of Update		2022年01月14日 14時53分02秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜1時限	秋学期／Fall	B－302

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48007004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育課程論 4／Principles of Curriculums in Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教育課程の編成と実施に関する基本的な概念・知識および歴史的変遷を学び、現在の教育課程をめぐる課題について理解することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will be introduced to the basic concepts, knowledge, and historical developments in the formation and implementation of educational curricula. The course aims to provide an understanding of various topics in curriculum studies.		
到達目標/Learning Goals	以下の4点を到達目標として設定する。 ・教育課程とその編成に関わる基本的概念・知識を身につける。 ・教育課程が学習指導要領などの諸法規に基づき編成されていることを理解する。 ・教育課程に関わる歴史と現状、学習指導要領の改訂の動向について自己の意見を展開できる。 ・教育課程の編成と実施に関する基礎的実践力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following four learning objectives: ・ Become familiar with the concepts and knowledge in the formation of educational curricula; ・ Become familiar with the formation of educational curricula based on various regulations within course of study; ・ Develop individual opinions on current and historical trends in course of study ・ Gain the ability to discuss topics related to the formulation and implementation of educational curricula.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育は教育活動の計画である教育課程にもとづいて、公教育・意図的教育として展開されている。そして、学校教育の中心の一つである教科教育では、教科の何(教育内容)を、どのように教え(教育方法)、どのようにその成果を検証(教育評価)するかを検討する必要がある。教科以外の領域における教育活動の内容についても、学習指導要領をもとに教育課程が編成されている。本授業では、学習指導要領をもとにどのような観点で教育計画が立てられ、教育内容として編成されているか、その指導方法・評価方法さらにカリキュラム・マネジメントについて実践をふまえて考察する。なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	教育課程 学習指導要領 教科教育 学習指導 教育評価		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教科・教育課程とは(その意義・役割・機能、学習指導要領の位置付けについて)	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	学習指導要領の歴史的変遷(1)(昭和22年度版～昭和52年度版の学習指導要領まで)	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	学習指導要領の歴史的変遷(2)(昭和52年度版から平成20年度版の学習指導要領まで)	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	新学習指導要領について(その意義、改訂の背景・内容など)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	教育課程編成の基本原則(1)(憲法、教育基本法、学校教育法などの内容について)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	教育課程編成の基本原則(2)(学校教育法施行規則、その他の関連法令について)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	教育課程に関する諸制度(1)(指導要領改訂から教科書採択までの諸手続きなど)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	教育課程に関する諸制度(2)(教科書及び補助教材の使用、著作権などについて)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分

		授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第9回 Session 9	教育課程の編成方法及び教師の役割(編成上の具体的方法及び課題について)	【予習課題】95分 前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第10回 Session 10	教育課程の実施と学習指導(教育課程上の学習指導の意義・目的及び具体的方法)	【予習課題】95分 前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	教育課程の編成と特色ある学校づくり(その取組の背景及び内容などについて)	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	教育課程の評価と改善(1)(評価の意義・目的、基準・機能による評価の分類など)	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	教育課程の評価と改善(2)(機能による評価の分類、指導要録などについて)	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	カリキュラム・マネジメントについて(その意義と重要性、カリキュラム評価について)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から教育問題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと。

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	中学校・高等学校学習指導要領
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1		https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1	
更新日時/Date of Update		2022年01月14日 14時54分19秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜2時限	秋学期／Fall	G-301

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48007005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育課程論 5／Principles of Curriculums in Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教育課程の編成と実施に関する基本的な概念・知識および歴史的変遷を学び、現在の教育課程をめぐる課題について理解することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will be introduced to the basic concepts, knowledge, and historical developments in the formation and implementation of educational curricula. The course aims to provide an understanding of various topics in curriculum studies.		
到達目標/Learning Goals	以下の4点を到達目標として設定する。 ・教育課程とその編成に関わる基本的概念・知識を身につける。 ・教育課程が学習指導要領などの諸法規に基づき編成されていることを理解する。 ・教育課程に関わる歴史と現状、学習指導要領の改訂の動向について自己の意見を展開できる。 ・教育課程の編成と実施に関する基礎的実践力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following four learning objectives: ・ Become familiar with the concepts and knowledge in the formation of educational curricula; ・ Become familiar with the formation of educational curricula based on various regulations within course of study; ・ Develop individual opinions on current and historical trends in course of study ・ Gain the ability to discuss topics related to the formulation and implementation of educational curricula.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育は教育活動の計画である教育課程にもとづいて、公教育・意図的教育として展開されている。そして、学校教育の中心の一つである教科教育では、教科の何(教育内容)を、どのように教え(教育方法)、どのようにその成果を検証(教育評価)するかを検討する必要がある。教科以外の領域における教育活動の内容についても、学習指導要領をもとに教育課程が編成されている。本授業では、学習指導要領をもとにどのような観点で教育計画が立てられ、教育内容として編成されているか、その指導方法・評価方法さらにカリキュラム・マネジメントについて実践をふまえて考察する。なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	教育課程 学習指導要領 教科教育 学習指導 教育評価		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教科・教育課程とは(その意義・役割・機能、学習指導要領の位置付けについて)	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	学習指導要領の歴史的変遷(1)(昭和22年度版～昭和52年度版の学習指導要領まで)	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	学習指導要領の歴史的変遷(2)(昭和52年度版から平成20年度版の学習指導要領まで)	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	新学習指導要領について(その意義、改訂の背景・内容など)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	教育課程編成の基本原則(1)(憲法、教育基本法、学校教育法などの内容について)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	教育課程編成の基本原則(2)(学校教育法施行規則、その他の関連法令について)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	教育課程に関する諸制度(1)(指導要領改訂から教科書採択までの諸手続きなど)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	教育課程に関する諸制度(2)(教科書及び補助教材の使用、著作権などについて)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分

		授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第9回 Session 9	教育課程の編成方法及び教師の役割(編成上の具体的方法及び課題について)	【予習課題】95分 前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第10回 Session 10	教育課程の実施と学習指導(教育課程上の学習指導の意義・目的及び具体的方法)	【予習課題】95分 前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	教育課程の編成と特色ある学校づくり(その取組の背景及び内容などについて)	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	教育課程の評価と改善(1)(評価の意義・目的、基準・機能による評価の分類など)	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	教育課程の評価と改善(2)(機能による評価の分類、指導要録などについて)	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	カリキュラム・マネジメントについて(その意義と重要性、カリキュラム評価について)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から教育問題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと。

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	中学校・高等学校学習指導要領
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1		https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1	
更新日時/Date of Update		2022年01月14日 14時55分25秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜2時限	春学期／Spring	IV－401

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48008000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】宗教科教育法A／Methods of Christian Education A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	小見 のぞみ(KOMI NOZOMI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	この授業の目的は、受講者が、キリスト教主義学校における中高生への宗教教育ならびに学校礼拝の意義について理解し、アクティブラーニングのための様々な授業方法を習得することにある。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the significance and teaching methods of religious education in (junior) high school.		
到達目標/Learning Goals	この授業の終りに、受講者は、1. コミュニケーションとグループダイナミクスの基本的な理論、ならびにアクティブラーニングの方法と視聴覚教材について説明できるようになる。2. 実習校で実施される「チャペル／学校礼拝」の意義を理解し、内容を準備できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a) understand the significance of religious education in a Christian school, b) acquire knowledge about the character of the religion as a school subject, c) acquire the skills needed for religious education.		
授業方法 Course Format	対面授業で実施し、オンラインでの受講を認められた学生には、対面授業のZoomによる同時配信で対応します。		
関連科目/Related Courses	宗教科教育法Bを学ぶ前提となる教授—学習の方法論を学ぶため、先修が望ましい。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	イントロダクション	
第2回 Session 2	中高生への宗教教育について『帰国生のいる教室』を読む	【事後学習】読書課題を読み直し示唆となること、疑問点を整理する(2時間)
第3回 Session 3	方法論とコミュニケーション理論 伝達されるとは	【事後学習】講義で取り扱った用語等の復習(1時間)
第4回 Session 4	教室における非言語のコミュニケーション	【事後学習】講義で取り扱った用語等の復習(1時間)
第5回 Session 5	教室の組織構造とコミュニケーションパターン	【事後学習】講義で取り扱った用語等の復習(1時間)
第6回 Session 6	グループダイナミクスとアクティブラーニングについて	【事後学習】講義で取り扱った用語等の復習(1時間)
第7回 Session 7	中高生の「集団と個」中高生のスピリチュアリティ	【事後学習】読書課題を読み直し示唆となること、疑問点を整理する(2時間)
第8回 Session 8	アクティブラーニングの方法1(バズセッション、ブレインストーミング)と聖書研究(課題達成)	【事後学習】講義で取り扱った用語等の復習(1時間)
第9回 Session 9	アクティブラーニングの方法2(ロールプレイ、プロコン討議)と聖書研究(コンセンサス)	【事後学習】講義で取り扱った用語等の復習(1時間)
第10回 Session 10	アクティブラーニングの方法3(シュミレーション、簡易KJ法)と聖書研究(ワークシート)	【事後学習】講義で取り扱った用語等の復習(1時間)
第11回 Session 11	視聴覚教材研究(1)キリスト教のシンボルを用いた教育	【事後学習】講義で取り扱った用語等の復習(1時間)
第12回 Session 12	視聴覚教材研究(2)スポットVTR、美術、写真等の用い方	【事後学習】講義で取り扱った用語等の復習(1時間)
第13回 Session 13	発表:チャペル・礼拝でのお話(1)宗教教育における学校礼拝の意義と実際	【事前学習】提示されたテーマについて各自で調べてくる(1時間)
第14回 Session 14	発表:チャペル・礼拝でのお話(2)チャペルトークの模擬実演	【事前学習】チャペルトークのため文献を調べ、原稿を書く(2時間)【事後学習】実践の振り返りと問題点の整理(1時間)

参考書/Reference books	著者名:渡辺淳、和田雅史 タイトル:帰国生のいる教室 発行所:日本放送協会 出版年:1991 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	授業中に配布する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	90%	テーマに関するレポート、授業時課題発表
	その他／Others(99)	10%	ディスカッション、授業への参与度・取り組み
更新日時/Date of Update		2022年01月11日 14時42分05秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	金曜4時限	春学期／Spring	神－1

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48009000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】宗教科教育法B／Methods of Christian Education B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	小見 のぞみ(KOMI NOZOMI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	この授業の目的は、受講者が、キリスト教主義学校と宗教科(聖書科)について理解を深め、指導案の作成、模擬授業、相互評価を行うことで、学校教育実習での基本的な授業実践能力を培うことにある。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop practical skills for religious education.		
到達目標/Learning Goals	受講生は、キリスト教主義学校と宗教科(聖書科)の特色と歴史、今日的意義を知り、1. 宗教科授業の指導案を作成できるようになる、2. 指導案に基づいた模擬授業を行い、相互評価を行えるようになることを到達目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a) make teaching plans for religion as a school subject, b) acquire teaching skills based on their teaching plans through trial classes, c) evaluate each other's trial classes.		
授業方法 Course Format	対面授業で実施。オンライン受講許可学生には、対面授業のZoomによる同時双方向の配信で対応します。		
関連科目/Related Courses	「宗教科教育法A」での学びを前提として授業を行うため、Aの先修が望ましい。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	イントロダクション	
第2回 Session 2	キリスト教主義学校について	【事後学習】授業で扱ったテーマ、資料についての復習(1時間)
第3回 Session 3	日本のキリスト教主義学校の歴史	【事後学習】授業で扱ったテーマ、資料についての復習(1時間)
第4回 Session 4	実習校の歴史と建学の精神 調査発表	【事前学習】当該テーマについて文献等による調査を行い、発表要旨をまとめる(2時間)
第5回 Session 5	出身校／関西学院の歴史と建学の精神 調査発表	【事前学習】当該テーマについて文献等による調査を行い、発表要旨をまとめる(2時間)
第6回 Session 6	キリスト教主義学校と宗教科(聖書科)の今日的意義	【事後学習】授業で扱ったテーマ、資料についての復習(1時間)
第7回 Session 7	現代の中高生・青年の宗教意識とキリスト教主義学校	【事後学習】授業で扱ったテーマ、資料についての復習(1時間)
第8回 Session 8	聖書科カリキュラムの基本的な考え方、目標設定の特色	【事後学習】授業で扱ったテーマ、資料についての復習(1時間)
第9回 Session 9	聖書科カリキュラムの内容と方法の特色	【事後学習】授業で扱ったテーマ、資料についての復習(1時間)
第10回 Session 10	指導案の作成(1)テーマと目標、単元、小単元の作り方	【事前学習】指導案作成のため、テーマの選定と展開について考えてくる(2時間)
第11回 Session 11	指導案の作成(2)方法、教材、板書案	【事前学習】模擬授業に向けて方法を考え、指導案ならびに板書原稿を作成する(2時間)
第12回 Session 12	模擬授業と評価(1)旧約聖書	【事前学習】指導案にそって模擬授業の準備を行う(1時間) 【事後学習】模擬授業の実施と評価を踏まえ、問題点を確認する(1時間)
第13回 Session 13	模擬授業と評価(2)新約聖書	【事前学習】指導案にそって模擬授業の準備を行う(1時間) 【事後学習】模擬授業の実施と評価を踏まえ、問題点を確認する(1時間)
第14回 Session 14	模擬授業と評価(3)聖書以外の領域	【事前学習】指導案にそって模擬授業の準備を行う(1時間) 【事後学習】模擬授業の実施と評価を踏まえ、問題点を確認する(1時間)

学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	90%	指導案、模擬授業
	その他／Others(99)	10%	ディスカッション、授業への参与度・取り組み
更新日時/Date of Update		2022年01月11日 14時46分59秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜4時限	秋学期／Fall	神－1

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48010000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】宗教科教育法C／Methods of Christian Education C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	福島 旭(FUKUSHIMA AKIRA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、キリスト教主義の中学校・高等学校において聖書科(宗教科)の教育を行う際に求められる教師の基本的な態度や知識、具体的な教育方法を身につけることである。特に道徳科との比較研究を重点的に取り上げる。また、リアルタイムで教育現場での授業の紹介やさまざまな問題について、考えていく。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn the basic attitudes and knowledge of teachers and specific educational methodologies that are required when teaching in the Department of Biblical Studies (Department of Religious Education) at a Christian junior high and high school. The focus is on comparative research with moral science in particular. Furthermore, students will think about real-time introduction of lessons at educational sites and a variety of issues.		
到達目標/Learning Goals	キリスト教主義の中学校・高等学校において聖書科(宗教科)の教授ができるようになる。また、同学校において教師としての役割を認識し、その責任を果たせるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to teach in the “Department of Biblical Studies (Department of Religious Education) at a Christian junior high and high school. Students will also recognize their role as a teacher at a school and will be able to fulfill their responsibilities.		
授業の概要・背景 Course Outline	この講義では授業研究に関する資料や具体的に授業で配付している教材を提供し、それについての用い方や生徒たちの反応を紹介する。特に学齢に応じた授業教案の作成方法について、詳しく説明する。		
授業方法 Course Format	講義形式で行う。また、随時、グループディスカッションにより、相互研鑽を行い、実践に役立つ教育法を習得していく。		
関連科目/Related Courses	「宗教科教育法A」を修得済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	聖書科 宗教科 道徳科 平和 人権 いのち キリスト教主義教育		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	キリスト教主義教育の本質 Essence of Christianity education 【事前学習】キリスト教主義の特徴について調べておく(1時間) 【事後学習】キリスト教主義の学校の具体例についてホームページ等で調べる(2時間)	
第2回 Session 2	キリスト教主義教育の目的Purpose of Christianity education 【事前学習】全国のキリスト教主義学校の建学の精神を調べておく(1時間) 【事後学習】キリスト教主義の学校の建学の精神の共通点をまとめる(1時間)	
第3回 Session 3	キリスト教主義教育の現場と領域 1 Field and area of Christianity education 1 【事前学習】学校における保護者と教職員との関係について調べておく(1時間) 【事後学習】学校における保護者の活動についてホームページ等で調べる(1時間)	
第4回 Session 4	キリスト教主義教育の現場と領域 2 Field and area of Christianity education 2 【事前学習】国公立学校と私立学校の違いについて調べておく(1時間) 【事後学習】私立学校の存在意義についてホームページ等で調べてまとめる(1時間)	
第5回 Session 5	キリスト教主義教育の現場と領域 3 Field and area of Christianity education 3 【事前学習】全国のキリスト教主義の学校の礼拝について調べておく(1時間) 【事後学習】キリスト教主義の学校の礼拝の理想を考える(1時間)	
第6回 Session 6	キリスト教主義教育の現場と領域 4 Field and area of Christianity education 4 【事前学習】キリスト教主義学校における聖書科教師が担うべき役割を調べておく(1時間) 【事後学習】キリスト教主義学校における聖書科教師の役割と課題を挙げる(1時間)	
第7回 Session 7	キリスト教主義教育の現場と領域 5 Field and area of Christianity education 5 【事前学習】人権、平和教育に挙げるべきテーマについて調べておく(1時間) 【事後学習】キリスト教主義の学校で取り上げるべき人権、平和教育についてまとめる(2時間)	
第8回 Session 8	授業研究 1 教科書と副読本をいかに用いるか Lesson study 1 How to use textbooks and supplementary readers 【事前学習】授業で用いるべき教科書と副読本を選択する(0.5	

	時間) 【事後学習】どのように教科書と副読本を用いるかを学習指導 館に埋め込んでみる(2時間)An Essay on Bible Teachers 5	
第9回 Session 9	授業研究 2 驚きや喜びを伝える授業。生き方を伝える授業。 Lesson study 2 Lesson to convey surprise and joy. Lesson to convey life style. 【事前学習】授業に向けて学習指導案を考えてみる。(2時間) 【事後学習】授業に向けて学習指導案を作成する(3時間)	
第10回 Session 10	授業研究 3 Lesson study 3 理想的な授業の組み立て What is a ideal lesson? 【事前学習】授業にとって欠かせないものと考えてみる(0.5時 間) 【事後学習】理想的な授業とは何かをまとめる(2時間)	
第11回 Session 11	授業研究 4 Lesson study 4 【事前学習】授業にとって欠かせないものと考えてみる(0.5時 間) 【事後学習】理想的な授業とは何かをまとめる(2時間)	
第12回 Session 12	授業研究 5 Lesson study 5 【事前学習】授業にとって欠かせないものと考えてみる(0.5時 間) 【事後学習】理想的な授業とは何かをまとめる(2時間)	
第13回 Session 13	キリスト教主義教育の可能性と展望 1 これからのキリスト教主義教育についての討論 Possibility and prospect of Christianist education 1 Discussion on future Christian education 【事前学習】理想のキリスト教主義教育を挙げてみる(0.5時間) 【事後学習】理想のキリスト教主義教育についてまとめておく (0.5時間)	
第14回 Session 14	キリスト教主義教育の可能性と展望 2 これからのキリスト教主義教育についての討論 Possibility and prospect of Christianist education 2 Discussion on future Christian education 【事前学習】理想のキリスト教主義教育を挙げてみる(0.5時間) 【事後学習】理想のキリスト教主義教育についてまとめておく (0.5時間)	

授業外学修 Study Required outside Class	キリスト教主義教育の原理と実践を講義形式で行うので、それにかかわる資料や書籍を予習しておくこと。また、模擬授業により、相互研鑽を 行い、実践に役立つ教育法を考えるため、様々な時事的な情報にも関心を持つことが望ましい。

教科書 Required texts	関西学院大学神学部監修『キリスト教スタディーブック・シリーズ1 GOOD NEWSグッド・ニュース新約聖書』(新教出版社、2008)、関西学院大 学神学部監修『キリスト教スタディーブック・シリーズ2 EXUDOSエクソダス旧約聖書』(新教出版社、2009)、キリスト教学校教育同盟編『キリス ト教入門』、『旧約聖書の教え』、『新約聖書の教え』(創元社、2015)。
参考文献・資料 Reference books	『道徳科学習指導要領』(文部科学省)、木村優・岸野麻衣編『授業研究～実践を変え、理論を革新する』(新曜社、2019年)、『キリスト教学校 の教職員をこころざす人たちへ～志願者のためのガイドブック』(キリスト教学校教育同盟、2017年)
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されていま す。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	80%	
	その他／Others(99)	20%	授業態度等
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_194828_1&cmp_tab_id=_230868_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年01月22日 15時44分46秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	院1－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48011000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】宗教科教育法D／Methods of Christian Education D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	福島 旭(FUKUSHIMA AKIRA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、キリスト教主義の中学校・高等学校において聖書科(宗教科)の教育を行う際に求められる教師の具体的な教育方法を身につけることである。特に授業研究と「宗教科教育法C」で学んだことを発展させることを重点的に取り上げる。また、リアルタイムで教育現場での授業の紹介やさまざまな問題について、考えていく。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn the specific educational methodologies that are required when teaching in the Department of Biblical Studies (Department of Religious Education) at a Christian junior high and high school. The focus is for students on lesson studies and to develop their skills obtained in the Methods of Christian Education C in particular. Furthermore, students will think about real-time introduction of lessons at educational sites and a variety of issues.		
到達目標/Learning Goals	キリスト教主義の中学校・高等学校において聖書科(宗教科)の教授ができるようになる。また、聖書科の教育に関する発展的知識を習得することを通して受講生が研究成果を教案にまとめることが目標である。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to teach in the “Department of Biblical Studies (Department of Religious Education) at a Christian junior high and high school. Students will acquire advanced knowledge related in the Department of Biblical Studies for writing their lessons.		
授業の概要・背景 Course Outline	この講義では具体的に授業で配付している教材を提供し、それについての用い方や生徒たちの反応を紹介する。特に学齢に応じた授業教案の作成方法について、詳しく説明する。		
授業方法 Course Format	キリスト教主義教育の原理と実践を講義形式で行う。また、随時、模擬授業やグループディスカッションにより、相互研鑽を行い、実践に役立つ教育法を習得していく。		
検索キーワード/Keywords	聖書科 宗教科 道徳科 平和 人権 いのち キリスト教主義教育		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	キリスト教主義教育の本質～教育者としての姿勢、態度、資質 Essence of Christianity education ~ Attitude, qualities as an educator. 【事前学習】キリスト教主義の特徴について調べておく(1時間) ※宗教科教育法Cを受講した者は、以降の課題は重複しない形でレポートすること。 【事後学習】キリスト教主義の学校の具体例についてホームページ等で調べる(2時間)	
第2回 Session 2	キリスト教主義教育の現場と領域～家庭、学校、社会 Field and area of Christianity education — Family, school, society. 【事前学習】学校における保護者と教職員との関係について調べておく(1時間) 【事後学習】学校における保護者の活動についてホームページ等で調べる(1時間)	
第3回 Session 3	キリスト教主義教育の目的～キリスト教主義教育の柱とは Purpose of Christianity education – What is the pillar of Christianity education. 【事前学習】全国のキリスト教主義学校の建学の精神を調べておく(1時間) 【事後学習】キリスト教主義の学校の建学の精神の共通点をまとめる(1時間)	
第4回 Session 4	聖書科教師試論1 カウンセラーとしての聖書科教師～対生徒、対保護者、対教職員の牧会 An Essay on Bible Studies Teacher 1 Biblical teacher as a counselor – a pastor of a student, a guardian, a faculty staff member. 【事前学習】「発達障害」について調べておく(1時間) 【事後学習】ハンディを持った生徒とのかかわりについて具体例に調べる(1時間)	
第5回 Session 5	聖書科教師試論2 宣教(説教)者としての聖書科教師～礼拝(チャペル)の運営と工夫 An Essay on Bible Teachers 2 Biblical teacher as missionary (preacher) ~ Management and ingenuity of worship (chapel) 【事前学習】全国のキリスト教主義の学校の礼拝について調べておく(1時間) 【事後学習】キリスト教主義の学校の礼拝の理想を考える(1時間)	
第6回 Session 6	聖書科教師試論3 各行事における聖書科教師の具体的役割～学校全体の精神的支柱となるには An Essay on Bible Teachers 3 The specific role of the Bible teacher in each event – To become the spiritual pillar of the w	

Session 6	hole school. 【事前学習】キリスト教主義学校における聖書科教師が担うべき役割を調べておく(1時間) 【事後学習】キリスト教主義学校における聖書科教師の役割と課題を挙げる(1時間)	
第7回 Session 7	聖書科教師試論4 授業のエッセンス～嫌われる授業と理想的な授業 An Essay on Bible Teachers 4 Essence of lessons ~ Classes disliked and ideal lessons. 【事前学習】理想的な授業とはどのようなものか、箇条書きにして挙げておく(0.5時間) 【事後学習】理想的な授業についてまとめる(1時間)	
第8回 Session 8	聖書科教師試論5 国際理解教育、人権教育、平和教育とキリスト教主義教育 An Essay on Bible Teachers 5 International Understanding Education, Human Rights Education, Peace Education and Christianism Education. 【事前学習】人権、平和教育に挙げるべきテーマについて調べておく(1時間) 【事後学習】キリスト教主義の学校で取り上げるべき人権、平和教育についてまとめる(2時間)	
第9回 Session 9	聖書科と道徳科の関係～学習指導要領の内容の比較研究 Relationship between the Bible Department and the moral course – Comparative study of the content of the instructional guidelines. 【事前学習】道徳科学習指導要領について調べておく(1時間) 【事後学習】聖書科と道徳科の教育内容を比較し、まとめておく(2時間)	
第10回 Session 10	授業研究1 教科書と副読本をいかに用いるか～釈義。建学の精神の伝授。聖書に聞く、驚く、喜ぶ～メディテーション。Lesson study 1 How to use textbooks and supplementary readers – excerpts. Teaching the spirit of architecture. Listen to the Bible, be surprised, rejoice ~ meditation. 【事前学習】授業で用いるべき教科書と副読本を選択する(0.5時間) 【事後学習】どのように教科書と副読本を用いるかを学習指導館に埋め込んでみる(2時間)	
第11回 Session 11	授業研究2 驚きや喜びを伝える授業。生き方を伝える授業。授業のリズム、組み立て。板書とプリントの応用。いのち、平和、人権等の主題設定とメッセージ。Lesson study 2 Lesson to convey surprise and joy. Lesson to convey life style. Rhythm of teaching, Freshly assembled. Application of board books and prints. Subject setting and message of life, peace, human rights etc. 【事前学習】模擬授業に向けて学習指導案を考える。(2時間) 【事後学習】模擬授業に向けて学習指導案を作成する(3時間)	
第12回 Session 12	教案作りと演習1 模擬授業の相互評価。Aグループ数名の発表と質疑 Teaching Making and Exercises 1 Mutual evaluation of simulated lessons. Presentation and questioning of several people in group A 【事前学習】模擬授業に向けて学習指導案を作成する(3時間) 【事後学習】模擬授業での反省点まとめ、修正しておく(1時間)	
第13回 Session 13	教案作りと演習2 模擬授業の相互評価。 Bグループ数名の発表と質疑 Teaching Making and Exercises 2 Mutual evaluation of simulated lessons. Presentation and questioning of several people in group B 【事前学習】模擬授業に向けて学習指導案を作成する(3時間) 【事後学習】模擬授業での反省点まとめ、修正しておく(1時間)	
第14回 Session 14	キリスト教主義教育の可能性と展望 これからのキリスト教主義教育についての討論 Possibility and prospect of Christianist education 1 Discussion on future Christian education 【事前学習】理想のキリスト教主義教育を挙げてみる(0.5時間) 【事後学習】理想のキリスト教主義教育についてまとめておく(0.5時間)	
授業外学修 Study Required outside Class	キリスト教主義教育の原理と実践を講義形式で行うので、それにかかわる資料や書籍を予習しておくこと。また、模擬授業により、相互研鑽を行い、実践に役立つ教育法を考えるため、様々な時事的な情報にも関心を持つことが望ましい。	

教科書 Required texts	関西学院大学神学部監修『キリスト教スタディーブック・シリーズ1 GOOD NEWSグッド・ニュース新約聖書』(新教出版社、2008)、関西学院大学神学部監修『キリスト教スタディーブック・シリーズ2 EXUDOSエクソダス旧約聖書』(新教出版社、2009)、キリスト教学校教育同盟編『キリスト教入門』、『旧約聖書の教え』、『新約聖書の教え』(創元社、2015)。
参考文献・資料 Reference books	『道徳科学習指導要領』(文部科学省)
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	80%	教案作成等
	その他／Others(99)	20%	授業態度等
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_178141_1&cmp_tab_id=_207008_1&mode=view		
更新日時/Date of Update	2022年01月22日 15時46分41秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜5時限	秋学期／Fall	院1－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48013001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】国語科教育法A 1／Methods of Teaching Japanese A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	山本 康義(YAMAMOTO YASUYOSHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	国語科の教育はすべての学習活動の原点となるものであり、ことばの教育にとどまるものではない。そのためには指導者である国語科教員に求められる教科の専門性に加え、教養教育としての指導者自身の素養も培わなければならない。本講座においては、それらの目的を達成するため、国語科教育の現状と課題を踏まえた上で、主として高等学校「国語総合」レベルの教材を用いながら、国語科の指導に関する教材研究の方法・学習指導案の作成・模擬授業の実施・評価方法等について講義・演習・発表等を行うこととする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand how to study instructional materials, make teaching plans, perform mock lessons, and perform evaluations.		
到達目標/Learning Goals	確かな国語教育観・教師観を持つことができること。また、現代文と古典の各ジャンルの教材について、詳細な教材研究、綿密な学習指導案の作成と適切な授業実践ができること。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire certain educational philosophies and teacher perspectives for Japanese language education and the appropriate abilities to be able to teach.		
授業方法 Course Format	講義形式と演習形式を併用する。また、受講者には随時学習指導案の提出を求め、個別添削したものを返却するので、次回課題の参考とすること。 対面授業 ※4月28日以降の授業もすべて対面授業で実施します。 所属学部 to オンラインでの受講を認められた学生は教材や課題等の指示をLUNA等で確認すること。(授業音声配信予定)		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	本講座に関するガイダンス(目的・内容・方法・評価等) 中教審答申等に見る教育観・教師観・国語教育の在り方等	
第2回 Session 2	「五観」の在り方(生徒観・指導観・学力観・教材観・評価観) 学習指導要領(総則・教育課程等)について	
第3回 Session 3	学習指導要領(国語科)について 国語科学習指導案の様式・作成方法等	
第4回 Session 4	現代文(説明的文章)の教材研究とその方法 課題: 学習指導案の作成	
第5回 Session 5	課題の学習指導案に基づく模擬授業の実施と合評 説明的文章の指導ポイントのまとめ	
第6回 Session 6	現代文(文学的文章)の教材研究とその方法 課題: 学習指導案の作成	
第7回 Session 7	課題の学習指導案に基づく模擬授業の実施と合評 文学的文章の指導ポイントのまとめ	
第8回 Session 8	現代文(韻文)の教材研究とその方法 課題: 学習指導案の作成	
第9回 Session 9	課題の学習指導案に基づく模擬授業の実施と合評 韻文の指導ポイントのまとめ	
第10回 Session 10	古文(物語)の教材研究とその方法 課題: 学習指導案の作成	
第11回 Session 11	課題の学習指導案に基づく模擬授業の実施と合評 古文の指導ポイントのまとめ	
第12回 Session 12	漢文(史話)の教材研究とその方法 課題: 学習指導案の作成	
第13回 Session 13	課題の学習指導案に基づく模擬授業の実施と合評 漢文の指導ポイントのまとめ	
第14回 Session 14	評価問題の作成方法	

授業外学修 Study Required outside Class	教科書及び関連資料の予習を前提として授業を進める。また、課題とする学習指導案の作成、提出は必須である。

参考文献・資料 Reference books	学習指導要領及び中教審答申等。また使用教材については適宜配布する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	
	その他／Others(99)	60%	発表態度及び内容等
	備考 Note 所属学部にオンラインでの受講を認められた学生の評価については、各回の学習指導案の提出とその内容をもって評価する。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_191648_1&cmp_tab_id=_227688_1&mode=view		
更新日時/Date of Update	2022年02月21日 14時42分56秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	月曜3時限	春学期／Spring	院1－205

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48013002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】国語科教育法A 2／Methods of Teaching Japanese A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	山本 康義(YAMAMOTO YASUYOSHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	国語科の教育はすべての学習活動の原点となるものであり、ことばの教育にとどまるものではない。そのためには指導者である国語科教員に求められる教科の専門性に加え、教養教育としての指導者自身の素養も培わなければならない。本講座においては、それらの目的を達成するため、国語科教育の現状と課題を踏まえた上で、主として高等学校「国語総合」レベルの教材を用いながら、国語科の指導に関する教材研究の方法・学習指導案の作成・模擬授業の実施・評価方法等について講義・演習・発表等を行うこととする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand how to study instructional materials, make teaching plans, perform mock lessons, and perform evaluations.		
到達目標/Learning Goals	確かな国語教育観・教師観を持つことができること。また、現代文と古典の各ジャンルの教材について、詳細な教材研究、綿密な学習指導案の作成と適切な授業実践ができること。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire certain educational philosophies and teacher perspectives for Japanese language education and the appropriate abilities to be able to teach.		
授業方法 Course Format	講義形式と演習形式を併用する。また、受講者には随時学習指導案の提出を求め、個別に添削したものを返却するので、次回の課題に活用すること。オンラインの教材はLUNAにアップするので印刷すること。音声資料はONE DRIVEから徴収すること。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	本講座に関するガイダンス(目的・内容・方法・評価等) 中教審答申等に見る教育観・教師観・国語教育の在り方等	
第2回 Session 2	「五観」の在り方(生徒観・指導観・学力観・教材観・評価観) 学習指導要領(総則・教育課程等)について	
第3回 Session 3	学習指導要領(国語科)について 国語科学習指導案の様式・作成方法等	
第4回 Session 4	現代文(説明的文章)の教材研究とその方法 課題: 学習指導案の作成	
第5回 Session 5	課題の学習指導案に基づく模擬授業の実施と合評 説明的文章の指導ポイントのまとめ	
第6回 Session 6	現代文(文学的文章)の教材研究とその方法 課題: 学習指導案の作成	
第7回 Session 7	課題の学習指導案に基づく模擬授業の実施と合評 文学的文章の指導ポイントのまとめ	
第8回 Session 8	現代文(韻文)の教材研究とその方法 課題: 学習指導案の作成	
第9回 Session 9	課題の学習指導案に基づく模擬授業の実施と合評 韻文の指導ポイントのまとめ	
第10回 Session 10	古文(物語)の教材研究とその方法 課題: 学習指導案の作成	
第11回 Session 11	課題の学習指導案に基づく模擬授業の実施と合評 古文の指導ポイントのまとめ	
第12回 Session 12	漢文(史話)の教材研究とその方法 課題: 学習指導案の作成	
第13回 Session 13	課題の学習指導案に基づく模擬授業の実施と合評 漢文の指導ポイントのまとめ	
第14回 Session 14	評価問題の作成方法	

授業外学修 Study Required outside Class	教科書及び関連資料の予習を前提として授業を進める。また、課題とする学習指導案の作成、提出は必須である。

参考文献・資料 Reference books	学習指導要領及び中教審答申等。また使用教材については適宜配布する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	
	その他／Others(99)	60%	発表態度及び内容等
	備考 Note オンライン受講生については、平常レポートの「学習指導案」の内容を主資料として評価する。		
更新日時/Date of Update		2022年01月11日 11時18分34秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜1時限	秋学期／Fall	院1－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48013003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】国語科教育法A 3／Methods of Teaching Japanese A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	秋田 久子(AKITA HISAKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業では、将来中学校あるいは高等学校の国語科教員として、今日的教育課題に適切に対応するとともに、生徒の言語活動能力を育成し国語を尊重する態度を育てる指導力を身に付けることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire the knowledge, skills, and abilities which are required for a Japanese language teacher who can respond appropriately to today’s educational issues, nurture the linguistic ability of students, and foster attitudes that show respect for the Japanese language.		
到達目標/Learning Goals	以下の項目の習得を授業の目標をする。 ・教育の今日的課題を踏まえた教師観・国語教育観を理解し説明できる ・国語教科指導の意義と目標および適切な学習指導の方法について理解し説明できる ・講義型の授業方法を身に付けた上で、生徒の主体的で対話的な深いまなびを意図した学習活動を織り込んだ学習計画が立てられる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a) understand and explain about an ideal (Japanese language) teacher who can respond appropriately to today’s educational issues, b) understand and explain the significance, goals, and methods of teaching the Japanese language as a subject in (junior) high school, c) acquire the lecture skills and the ability to design curriculums which include a student’s active, communicative, and deep learning processes.		
授業の概要・背景 Course Outline	国語は自立した社会生活の基本です。本授業では、法規を踏まえて、生徒の考え表現する意欲と力を伸ばし、国語を尊重する態度を育てられるよう、教材と目的に応じて授業を構成する力や伝える技術を身に付けることを目指します。また、国語の性質上、整った文字、正確な表記や話し方は教員として大変重要です。そこで、毎回の授業で得た知見と自己の生徒時代の経験とを比較・考察して文章表現(以下「振り返りレポート」と呼ぶ)すること、毎授業ごとに提出し添削を受けること、さらに次回の授業で発表・共有することを各回の授業の導入として実施します。		
授業方法 Course Format	シラバスを参考に各回の課題を作成して提出すること。課題は①授業の「ふりかえりレポート」、②次回授業の準備として指示された課題 の2点である。提出日は別途指示する。提出された課題は添削して次回の授業でフィードバックする。授業は講義、発表、模擬授業を組み合わせる。コロナ感染予防のため、ペアワーク、グループワークは説明のみとし実施しない。また、関連する新聞記事等を配布して、教育現場や児童生徒を取り巻く状況等についても視野を広げていく。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	本講義の概要説明と「これからの社会で求められている国語教育」について考察する 教育基本法と平成29年度告示中学校および平成30年告示高等学校の学習指導要領総則及び国語を読んで、a国語教育の目的 b授業の在り方 c教員としての基本的な姿勢について考察する。	①振り返りレポート ②文部科学省HP掲載の当該資料を読んで、a-cについて考察を作成する
第2回 Session 2	「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」に関する指導について 前時間の考察をもとに、四技能を多面的に伸長する学習指導および教員の姿勢について考える。 「読むことー文学的文章」に関する指導についてー「読解見取り図」作成について説明	①振り返りレポート ②文学的文章の「読解見取り図」を作成する
第3回 Session 3	「読むことー文学的文章」に関する指導についてー授業のイメージ作りをする。 「読解見取り図」の説明発表をもとに、教材の目的と要点を共有する。共有をもとに「授業計画表」「板書計画」を作成する。 読解を促す発問をイメージしながら、簡潔で要点を押さえた板書を考える。	①振り返りレポート ②文学的文章の「授業計画表」と「板書計画」を作成する
第4回 Session 4	「読むことー文学的文章」に関する指導についてー模擬授業をし、相互評価を共有して自己の改善点を知る。 授業の「導入案」と特に「話す」「書く」力伸長に係る「事後学習案」を考える。	①振り返りレポート ②導入案と事後学習案を考える
第5回 Session 5	「読むことー文学的文章」に関する指導についてー模擬授業をし、相互評価を共有して自己の改善点を知る。 導入案と事後学習案を共有する。 「読むことー説明的文章」に関する指導についてー「読解見取り図」作成について説明	①振り返りレポートを作成する ②説明的文章の「読解見取り図」を作成する
第6回 Session 6	「読むことー説明的文章」に関する指導についてー「読解見取り図」説明発表。 「授業計画表」「板書計画」「導入案」「事後学習案」を作成する。	①振り返りレポートを作成する ②説明的文章の「授業計画表」「板書計画」「導入案」「事後学習案」を作成する
第7回 Session 7	「読むことー説明的文章」に関する指導についてー模擬授業をし、相互評価を共有して自己の改善点を知る。 導入案と小論文指導につなげる事後学習案を共有する。	①振り返りレポートを作成する ②語句・語彙、漢字学習指導、書写指導案を考える
第8回 Session 8	「書くこと」の指導についてー資料収集、テーマ設定、段落構成および正確な表記についての指導計画と指導法について考える。図書館の活用、新聞・インターネット活用の効果と留意点を考察する。	①振り返りレポートを作成する ②古文の「読解見取り図」を作成する ③「書く指導」のテーマや調べ学習の授業案を考える

	語句・語彙の指導、漢字学習指導、書写の指導について 「伝統的な言語文化－古文」に関する指導について－「読解見 取り図」作成について説明	
第9回 Session 9	「伝統的な言語文化－古文」に関する指導について－「読解見 取り図」の説明発表をもとに、教材の内容および要点を共有す る。 共有をもとに「授業計画表」「板書計画」を作成する。 読解を促す発問をイメージしながら、読解の要点となる古典文 法項目を確認する。	①振り返りレポートを作成する ②「授業計画表」を作成する
第10回 Session 10	「伝統的な言語文化－古文」に関する指導について－模擬授 業体験および相互評価を共有して自己の改善点を知る。 古典文法指導の骨子について、年間指導計画について 「伝統的な言語文化－漢文」に関する指導について－「読解見 取り図」作成について説明	①振り返りレポートを作成する ②漢文の「読解見取り図」を作成する
第11回 Session 11	「伝統的な言語文化－漢文」に関する指導について－「読解見 取り図」の説明発表をもとに、教材の内容および要点を共有す る。 共有をもとに「授業計画表」「板書計画」を作成する。読解を促 す発問をイメージしながら、読解の要点となる論理展開の特徴 や句法を確認する。 重要句法や王朝の変遷の根拠となる考え方や代表的な思想に ついて整理する。	①振り返りレポートを作成する ②「授業計画表」を作成する
第12回 Session 12	「伝統的な言語文化－漢文」に関する指導について－模擬授 業体験および相互評価を共有して自己の改善点を知る 「学習指導案」作成について説明	①振り返りレポートを作成する ②古文、漢文の事後指導案を考える 今までの4種の教材について、「学習指導案」の作成を始める
第13回 Session 13	「伝統的な言語文化－古文、漢文」に関する指導について－事 後指導案を共有する。 「書くことの指導」第8回の内容を受けて、「調べる、まとめる、 表現する」につなげる授業計画を発表する	①振り返りレポートを作成する ②話し合いの「学習指導案」を作成する
第14回 Session 14	模擬授業体験および相互評価を通じて自己の改善点を知る 教育実習に向けて学習指導案の練り直し 評価規準と評価の方法について 授業者の留意事項について	①振り返りレポートを作成する ②学習指導案の練り直しをする

授業計画 Overview for each class	①毎授業で課す課題（「振り返りレポート」および作成を指示したもの）は添削の上、次の授業で共有あるいは使用します。 ②各教材の学習指導案最終版を定期試験に変わるレポートとして提出してください。添削の上返却します。指導案の返却時期は最終授業日 に連絡します。
授業外学修 Study Required outside Class	教科教育法は職業訓練の側面が大きい授業です。模擬授業では、生徒の理解状況を観察しながら進行速度や説明の仕方を工夫する経験 を通じて「相手に言葉を伝える」意識を育てます。その前提になる準備が「授業外学習欄」に記載した各種の課題です。

教科書 Required texts	特になし 使用教材についてはプリントを配布する
参考文献・資料 Reference books	平成29年度告示 中学校新学習指導要領 総則、国語 平成30年度告示 高等学校新学習指導要領 総則、国語
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されていま す。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	40%	学習指導案の提出
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	提出の有無と取り組み内容
	その他／Others(99)	20%	発表および模擬授業の取り組み
	備考 Note 生徒を指導する立場を目指すという観点から、連絡や正当な理由なく遅刻欠席した場合は減点する 1／3以上欠席した場合は修得を認めない 平常のレポートとその他（模擬授業への取り組みおよび学習指導案の提出）両方があることを評価の条件とする		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_193532_1&cmp_tab_id=_229572_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 10時02分27秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	木曜1時限	春学期／Spring	院1－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48014001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】国語科教育法B 1／Methods of Teaching Japanese B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	山本 康義(YAMAMOTO YASUYOSHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	国語教育はすべての教科の基礎となるものであり、その重要性は学習指導要領でもうたわれているところである。また、学校教育は、AV機器が活用されるようになったとはいえ、文字言語・音声言語が主体である。本講座においては、それらの重要性や言語活動の充実を念頭に置きながら、国語科教育の現状と課題を踏まえた上で、国語科教育の主な領域・分野について、教科書に採択された教材を用いながら、教材研究と模擬授業、学生相互の合評を主体とした授業を実施する。それによって実際の指導力の向上に資するものとする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to improve their practical abilities mainly by studying instructional materials, performing mock lessons, and evaluating each other.		
到達目標/Learning Goals	国語教育の幅広い領域・分野について実践的な指導力を身に付けること。また、授業の構成力を身に付けることを通して、生徒の主体的な学習活動を促す工夫や授業展開の技術力を磨くことを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire the ability to use practical teaching techniques and to make their own lessons. Students will also devise lessons that encourage high school students to develop their own learning activities.		
授業方法 Course Format	演習形式を主体とする。担当者による模擬授業とそれに対する受講者間での意見交換及び教員による指導を行う。 対面授業 ※4月28日以降の授業もすべて対面授業で実施する。 所属学部 to オンラインでの受講を認められた学生は、教材や課題等の指示をLUNA等で確認すること。(授業音声配信予定)		
関連科目/Related Courses	「国語科教育法A」を修得済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	本講座に関するガイダンス(目的・内容・方法・評価等) 国語科教育の現状と課題	
第2回 Session 2	指導者による授業の実際例 模擬授業の採用教材と担当学生の決定	
第3回 Session 3	芥川龍之介『蜜柑』 前段の模擬授業と合評	
第4回 Session 4	芥川龍之介『蜜柑』 後段の模擬授業と合評	
第5回 Session 5	加藤周一『日本文化の雑種性』 中段の模擬授業と合評	
第6回 Session 6	加藤周一『日本文化の雑種性』 後段の模擬授業と合評	
第7回 Session 7	茨木のり子詩集 選択した詩をもとに模擬授業と合評	
第8回 Session 8	永田和宏『現代秀歌』 選択した歌人・歌について模擬授業と合評	
第9回 Session 9	『宇治拾遺物語』 課題とする素材について模擬授業と合評	
第10回 Session 10	『伊勢物語』 課題とする素材について模擬授業と合評	
第11回 Session 11	『古今和歌集』 課題とする和歌について模擬授業と合評	
第12回 Session 12	「漢詩」 課題とする漢詩について模擬授業と合評	
第13回 Session 13	「故事成語」 課題とする故事成語の原典について模擬授業と合評	
第14回 Session 14	評価問題の作成方法	

授業外学修 Study Required outside Class	各人に課題とする模擬授業について、当該作品の教材研究は必須であるが、作者(筆者)や他の作品の研究も重要である。

参考文献・資料 Reference books	教材及び参考資料等については適宜配布する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	授業評価シートの記入内容
	その他／Others(99)	60%	模擬授業の実施と発表態度及び授業内容等の総合評価
	備考 Note 所属学部にてオンラインでの受講を認められた学生の評価については、各回の授業評価シートの記入内容(40%)、担当授業の学習指導案(60%)の提出により評価する。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_196281_1&cmp_tab_id=_232321_1&mode=view		
更新日時/Date of Update	2022年02月21日 14時43分24秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜1時限	春学期／Spring	院1－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48014002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】国語科教育法B 2／Methods of Teaching Japanese B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	秋田 久子(AKITA HISAKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業では、学習指導要領の内容理解に基づき、生徒が社会生活を営むために必要な言語感覚と言語による活動能力を育成し、国語への関心と尊重する態度を育てるための授業展開力を身に付けることを目的とする		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop their teaching skills based on the new Course of Study in order to educate (junior) high school students so that they have the language sense necessary for social life and a superb ability to utilize the language.		
到達目標/Learning Goals	以下の項目の習得を授業の目標をする。 ・学習指導要領における国語科の目標と内容および全体構造について理解している ・個別の学習内容について指導上の留意点を理解して学習指導計画が立てられる ・授業評価規準を踏まえた学習指導案が作成できる ・模擬授業とその振り返りを通じて授業改善の視点を身に付けている		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a) understand the objectives, content, and whole structure of the Japanese language as a subject in the Course of Study, b) acquire the skills to grasp each teaching content and to make a teaching plan so that learners can appropriately understand, consider, and express, c) acquire the skills to make teaching plans based on some evaluation standards, d) acquire the ability to improve their teaching through trial classes and evaluations of them.		
授業の概要・背景 Course Outline	教育基本法・新学習指導要領・国語科教育の目標について理解する。授業はもちろん教育活動全体において、職場ではチームで取り組む。したがって、自身の国語指導力を身につけるとともに、将来担当者間での共有と検討ができる能力と姿勢づくりも必要である。そして、それらの力と姿勢は主体的で対話的な深いまなびを組み立てるためにも重要な資質である。そこで、本授業では主に高等学校での学習指導を想定して、学習指導案を作成し模擬授業を相互に評価することを通じて、生徒の活発な学習活動を企画設定できる力を身に付ける。そこで、毎回の業で得た知見を自己の生徒時代の経験とを比較・考察して文章表現すること(以下「振り返りレポート」と呼ぶ)を平常課題の中心とする。また、国語の性質上、正確な表記や正確で読み易い文字を書くことや話し方は教員として大変重要である。その訓練方策として、「振り返りレポートを」提出して添削を受け、次の授業で発表・共有することを各回の授業の導入として実施する。		
授業方法 Course Format	講義、発表、演習。授業が進むにつれて、演習の比率が多くなる。 コロナ感染対策のため、ペアワーク、グループワークについては実施せず、用い方の説明を適宜することとする。 また、関連する新聞記事等を配布して、教育現場や児童生徒を取り巻く状況等について視野を広げていく。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	本講義の概要、「教育の目的とこれからの国語教育が目指すものについて考察する」 教育基本法と平成30年告示高等学校学習指導要領および平成29年度告示中学校学習指導要領の総則と国語から考察する。併せて教育現場の諸問題と教員としての在り方についても考察する。 新聞等資料を用いて、「話す力」「聞く力」を育成する指導案を考える。	①振り返りレポートを作成する ②新聞を用いて「話す力」「聞く力」を育成する指導案を作成する
第2回 Session 2	第1回の授業を踏まえた各自の考察及び「話す力」「聞く力」を育成する指導案を発表・共有する。 「話し合うこと」の指導について一展開の要点を考察する。 評価について 「読むこと」の指導①文学的文章について―「読解見取り図」について説明	①振り返りレポートを作成する ②文学的文章の「読解見取り図」を作成する
第3回 Session 3	「読むこと」の指導①文学的文章―「読解見取り図」の共有を経て授業の目的と要点を整理する。発問と学習活動をイメージして「授業計画表」を作成する。	①振り返りレポートを作成する ②「授業計画表」を作成する
第4回 Session 4	「読むこと」の指導①文学的文章―模擬授業と相互評価を行い、互いの長所を取り入れる	①振り返りレポートを作成する ②導入および事後指導のアイデアを考える
第5回 Session 5	「読むこと」の指導①文学的文章―模擬授業と相互評価を行い、互いの長所を取り入れる。 教材への導入案と、理解の深化のための事後指導案を共有する。事後指導案は「書くこと」への指導につなぐ。 学習指導案作成について説明 「読むこと」の指導②説明的文章―「読解見取り図」について説明	①振り返りレポートを作成する ②説明的文章の「読解見取り図」を作成する
第6回 Session 6	「読むこと」の指導②説明的文章―「読解見取り図」の共有を経て授業の目的と要点を整理する。発問と学習活動をイメージして「授業計画表」を作成する。	①振り返りレポートを作成する ②「授業計画表」を作成する
第7回 Session 7	「読むこと」の指導①説明的文章―模擬授業と相互評価を行い、互いの長所を取り入れる	①振り返りレポートを作成する ②導入および事後指導のアイデアを考える
第8回 Session 8	「読むこと」の指導①説明的文章―模擬授業。相互評価を行い、互いの長所を取り入れる。 導入案と、事後指導案を共有する。事後指導案では、興味関心を広げ考察を深めるための論説や報道に関する補助教材を用い「書くこと」への指導につなぐ。	①振り返りレポートを作成する ②事後指導案を作成する

第9回 Session 9	「書くこと」の指導について一文章作成の要点、意欲喚起の方法、および継続的な指導の在り方を考える。 「話し合うこと」の指導について一事後指導案をもとに話し合いの授業案を発表し相互評価する 「伝統的な言語文化」古典(古文)の指導―「読解見取り図」の説明	①振り返りレポートを作成する ②古文の「読解見取り図」を作成する
第10回 Session 10	「伝統的な言語文化」古典(古文)の指導―「読解見取り図」の共有を経て授業の目的と要点を整理する。発問と学習活動をイメージして「授業計画表」を作成する。 古典文法指導について	①振り返りレポートを作成する ②「授業計画表」を作成する
第11回 Session 11	「伝統的な言語文化」古文の指導―模擬授業と相互評価を行い、互いの長所を取り入れる 「伝統的な言語文化」古典(漢文)の指導―「読解見取り図」の説明	①振り返りレポートを作成する ②漢文の読解見取り図を作成する
第12回 Session 12	「伝統的な言語文化」古典(漢文)の読解指導―読解見取り図をもとに授業計画表を作成する。 漢字学習指導について	①振り返りレポートを作成する ②漢文の「授業計画表」を作成する
第13回 Session 13	「伝統的な言語文化」漢文の模擬授業～相互評価を行い、互いの長所を取り入れる 「伝統的な言語文化」古典の事後学習指導について	①振り返りレポートを作成する ②今までの教材の学習指導案を作成する
第14回 Session 14	模擬授業～相互評価を行い、互いの長所を取り入れる 学習指導案の練り直し	①振り返りレポートを作成する ②今までの教材の学習指導案を作成する

授業計画 Overview for each class	①毎授業で課す「振り返りレポート」および課題は添削の上、次回の授業で共有する。 ②定期試験に代わるレポートは個別に添削の上、返却する。返却時期は最終授業日に連絡する。

教科書 Required texts	なし 教材については授業内で配布する
参考文献・資料 Reference books	平成29年度告示中学校新学習指導要領 総則、国語 平成30年度告示高等学校新学習指導要領 総則、国語
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	40%	4種の学習指導案作成 提出の有無と内容
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	毎回の授業外学修記載項目 提出の有無と内容
	その他／Others(99)	20%	発表および模擬授業への取り組み
	備考 Note 生徒を育成指導する立場を目指すという観点から、連絡や正当な理由なく遅刻・欠席した場合は減点する。 1／3以上欠席した場合は修得を認めない。 定期試験に代わるレポートの提出がない場合は評価の対象としない		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/content/listContentEditable.jsp?content_id=_632255_1&course_id=_184283_1&content_id=_632255_1		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 10時02分57秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	木曜1時限	秋学期／Fall	院1－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48015001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】国語科教育法C 1／Methods of Teaching Japanese C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	秋田 久子(AKITA HISAKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業では、新学習指導要領の内容理解に基づき、生徒が社会生活を営むために必要な言語感覚と言語による活動能力を育成し、国語への関心と尊重する態度を育てるための授業展開力を身に付けることを目的とする		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop their teaching skills based on the new Course of Study in order to educate (junior) high school students so that they have the language sense necessary for social life and a superb ability to utilize the language.		
到達目標/Learning Goals	以下の項目の習得を授業の目標をする。 ・学習指導要領における国語科の目標と内容および全体構造について理解している ・個別の学習内容について指導上の留意点を理解して学習指導計画が立てられる ・授業評価規準を踏まえた学習指導案が作成できる ・模擬授業とその振り返りを通じて授業改善の視点を身に付けている		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a) understand the objectives, content, and whole structure of the Japanese language as a subject in the Course of Study, b) acquire the skills to grasp each teaching content and to make a teaching plan so that learners can appropriately understand, consider, and express, c) acquire the skills to make teaching plans based on some evaluation standards, d) acquire the ability to improve their teaching through trial classes and evaluations of them.		
授業の概要・背景 Course Outline	教育基本法・新学習指導要領・国語科教育の目標について理解する。授業はもちろん教育活動全体において、担当者間で目標と方法等の共有と検討ができる姿勢と能力の必要性を理解する。それらは生徒の主体的で対話的な深いまなびを組み立てるためにも重要な資質である。 そこで、本授業では各分野の教材や新聞記事を用いて「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」および「伝統的な言語文化」について学習指導案を作成し、模擬授業を相互に評価することを通じて、生徒の活発な学習活動を企画設定できる力を身に付けていく。そのため、授業で得た知見を定着させ、かつ自身の生徒時代の経験を教える立場から活用できるよう、毎授業で「振り返りレポート」の作成を課す。このレポートは添削して次回の授業で共有する。添削によって、国語科教員として必要な、書写指導や正確で豊かな表記の力を向上させ、共有によって「伝える」話し方を身に付けていく。		
授業方法 Course Format	講義、発表、模擬授業を組み合わせで展開する。コロナ感染予防のため、ペアワーク、グループワークは実施せず説明のみとする。 シラバスを参考に各回の課題を作成して提出すること。「振り返りレポート」のフィードバックは授業内で実施する。 また、関連する新聞記事等を配布して、教育現場や児童生徒を取り巻く状況等についても視野を広げていく。		
関連科目/Related Courses	「国語科教育法A、B」履修後の履修が望ましい。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	本講義の概要 「新学習指導要領で求められているこれからの国語教育について」 全国学力調査や大学入学共通テスト、試行テスト問題から、新たな観点について考察する。 新聞記事等の資料を用いて、探究・表現活動のテーマや方法について考える	①振り返りレポートを作成する ②探究・表現活動の授業アイデアを考える
第2回 Session 2	探究・表現活動の授業アイデアを発表、共有、検討する。 四技能の関連性と伸ばし方について 評価の観点について 『「現代の国語」の指導について①』授業準備。「読解見取り図」について説明。	①振り返りレポートを作成する ②「読解見取り図」を作成する
第3回 Session 3	『「現代の国語」の指導について①」 読解見取り図の共有。教材の目的と要点を整理する。 「授業計画表」および「板書計画」について説明。	①振り返りレポートを作成する ②「授業計画表」を作成する
第4回 Session 4	『「現代の国語」の指導について①』模擬授業～相互評価を行い、互いの長所を取り入れる 導入および事後学習案について説明。	①振り返りレポートを作成する ②導入および事後学習案を考える
第5回 Session 5	『「現代の国語」の指導について①』模擬授業。相互評価を行い、互いの長所を取り入れる。 導入および事後学習案の共有。「書くこと」の指導へつなぐ事後指導案を作成する。 『「現代の国語」の内容と指導について②』授業準備。「読解見取り図」について説明。	①振り返りレポートを作成する ②「読解見取り図」を作成する
第6回 Session 6	『「現代の国語」の指導について②」 読解見取り図の共有。教材の目的と要点を整理する。 「授業計画表」について。導入と事後学習案について。「学習指導案」作成について説明。	①振り返りレポートを作成する ②「授業計画表」を作成する
第7回 Session 7	『「現代の国語」の指導について②』模擬授業～相互評価を行い、互いの長所を取り入れる	①振り返りレポートを作成する ②導入および事後学習案を考える
第8回 Session 8	『「現代の国語」の指導について②』模擬授業～相互評価を行い、互いの長所を取り入れる 導入および事後学習案の共有。 『「書くこと」の指導について」	①振り返りレポートを作成する ②「読解見取り図」を作成する

	『『言語文化』の指導について③』授業準備。「読解見取り図」について説明。	
第9回 Session 9	『『言語文化』の指導について③』 読解見取り図の共有。教材の目的と要点を整理する。 「授業計画表」「板書計画」について。	①振り返りレポートを作成する ②「授業計画表」を作成する
第10回 Session 10	『『言語文化』の指導について③』模擬授業～相互評価を行い、 互いの長所を取り入れる 導入および事後学習案について説明。	①振り返りレポートを作成する ②導入および事後指導案を考える
第11回 Session 11	『『言語文化』の指導について③』模擬授業～相互評価を行い、 互いの長所を取り入れる 導入および事後学習案の共有。 語彙、語源、文化背景について 『『言語文化』の指導について④』授業準備。「読解見取り図」について説明。	①振り返りレポートを作成する ②「読解見取り図」を作成する
第12回 Session 12	『『言語文化』の指導について④』 読解見取り図の共有。教材の目的と要点を整理する。 「授業計画表」「板書計画」について。導入および事後学習案について。	①振り返りレポートを作成する ②「授業計画表」を作成する
第13回 Session 13	『『言語文化』の指導について④』模擬授業～相互評価を行い、 互いの長所を取り入れる 導入および事後学習案について共有。 探究・表現活動および事後学習深化のための、新聞・図書館・インターネット活用方法について考察する 読書指導及び作文指導について一指導計画共有の重要性和校内の協力体制作りについて考察する	①振り返りレポートを作成する ②「学習指導案」を作成する ③評価の在り方について考察する
第14回 Session 14	模擬授業と学習指導案について 今までの教材を用いて、模擬授業に再度取組み、相互評価を行う。 今までの教材の学習指導案の完成にむけて 教育実習に向けて	①振り返りレポートを作成する ②学習指導案を作成する

授業計画 Overview for each class	①毎授業で課す課題は添削の上返却し、次回の授業で共有あるいは使用します。 ②各教材の学習指導案は最終版を定期考査に変わるレポートとして提出してください。添削の上返却します。指導案の返却時期は最終授業日に連絡します。
授業外学修 Study Required outside Class	教科教育法は職業訓練の側面が大きい授業です。模擬授業では、生徒の理解状況を観察しながら進行速度や説明の仕方を工夫する経験を通じて「相手に言葉を伝える」意識を育てます。その前提となる、考えを言葉にして表現し伝える訓練が「授業外学習欄」に記載した各種の課題です。

教科書 Required texts	なし 教材については授業でプリントを配布する
参考文献・資料 Reference books	平成29年度告示中学校新学習指導要領 総則、国語 平成30年度告示高等学校新学習指導要領 総則、国語
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	40%	4種の学習指導案の提出と内容
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	提出の有無及び内容
	その他／Others(99)	20%	発表および模擬授業の取り組み
	備考 Note 生徒を指導する立場を目指すという観点から、連絡なくまた正当な理由なく遅刻欠席した場合は減点する 1／3以上欠席した場合は修得を認めない 平常のレポートと模擬授業への取り組みおよび学習指導案の提出で評価する。模擬授業への取り組みと学習指導案の提出がない場合は評価の対象としない。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_202594_1&cmp_tab_id=_238634_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 10時03分36秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	木曜2時限	春学期／Spring	院1－207

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48015002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】国語科教育法C 2／Methods of Teaching Japanese C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	方波見 彰(KATABAMI AKIRA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	模擬授業・指導案作成などの実践的な学習を通して、中学・高校における国語教育について学ぶ。また国語教育のみにとどまらず、現実の教育現場の諸問題について、具体的な事例を通して教師としての指導のあり方を学ぶ。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn about the theory and practice of Japanese language education at junior high schools and high schools. In addition to Japanese language education, they learn about the actual situation in the classroom through examples and learn approaches to new subjects based on new guidelines for teaching.		
到達目標/Learning Goals	授業の到達目標及びテーマ 中学・高校における国語教育についての理論と実践を学ぶ。国語教育のみにとどまらず、現実の教育現場の状況を実例をもとに学ぶ。また新学習指導要領に基づいた新しい科目についての考え方を学ぶ。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will learn about the theory and practice of Japanese language education at junior high schools and high schools. In addition to Japanese language education, they will learn about the actual situation in the classroom through examples and learn approaches to new subjects based on new guidelines for teaching.		
授業方法 Course Format	対面授業 模擬授業を中心に		
検索キーワード/Keywords	なぜ国語を学ぶ・教えるのか		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	今後の本講義の授業の進め方	オンデマンド授業の教材 課題についてはLUNAにて指示する
第2回 Session 2	教材研究 現代文の授業の進め方 (評論)	
第3回 Session 3	教材研究 現代文の授業の進め方 (評論)	
第4回 Session 4	教材研究 現代文の授業の進め方 (小説)	
第5回 Session 5	教材研究 現代文の授業の進め方 (小説)	
第6回 Session 6	教材研究 作文授業の進め方	
第7回 Session 7	現場の諸問題〔2〕進路指導	
第8回 Session 8	教材研究 現代文の授業の進め方 模擬授業〔1〕	
第9回 Session 9	教材研究 現代文の授業の進め方 模擬授業〔2〕	
第10回 Session 10	教材研究 現代文の授業の進め方 模擬授業〔3〕	
第11回 Session 11	教材研究 現代文の授業の進め方 模擬授業〔4〕	
第12回 Session 12	教材研究 現代文の授業の進め方 模擬授業〔5〕	
第13回 Session 13	教育実習について その実践	
第14回 Session 14	教材研究 探求的授業の進め方	
第15回 Session 15	秋学期試験	
授業外学修 Study Required outside Class	課題についてはLUNAにて指示する	

参考文献・資料 Reference books	プリント配布 LUNAで指示する
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	40%	最終試験
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	模擬授業
	その他／Others(99)	30%	期末考査を作る
	備考 Note 緊急時は最終試験・期末考査の提出で評価する		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_190179_1&cmp_tab_id=_219046_1&mode=view		
更新日時/Date of Update	2022年01月11日 17時13分51秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	木曜5時限	秋学期／Fall	院1－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48016001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】国語科教育法D 1／Methods of Teaching Japanese D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	方波見 彰(KATABAMI AKIRA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドB型オンライン授業(時間割なし)/On-demand B(w/o timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	授業の到達目標及びテーマ 中学・高校における国語教育についての理論と実践を学ぶ。国語教育のみにとどまらず、現実の教育現場の状況を実例をもとに学ぶ。また新学習指導要領に基づいた新しい科目についての考え方を学ぶ。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn about the theory and practice of Japanese language education at junior high schools and high schools. In addition to Japanese language education, they learn about the actual situation in the classroom through examples and learn approaches to new subjects based on new guidelines for teaching.		
到達目標/Learning Goals	授業の到達目標及びテーマ 中学・高校における国語教育についての理論と実践を学ぶ。国語教育のみにとどまらず、現実の教育現場の状況を実例をもとに学ぶ。また新学習指導要領に基づいた新しい科目についての考え方を学ぶ。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will learn about the theory and practice of Japanese language education at junior high schools and high schools. In addition to Japanese language education, they will learn about the actual situation in the classroom through examples and learn approaches to new subjects based on new guidelines for teaching.		
授業方法 Course Format	対面授業 所属学部 to オンラインでの受講を認められた学生は教材や課題等の指示をLUNA等で確認すること		
関連科目/Related Courses	「国語科教育法A」を修得済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	なぜ国語を学ぶ・教えるのか		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	第1回: 今後の本講義の授業の進め方	
第2回 Session 2	第2回: 教材研究 古文の授業の進め方1	
第3回 Session 3	第3回: 教材研究 古文の授業の進め方2	
第4回 Session 4	第4回: 教材研究 古文の授業の進め方3	
第5回 Session 5	第5回: 教材研究 漢文の授業の進め方1	
第6回 Session 6	第6回: 現場の諸問題〔1〕生徒指導	
第7回 Session 7	第7回: 現場の諸問題〔2〕進路指導	
第8回 Session 8	第8回: 教材研究 古文の授業の進め方 模擬授業〔1〕	
第9回 Session 9	第9回: 教材研究 古文の授業の進め方 模擬授業〔2〕	
第10回 Session 10	第10回: 教材研究 古文の授業の進め方 模擬授業〔3〕	
第11回 Session 11	第11回: 教材研究 古文の授業の進め方 模擬授業〔4〕	
第12回 Session 12	第12回: 教材研究 漢文の授業の進め方 模擬授業〔5〕	
第13回 Session 13	第13回: 教育実習について その実践	
第14回 Session 14	第14回: 教材研究 探求的授業の進め方	
第15回 Session 15	第15回: 春学期試験	
授業外学修 Study Required outside Class	出席重視 課題等についてはLUNAで指示	

参考文献・資料 Reference books	プリント配布 LUNAで指示
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	40%	試験制作
	授業中試験／In-class examination(03)	30%	平常レポート
	その他／Others(99)	30%	模擬授業
	備考 Note 授業中試験(Test conducted in class)/平常レポート(Ordinary paper)/その他(others) 試験・模擬授業・レポート提出等の総合評価		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_192898_1&cmp_tab_id=_228938_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年01月11日 17時12分54秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	木曜5時限	春学期／Spring	院1－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48016002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】国語科教育法D 2／Methods of Teaching Japanese D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	秋田 久子(AKITA HISAKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業では、新学習指導要領の内容理解に基づき、生徒が社会生活を営むために必要な言語感覚と言語による活動能力を育成し、国語への関心と尊重する態度を育てるための授業展開力を身に付けることを目的とする なお、この授業は実践的な訓練を重視するものとする		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop their teaching skills based on the new Course of Study in order to educate (junior) high school students so that they have the language sense necessary for social life and a superb ability to utilize the language. Also,this course takes account of practical training for teaching.		
到達目標/Learning Goals	以下の項目の習得を授業の目標をする。 ・学習指導要領における国語科の目標と内容および全体構造について理解している ・個別の学習内容について指導上の留意点を理解して学習指導計画が立てられる ・授業評価規準を踏まえた学習指導案が作成できる ・模擬授業とその振り返りを通じて授業改善の視点を身に付けている ・生徒の状況に対応した授業づくりができる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a) understand the objectives, content, and whole structure of the Japanese language as a subject in the Course of Study, b) acquire the skills to grasp each teaching content and to make a teaching plan so that learners can appropriately understand, consider, and express, c) acquire the skills to make teaching plans based on some evaluation standards, d) acquire the ability to improve their teaching through trial classes and evaluations of them. e) acquire the ability to make teaching plans flexibly for various students.		
授業の概要・背景 Course Outline	新学習指導要領に見られる社会の変化への対応と教育の果たす役割について理解する。授業はもちろん教育活動全体において、目標および方法に関して担当者間で情報共有と検討ができる姿勢と能力の必要性を体験する。それらは生徒の主体的で対話的な深いまなびを組み立てるためにも重要な資質である。そこで、本授業では中学校・高等学校教科書等の教材および新聞を用いて、①「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」および「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について、また、②主体的で対話的な探究・表現活動について、授業の事前学習・事後学習を視野に学習指導案を作成し、模擬授業の相互評価を通じて、生徒の活発な学習活動を企画設定できる力を身に付けていく。また、国語を指導する立場上、整った文字、正確な表記や話し方は大変重要である。そこで毎回の授業であた知見と自己の生徒時代の経験とを比較考察して文章化すること(以下「振り返りレポート」と呼ぶ)、提出して添削を受けること、さらに次の授業で発表・共有することを、毎回の授業の導入として実施する。		
授業方法 Course Format	講義、発表、演習。 ペアワーク、グループワークについてはコロナ・ウイルス感染予防の観点から、用い方を口頭で適宜説明することとします また、関連する新聞記事等を配布して、教育現場や児童生徒を取り巻く状況等について視野を広げていきます。		
関連科目/Related Courses	国語科教育法A、Bを履修後の受講が望ましい		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	本講義の概要説明。 求められている国語力の変化および変化の理由について考察する 教育現場の課題について考察し、国語科教員としての在り方について考察する	①振り返りレポートを作成する ②学習指導要領を読む
第2回 Session 2	第1回の考察を踏まえて、中学校国語教科書をもとに、指導項目と多様な学習活動をイメージする 四技能について デジタル教材の活用について 文学的文章授業準備―「読解見取り図」について説明	①振り返りレポートを作成する ②文学的文章の読解見取り図を作成する
第3回 Session 3	文学的文章の授業計画を作成する―「読解見取り図」を共有し、教材の目的と読解のポイントを整理して「授業計画表」を作成する 導入と事後学習案を考える	①振り返りレポートを作成する ②授業計画表を作成する
第4回 Session 4	文学的文章の模擬授業―相互評価を実施し、互いの長所を発見する	①振り返りレポートを作成する ②事後指導案を考える
第5回 Session 5	文学的文章の事後学習案(発展的探究・表現課題案)を共有し、目的と位置づけを確認し改善を検討する 説明的文章の授業準備―「読解見取り図」の説明	①振り返りレポートを作成する ②読解見取り図を作成する
第6回 Session 6	説明的文章の授業計画を作成する―「読解見取り図」を共有し、教材の目的と読解のポイントを整理して「授業計画表」を作成する 導入と事後学習案を考える	①振り返りレポートを作成する ②授業計画表を作成する
第7回 Session 7	説明的文章の模擬授業―相互評価を実施し、自己の長所を知る	①振り返りレポートを作成する ②事後指導案を発展させる。探究的学習活動と四技能伸長を組み合わせた授業案を考える
第8回 Session 8	導入と事後学習案の共有、検討を経て、図書館、新聞、インターネットを活用した探究的学習活動と「話す・聞くこと」「読むこと」「書くこと」とを組み合わせた授業案を考える 「発表」指導、「話し合い」指導について、「書くこと」の指導につ	①振り返りレポートを作成する

	いて	
第9回 Session 9	「書くこと」の指導について～正確な文章記述指導と添削の要点について 書写指導について 「伝統的な言語文化」古文および漢文教材の授業準備―「読解見取り図」を作成する	①振り返りレポートを作成する ②古文読解見取り図を作成する
第10回 Session 10	「伝統的な言語文化」古文教材の「読解見取り図」を共有し、教材の目的と読解のポイントを整理して「授業計画表」を作成する。導入、事後学習案を考える。 歴史的仮名遣いについて 音読の重要性について 古典文法について 習俗等背景知識の紹介について	①振り返りレポートを作成する ②事後学習案を作成する
第11回 Session 11	「伝統的な言語文化」古文教材の模擬授業―相互評価を実施し授業改善する	①振り返りレポートを作成する ②漢文教材の読解見取り図を作成する
第12回 Session 12	古文教材の導入と事後指導案の共有と検討 「伝統的な言語文化」漢文教材の授業計画を作成する―「読解見取り図」を用いて、「授業計画表」を作成する。導入と事後学習案を考える。 音読について 王朝の変遷と背景の思想について 漢字と熟語について 漢字学習について	①振り返りレポートを作成する ②漢文教材の授業計画表を作成する
第13回 Session 13	「伝統的な言語文化」漢文教材の模擬授業―相互評価を実施し授業改善する	①振り返りレポートを作成する ②事後学習案を作成する
第14回 Session 14	漢文教材の導入と事後指導案の検討 今までの教材の模擬授業―相互評価を実施し授業改善する 学習指導案の作成について 教育実習に向けて一準備と留意点について	①振り返りレポートを作成する ②学習指導案を作成する

授業外学修 Study Required outside Class	①毎授業で課す「振り返りレポート」は添削の上、次回の授業で共有する。 ②定期試験に代わるレポートは個別に添削の上、返却する。返却時期は最終授業日に連絡する。

教科書 Required texts	なし 教材については授業でプリントを配布する
参考文献・資料 Reference books	平成29年度告示中学校新学習指導要領 総則、国語 平成30年度告示高等学校新学習指導要領 総則、国語
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	40%	提出の有無と取り組み内容
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	提出の有無と取り組み内容
	その他／Others(99)	20%	発表および模擬授業への取り組み
	備考 Note 生徒を育成指導する立場を目指すという観点から、連絡と正当な理由なく遅刻欠席した場合は減点する 1／3以上欠席した場合は修得を認めない 定期試験に代わるレポートの提出がない場合は評価の対象としない		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/bb-group-mgmt-LEARN/execute/groupInventoryList?course_id=_181262_1		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 10時04分20秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	木曜2時限	秋学期／Fall	院1－207

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48017001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法A 1／Methods of Teaching English A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	三上 明洋(MIKAMI AKIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、英語教育学に関する基礎的な知識と技能を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to obtain the basic knowledge and skills in English language teaching.		
到達目標/Learning Goals	1. 日本の英語教師に必要な基礎的な知識・技能を身につけることができる。 2. 英語の学習理論を理解することができる。 3. 英語の指導法を理解し実践することができる。 4. 英語教育研究法の基本的事項を理解することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to obtain basic knowledge and skills necessary for English language teachers in Japan. 2. Students will be able to understand English language learning theories. 3. Students will be able to understand English language teaching methods and put them into practice. 4. Students will be able to understand the basic research methods of English language teaching.		
授業の概要・背景 Course Outline	英語教師になるためには、英語によるコミュニケーション能力に加え、応用言語学、第二言語習得、教育学、心理学、社会学などの幅広い知識・技能が必要となります。この授業では、英語教育学の理論と実践に関する基礎的・基本的な内容を学ぶとともに、小学校、中学校、高等学校の学習指導要領への理解を深め、日本で英語を教えるために必要な基本的知識・技能を身につけてください。		
授業方法 Course Format	本授業では、講義型を中心とする。ただし、毎回テーマに関してペア・ワークまたはグループ・ワークによる議論、発表などを行う。 【オンライン受講許可学生対象】各授業回(授業日)までに、LUNA へ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	＜14回すべて対面授業で実施＞ 【講義】 テーマ: 授業の概要説明、英語教育の目的	【復習課題】120分 第1回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.3～8を読む
第2回 Session 2	【講義】 テーマ: 英語教育学とは何か、Self-Introduction	【復習課題】120分 第2回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.9～13を読む
第3回 Session 3	【講義】 テーマ: 国際化時代の英語の役割と特徴	【復習課題】120分 第3回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 14～26を読む
第4回 Session 4	【講義】 テーマ: 学習指導要領(1) 小学校	【復習課題】120分 第4回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 27～31を読む
第5回 Session 5	【講義】 テーマ: 学習指導要領(2) 中学校	【復習課題】120分 第5回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 31～34を読む
第6回 Session 6	【講義】 テーマ: 学習指導要領(3) 高等学校	【復習課題】120分 第6回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 34～37を読む
第7回 Session 7	【講義】 テーマ: 学習者要因(1)(年齢、言語適性、学習方略)	【復習課題】120分 第7回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 38～45を読む
第8回 Session 8	【講義】 テーマ: 学習者要因(2)(動機づけ、学習者の誤り)	【復習課題】120分 第8回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 46～51を読む
第9回 Session 9	【講義】 テーマ: 教師に関する要因	【復習課題】120分 第9回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 52～64を読む
第10回 Session 10	【講義】 テーマ: 英語教授法(1) オーラル・イントロダクション	【復習課題】120分 第10回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 78～83を読む
第11回 Session 11	【講義】 テーマ: 英語教授法(2) 教授法の種類	【復習課題】120分 第11回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 83～96を読む
	【講義】	【復習課題】120分

第12回 Session 12	テーマ:第二言語習得研究	第12回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 97～109を読む
第13回 Session 13	【講義】 テーマ:コミュニケーション能力の育成	【復習課題】120分 第13回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 110～119を読む
第14回 Session 14	【講義】 テーマ:総括	【復習課題】120分 これまでに学習した事項を総復習すること。 【予習課題】190分 定期試験に備えて、すべての学習事項を復習する

授業計画 Overview for each class	提出物や定期試験等の実施後2～3週間後を目途に、全体の講評を授業において口頭で伝えるか、またはLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名:望月昭彦(編著) タイトル:新学習指導要領に基づく英語科教育法第3版 発行所:大修館書店 出版年:2018 ISB N:9784469246216
教科書 Required texts	文部科学省「小学校・中学校・高等学校学習指導要領(最新版)」
参考書/Reference books	著者名:Ur, P. タイトル:A course in English language teaching (2nd ed.). 発行所:Cambridge University Press. 出版年:2012 ISBN:9781107684676
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編」開隆館出版販売 文部科学省「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編 英語編」開隆堂出版 文部科学省「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編・英語編」開隆堂出版
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されていま す。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	
	授業中試験／In-class examination(03)	20%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note		
	【オンライン受講許可学生対象】定期試験(50%)、授業中試験(20%)に代わる平常レポートを追加で課し、平常レポート100%で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 14時41分10秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜1時限	春学期／Spring	D－203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48017002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法A 2／Methods of Teaching English A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	加賀田 哲也(KAGATA TETSUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、日本における小・中・高の英語教育の現状と課題、及び指導法や言語習得理論について理解し、教育現場へ示唆を与えることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the current situations of English language teaching from elementary to high schools in Japan, and to learn about theories of teaching methods and language acquisition, which help to better understand the educational contexts of English teaching in Japan.		
到達目標/Learning Goals	次の2項目について修得することを到達時の目標とする。(1)日本における小・中・高の英語教育の現状と課題を理解することができる。(2)小・中・高における英語指導法や言語習得理論を理解し、教育現場へ示唆を与えることができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will aquire an undestanding of (a) the current situations of English language teaching from elementary to high schools in Japan, and (b) theories of teaching methods and language acquisition, which help to better understand the educational contexts of English teaching in Japan.		
授業方法 Course Format	基本的には、教員が知識の詳細について解説をしますが、受講生が学習活動の中心となります。ペアやグループワークを積極的に取り入れますので、主体的な参加が求められます。		
検索キーワード/Keywords	日本の英語教育の現状と課題、指導法、言語習得理論		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	日本の英語教育における課題と現状:これまでの英語学習を振り返りながら、課題について考える	第1章を予習しておくこと
第2回 Session 2	第1章:英語を学ぶこと、教えること:英語学習、英語教授の目的や意義について考える	第2章を予習しておくこと
第3回 Session 3	第2章:英語の指導目標と内容:学習指導要領を理解し、目指す英語教育について考える	第3章前半を予習しておくこと
第4回 Session 4	第3章:学習者の要因(1):外国語学習と年齢、外国語の適性について考える	第3章後半を予習しておくこと
第5回 Session 5	第3章:学習者の要因(2):学習者の性格と外国語習得、学習ストラテジーについて考える	第4章を予習しておくこと
第6回 Session 6	第4章:教師の役割と良い教師の条件:外国語教師の役割について考える	第5章前半を予習しておくこと
第7回 Session 7	第5章:言語習得の理論上の諸問題(1):第1言語の役割、文法学習とコミュニケーション能力について考える	第5章後半を予習しておくこと
第8回 Session 8	第5章:言語習得の理論上の諸問題(2):インプット理論、アウトプット理論、インタラクション理論につして考える	第6章前半を予習しておくこと
第9回 Session 9	第6章:英語指導の原理(1):文法訳読法、オーラルメソッドについて考える	第6章後半を予習しておくこと
第10回 Session 10	第6章:英語指導の原理(2):オーラルアプローチ、コミュニケーションアプローチについて考える	書籍やインターネットを通してCLILに関する基本的な知識を理解しておくこと
第11回 Session 11	第6章:英語指導の原理(3):CLIL(内容言語統合型学習)について考える	第20章を予習しておくこと
第12回 Session 12	第20章:テストと評価(1):テストイングについて考える	書籍やインターネットを通して観点別評価に関する基本的な知識を理解しておくこと
第13回 Session 13	第20章:テストと評価(2):観点別評価について考える	レポート課題:与えられた言語活動のルーブリックを作成する
第14回 Session 14	第22章:これからの英語教育:これからの小・中・高における学校英語教育について考える	レポート課題:これからの小学校英語教育に関する自身の考えをまとめる

教科書 Required texts	新編英語科教育法入門、土屋澄男(編)、研究社、2011年、ISBN978-4-327-37512-6
参考文献・資料 Reference books	小学校・中学校・高等学校『学習指導要領 解説 外国語』
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	60%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	その他／Others(99)	10%	授業への積極的な態度(発言など)
更新日時/Date of Update		2022年01月19日 20時10分44秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	B－104

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48017003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法A 3／Methods of Teaching English A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	加賀田 哲也(KAGATA TETSUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、英語教育学に関する基礎的な知識と技能を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to obtain the basic knowledge and skills in English language teaching.		
到達目標/Learning Goals	1. 日本の英語教師に必要な基礎的な知識・技能を身につけることができる。 2. 英語の学習理論を理解することができる。 3. 英語の指導法を理解し実践することができる。 4. 英語教育研究法の基本的事項を理解することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to obtain basic knowledge and skills necessary for English language teachers in Japan. 2. Students will be able to understand English language learning theories. 3. Students will be able to understand English language teaching methods and put them into practice. 4. Students will be able to understand the basic research methods of English language teaching.		
授業の概要・背景 Course Outline	英語教師になるためには、英語によるコミュニケーション能力に加え、応用言語学、第二言語習得、教育学、心理学、社会学などの幅広い知識・技能が必要となります。この授業では、英語教育学の理論と実践に関する基礎的・基本的な内容を学ぶとともに、小学校、中学校、高等学校の学習指導要領への理解を深め、日本で英語を教えるために必要な基本的知識・技能を身につけてください。		
授業方法 Course Format	本授業では、講義型を中心とする。ただし、毎回テーマに関してペア・ワークまたはグループ・ワークによる議論、発表などを行う。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【講義】 テーマ: 授業の概要説明、英語教育の目的	【復習課題】第1回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp.3～8を読む
第2回 Session 2	【講義】 テーマ: 英語教育学とは何か、Self-Introduction	【復習課題】第2回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp.9～13を読む
第3回 Session 3	【講義】 テーマ: 国際化時代の英語の役割と特徴	【復習課題】第3回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 14～26を読む
第4回 Session 4	【講義】 テーマ: 学習指導要領(1) 小学校	【復習課題】第4回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 27～31を読む
第5回 Session 5	【講義】 テーマ: 学習指導要領(2) 中学校	【復習課題】第5回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 31～34を読む
第6回 Session 6	【講義】 テーマ: 学習指導要領(3) 高等学校	【復習課題】第6回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 34～37を読む
第7回 Session 7	【講義】 テーマ: 学習者要因(1) (年齢、言語適性、学習方略)	【復習課題】第7回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 38～45を読む
第8回 Session 8	【講義】 テーマ: 学習者要因(2) (動機づけ、学習者の誤り)	【復習課題】第8回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 46～51を読む
第9回 Session 9	【講義】 テーマ: 教師に関する要因	【復習課題】第9回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 52～64を読む
第10回 Session 10	【講義】 テーマ: 英語教授法(1) オーラル・イントロダクション	【復習課題】第10回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 78～83を読む
第11回 Session 11	【講義】 テーマ: 英語教授法(2) 教授法の種類	【復習課題】第11回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 83～96を読む
第12回 Session 12	【講義】 テーマ: 第二言語習得研究	【復習課題】第12回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 97～109を読む
第13回 Session 13	【講義】 テーマ: コミュニケーション能力の育成	【復習課題】第13回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 110～119を読む
第14回 Session 14	【講義】 テーマ: 総括	【復習課題】これまでに学習した事項を総復習すること。 【予習課題】定期試験に備えて、すべての学習事項を復習する

授業計画 Overview for each class	提出物や定期試験等の実施後2～3週間後を目途に、全体の講評を授業において口頭で伝えるか、またはLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名:望月昭彦(編著) タイトル:新学習指導要領に基づく英語科教育法第3版 発行所:大修館書店 出版年:2018 ISBN:9784469246216
教科書 Required texts	文部科学省「小学校・中学校・高等学校学習指導要領(最新版)」
参考書/Reference books	著者名:Ur, P. タイトル:A course in English language teaching (2nd ed.). 発行所:Cambridge University Press. 出版年:2012 ISBN:9781107684676
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編」開隆館出版販売 文部科学省「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編 英語編」開隆堂出版 文部科学省「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編・英語編」開隆堂出版
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	
	授業中試験／In-class examination(03)	20%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
更新日時/Date of Update		2022年01月19日 20時10分26秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜3時限	秋学期／Fall	C－102

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48017004	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法A 4／Methods of Teaching English A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	三上 明洋(MIKAMI AKIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、英語教育学に関する基礎的な知識と技能を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to obtain the basic knowledge and skills in English language teaching.		
到達目標/Learning Goals	1. 日本の英語教師に必要な基礎的な知識・技能を身につけることができる。 2. 英語の学習理論を理解することができる。 3. 英語の指導法を理解し実践することができる。 4. 英語教育研究法の基本的事項を理解することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to obtain basic knowledge and skills necessary for English language teachers in Japan. 2. Students will be able to understand English language learning theories. 3. Students will be able to understand English language teaching methods and put them into practice. 4. Students will be able to understand the basic research methods of English language teaching.		
授業の概要・背景 Course Outline	英語教師になるためには、英語によるコミュニケーション能力に加え、応用言語学、第二言語習得、教育学、心理学、社会学などの幅広い知識・技能が必要となります。この授業では、英語教育学の理論と実践に関する基礎的・基本的な内容を学ぶとともに、小学校、中学校、高等学校の学習指導要領への理解を深め、日本で英語を教えるために必要な基本的知識・技能を身につけてください。		
授業方法 Course Format	本授業では、講義型を中心とする。ただし、毎回テーマに関してペア・ワークまたはグループ・ワークによる議論、発表などを行う。 【オンライン受講許可学生対象】各授業回(授業日)までに、LUNA へ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	＜14回すべて対面授業で実施＞ 【講義】 テーマ: 授業の概要説明、英語教育の目的	【復習課題】120分 第1回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.3～8を読む
第2回 Session 2	【講義】 テーマ: 英語教育学とは何か、Self-Introduction	【復習課題】120分 第2回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.9～13を読む
第3回 Session 3	【講義】 テーマ: 国際化時代の英語の役割と特徴	【復習課題】120分 第3回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 14～26を読む
第4回 Session 4	【講義】 テーマ: 学習指導要領(1) 小学校	【復習課題】120分 第4回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 27～31を読む
第5回 Session 5	【講義】 テーマ: 学習指導要領(2) 中学校	【復習課題】120分 第5回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 31～34を読む
第6回 Session 6	【講義】 テーマ: 学習指導要領(3) 高等学校	【復習課題】120分 第6回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 34～37を読む
第7回 Session 7	【講義】 テーマ: 学習者要因(1)(年齢、言語適性、学習方略)	【復習課題】120分 第7回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 38～45を読む
第8回 Session 8	【講義】 テーマ: 学習者要因(2)(動機づけ、学習者の誤り)	【復習課題】120分 第8回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 46～51を読む
第9回 Session 9	【講義】 テーマ: 教師に関する要因	【復習課題】120分 第9回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 52～64を読む
第10回 Session 10	【講義】 テーマ: 英語教授法(1) オーラル・イントロダクション	【復習課題】120分 第10回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 78～83を読む
第11回 Session 11	【講義】 テーマ: 英語教授法(2) 教授法の種類	【復習課題】120分 第11回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 83～96を読む
	【講義】	【復習課題】120分

第12回 Session 12	テーマ:第二言語習得研究	第12回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 97～109を読む
第13回 Session 13	【講義】 テーマ:コミュニケーション能力の育成	【復習課題】120分 第13回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 110～119を読む
第14回 Session 14	【講義】 テーマ:総括	【復習課題】120分 これまでに学習した事項を総復習すること。 【予習課題】190分 定期試験に備えて、すべての学習事項を復習する

授業計画 Overview for each class	提出物や定期試験等の実施後2～3週間後を目途に、全体の講評を授業において口頭で伝えるか、またはLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名:望月昭彦(編著) タイトル:新学習指導要領に基づく英語科教育法第3版 発行所:大修館書店 出版年:2018 ISB N:9784469246216
教科書 Required texts	文部科学省「小学校・中学校・高等学校学習指導要領(最新版)」
参考書/Reference books	著者名:Ur, P. タイトル:A course in English language teaching (2nd ed.). 発行所:Cambridge University Press. 出版年:2012 ISBN:9781107684676
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編」開隆館出版販売 文部科学省「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編 英語編」開隆堂出版 文部科学省「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編・英語編」開隆堂出版
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されていま す。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	
	授業中試験／In-class examination(03)	20%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note		
	【オンライン受講許可学生対象】定期試験(50%)、授業中試験(20%)に代わる平常レポートを追加で課し、平常レポート100%で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 14時48分26秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	月曜3時限	春学期／Spring	I－101

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48017005	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法A 5／Methods of Teaching English A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	加賀田 哲也(KAGATA TETSUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、英語教育学に関する基礎的な知識と技能を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to obtain the basic knowledge and skills in English language teaching.		
到達目標/Learning Goals	1. 日本の英語教師に必要な基礎的な知識・技能を身につけることができる。 2. 英語の学習理論を理解することができる。 3. 英語の指導法を理解し実践することができる。 4. 英語教育研究法の基本的事項を理解することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to obtain basic knowledge and skills necessary for English language teachers in Japan. 2. Students will be able to understand English language learning theories. 3. Students will be able to understand English language teaching methods and put them into practice. 4. Students will be able to understand the basic research methods of English language teaching.		
授業の概要・背景 Course Outline	英語教師になるためには、英語によるコミュニケーション能力に加え、応用言語学、第二言語習得、教育学、心理学、社会学などの幅広い知識・技能が必要となります。この授業では、英語教育学の理論と実践に関する基礎的・基本的な内容を学ぶとともに、小学校、中学校、高等学校の学習指導要領への理解を深め、日本で英語を教えるために必要な基本的知識・技能を身につけてください。		
授業方法 Course Format	本授業では、講義型を中心とする。ただし、毎回テーマに関してペア・ワークまたはグループ・ワークによる議論、発表などを行う。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【講義】 テーマ: 授業の概要説明、英語教育の目的	【復習課題】第1回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp.3～8を読む
第2回 Session 2	【講義】 テーマ: 英語教育学とは何か、Self-Introduction	【復習課題】第2回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp.9～13を読む
第3回 Session 3	【講義】 テーマ: 国際化時代の英語の役割と特徴	【復習課題】第3回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 14～26を読む
第4回 Session 4	【講義】 テーマ: 学習指導要領(1)小学校	【復習課題】第4回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 27～31を読む
第5回 Session 5	【講義】 テーマ: 学習指導要領(2)中学校	【復習課題】第5回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 31～34を読む
第6回 Session 6	【講義】 テーマ: 学習指導要領(3)高等学校	【復習課題】第6回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 34～37を読む
第7回 Session 7	【講義】 テーマ: 学習者要因(1)(年齢、言語適性、学習方略)	【復習課題】第7回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 38～45を読む
第8回 Session 8	【講義】 テーマ: 学習者要因(2)(動機づけ、学習者の誤り)	【復習課題】第8回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 46～51を読む
第9回 Session 9	【講義】 テーマ: 教師に関する要因	【復習課題】第9回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 52～64を読む
第10回 Session 10	【講義】 テーマ: 英語教授法(1)オーラル・イントロダクション	【復習課題】第10回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 78～83を読む
第11回 Session 11	【講義】 テーマ: 英語教授法(2)教授法の種類	【復習課題】第11回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 83～96を読む
第12回 Session 12	【講義】 テーマ: 第二言語習得研究	【復習課題】第12回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 97～109を読む
第13回 Session 13	【講義】 テーマ: コミュニケーション能力の育成	【復習課題】第13回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】教科書pp. 110～119を読む
第14回 Session 14	【講義】 テーマ: 総括	【復習課題】これまでに学習した事項を総復習すること。 【予習課題】定期試験に備えて、すべての学習事項を復習する

授業計画 Overview for each class	提出物や定期試験等の実施後2～3週間後を目途に、全体の講評を授業において口頭で伝えるか、またはLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名:望月昭彦(編著) タイトル:新学習指導要領に基づく英語科教育法第3版 発行所:大修館書店 出版年:2018 ISBN:9784469246216
教科書 Required texts	文部科学省「小学校・中学校・高等学校学習指導要領(最新版)」
参考書/Reference books	著者名:Ur, P. タイトル:A course in English language teaching (2nd ed.). 発行所:Cambridge University Press. 出版年:2012 ISBN:9781107684676
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編」開隆館出版販売 文部科学省「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編 英語編」開隆堂出版 文部科学省「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編・英語編」開隆堂出版
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	
	授業中試験／In-class examination(03)	20%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
更新日時/Date of Update		2022年01月19日 20時11分02秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	B－104

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48018001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法B 1／Methods of Teaching English B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	立花 千尋(TACHIBANA CHIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成のための授業づくりができるように、模擬授業を通して具体的な指導法を理解し、実際の学校現場の授業に生かされるような実践力を身につける。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the importance of communicative language teaching(CLT) and the practical language activities based on CLT through mock classes in the classroom settings.		
到達目標/Learning Goals	中等教育でのより良い英語授業づくりに向けて、その基本的な指導方法を習得することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students can learn the basic way of effective English language teaching for students in the secondary schools		
授業の概要・背景 Course Outline	中等英語科教育法の実践編であり、具体的な指導法を中心に学びつつ、なるべく理論に裏付けられた具体的指導方法を皆でアイデアを出し合いながら考える。		
授業方法 Course Format	対面授業： 前半は教科書に関する課題を基に講義を中心とし、後半は発表・討論・実習(模擬授業)等を実施する(積極的発言を求める) 予習提出課題の検討		
関連科目/Related Courses	英語科教育法A、英語科教育法C、英語科教育法D 「英語科教育法A」を履修済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	模擬授業、学習指導案、学習活動、言語活動、授業構成、単元構成		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	授業オリエンテーション。授業の目標・シラバスとその進め方。	添付ファイルのパワーポイント資料を読んで把握してください。
第2回 Session 2	新学習指導要領に基づく授業の在り方。英語コミュニケーション能力の育成とは。	添付ファイルPDF(2枚)中学校・高等学校学習指導要領(英語編)に目を通しておいて下さい。学習指導要領で謳っている「英語コミュニケーション能力」とは何かを説明できるようにしてください。
第3回 Session 3	英語の授業(中学校編)、英語の授業(高校編)「第1章」	
第4回 Session 4	授業の構成(年間・単元指導計画・1時間の授業指導計画)、学習指導案作成「第2章」	
第5回 Session 5	Listeningの指導(インプット活動)「第3章」	
第6回 Session 6	Speakingの指導(アウトプット活動)「第4章」	
第7回 Session 7	Readingの指導(インプット活動)「第5章」	
第8回 Session 8	Writingの指導(アウトプット活動)「第6章」	
第9回 Session 9	模擬授業or授業DVD視聴による授業研究(1)	
第10回 Session 10	模擬授業or授業DVD視聴による授業研究(2)	
第11回 Session 11	模擬授業or授業DVD視聴による授業研究(3)	
第12回 Session 12	模擬授業or授業DVD視聴による授業研究(4)	
第13回 Session 13	模擬授業or授業DVD視聴による授業研究(5)	
第14回 Session 14	模擬授業or授業DVD視聴による授業研究(6)	

授業外学修 Study Required outside Class	シラバスに示している次時の授業で扱う教科書の章を読み、重要と思われる点を挙げておく。また、疑問点や気になる点があれば挙げておく。授業に関する予習課題を提出する。発表する模擬授業に関して与えられたテーマや課題に対する事前の準備をしておく。テーマに応じた題材、教材・教具をリサーチしリハーサルをして準備を整えておく。

教科書/Required texts	著者名：米山朝治二 タイトル：『英語教育：実践から理論へ』 発行所：松柏社 出版年：2014 ISBN：978-4-402-01832-0 C4382, 978-4-7754-0010-4 著者名：立花千尋、その他 タイトル：文部科学省検定済教科書 中学校外国語科用「BLUE SKY English course1,2,3」 発行所：啓林館 出版年：2021 ISBN：978-4-402-01830-6 C4382, 978-4-402-01832-0 C4382
教科書 Required texts	『英語教育：実践から理論へ』 文部科学省検定済教科書 中学校外国語科用「BLUE SKY English course1,2,3」啓林館
参考文献・資料 Reference books	『中学校学習指導要領解説：外国語（英語）編』 『高等学校学習指導要領解説：外国語（英語）編』 『英語科教育実習ハンドブック』（大修館書店）
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	定期試験／Final Examination(01)	60%		
	平常レポート／Individual reports(04)	40%		
添付ファイル1/File Attachment 1	英語科教育法B（1）PDF.pdf		説明1/Explanation 1	第1回 オリエンテーション用資料PDF添付
添付ファイル3/File Attachment 3	中学校学習指導要領（平成29 年告示）解説.pdf		説明3/Explanation 3	新学習指導要領中学校、2021年度よりスタート
添付ファイル4/File Attachment 4	高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説.pdf		説明4/Explanation 4	新学習指導要領高等学校2022年度よりスタート
更新日時/Date of Update	2022年03月25日 03時10分26秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	G-IS106

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48018002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法B 2／Methods of Teaching English B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	三上 明洋(MIKAMI AKIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、日本で英語を教えるために必要な幅の広い知識・技能を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to obtain broad knowledge and skills necessary for teaching English in Japan.		
到達目標/Learning Goals	1. 日本の英語教師に必要な幅広い知識と技能を身につけることができる。 2. 英語の学習理論を理解することができる。 3. 英語の指導法を理解し実践することができる。 4. 英語教育研究法の基本的事項を理解することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to obtain broad knowledge and skills necessary for English language teachers in Japan. 2. Students will be able to understand English language learning theories. 3. Students will be able to understand English language teaching methods and put them into practice. 4. Students will be able to understand the basic research methods of English language teaching.		
授業の概要・背景 Course Outline	この授業では、英語教育学の理論と実践に関する基礎的・基本的な内容を幅広く学び、日本で英語を教えるために必要な基本的知識・技能を身につけてください。特に、学習指導案の作成と模擬授業の実施を通じて、効果的な英語授業の在り方について理論と実践の両面から理解を深めてください。また、ICTを活用した指導方法などについても理解を深めてください。		
授業方法 Course Format	本授業では、講義型を中心とする。ただし、学習指導案の作成や模擬授業の実施など、ペアワークまたはグループワークなどによる議論あるいは全体発表などを行う。 【オンライン受講許可学生対象】各授業回(授業日)までに、LUNA へ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。ただし、オンライン受講許可学生による模擬授業は、Zoomによる同時双方向型で実施する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	<14回すべて対面授業で実施> 【講義】 テーマ:授業の概要説明、リスニングの指導	【復習課題】120分 第1回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.120～134を読む
第2回 Session 2	【講義】 テーマ:スピーキングの指導	【復習課題】120分 第2回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.135～147を読む
第3回 Session 3	【講義】 テーマ:リーディングの指導	【復習課題】120分 第3回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.148～162を読む
第4回 Session 4	【講義】 テーマ:学習指導案の作成(1)	【復習課題】140分 学習指導案の指導計画を具体化しておくこと 【予習課題】80分 教科書pp.274～292を読む
第5回 Session 5	【講義】 テーマ:ライティングの指導	【復習課題】120分 第5回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.163～177を読む
第6回 Session 6	【講義】 テーマ:模擬授業(1)グループ1の学生による実践	【復習課題】110分 自分の実施した模擬授業を振り返り、計画通りにできた点と改善の必要な点について整理しておくこと。他者の模擬授業を参観した場合は、参考になった点を整理しておくこと。 【予習課題】80分 自分の作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実践できるよう練習する
第7回 Session 7	【講義】 テーマ:模擬授業(2)グループ2の学生による実践	【復習課題】110分 自分の実施した模擬授業を振り返り、計画通りにできた点と改善の必要な点について整理しておくこと。他者の模擬授業を参観した場合は、参考になった点を整理しておくこと。 【予習課題】80分 自分の作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実践できるよう練習する
第8回 Session 8	【講義】 テーマ:模擬授業(3)グループ3の学生による実践	【復習課題】110分 自分の実施した模擬授業を振り返り、計画通りにできた点と改善の必要な点について整理しておくこと。他者の模擬授業を参観した場合は、参考になった点を整理しておくこと。 【予習課題】80分 自分の作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実践できるよう練習する。
第9回 Session 9	【講義】 テーマ:ティーム・ティーチング、学習指導案の作成(2)	【復習課題】130分 第9回授業時に配布する資料を見直しておくこと、また学習指導案の続きを作成しておくこと

Session 9		【予習課題】60分 教科書pp.178～187を読む
第10回 Session 10	【講義】 テーマ: 測定と評価	【復習課題】120分 第10回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.188～200を読む
第11回 Session 11	【講義】 テーマ: ICTとeラーニング、学習指導案の作成(3)	【復習課題】130分 第11回授業時に配布する資料を見直しておくこと、また学習指導案を完成させること 【予習課題】60分 教科書pp. 201～212を読む
第12回 Session 12	【講義】 テーマ: 教科書と教材研究	【復習課題】120分 第12回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 213～225を読む
第13回 Session 13	【講義】 テーマ: 文法の指導	【復習課題】120分 第13回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 226～240を読む
第14回 Session 14	【講義】 テーマ: 総括	【復習課題】160分 これまでに学習した事項を総復習すること。 【予習課題】60分 定期試験に備えて、すべての学習事項を復習する

授業計画 Overview for each class	提出物や定期試験等の実施後2～3週間後を目途に、全体の講評を授業において口頭で伝えるか、またはLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名: 望月昭彦(編著) タイトル: 新学習指導要領に基づく英語科教育法第3版 発行所: 大修館書店 出版年: 2018 ISB N: 9784469246216
教科書 Required texts	文部科学省「小学校・中学校・高等学校学習指導要領(最新版)」
参考書/Reference books	著者名: Ur, P. タイトル: A course in English language teaching (2nd ed.). 発行所: Cambridge University Press. 出版年: 2012 ISBN: 9781107684676
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編」開隆館出版販売 文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編 英語編』開隆堂出版 文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編・英語編』開隆堂出版
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	30%	
	平常レポート／Individual reports(04)	20%	
	その他／Others(99)	50%	模擬授業の内容・課題・討論への参加態度などによる評価
	備考 Note		
	【オンライン受講許可学生対象】定期試験(30%)に代わる平常レポートを追加で課し、平常レポート(合計50%)とその他(50%)で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 14時53分51秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜2時限	秋学期／Fall	C-204

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48018003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法B 3／Methods of Teaching English B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	三上 明洋(MIKAMI AKIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、日本で英語を教えるために必要な幅の広い知識・技能を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to obtain broad knowledge and skills necessary for teaching English in Japan.		
到達目標/Learning Goals	1. 日本の英語教師に必要な幅広い知識と技能を身につけることができる。 2. 英語の学習理論を理解することができる。 3. 英語の指導法を理解し実践することができる。 4. 英語教育研究法の基本的事項を理解することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to obtain broad knowledge and skills necessary for English language teachers in Japan. 2. Students will be able to understand English language learning theories. 3. Students will be able to understand English language teaching methods and put them into practice. 4. Students will be able to understand the basic research methods of English language teaching.		
授業の概要・背景 Course Outline	この授業では、英語教育学の理論と実践に関する基礎的・基本的な内容を幅広く学び、日本で英語を教えるために必要な基本的知識・技能を身につけてください。特に、学習指導案の作成と模擬授業の実施を通じて、効果的な英語授業の在り方について理論と実践の両面から理解を深めてください。また、ICTを活用した指導方法などについても理解を深めてください。		
授業方法 Course Format	本授業では、講義型を中心とする。ただし、学習指導案の作成や模擬授業の実施など、ペアワークまたはグループワークなどによる議論あるいは全体発表などを行う。 【オンライン受講許可学生対象】各授業回(授業日)までに、LUNA へ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。ただし、オンライン受講許可学生による模擬授業は、Zoomによる同時双方向型で実施する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	<14回すべて対面授業で実施> 【講義】 テーマ: 授業の概要説明、リスニングの指導	【復習課題】120分 第1回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.120～134を読む
第2回 Session 2	【講義】 テーマ: スピーキングの指導	【復習課題】120分 第2回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.135～147を読む
第3回 Session 3	【講義】 テーマ: リーディングの指導	【復習課題】120分 第3回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.148～162を読む
第4回 Session 4	【講義】 テーマ: 学習指導案の作成(1)	【復習課題】140分 学習指導案の指導計画を具体化しておくこと 【予習課題】80分 教科書pp.274～292を読む
第5回 Session 5	【講義】 テーマ: ライティングの指導	【復習課題】120分 第5回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.163～177を読む
第6回 Session 6	【講義】 テーマ: 模擬授業(1)グループ1の学生による実践	【復習課題】110分 自分の実施した模擬授業を振り返り、計画通りにできた点と改善の必要な点について整理しておくこと。他者の模擬授業を参観した場合は、参考になった点を整理しておくこと。 【予習課題】80分 自分の作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実践できるよう練習する
第7回 Session 7	【講義】 テーマ: 模擬授業(2)グループ2の学生による実践	【復習課題】110分 自分の実施した模擬授業を振り返り、計画通りにできた点と改善の必要な点について整理しておくこと。他者の模擬授業を参観した場合は、参考になった点を整理しておくこと。 【予習課題】80分 自分の作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実践できるよう練習する
第8回 Session 8	【講義】 テーマ: 模擬授業(3)グループ3の学生による実践	【復習課題】110分 自分の実施した模擬授業を振り返り、計画通りにできた点と改善の必要な点について整理しておくこと。他者の模擬授業を参観した場合は、参考になった点を整理しておくこと。 【予習課題】80分 自分の作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実践できるよう練習する。
第9回 Session 9	【講義】 テーマ: ティーム・ティーチング、学習指導案の作成(2)	【復習課題】130分 第9回授業時に配布する資料を見直しておくこと、また学習指導案の続きを作成しておくこと

		【予習課題】60分 教科書pp.178～187を読む
第10回 Session 10	【講義】 テーマ：測定と評価	【復習課題】120分 第10回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.188～200を読む
第11回 Session 11	【講義】 テーマ：ICTとeラーニング、学習指導案の作成（3）	【復習課題】130分 第11回授業時に配布する資料を見直しておくこと、また学習指導案を完成させること 【予習課題】60分 教科書pp. 201～212を読む
第12回 Session 12	【講義】 テーマ：教科書と教材研究	【復習課題】120分 第12回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 213～225を読む
第13回 Session 13	【講義】 テーマ：文法の指導	【復習課題】120分 第13回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp. 226～240を読む
第14回 Session 14	【講義】 テーマ：総括	【復習課題】160分 これまでに学習した事項を総復習すること。 【予習課題】60分 定期試験に備えて、すべての学習事項を復習する

授業計画 Overview for each class	提出物や定期試験等の実施後2～3週間後を目途に、全体の講評を授業において口頭で伝えるか、またはLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名：望月昭彦（編著） タイトル：新学習指導要領に基づく英語科教育法第3版 発行所：大修館書店 出版年：2018 ISB N：9784469246216
教科書 Required texts	文部科学省「小学校・中学校・高等学校学習指導要領（最新版）」
参考書/Reference books	著者名：Ur, P. タイトル：A course in English language teaching (2nd ed.). 発行所：Cambridge University Press. 出版年：2012 ISBN：9781107684676
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編」開隆館出版販売 文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編 英語編』開隆堂出版 文部科学省『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 外国語編・英語編』開隆堂出版
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	30%	
	平常リポート／Individual reports(04)	20%	
	その他／Others(99)	50%	模擬授業の内容・課題・討論への参加態度などによる評価
	備考 Note		
	【オンライン受講許可学生対象】定期試験(30%)に代わる平常リポートを追加で課し、平常リポート(合計50%)とその他(50%)で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 14時55分45秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	木曜1時限	秋学期／Fall	D－203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48018004	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法B 4/Methods of Teaching English B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期/Fall
担当者/Instructor	立花 千尋(TACHIBANA CHIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成のための授業づくりができるように、模擬授業を通して具体的な指導法を理解し、実際の学校現場の授業に生かされるような実践力を身につける。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the importance of communicative language teaching(CLT) and the practical language activities based on CLT through mock classes in the classroom settings.		
到達目標/Learning Goals	中等教育でのより良い英語授業づくりに向けて、その基本的な指導方法を習得することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students can learn the basic way of effective English language teaching for students in the secondary schools		
授業の概要・背景 Course Outline	中等英語科教育法の実践編であり、具体的な指導法を中心に学びつつ、なるべく理論に裏付けられた具体的指導方法を皆でアイデアを出し合いながら考える。		
授業方法 Course Format	対面授業: 前半は課題を基に講義を中心とし、後半は発表・討論・実習(模擬授業)等を実施する 予習課題の検討		
関連科目/Related Courses	英語科教育法A、英語科教育法C、英語科教育法D 英語科教育法Aを履修済み、または同時履修していることが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	模擬授業、学習指導案、学習活動、言語活動、授業構成、単元構成		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	授業オリエンテーション。授業の目標・シラバスとその進め方。	添付ファイルのパワーポイント資料を読んで把握してください。
第2回 Session 2	新学習指導要領に基づく授業の在り方。英語コミュニケーション能力の育成とは。	添付ファイルPDF(2枚)中学校・高等学校学習指導要領(英語編)に目を通しておいて下さい。学習指導要領で謳っている「英語コミュニケーション能力」とは何かを説明できるようにしてください。
第3回 Session 3	英語の授業(中学校編)、英語の授業(高校編)「第1章」	
第4回 Session 4	授業の構成(年間・単元指導計画・1時間の授業指導計画)、学習指導案作成「第2章」	
第5回 Session 5	Listeningの指導(インプット活動)「第3章」	
第6回 Session 6	Speakingの指導(アウトプット活動)「第4章」	
第7回 Session 7	Readingの指導(インプット活動)「第5章」	
第8回 Session 8	Writingの指導(アウトプット活動)「第6章」	
第9回 Session 9	模擬授業(or授業DVD視聴による授業研究)(1)	
第10回 Session 10	模擬授業(or授業DVD視聴による授業研究)(2)	
第11回 Session 11	模擬授業(or授業DVD視聴による授業研究)(3)	
第12回 Session 12	模擬授業(or授業DVD視聴による授業研究)(4)	
第13回 Session 13	模擬授業(or授業DVD視聴による授業研究)(5)	
第14回 Session 14	模擬授業(or授業DVD視聴による授業研究)(6)	

授業外学修 Study Required outside Class	シラバスに示している次時の授業で扱う教科書の章を読み、重要と思われる点を挙げておく。また、疑問点や気になる点があれば挙げておく。予習課題あり。発表する模擬授業に関して与えられたテーマや課題に対する事前の準備をしておく。テーマに応じた題材、教材・教具をリサーチしリハーサルをして準備を整えておく。

教科書/Required texts	著者名: 米山朝治二 タイトル:『英語教育:実践から理論へ』 発行所:松柏社 出版年:2014 ISBN:978-4-7754-0010-4 著者名: 立花千尋、その他 タイトル:文部科学省検定済教科書 中学校外国語科用「BLUE SKY English course1,2,3」 発行所:啓林館 出版年:2021 ISBN:978-4-402-01830-6 C4382, 978-4-402-01832-0 C4382
教科書 Required texts	『英語教育:実践から理論へ』 文部科学省検定済教科書 中学校外国語科用「BLUE SKY English course1,2,3」啓林館
参考文献・資料 Reference books	『中学校学習指導要領解説:外国語(英語)編』 『高等学校学習指導要領解説:外国語(英語)編』 『英語科教育実習ハンドブック』(大修館書店)
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	定期試験／Final Examination(01)	60%	オンラインによる試験	
	平常リポート／Individual reports(04)	40%	オンラインによるリポート	
備考 Note	LUNA科目ホームページURL（2021年度秋学期「英語科教育法B4」） https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_203097_1&cmp_tab_id=_239137_1&editMode=true&mode=cpview ZOOM招待URLは上記の科目ホームページLUNAの「お知らせ」に第1回授業前日までに掲載します。提示したZOOMURLから授業に入ってください。 メールアドレス:byk20360@kwansei.ac.jp			
添付ファイル1/File Attachment 1	英語科教育法B（1）PDF.pdf		説明1/Explanation 1	第1回 オリエンテーション用資料PDF添付
添付ファイル3/File Attachment 3	中学校学習指導要領（平成29 年告示）解説.pdf		説明3/Explanation 3	新学習指導要領中学校、2021年度よりスタート
添付ファイル4/File Attachment 4	高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説.pdf		説明4/Explanation 4	新学習指導要領高等学校2022年度よりスタート
更新日時/Date of Update	2022年03月25日 03時13分10秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期/Fall	火曜4時限	秋学期/Fall	II-204

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48019001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法C 1／Methods of Teaching English C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	澤田 和哉(SAWADA KAZUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	模擬授業の発表を通じて授業方法の向上を話し合う。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is to learn how to teach English by reading the textbook as well as giving a short lesson in front of the class and exchanging ideas as to how to improve one's own lessons.		
到達目標/Learning Goals	実践を通じて4技能の指導法、発音に関する知識を習得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	The goal of this course is to learn four skills of English, listening, speaking , reading, and writing through hands-on activities and knowledge on English pronunciation .		
授業方法 Course Format	教科書の例を参考にして授業方法を自分で考え他の学生の前でミニ授業を発表し、お互いに意見交換をしあう。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	模擬授業を行う分野(読む、書く、話す、聞く、発音、統合)を選択する。課題、評価についての説明。必ず出席すること。	
第2回 Session 2	テキストに従ってスピーキング・リスニングの指導法について概説する。	
第3回 Session 3	テキストに従ってリーディング・ライティングの指導法について概説する。	
第4回 Session 4	リスニング(bottom-upな側面)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第5回 Session 5	リスニング(top-downな側面)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第6回 Session 6	スピーキング(closed-ended taskを中心とする)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第7回 Session 7	スピーキング(open-ended taskを中心とする)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第8回 Session 8	リーディング(精読)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第9回 Session 9	リーディング(速読)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第10回 Session 10	ライティング(closed-ended taskを中心とする)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第11回 Session 11	ライティング(open-ended taskを中心とする)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第12回 Session 12	発音の諸相に関する概説と発音指導の実際例の紹介。	
第13回 Session 13	発音の指導に関する模擬授業とその批評。	
第14回 Session 14	integrationの指導に関する理論背景の概説と語彙指導の実際例の紹介。	

授業外学修 Study Required outside Class	テキストを読み英文の内容を理解してくること。

教科書/Required texts	著者名:大喜多喜夫 タイトル:To Learn How to Teach English 発行所:関西学院プレス 出版年:2015 ISBN:9784862832078
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	100%	試験での評価とするが授業への貢献度により減点することがある。
更新日時/Date of Update		2022年02月24日 11時48分50秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜2時限	春学期／Spring	G－208

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48019002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法C 2／Methods of Teaching English C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	澤田 和哉(SAWADA KAZUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	模擬授業の発表を通じて授業方法の向上を話し合う。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is to learn how to teach English by reading the textbook as well as giving a short lesson in front of the class and exchanging ideas as to how to improve one's own lessons.		
到達目標/Learning Goals	実践を通じて4技能の指導法を習得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	The goal of this course is to learn four skills of English, listening, speaking , reading, and writing through hands-on activities.		
授業方法 Course Format	教科書の例を参考にして授業方法を自分で考え他の学生の前でミニ授業を発表し、お互いに意見交換をしよう。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	模擬授業を行う分野(読む、書く、話す、聞く、発音、統合)を選択する。課題、評価についての説明。必ず出席すること。	
第2回 Session 2	テキストに従ってスピーキング・リスニングの指導法について概説する。	
第3回 Session 3	テキストに従ってリーディング・ライティングの指導法について概説する。	
第4回 Session 4	リスニング(bottom-upな側面)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第5回 Session 5	リスニング(top-downな側面)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第6回 Session 6	スピーキング(closed-ended taskを中心とする)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第7回 Session 7	スピーキング(open-ended taskを中心とする)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第8回 Session 8	リーディング(精読)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第9回 Session 9	リーディング(速読)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第10回 Session 10	ライティング(closed-ended taskを中心とする)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第11回 Session 11	ライティング(open-ended taskを中心とする)の指導に関する模擬授業とその批評。	
第12回 Session 12	発音の諸相に関する概説と発音指導の実例の紹介。	
第13回 Session 13	発音の指導に関する模擬授業とその批評。	
第14回 Session 14	integrationの指導に関する理論背景の概説と語彙指導の実例の紹介。	

授業外学修 Study Required outside Class	テキストを読み英文の内容を理解してくること。

教科書/Required texts	著者名:大喜多喜夫 タイトル:To Learn How to Teach English 発行所:関西学院プレス 出版年:2015 ISBN: 9784862832078
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	100%	試験での評価とするが授業への貢献度により減点することがある。
更新日時/Date of Update		2022年02月24日 11時49分03秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	金曜2時限	春学期／Spring	G－207

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48019003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法C 3／Methods of Teaching English C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	加賀田 哲也(KAGATA TETSUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、英語技能の実践的な指導方法について、マイクロティーチングを通し、さらに理解を深めることである。また、学習指導案を作成したり、教材を研究、開発したりする能力を養うことである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to further understand and enhance their teaching skills of listening, reading, speaking (interaction/speech) and writing as well as letters, pronunciation, vocabulary, and grammar through micro-teaching, to write up instruction procedure, and also to research on and develop teaching materials.		
到達目標/Learning Goals	次の2項目について修得することを到達時の目標とする。(1) 英語技能や文字、発音、語彙、文法などについて、実践的な指導方法について、マイクロティーチングを通し、さらに理解を深めることができる。(2) 学習指導案を作成したり、教材を研究、開発したりする能力を養うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of (a) teaching skills of listening, reading, speaking (interaction/speech) and writing, as well as letters, pronunciation, vocabulary, and grammar through micro-teaching, (b) how to write up instruction procedure, and (c) the way to research on and develop teaching materials.		
授業方法 Course Format	基本的には、教員が知識の詳細について解説をしますが、受講生が学習活動の中心となります。ペアやグループワークを積極的に取り入れますので、主体的な参加が求められます。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	授業づくりのポイント(1):バックワードデザイン、授業の組み立て	学習の振り返り (「振り返りシート」への記入)
第2回 Session 2	授業づくりのポイント(2):学習指導案の作成の仕方	学習の振り返り (「振り返りシート」への記入)
第3回 Session 3	第11章「聞くこと」の指導:授業づくりのポイント・教材研究(簡単な実技を含む)	学習の振り返り (「振り返りシート」への記入)
第4回 Session 4	第12章「話すこと」の指導:授業づくりのポイント・教材研究(簡単な実技を含む)	学習の振り返り (「振り返りシート」への記入)
第5回 Session 5	第13章「読むこと」の指導:授業づくりのポイント・教材研究(簡単な実技を含む)	学習の振り返り (「振り返りシート」への記入)
第6回 Session 6	第14章「書くこと」の指導:授業づくりのポイント・教材研究(簡単な実技を含む)	学習の振り返り (「振り返りシート」への記入)
第7回 Session 7	第15章 言語技能を統合した指導:授業づくりのポイント・教材研究(簡単な実技を含む)	学習の振り返り (「振り返りシート」への記入)
第8回 Session 8	第7章 発音の指導:授業づくりのポイント・教材研究(簡単な実技を含む)	学習の振り返り (「振り返りシート」への記入)
第9回 Session 9	第8章 文字と綴り字の指導:授業づくりのポイント・教材研究(簡単な実技を含む)	学習の振り返り (「振り返りシート」への記入)
第10回 Session 10	第9章 語彙の指導:授業づくりのポイント・教材研究(簡単な実技を含む)	学習の振り返り (「振り返りシート」への記入)
第11回 Session 11	第10章 文法の指導:授業づくりのポイント・教材研究(簡単な実技を含む)	学習の振り返り (「振り返りシート」への記入)
第12回 Session 12	模擬授業(1):「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の指導における模擬授業の実施	学習の振り返り (「振り返りシート」への記入)
第13回 Session 13	模擬授業(2):「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の指導における模擬授業の実施	学習の振り返り (「振り返りシート」への記入)
第14回 Session 14	模擬授業(3):「文法」の指導における模擬授業の実施	学習の振り返り (「振り返りシート」への記入)

教科書 Required texts	『新編英語科教育法入門』土屋澄男(編)、研究社、2011。ISBN978-4-327-37512-6
参考文献・資料 Reference books	小学校、中学校、高等学校『学習指導要領 外国語』
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	
	平常リポート／Individual reports(04)	20%	模擬授業への振り返りの内容
	その他／Others(99)	30%	毎回の「振り返りシート」の内容、授業への積極的な態度
更新日時/Date of Update		2022年01月19日 20時11分22秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜4時限	秋学期／Fall	C－102

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48019004	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法C 4／Methods of Teaching English C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	三上 明洋(MIKAMI AKIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、マイクロティーチングを通じて、日本において学習指導要領を踏まえた効果的な英語指導を実践するために必要な知識・技能を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to obtain knowledge and skills necessary for teaching English effectively based on the Courses of Study in Japan.		
到達目標/Learning Goals	1. 学習指導要領を踏まえた効果的な英語指導法を理解することができる。 2. 学習指導要領に基づき、英語で授業を実践することができる。 3. 英語教育における評価法を理解し自分の授業で実践することができる。 4. 英語教育研究法を応用し、自分の授業を改善することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to understand effective English language teaching methods and techniques based on the Courses of Study. 2. Students will be able to conduct English language lessons in English based on the Courses of Study. 3. Students will be able to understand English language testing theories and apply them in their classroom teaching. 4. Students will be able to apply research methods of English language teaching for their classroom teaching improvement.		
授業の概要・背景 Course Outline	この授業では、模擬授業を繰り返し計画・実践することを通じて、学習指導要領に基づき、英語で授業を実践するために必要な知識・技能を身につけてください。また、統合的技能の活動や適切な評価法の実践などについても理解を深めてください。		
授業方法 Course Format	本授業では、講義型を基本とする。ただし、マイクロティーチングにおいては、教師役と生徒役に分かれて順に模擬授業を実践することが求められる。そのため、各自で学習指導案を作成し、模擬授業を実施することに加え、ペア・ワークまたはグループ・ワークによる議論、発表なども取り入れる。 【オンライン受講許可学生対象】各授業回(授業日)までに、LUNA へ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。ただし、オンライン受講許可学生による模擬授業のみ、Zoomによる同時双方向型で実施する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	＜14回すべて対面授業で実施＞ 【講義】 テーマ：授業の概要説明、授業の組み立て方	【復習課題】120分 第1回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.1～5を読む
第2回 Session 2	【講義】 テーマ：Oral Introduction 1 学習指導案の作成	【復習課題】120分 第2回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.9～18, 50～79を読む
第3回 Session 3	【講義】 テーマ：Oral Introduction 2 模擬授業の実施(グループ内)	【復習課題】130分 自分の実施した模擬授業を振り返り、計画通りにできた点と改善の必要な点について整理しておくこと。他者の模擬授業について、参考になった点を整理しておくこと。 【予習課題】60分 自分の作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実践できるよう練習する
第4回 Session 4	【講義】 テーマ：Oral Introduction 3 模擬授業の実施(クラス全体)	【復習課題】130分 自分の実施した模擬授業を振り返り、計画通りにできた点と改善の必要な点について整理しておくこと。他者の模擬授業を参観した場合は、参考になった点を整理しておくこと。 【予習課題】60分 自分の作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実践できるよう練習する
第5回 Session 5	【講義】 テーマ：Model Reading 1 模擬授業の実施(グループ内)	【復習課題】120分 第5回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書p.19, pp.80～84を読む
第6回 Session 6	【講義】 テーマ：Model Reading 2 模擬授業の実施(クラス全体)	【復習課題】130分 自分の実施した模擬授業を振り返り、計画通りにできた点と改善の必要な点について整理しておくこと。他者の模擬授業を参観した場合は、参考になった点を整理しておくこと。 【予習課題】60分 自分の作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実践できるよう練習する
第7回 Session 7	【講義】 テーマ：Activities(音声中心) 1 学習指導案の作成	【復習課題】120分 第7回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.25～26, 104～114, 119～128を読む
第8回 Session 8	【講義】 テーマ：Activities(音声中心) 2 模擬授業の実施(グループ内)	【復習課題】120分 自分の実施した模擬授業を振り返り、計画通りにできた点と改善の必要な点について整理しておくこと。他者の模擬授業について、参考になった点を整理しておくこと。

		【予習課題】70分 自分の作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実践できる よう練習する
第9回 Session 9	【講義】 テーマ: Activities(統合的スキル) 1 学習指導案の作成	【復習課題】120分 第9回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.114～118, 128～135を読む
第10回 Session 10	【講義】 テーマ: Activities(統合的スキル) 2 模擬授業の実施(グループ 内)	【復習課題】130分 自分の実施した模擬授業を振り返り、計画通りにできた点と改 善の必要な点について整理しておくこと。他者の模擬授業につ いて、参考になった点を整理しておくこと。 【予習課題】60分 自分の作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実践できる よう練習する
第11回 Session 11	【講義】 テーマ: テスト・評価 1 学習指導案の作成	【復習課題】120分 第11回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.172～187を読む
第12回 Session 12	【講義】 テーマ: テスト・評価 2 模擬授業の実施(グループ内)	【復習課題】120分 自分の実施した模擬授業を振り返り、計画通りにできた点と改 善の必要な点について整理しておくこと。他者の模擬授業につ いて、参考になった点を整理しておくこと。 【予習課題】70分 自分の作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実践できる よう練習する
第13回 Session 13	【講義】 テーマ: テスト・評価 3 模擬授業の実施(クラス全体)	【復習課題】120分 自分の実施した模擬授業を振り返り、計画通りにできた点と改 善の必要な点について整理しておくこと。他者の模擬授業を参 観した場合は、参考になった点を整理しておくこと。 【予習課題】70分 自分の作成した学習指導案に基づいて模擬授業を実践できる よう練習する
第14回 Session 14	【講義】 テーマ: 総括	【復習課題】120分 これまでに学習した事項を総復習すること。 【予習課題】70分 これまでに自分の作成した学習指導案と実践した模擬授業を 再度振り返り、英語授業の組み立て方を復習する。

授業計画 Overview for each class	課題提出の実施後2～3週間後を目途に、全体の講評を授業において口頭で伝えるか、またはLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名: 一般財団法人語学教育研究所 タイトル: 英語授業の「型」づくり: おさえておきたい指導の基本 発行所: 大修館書店 出版年: 2021 ISBN: 9784469246520
教科書 Required texts	文部科学省「小学校・中学校・高等学校学習指導要領(最新版)」
参考書/Reference books	著者名: 本多敏幸 タイトル: 若手英語教師のためのよい授業をつくる30章 発行所: 教育出版 出版年: 2011 ISBN: 9784316803210
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編」開隆館出版販売 文部科学省「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編 英語編」開隆堂出版 文部科学省「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編・英語編」開隆堂出版
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されていま す。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	40%	
	その他/Others(99)	60%	模擬授業の内容・課題・討論への参加態度などによる評価
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 16時41分34秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期/Spring	月曜2時限	春学期/Spring	I-101

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48020001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法D 1／Methods of Teaching English D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	澤田 和哉(SAWADA KAZUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	言語習得に関わる知識の習得と、文章を要約して説明するという英語教師に欠かせない能力の養成。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is to acquire knowledge concerning language learning and the ability to summarize what you read, which is essential for English teachers.		
到達目標/Learning Goals	効果的な言語習得に必要な教授法に関わる専門的知識を身に着ける。		
到達目標(英文) Learning Goals	The goal of this course is to acquire sufficient expertise concerned with effective language learning.		
授業方法 Course Format	教科書の指定された個所を読み事前に出題された質問に答得てきたものとして解説、例の提示をする。。 Students are expected to read the part that they are assigned to and answer the questions given before each session.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	言語教育の基礎知識を概説する。	
第2回 Session 2	第一言語習得に関して検討する。	
第3回 Session 3	第一言語習得の困難点に関して検討する	
第4回 Session 4	第二言語習得の環境に関して検討する	
第5回 Session 5	第二言語習得の困難点に関して検討する	
第6回 Session 6	学習者の個人差について考察する	
第7回 Session 7	第二言語習得への年齢差による影響	
第8回 Session 8	行動主義心理学による言語習得観	
第9回 Session 9	社会文化的観点からの言語習得観	
第10回 Session 10	授業を観察して書かれた論文の検討	
第11回 Session 11	誤りの処理の仕方	
第12回 Session 12	アプローチの仕方、はじめから完全を求めるか否か	
第13回 Session 13	筆者の考える望ましいアプローチとは	
第14回 Session 14	一般的に言われることの再検討	

授業外学修 Study Required outside Class	Students are expected to read the part that they are assigned to and answer the questions given before each session.

教科書/Required texts	著者名:Patsy M. Lightbown & Nina Spada(4th edition) タイトル:How Languages are Learned 4th edition 発行所:Oxford 出版年:2019 ISBN:9780194541268
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	100%	試験での評価とするが授業への貢献度により減点することがある。
更新日時/Date of Update		2022年02月24日 11時49分16秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	金曜4時限	春学期／Spring	G－208

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48020002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法D 2／Methods of Teaching English D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	澤田 和哉(SAWADA KAZUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	言語習得に関わる知識の習得と、文章を要約して説明するという英語教師に欠かせない能力の養成。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is to acquire knowledge concerning language learning and the ability to summarize what you read, which is essential for English teachers.		
到達目標/Learning Goals	効果的な言語習得に必要な教授法に関わる専門的知識を身に着ける。		
到達目標(英文) Learning Goals	The goal of this course is to acquire sufficient expertise concerned with effective language learning.		
授業方法 Course Format	教科書の指定された個所を読み事前に出題された質問に答えてきたものとして解説、例の提示をする。 Students are expected to read the part that they are assigned to and answer the questions given before each session.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	言語教育の基礎知識を概説する。	
第2回 Session 2	第一言語習得に関して検討する。	
第3回 Session 3	第一言語習得の困難点に関して検討する	
第4回 Session 4	第二言語習得の環境に関して検討する	
第5回 Session 5	第二言語習得の困難点に関して検討する	
第6回 Session 6	学習者の個人差について考察する	
第7回 Session 7	第二言語習得への年齢差による影響	
第8回 Session 8	行動主義心理学による言語習得観	
第9回 Session 9	社会文化的観点からの言語習得観	
第10回 Session 10	授業を観察して書かれた論文の検討	
第11回 Session 11	誤りの処理の仕方	
第12回 Session 12	アプローチの仕方、はじめから完全を求めるか否か	
第13回 Session 13	筆者の考える望ましいアプローチとは	
第14回 Session 14	一般的に言われることの再検討	

授業外学修 Study Required outside Class	Students are expected to read the part that they are assigned to and answer the questions given before each session.

教科書/Required texts	著者名:Patsy M. Lightbown & Nina Spada(4th edition) タイトル:How Languages are Learned 4th edition 発行所:Oxford 出版年:2019 ISBN:9780194541268
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	100%	試験での評価とするが授業への貢献度により減点することがある。
更新日時/Date of Update		2022年02月24日 11時49分27秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜2時限	秋学期／Fall	G－208

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48020003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法D 3／Methods of Teaching English D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	澤田 和哉(SAWADA KAZUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	言語習得に関わる知識の習得と、文章を要約して説明するという英語教師に欠かせない能力の養成。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is to acquire knowledge concerning language learning and the ability to summarize what you read, which is essential for English teachers.		
到達目標/Learning Goals	効果的な言語習得に必要な教授法に関わる専門的知識を身に着ける。		
到達目標(英文) Learning Goals	The goal of this course is to acquire sufficient expertise concerned with effective language learning.		
授業方法 Course Format	教科書の指定された個所を読み事前に出题された質問に答えてきたものとして解説、例の提示をする。 Students are expected to read the part that they are assigned to and answer the questions given before each session.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	言語教育の基礎知識を概説する。	
第2回 Session 2	第一言語習得に関して検討する。	
第3回 Session 3	第一言語習得の困難点に関して検討する	
第4回 Session 4	第二言語習得の環境に関して検討する	
第5回 Session 5	第二言語習得の困難点に関して検討する	
第6回 Session 6	学習者の個人差について考察する	
第7回 Session 7	第二言語習得への年齢差による影響	
第8回 Session 8	行動主義心理学による言語習得観	
第9回 Session 9	社会文化的観点からの言語習得観	
第10回 Session 10	授業を観察して書かれた論文の検討	
第11回 Session 11	誤りの処理の仕方	
第12回 Session 12	アプローチの仕方、はじめから完全を求めるか否か	
第13回 Session 13	筆者の考える望ましいアプローチとは	
第14回 Session 14	一般的に言われることの再検討	

授業外学修 Study Required outside Class	Students are expected to read the part that they are assigned to and answer the questions given before each session.

教科書/Required texts	著者名:Patsy M. Lightbown & Nina Spada(4th edition) タイトル:How Languages are Learned 4th edition 発行所:Oxford 出版年:2019 ISBN:9780194541268
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	100%	試験での評価とするが授業への貢献度により減点することがある。
更新日時/Date of Update		2022年02月24日 11時49分40秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜4時限	秋学期／Fall	G－208

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48020004	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法D 4／Methods of Teaching English D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	三上 明洋(MIKAMI AKIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、第二言語習得に関する理論を学習し、それらを日本の英語教育に応用する能力を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn second language acquisition theories and apply them to English language teaching in Japan.		
到達目標/Learning Goals	1. 第二言語習得に関する理論を理解することができる。 2. 第二言語習得に関する理論を日本の英語教育に応用することができる。 3. 英語教育研究法の基本的事項を理解することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to understand second language acquisition theories. 2. Students will be able to apply second language acquisition theories to English language teaching in Japan. 3. Students will be able to understand the basic research methods of English language teaching.		
授業の概要・背景 Course Outline	この授業では、第二言語習得に関する基礎的・基本的な内容を幅広く学び、その内容に基づいて効果的な英語指導が実践できる能力を身につけてください。また、音声指導の方法や指導による効果の評価方法などについても理解を深めてください。		
授業方法 Course Format	本授業では、講義型を中心とする。ただし、毎回のテーマに関して、ペア・ワークまたはグループ・ワークによる議論、全体発表などを行う。 【オンライン受講許可学生対象】各授業回(授業日)までに、LUNA へ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	<14回すべて対面授業で実施> 【講義】 テーマ: 文法指導の変遷	【復習課題】110分 第1回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】60分 教科書pp.3～12を読む
第2回 Session 2	【講義】 テーマ: 目標項目を目立たせよう(インプット強化)	【復習課題】120分 第2回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.13～26を読む
第3回 Session 3	【講義】 テーマ: 目標項目の処理を手助けしよう(処理指導)	【復習課題】110分 第3回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.27～44を読む
第4回 Session 4	【講義】 テーマ: 話す活動と文法指導(フィードバック)	【復習課題】120分 第4回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.45～62を読む
第5回 Session 5	【講義】 テーマ: ライティングのフィードバック効果	【復習課題】110分 第5回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.63～74を読む
第6回 Session 6	【講義】 テーマ: タスクの効果的活用法	【復習課題】120分 第6回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.75～88を読む
第7回 Session 7	【講義】 テーマ: ペア・グループワークの活用	【復習課題】110分 第7回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.89～105を読む
第8回 Session 8	【講義】 テーマ: 発音指導	【復習課題】120分 第8回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.106～123を読む
第9回 Session 9	【講義】 テーマ: 語彙指導	【復習課題】110分 第9回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.124～140を読む
第10回 Session 10	【講義】 テーマ: 語用論指導	【復習課題】120分 第10回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.141～157を読む
第11回 Session 11	【講義】 テーマ: 個人差とコンテキスト	【復習課題】110分 第11回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.158～168を読む
第12回 Session 12	【講義】 テーマ: 指導の評価(スキル学習理論の観点から)	【復習課題】120分 第12回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分

		教科書pp.169～183を読む
第13回 Session 13	【講義】 テーマ:フォーカス・オン・フォームの指導	【復習課題】110分 第13回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】70分 教科書pp.184～189を読む
第14回 Session 14	【講義】 テーマ:総括	【復習課題】190分 これまでに学習した事項を総復習すること。 【予習課題】70分 定期試験に備えて、すべての学習事項を復習する

授業計画 Overview for each class	提出物や定期試験等の実施後2～3週間後を目途に、全体の講評を授業において口頭で伝えるか、またはLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名:鈴木 渉 タイトル:実践例で学ぶ第二言語習得研究に基づく英語指導 発行所:大修館書店 出版年:2017 ISBN:9784469246117
教科書 Required texts	文部科学省「小学校・中学校・高等学校学習指導要領(最新版)」
参考書/Reference books	著者名:Bill VanPatten タイトル:Key questions in second language acquisition: An introduction 発行所:Cambridge University Press 出版年:2019 ISBN:9781108708173
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編」開隆館出版販売 文部科学省「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編 英語編」開隆堂出版 文部科学省「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編・英語編」開隆堂出版
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	
	授業中試験／In-class examination(03)	20%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note		
	【オンライン受講許可学生対象】定期試験(50%)、授業中試験(20%)に代わる平常レポートを追加で課し、平常レポート100%で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 16時50分16秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜2時限	秋学期／Fall	I-206

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48021000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】フランス語科教育法A／Methods of Teaching French A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	高橋 克欣(TAKAHASHI KATUYOSHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	主に中等教育機関でフランス語教育を実践するために必要な知識や技能を身につける。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand and acquire basic knowledge necessary for French language teaching (mainly in secondary education).		
到達目標/Learning Goals	学習指導要領における外国語教育に関する指針や第二言語習得に関するさまざまな理論を理解し、フランス語の運用能力を向上させるための効果的な学習活動を工夫し授業を組み立てることができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to understand the descriptions of Curriculum guidelines and the major concepts of Second Language Acquisition, to design appropriate learning activities and to create effective lesson plans for developing French language skills.		
授業の概要・背景 Course Outline	この授業ではフランス語を教える際に必要となる実践的な指導法を身につけるだけでなく、日本においてフランス語を学ぶことの意義など外国語教育の理念に関わる部分についても考察を深めることを目指します。		
授業方法 Course Format	毎回の授業では、授業担当教員が解説を行ったあと、その内容について受講者間で議論を行い、必要に応じて受講者同士で模擬授業活動を行います。また、授業後に学習内容についてまとめた授業レポートを作成し、次の授業時に提出します。最終回の授業では学期全体の学習のまとめを行い、期末レポートを作成し提出します。 【オンライン受講許可学生対象】Zoomによる同時双方向で配信予定。授業開始5分前までにZoomへ入っておくこと。Zoomのアクセス情報については、LUNAのお知らせを確認すること。		
関連科目/Related Courses	フランス語科教育法B／Methods of Teaching French B		
検索キーワード/Keywords	フランス語 外国語教育 授業活動		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	授業概要の説明;教科書や参考図書の紹介;授業担当者と受講者の自己紹介;「フランス語科教育法」とは？	復習(2時間):授業後に授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第2回 Session 2	第二言語習得理論の変遷	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第3回 Session 3	各種外国語教育法の検討	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第4回 Session 4	学習指導要領に基づく授業デザイン	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第5回 Session 5	中学校、高等学校におけるフランス語教育	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第6回 Session 6	コミュニケーション活動(1)理論編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第7回 Session 7	コミュニケーション活動(2)実践編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第8回 Session 8	発音学習(1)理論編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第9回 Session 9	発音学習(2)実践編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第10回 Session 10	文法学習(1)理論編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第11回 Session 11	文法学習(2)実践編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第12回 Session 12	聴解学習	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第13回 Session 13	読解学習	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第14回 Session 14	全体のまとめ(期末レポート作成)	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。

授業外学修 Study Required outside Class	模擬授業(数分程度)等の発表活動を行う場合には事前に予告しますので、じゅうぶんに準備をして発表に臨んでください。 また、課題(レポート等)に対するフィードバックの方法は、提出物に直接コメントを記入し、次の授業回で返却するか、あるいはメール等でコメントを伝達することとします。

教科書/Required texts	著者名:望月昭彦編著/久保田章・磐崎弘貞・卯城祐司著 タイトル:新学習指導要領にもとづく英語科教育法 第3版 発行所:大修館書店 出版年:2020 ISBN:9784469246216
参考文献・資料 Reference books	学習指導要領(最新版)※その他の参考文献については、必要に応じて授業中に紹介します。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	その他／Others(99)	100%	授業中の学習活動およびレポートの内容等を総合的に判断して評価を行う。【オンライン受講生対象】毎回授業後に提出してもらう授業レポートおよびレポートの内容等を総合的に判断して評価を行う。
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】対面授業に参加する場合と同様に、授業中の学習活動およびレポートの内容等を総合的に判断して評価を行います。		
備考 Note	質問や相談等があり授業担当教員に連絡を取る必要がある場合には、下記のアドレスにメールを送ってください。 ※メールアドレス:fte97582@nuc.kwansei.ac.jp		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 17時43分06秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	月曜3時限	春学期／Spring	F-303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48022000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】フランス語科教育法B／Methods of Teaching Frech B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	高橋 克欣(TAKAHASHI KATUYOSHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	フランス語科教育法Aで学習した内容をふまえ、主に中等教育機関でフランス語教育を実践するための発展的な知識や技能を身につける。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand and acquire advanced knowledge necessary for French language teaching (mainly in secondary education).		
到達目標/Learning Goals	複言語主義・複文化主義の考え方を理解し、フランス語の運用能力を向上させるための効果的な学習活動を工夫し授業を組み立てることができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to understand the concepts of plurilingualism and pluriculturalism, to design appropriate learning activities and to create effective lesson plans for developing French language skills.		
授業の概要・背景 Course Outline	この授業ではフランス語を教える際に必要となる実践的な指導法を身につけるだけでなく、日本においてフランス語を学ぶことの意義など外国語教育の理念に関わる部分についても考察を深めることを目指します。		
授業方法 Course Format	毎回の授業では、授業担当教員が解説を行ったあと、その内容について受講者間で議論を行い、必要に応じて受講者同士で模擬授業活動を行います。また、授業後に学習内容についてまとめた授業レポートを作成し、次の授業時に提出します。最終回の授業では学期全体の学習のまとめを行い、期末レポートを作成し提出します。 【オンライン受講許可学生対象】Zoomによる同時双方向で配信予定。授業開始5分前までにZoomへ入っておくこと。Zoomのアクセス情報については、LUNAのお知らせを確認すること。		
関連科目/Related Courses	フランス語科教育法A／Methods of Teaching Frech A		
検索キーワード/Keywords	フランス語 外国語教育 授業活動		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	授業概要の説明;授業担当者の自己紹介;教科書や参考図書 の紹介;「フランス語科教育法」とは？	復習(2時間):授業後に授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第2回 Session 2	複言語主義・複文化主義と中学校、高等学校におけるフランス 語教育(1)理論編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ 読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第3回 Session 3	複言語主義・複文化主義と中学校、高等学校におけるフランス 語教育(2)実践編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ 読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第4回 Session 4	フランス語学習と動機づけ(1)理論編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ 読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第5回 Session 5	フランス語学習と動機づけ(2)実践編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ 読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第6回 Session 6	フランス語学習と学習方略(1)理論編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ 読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第7回 Session 7	フランス語学習と学習方略(2)実践編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ 読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第8回 Session 8	フランス語学習と授業外活動(1)理論編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ 読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第9回 Session 9	フランス語学習と授業外活動(2)実践編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ 読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第10回 Session 10	学習活動と評価(1)理論編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ 読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第11回 Session 11	学習活動と評価(2)実践編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ 読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第12回 Session 12	授業形態と授業計画(1)理論編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ 読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第13回 Session 13	授業形態と授業計画(2)実践編	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ 読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第14回 Session 14	全体のまとめ(期末レポート作成)	予習・復習(2時間):授業前に教科書の該当箇所をあらかじめ 読み、授業後は授業内容をふまえ、自分の考えをまとめる。

授業外学修 Study Required outside Class	模擬授業(数分程度)等の発表活動を行う場合には事前に予告しますので、じゅうぶんに準備をして発表に臨んでください。 また、課題(レポート等)に対するフィードバックの方法は、提出物に直接コメントを記入し、次の授業回で返却するか、あるいはメール等でコメントを伝達することとします。

教科書/Required texts	著者名:望月昭彦(編著)久保田章・磐崎弘貞・卯城祐司(著) タイトル:新学習指導要領にもとづく英語科教育法 第3版 発行所:大修館書店 出版年:2020 ISBN:9784469246216
参考文献・資料 Reference books	学習指導要領(最新版) ※その他の参考文献については、必要に応じて授業中に紹介します。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	その他／Others(99)	100%	授業中の学習活動およびレポートの内容等を総合的に判断して評価を行う。【オンライン受講生対象】毎回授業後に提出してもらう授業レポートおよびレポートの内容等を総合的に判断して評価を行う。
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】対面授業に参加する場合と同様に、授業中の学習活動およびレポートの内容等を総合的に判断して評価を行います。		
備考 Note	(1)この授業の講義内容は今年度の「フランス語科教育法A」の講義内容と関連していますが、「フランス語科教育法A」を履修していなくてもこの授業の受講に支障はありません。 (2)質問や相談等があり授業担当教員に連絡を取る必要がある場合には、下記のアドレスにメールを送ってください。 ※メールアドレス: fte97582@nuc.kwansei.ac.jp		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 17時43分41秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜3時限	秋学期／Fall	F-303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48023000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】フランス語科教育法C／Methods of Teaching French C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	岩根 久(IWANE HISASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	フランス語教師として必要な力を身につけるために、外国語の習得・教育に関する理論から教育実践に及ぶ様々な問題について講義と討論を行なう。またフランス語を使用している人々の日常生活や風俗習慣など、多様なものの考え方や見方を理解し、言語と文化に対する学習者の関心を高めるための授業形態についても討論する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students acquire the ability to teach the French language.		
到達目標/Learning Goals	フランス語教育に携わるために必要なリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングなどの能力・知識を身につけることを目指す。外国語習得のしくみと日仏語の構造に関する知識を深めて日本の学習者がぶつかる問題を理解し、フランス語運用能力を効果的に養成する授業のあり方を考える。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to acquire the ability to teach the French language.		
授業方法 Course Format	アクティブ・ラーニングを念頭に置き、特に学習者のモバイル端末を用いた学習支援法を検討する。フランス語学習支援にあたって、学習内容に従ってどのような様式が適切なのかを具体的に検討する。フランス語科教育法Cでは、特に語彙や文法習得支援について検討する。また、オンラインでどのように授業を実践するのかを学習する。 【オンライン受講許可学生対象】「Zoom による同時双方向」で配信予定。授業開始 5 分前までに Zoom へ入っておくこと(トピック:フランス語科教育法C、ミーティングID: 815 3441 5898、パスコード: lundio2)。 【対面授業、オンライン受講者共通】 教材や課題等の指示は、原則としてLUNAや第1回めに紹介するSlackに掲示する。		
関連科目/Related Courses	「フランス語科教育法A」を修得済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	フランス語学習支援 アクティブ・ラーニング		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	本授業の受講を希望する人、試しに覗いてみようと考えている人は、指定された教室にきてください。今学期の授業方針を説明しますので、気楽に参加してください。 第2回以降は、下記のトピックを中心に学習しますが、遠隔授業の方法についても学習します。遠隔授業で有用な様々なツール(Flipgrid, Google フォーム, Padlet, Kahoot!, BookWidgets, Edpuzzleなど)について紹介します。	LUNAの「教材・課題・テスト」を参照してください。
第2回 Session 2	アクティブラーニングについて 語彙習得、文法習得のためのプロセスの検討	
第3回 Session 3	文法学習についての教材と学習支援方法の検討(発音と綴り字の関係)	
第4回 Session 4	文法学習についての教材と学習支援方法の検討(人称代名詞と動詞)	
第5回 Session 5	文法学習についての教材と学習支援方法の検討(名詞と形容詞)	
第6回 Session 6	文法学習についての教材と学習支援方法の検討(数形容詞・数量の表現)	
第7回 Session 7	文法学習についての教材と学習支援方法の検討(疑問詞・疑問文)	
第8回 Session 8	語彙学習について	
第9回 Session 9	文法学習についての教材と学習支援方法の検討(動詞の時制:複合過去・半過去・大過去)	
第10回 Session 10	文法学習についての教材と学習支援方法の検討(動詞の時制:単純未来・前未来)	
第11回 Session 11	文法学習についての教材と学習支援方法の検討(中性代名詞・関係代名詞)	
第12回 Session 12	文法学習についての教材と学習支援方法の検討(動詞の法:条件法)	
第13回 Session 13	文法学習についての教材と学習支援方法の検討(動詞の法:接続法)	
第14回 Session 14	学生による授業計画・授業デザインの発表と討論	
授業外学修 Study Required outside Class	LMS上に、必要な資料をアップロードしておくので、指示に従って参照すること。	

教科書 Required texts	授業に必要な資料については、授業中に配布、あるいはLMSを通じて配布する。
参考文献・資料 Reference books	森朋子・溝上慎一編『アクティブラーニング型授業としての反転授業[理論編]』, ナカニシヤ出版, 2017年5月. 森朋子・溝上慎一編『アクティブラーニング型授業としての反転授業[実践編]』, ナカニシヤ出版, 2017年5月. その他の参考文献は授業中に指示、資料は授業中に配布、あるいはLMSを通じて配布する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	100%	
	備考 Note 平常レポート(Ordinary paper) 各授業におけるプレゼンテーション(オンラインも含む)、提出物によって評価する。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_199139_1&cmp_tab_id=_235179_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 16時39分24秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	月曜2時限	春学期／Spring	F－303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48024000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】フランス語科教育法D／Methods of Teaching Frech D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	岩根 久(IWANE HISASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	フランス語教師としての高度な力を身につけるために、外国語の習得・教育に関する理論から教育実践に及ぶ様々な問題についての理解を深化するための講義と多角的な討論を行なう。またフランス語を使用している人々の日常生活や風俗習慣など、多様なものの考え方や見方を深く理解し、言語と文化に対する学習者の関心を高めるための実践的な授業形態についても討論する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students acquire a higher level of ability to teach the French language.		
到達目標/Learning Goals	フランス語教育に携わるために必要なリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングなど、より高度な能力・知識を身につけることを目指す。 外国語習得のしくみと日仏語の構造に関する知識をさらに身につけ、日本の学習者がぶつかる問題を深く理解した上で、フランス語運用能力を効果的に養成する授業のあり方を考えることができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to acquire a higher level of ability to teach the French language.		
授業方法 Course Format	フランス語科教育法Dでは、特にコミュニケーション能力のや読解能力の養成について検討する。 【オンライン受講許可学生対象】「Zoom による同時双方向」で配信予定。授業開始 5 分前までに Zoom へ入っておくこと(トピック:フランス語科教育法D、ミーティングID: 969 3423 5091、パスコード: lundi02)。 【対面授業、オンライン受講者共通】 教材や課題等の指示は、原則としてLUNAや第1回めに紹介するSlackに掲示する。		
検索キーワード/Keywords	フランス語学習支援 アクティブ・ラーニング 遠隔授業		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	本授業の受講を希望する人、試しに覗いてみようと考えている人は、指定された教室に来てください。今学期の授業方針を説明しますので、気楽に参加してください。 第2回以降は、下記のトピックを中心に学習しますが、遠隔授業の方法についても学習します。遠隔授業で有用な様々なツール(Flipgrid, Google フォーム, Padlet, Kahoot!, BookWidgets, Edpuzzleなど)について紹介します。	
第2回 Session 2	コミュニケーション能力や読解能力の養成のプロセスの検討(日常会話1)	
第3回 Session 3	コミュニケーション能力養成のための教材と学習支援方法の検討(日常会話2)	
第4回 Session 4	コミュニケーション能力養成のための教材と学習支援方法の検討(経験を語る1)	
第5回 Session 5	コミュニケーション能力養成のための教材と学習支援方法の検討(経験を語る2)	
第6回 Session 6	コミュニケーション能力養成のための教材と学習支援方法の検討(テキストについて語る1)	
第7回 Session 7	コミュニケーション能力養成のための教材と学習支援方法の検討(テキストについて語る2)	
第8回 Session 8	読解能力養成のための教材と学習支援方法の検討(簡単な読み物1)	
第9回 Session 9	読解能力養成のための教材と学習支援方法の検討(簡単な読み物1)	
第10回 Session 10	読解能力養成のための教材と学習支援方法の検討(時事問題1)	
第11回 Session 11	読解能力養成のための教材と学習支援方法の検討(時事問題2)	
第12回 Session 12	読解能力養成のための教材と学習支援方法の検討(文学テキスト1)	
第13回 Session 13	読解能力養成のための教材と学習支援方法の検討(文学テキスト2)	
第14回 Session 14	学生による授業計画・授業デザインの発表と討論	

授業計画 Overview for each class	LMS上に、必要な資料をアップロードしておくので、指示に従って参照すること。
授業外学修 Study Required outside Class	具体的な指示は授業中に行う

教科書 Required texts	授業に必要な資料については、授業中に配布、あるいはLMSを通じて配布する。
参考文献・資料 Reference books	森朋子・溝上慎一編『アクティブラーニング型授業としての反転授業[理論編]』, ナカニシヤ出版, 2017年5月. 森朋子・溝上慎一編『アクティブラーニング型授業としての反転授業[実践編]』, ナカニシヤ出版, 2017年5月. その他の参考文献は授業中に指示、資料は授業中に配布、あるいはLMSを通じて配布する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中にアンケートを行う。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	100%	
	備考 Note 平常リポート(Ordinary paper) 授業におけるプレゼンテーション、提出物によって評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 16時38分28秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜2時限	秋学期／Fall	F-303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48025000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】ドイツ語科教育法A／Methods of Teaching German A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	藤原 三枝子(FUJIWARA MIEKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	この授業の目的は、学生が外国語教育の動向を理解し、外国語を学ぶということの意味、効果的な授業方法を理解する能力を身につけることを目的としています。 ★ドイツ語教員免許取得希望者だけでなく、言葉を学ぶことや教えることに関心のある人に受講を勧めます。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire the ability to understand the trends of foreign language education, the significance of learning foreign languages, and methods of teaching them effectively. In addition to students aiming to acquire a German language teacher’s license, students interested in learning and teaching foreign languages are encouraged to participate in this course.		
到達目標/Learning Goals	次の点を授業の目標として設定しています。 ・ドイツ語の聞く・話す・読む・書くの言語スキルを効果的に教えることができる。 ・ドイツ語の授業について独力で授業案を作成することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a) teach effectively German language skills, including listening, speaking, reading, and writing. b) independently design lesson plans for German classes.		
授業の概要・背景 Course Outline	日本の外国語(英語)教育の方針は、文法を特化して扱うのではなく、言語活動の中で習得するように変わってきている。学習言語の文法等の知識の量や正確さを問うのではなく、言語を使って何ができるのか(can-do)が重要視されるようになってきた。そうしたアプローチに基づくドイツ語の教え方を授業では一緒に考えていきたい。		
授業方法 Course Format	対面で実施する(ただし、2回目、11回目はオンライン:PPTにナレーションを入れたビデオで実施の予定)。 教師と学習者、学習者間で考えを共有しながら授業を進めます。		
検索キーワード/Keywords	教科書分析 外国語教育の目的 4技能の養成 授業計画(教案)		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	(オンライン:PPTにナレーションを入れたビデオで実施) 導入: 自分の外国語学習観および多様な学習観・授業観を知る 何のために外国語・ドイツ語を学ぶのか、どのように学ぶのが良いのか	外国語(ドイツ語)教育の目的を具体的に考えてメモで持参してください。
第2回 Session 2	(オンライン:PPTにナレーションを入れたビデオで実施) 現在の外国語教育の方向性を理解する	Formsを使って理解の確認
第3回 Session 3	(オンライン:PPTにナレーションを入れたビデオで実施) 教材分析: これまで使用した英語やドイツ語の教科書のコンセプトを理解する 教授法の流れ	これまで使用した外国語の教科書の目次等を見て、どのような学習目標をもつ教科書なのかをメモで持参してください。
第4回 Session 4	(オンライン:PPTにナレーションを入れたビデオで実施) 外国語(ドイツ語)能力の客観的な指標: 国内の基準と国際的な基準(国内の検定試験) 外国語(ドイツ語)能力の客観的な指標: 国内の基準と国際的な基準(国際的な検定試験)	独検の試験問題に部分的にトライしてください。
第5回 Session 5	コミュニケーション能力を養成するための授業形態: 一斉授業・ペアワーク・グループワーク	Formsを使って理解の確認
第6回 Session 6	ヒアリング能力の養成	国際試験(ゲーテ・インスティトゥート)のヒアリング問題にトライしてください。
第7回 Session 7	スピーキング能力の養成	国際試験(ゲーテ・インスティトゥート)のヒアリング問題にトライしてください。
第8回 Session 8	リーディング能力の養成とその指導	国際試験(ゲーテ・インスティトゥート)のリーディング問題にトライしてください。
第9回 Session 9	ライティング能力の養成: (一貫性と結束性)としての文章の組み立て	国際試験(ゲーテ・インスティトゥート)のライティング問題にトライしてください。
第10回 Session 10	文法指導をどのように考えるか	文法力を養成する問題を自由に作成してみてください。
第11回 Session 11	(オンライン:PPTにナレーションを入れたビデオで実施) 授業案作成の際の要点(対象者、授業の目的、授業方法: 学習者の活動と教師行動、教材、授業形態、シラバス)	授業案作りを開始する
第12回 Session 12	・授業案作成方法の復習 ・授業観察(ビデオを使用)	授業案の作成
第13回 Session 13	模擬授業と授業案についての意見交換	模擬授業をとおして授業案の修正と提出
第14回 Session 14	まとめ: 教師に求められる能力	Formsを使って理解の確認

教科書 Required texts	授業中に適宜、資料を配布する
参考書/Reference books	著者名:市川伸一 タイトル:学ぶ意欲の心理学 発行所:PHP研究所 出版年:2001 ISBN: 著者名:Council of Europe. タイトル:Common European framework of reference for languages: Learning, teaching, assessment. 発行所:Cambridge, UK: Cambridge University Press 出版年:2001 ISBN: 著者名:吉島茂他(訳・編) タイトル:外国語教育Ⅱー外国語の学習,教授,評価のためのヨーロッパ共通参照枠 発行所:朝日出版 社 出版年:2004 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2019 ISBN:
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	課題への取り組み(50%)と授業案の作成・模擬授業(50%)
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_192571_1&cmp_tab_id=_228611_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年03月23日 17時06分13秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	月曜4時限	春学期／Spring	F－303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48026000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】ドイツ語科教育法B／Methods of Teaching German B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	藤原 三枝子(FUJIWARA MIEKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	この授業の目的は、学生が外国語教育の動向を理解し、外国語を学ぶということの意味、効果的な授業方法を理解する能力を身につけることを目的としています。 ★ドイツ語教員免許取得希望者だけでなく、言葉を学ぶことや教えることに関心のある人に受講を勧めます。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire the ability to understand the trends of foreign language education, the significance of learning foreign languages, and methods of teaching them effectively. In addition to students aiming to acquire a German language teacher’s license, students interested in learning and teaching foreign languages are encouraged to participate in this course.		
到達目標/Learning Goals	次の点を授業の目標として設定しています。 ・外国語教育の近年の動向について理解できる。 ・外国語学習における動機づけを理解できる。 ・外国語学習における多様なシラバスを理解し、ドイツ語の授業について授業案を作成することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a) understand the recent trends in foreign language education. b) understand motivation in foreign language learning. c) understand the various syllabi for foreign language education and design lesson plans for German classes.		
授業の概要・背景 Course Outline	日本の外国語(英語)教育の方針は、文法を特化して扱うのではなく、言語活動の中で習得するように変わってきている。学習言語の文法等の知識の量や正確さを問うのではなく、言語を使って何ができるのか(can-do)が重要視されるようになってきた。そうしたアプローチに基づくドイツ語の教え方を授業では一緒に考えていきたい。		
授業方法 Course Format	対面で実施する(ただし、2回目、6回目はオンライン:PPTにナレーションを入れたビデオで実施の予定)。 教師と学習者、学習者間で考えを共有しながら授業を進めます。		
検索キーワード/Keywords	外国語教育の動向 動機づけ タスクとエクササイズ シラバス プロジェクト授業 授業計画(教案)		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	導入:これまで体験した日本語の方言や学習した外国語について、自分の言語体験シートに描いてみる	これまでの外国語学習経験をメモにして授業に参加してください。
第2回 Session 2	(オンライン:PPTにナレーションを入れたビデオで実施) 最近の言語教育の動向:ヨーロッパ言語共通参照枠CEFR・複言語能力と複文化能力	Formsを使って理解の確認
第3回 Session 3	「最近の言語教育の動向」の復習と、OECDのキーコンピテンシーを理解し、日本の外国語教育についての意見交換	Formsを使って理解の確認
第4回 Session 4	自分の「複言語能力」を試してみよう:言語を理解するためには、対象となっている言語のスキル以外の多くの能力を使っていることを体験する	Formsを使って理解の確認
第5回 Session 5	動機づけ理論の流れを理解し、外国語学習の動機づけを高めるために教師が知っておくべきことを理解する。	自分の外国語学習への動機づけを高めるためにどのような方法をとっているか、メモにして授業に参加してください。
第6回 Session 6	(オンライン:PPTにナレーションを入れたビデオで実施) 外国語教育の多様なシラバス	Formsを使って理解の確認
第7回 Session 7	外国語教育の多様なシラバスについての確認と、日本の外国語教育にとって適切と思うシラバスについての意見交換	これまでに使用した教科書1冊を選び、その土台にあるシラバスをメモにして授業に参加してくあさい。
第8回 Session 8	授業で使用可能な様々なメディアと自動翻訳機能をどのように有効に活用できるかを考える	これまで様々な授業で使用したメディアについて振り返り、メモにまとめて授業に持参してください。
第9回 Session 9	タスク(課題)とエクササイズ(練習)の違いを理解し、授業における効果的な使用を考える	Formsを使って理解の確認
第10回 Session 10	学習者の積極的な授業参加を促すための授業形態:プロジェクト授業(マイクロ・プロジェクトとマクロ・プロジェクト)について理解する	「プロジェクト授業」とはどのような授業だと思いますか?日常生活でよく耳にする「プロジェクト」から自由に考え、メモにして授業に参加してください。
第11回 Session 11	授業案作成の際の要点(対象者、授業の目的、授業方法:学習者の活動と教師行動、教材、授業形態、シラバス)を理解する	授業案作りを開始する
第12回 Session 12	授業案作成方法の復習	授業案の完成
第13回 Session 13	模擬授業の実施と授業案についての意見交換	模擬授業をとおして授業案の修正と提出
第14回 Session 14	まとめ:外国語(ドイツ語)教育の目的を考える	

教科書 Required texts	授業中に適宜、資料を配布する
参考書/Reference books	著者名:市川伸一 タイトル:学ぶ意欲の心理学 発行所:PHP研究所 出版年:2001 ISBN: 著者名:Council of Europe. タイトル:Common European framework of reference for languages: Learning, teaching, assessment. 発行所:Cambridge, UK: Cambridge University Press 出版年:2001 ISBN: 著者名:吉島茂他(訳・編) タイトル:外国語教育Ⅱー外国語の学習,教授,評価のためのヨーロッパ共通参照枠 発行所:朝日出版 社 出版年:2004 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2019 ISBN:
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	課題への取り組み(50%)と授業案の作成・模擬授業(50%)
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_192571_1&cmp_tab_id=_228611_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 20時01分24秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜4時限	秋学期／Fall	F－303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48027000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】ドイツ語科教育法C／Methods of Teaching German C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	西田 隆雄(NISHIDA TAKAO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	初学者がいかに効果的かつ実質的にドイツ語を学べるか、その教育法の要点を理解し、実践に応用する力を養う。この授業ではドイツ語文法の基礎部分を扱う。わかりやすい授業をするためには、教える側の確実な豊富な知識が必要不可欠なので、これまでに受講生が得たドイツ語文法の知識をさらに詳しく深く掘り下げ、各自のドイツ語の力をより確実に豊かにすることを目指す。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the key points of teaching methods that ensure that beginners can learn German in an effective and substantive manner and to develop their abilities to apply them practically. Specifically, the basics of German grammar are covered in this course. To provide classes in a comprehensible manner, it is essential for the teacher to have rich and reliable knowledge. Accordingly, an aim of this course is to further explore the knowledge of German grammar obtained by students and steadily enrich their German language skills.		
到達目標/Learning Goals	初学者がいかに効果的かつ実質的にドイツ語を学べるか、その教育法の要点を理解し、実践に応用する力を養う。この授業ではドイツ語文法の基礎部分を扱う。わかりやすい授業をするためには、教える側の確実な豊富な知識が必要不可欠なので、これまでに受講生が得たドイツ語文法の知識をさらに詳しく深く掘り下げ、各自のドイツ語の力をより確実に豊かにすることを目指す。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will understand the key points of teaching methods that ensure that beginners can learn German in an effective and substantive manner and develop their abilities to apply them practically. Specifically, students will learn about the basics of German grammar in this course. To provide classes in a comprehensible manner, it is essential for the teacher to have rich and reliable knowledge. Accordingly, students will further explore the knowledge of German grammar they have obtained and steadily enrich their German language skills.		
授業方法 Course Format	大学学部から、基礎疾患等の理由でオンライン授業への参加が認められている受講生は、全学期期間、Zoomによるリアルタイム型オンライン授業に参加することができる。 講義形式とワークショップ形式で授業を進めていく。学期中、1回20分程度の模擬授業を各受講生が担当する。 本授業のLUNA科目ホームページは、4月中はゲストにも一般公開されている。履修登録完了前の時点において誰でも見ることができる。履修希望者は、「お知らせ」と「教材・課題・テスト」を随時、チェックしてください。講師連絡先は ishiya53@gmail.com (西田)		
検索キーワード/Keywords	中等教育におけるドイツ語 第二外国語 第三外国語 外国語教育 異文化理解 ヨーロッパ言語共通参照枠 CEFR		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	第1回目授業のテーマ「ドイツ語の知識がゼロである中高校生に、ドイツ語授業第1日目にどんな内容の授業をするか？」 受講生はまず、このテーマについてグループ作業を行なう。その後、上記のテーマについての受講生の発表とディスカッションを行なう。 受講生各自が最初に学んだドイツ語授業で使用した教科書を持参すること。	各自が最初に学んだドイツ語教科書に目を通しておくこと。 課題作成
第2回 Session 2	前回の授業にもとづいて、授業時間内で「ドイツ語授業第1回目用教材」を作成する。教材作成の過程で、名詞の文法的性の説明方法と人称代名詞の導入方法について考える。	課題作成
第3回 Session 3	格機能を導入せずに文の構造を説明する方法。動詞の現在人称変化の導入方法。	課題作成
第4回 Session 4	4格の導入の仕方	課題作成
第5回 Session 5	文における1・3・4格の機能と動詞との関係。動詞の結合価をどのように教科書中で分りやすく導入するか？ヨーロッパ言語共通参照枠CEFR(「セファール」と読む)との関連における格機能の扱い方。	課題作成
第6回 Session 6	2格の導入方法と教材の作成。また、教科書中でいつ2格を導入すべきかについて考える。(中高生のドイツ語授業では、通常、2格は取り上げられていない)	課題作成
第7回 Session 7	現在時制の機能について。ドイツ語と日本語の現在時制の違いは何か？普遍言語の観点からみた時制について。	課題作成
第8回 Session 8	名詞について。単数が複数か？また冠詞に関しては、定冠詞か不定冠詞かゼロ冠詞か？冠詞をもたない日本語の話者にとって、最も苦手の文法について考える。	課題作成
第9回 Session 9	ドイツ語に4つしかない格を補う前置詞の役割	課題作成
第10回 Session 10	会話教材・練習問題の作成方法1	課題作成
第11回 Session 11	会話教材・練習問題の作成方法2	課題作成
第12回 Session 12	模擬授業1(日程の変更があり得る)	課題作成
第13回 Session 13	模擬授業2(日程の変更があり得る)	課題作成
第14回 Session 14	今学期のまとめとレポートについて。	課題作成

学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	学期末のアンケート
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	100%	課題レポート
	備考 Note		
	「平常レポート100%」で成績評価する。基礎疾患等の理由による配慮学生も、他の受講生と同様に「平常レポート100%」で成績評価する。		
備考 Note	本授業のLUNA科目ホームページは、4月中はゲストにも一般公開されている。履修登録完了前の時点において誰でも見ることができる。履修希望者は、「お知らせ」と「教材・課題・テスト」を随時、チェックしてください。		
更新日時/Date of Update	2022年03月26日 09時14分46秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	木曜4時限	春学期／Spring	F－303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48028000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】ドイツ語科教育法D／Methods of Teaching German D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	西田 隆雄(NISHIDA TAKAO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	初学者がいかに効果的かつ実質的にドイツ語を学べるか、その教育法の要点を理解し、実践に応用する力を養う。この授業ではドイツ語文法の基礎部分を扱う。わかりやすい授業をするためには、教える側の確実な豊富な知識が必要不可欠なので、これまでに受講生が得たドイツ語文法の知識をさらに詳しく深く掘り下げ、各自のドイツ語の力をより確実に豊かにすることを目指す。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the key points of teaching methods that ensure that beginners can learn German in an effective and substantive manner and to develop their abilities to apply them practically. Specifically, the basics of German grammar are covered in this course. To provide classes in a comprehensible manner, it is essential for the teacher to have rich and reliable knowledge. Accordingly, an aim of this course is to further explore the knowledge of German grammar obtained by students and steadily enrich their German language skills.		
到達目標/Learning Goals	初学者がいかに効果的かつ実質的にドイツ語を学べるか、その教育法の要点を理解し、実践に応用する力を養う。この授業ではドイツ語文法の基礎部分を扱う。わかりやすい授業をするためには、教える側の確実な豊富な知識が必要不可欠なので、これまでに受講生が得たドイツ語文法の知識をさらに詳しく深く掘り下げ、各自のドイツ語の力をより確実に豊かにすることを目指す。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will understand the key points of teaching methods that ensure that beginners can learn German in an effective and substantive manner and develop their abilities to apply them practically. Specifically, students will learn about the basics of German grammar in this course. To provide classes in a comprehensible manner, it is essential for the teacher to have rich and reliable knowledge. Accordingly, students will further explore the knowledge of German grammar they have obtained and steadily enrich their German language skills.		
授業方法 Course Format	講義形式とワークショップ形式で授業を進めていく。学期中に一回、20分程度の模擬授業を各受講生が担当する。 講師連絡先は、次のメールアドレス。ishiya53@gmail.com. 学期開始後1か月の間は、履修登録前の受講生やゲストにもLUNAを開放する。		
検索キーワード/Keywords	中等教育におけるドイツ語 第二外国語 第三外国語 外国語教育 異文化理解 ヨーロッパ言語共通参照枠 CEFR		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ドイツ語の現在完了は、「過去」か「完了」か？このテーマについての受講生はグループ作業をする。その後、クラスでディスカッションを行なう。	授業日のテーマについて、授業日までに考えをある程度まとめておく。
第2回 Session 2	現在完了と過去をどのように扱うか？	授業日のテーマについて、授業日までに考えをある程度まとめておく。
第3回 Session 3	現在完了の教材をグループで作成する。	授業日のテーマについて、授業日までに考えをある程度まとめておく。
第4回 Session 4	分離動詞と話法の助動詞の導入方法。	授業日のテーマについて、授業日までに考えをある程度まとめておく。
第5回 Session 5	複合文の導入の仕方。日付の導入方法と序数。	授業日のテーマについて、授業日までに考えをある程度まとめておく。
第6回 Session 6	時を意味する名詞につける前置詞の導入方法。時を意味する4格名詞の導入方法。	授業日のテーマについて、授業日までに考えをある程度まとめておく。
第7回 Session 7	場所を意味する名詞につける3格の前置詞と4格の前置詞、さらに前置詞 ZUの導入方法。	授業日のテーマについて、授業日までに考えをある程度まとめておく。
第8回 Session 8	形容詞の修飾語的用法の導入方法。形容詞の比較級と最上級の導入方法。	授業日のテーマについて、授業日までに考えをある程度まとめておく。
第9回 Session 9	ランデスクンデの扱い方とその教材。	授業日のテーマについて、授業日までに考えをある程度まとめておく。
第10回 Session 10	指示代名詞と不定代名詞の導入方法。	授業日のテーマについて、授業日までに考えをある程度まとめておく。
第11回 Session 11	再帰代名詞と再帰動詞の導入方法。	授業日のテーマについて、授業日までに考えをある程度まとめておく。
第12回 Session 12	接続法をめぐる日本語とドイツ語の違いについて。	授業日のテーマについて、授業日までに考えをある程度まとめておく。
第13回 Session 13	書き取りの練習方法について。ヒアリングの練習方法について。	授業日のテーマについて、授業日までに考えをある程度まとめておく。
第14回 Session 14	「教師が教育への情熱を失うとき」というテーマについて考える。課題レポートについて。	授業日のテーマについて、授業日までに考えをある程度まとめておく。課題レポートの作成。

授業計画 Overview for each class	模擬授業を適当な時期に実施する。

学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	学期末のアンケート
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	100%	課題レポート
更新日時/Date of Update	2022年01月09日 19時59分59秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	木曜4時限	秋学期／Fall	F－303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48029001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】社会・地理歴史科教育法 1／Meth of Tch Social Stds Geogrphy & Hstry		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	蔭木 原洋(KAGEKI MOTOHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、受講生が、(中学校・社会、高等学校・地理歴史の教員免許状取得のため)教科及び教科の指導法に関しての能力を身に着けることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire abilities regarding subjects and teaching methods (for obtaining a teacher's license for junior high school/social studies , high school/geography history).		
到達目標/Learning Goals	・受講生が、中学校社会科における地理的分野・歴史的分野の内容と学習方法を理解し、自ら作成した学習指導案によって授業が展開できる実践的指導力を身に着けることを目標とする。 ・受講生が高等学校の地理歴史科の教科内容を学習指導要領や教科書・資料から理解し、自ら作成した学習指導案によって授業が展開できる実践的指導力を身に着けることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	・Students will be able to understand the contents and learning methods of the geographical and historical fields in junior high school social studies and acquire practical teaching ability that allows lessons to be developed based on the learning guidance plan created by onself.		
授業の概要・背景 Course Outline	新学習指導要領が目指す①基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得②「社会的な見方・考え方」を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成③主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成 以上3点を盛り込んだ模擬授業を、講師と受講生が協力して作り上げていきましょう。		
授業方法 Course Format	本授業は、初回から対面授業で行います。授業では第7回までは講義型を中心とするが、随時アクティブラーニング形式を取り入れる。第8回以降は、受講生による授業教材作成と模擬授業の実習を中心に、実践力を養う。【オンライン受講対象者】オンラインでの受講を許可された学生に対しては、LUNAの教材・課題・テスト欄に授業内容のパワポ資料をアップロードさせていただきます。詳細はhaz36030@kwansei.ac.jp)		
関連科目/Related Courses	教科「公共」		
検索キーワード/Keywords	「歴史総合」主体的・対話的で深い学び		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	今、求められる教師とはー教育界の現状と課題	
第2回 Session 2	今、中学校社会科・高等学校地理歴史科の教員として何をすべきか	
第3回 Session 3	教材編成・研究の実際 I 授業指導計画、学習指導案の作成、授業展開、教育評価	
第4回 Session 4	教材編成・研究の実際 II 歴史総合	
第5回 Session 5	教材編成・研究の実際 III 歴史総合	
第6回 Session 6	教材編成・研究の実際 IV 歴史総合	
第7回 Session 7	教材編成・研究の実際 V 歴史総合	
第8回 Session 8	授業研究 I (情報機器・教材の活用方法、ICT教育など)	
第9回 Session 9	授業研究 II (受講生による授業教材作成を中心に)	
第10回 Session 10	授業研究 III (受講生による授業教材作成を中心に)	
第11回 Session 11	授業研究 IV (受講生による授業教材作成を中心に)	
第12回 Session 12	授業研究 V (受講生による模擬授業を中心に)	
第13回 Session 13	授業研究 VI (受講生による模擬授業を中心に)	
第14回 Session 14	授業研究 VII (受講生による模擬授業を中心に)	
第15回 Session 15	定期試験に代わるレポート提出	

授業外学修 Study Required outside Class	受講者は、自分の授業研究(模擬授業)に向けて、当該箇所の参考書を読み、資料研究を行っておくこと。

教科書 Required texts	①『「歴史総合」の授業を創る』原田智仁編著、明治図書 ￥2000＋税 ②授業中の配布するレジュメを使用する。
参考文献・資料 Reference books	東井義雄『一日一言』 森信三『修身教授録・一日一言』 兵庫県版高等学校地理歴史科用副読本『世界と日本』
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	100%	出席点20%と定期試験に代わるレポート80%。
	備考 Note 【オンライン受講生対象】平常レポートを追加で課し、平常レポート100%で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年02月17日 10時51分09秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	C－306

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48029002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】社会・地理歴史科教育法 2／Meth of Tch Social Stds Geogrphy & Hstry		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	蔭木 原洋(KAGEKI MOTOHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、受講生が、(中学校・社会、高等学校・地理歴史の教員免許状取得のため)教科及び教科の指導法に関しての能力を身に着けることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire abilities regarding subjects and teaching methods (for obtaining a teacher's license for junior high school/social studies , high school/geography history).		
到達目標/Learning Goals	・受講生が、中学校社会科における地理的分野・歴史的分野の内容と学習方法を理解し、自ら作成した学習指導案によって授業が展開できる実践的指導力を身に着けることを目標とする。 ・受講生が高等学校の地理歴史科の教科内容を学習指導要領や教科書・資料から理解し、自ら作成した学習指導案によって授業が展開できる実践的指導力を身に着けることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	・Students will be able to understand the contents and learning methods of the geographical and historical fields in junior high school social studies and acquire practical teaching ability that allows lessons to be developed based on the learning guidance plan created by onself.		
授業の概要・背景 Course Outline	新学習指導要領が目指す①基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得②「社会的な見方・考え方」を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成③主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成 以上3点を盛り込んだ模擬授業を、講師と受講生が協力して作り上げていきましょう。		
授業方法 Course Format	本授業は、初回から対面授業で行います。授業では第7回までは講義型を中心とするが、随時アクティブラーニング形式を取り入れる。第8回以降は、受講生による授業教材作成と模擬授業の実習を中心に、実践力を養う。【オンライン受講対象者】オンラインでの受講を許可された学生に対しては、LUNAの教材・課題・テスト欄に授業内容のパワポ資料をアップロードさせていただきます。詳細はhaz36030@kwansei.ac.jp)		
関連科目/Related Courses	教科「公共」		
検索キーワード/Keywords	「歴史総合」主体的・対話的で深い学び		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	今、求められる教師とはー教育界の現状と課題	
第2回 Session 2	今、中学校社会科・高等学校地理歴史科の教員として何をすべきか	
第3回 Session 3	教材編成・研究の実際 I 授業指導計画、学習指導案の作成、授業展開、教育評価	
第4回 Session 4	教材編成・研究の実際 II 歴史総合	
第5回 Session 5	教材編成・研究の実際 III 歴史総合	
第6回 Session 6	教材編成・研究の実際 IV 歴史総合	
第7回 Session 7	教材編成・研究の実際 V 歴史総合	
第8回 Session 8	授業研究 I (情報機器・教材の活用方法、ICT教育など)	
第9回 Session 9	授業研究 II (受講生による授業教材作成を中心に)	
第10回 Session 10	授業研究 III (受講生による授業教材作成を中心に)	
第11回 Session 11	授業研究 IV (受講生による授業教材作成を中心に)	
第12回 Session 12	授業研究 V (受講生による模擬授業を中心に)	
第13回 Session 13	授業研究 VI (受講生による模擬授業を中心に)	
第14回 Session 14	授業研究 VII (受講生による模擬授業を中心に)	
第15回 Session 15	定期試験に代わるレポート提出	

授業外学修 Study Required outside Class	受講者は、自分の授業研究(模擬授業)に向けて、当該箇所の参考書を読み、資料研究を行っておくこと。

教科書 Required texts	①『「歴史総合」の授業を創る』原田智仁編著、明治図書 ￥2000＋税 ②授業中の配布するレジュメを使用する。
参考文献・資料 Reference books	東井義雄『一日一言』 森信三『修身教授録・一日一言』 兵庫県版高等学校地理歴史科用副読本『世界と日本』
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	100%	出席点20%と定期試験に代わるレポート80%。
	備考 Note 【オンライン受講生対象】平常レポートを追加で課し、平常レポート100%で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年02月17日 10時51分32秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	C－306

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48029003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】社会・地理歴史科教育法 3／Meth of Tch Social Stds Geogrphy & Hstry		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	蔭木 原洋(KAGEKI MOTOHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、受講生が、(中学校・社会、高等学校・地理歴史の教員免許状取得のため)教科及び教科の指導法に関しての能力を身に着けることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire abilities regarding subjects and teaching methods (for obtaining a teacher's license for junior high school/social studies , high school/geography history).		
到達目標/Learning Goals	・受講生が、中学校社会科における地理的分野・歴史的分野の内容と学習方法を理解し、自ら作成した学習指導案によって授業が展開できる実践的指導力を身に着けることを目標とする。 ・受講生が高等学校の地理歴史科の教科内容を学習指導要領や教科書・資料から理解し、自ら作成した学習指導案によって授業が展開できる実践的指導力を身に着けることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	・Students will be able to understand the contents and learning methods of the geographical and historical fields in junior high school social studies and acquire practical teaching ability that allows lessons to be developed based on the learning guidance plan created by onself.		
授業の概要・背景 Course Outline	新学習指導要領が目指す①基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得②「社会的な見方・考え方」を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成③主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成 以上3点を盛り込んだ模擬授業を、講師と受講生が協力して作り上げていきましょう。		
授業方法 Course Format	本授業は、初回から対面授業で行います。授業では第7回までは講義型を中心とするが、随時アクティブラーニング形式を取り入れる。第8回以降は、受講生による授業教材作成と模擬授業の実習を中心に、実践力を養う。【オンライン受講対象者】オンラインでの受講を許可された学生に対しては、LUNAの教材・課題・テスト欄に授業内容のパワポ資料をアップロードさせていただきます。詳細はhaz36030@kwansei.ac.jp)		
関連科目/Related Courses	教科「公共」		
検索キーワード/Keywords	「歴史総合」主体的・対話的で深い学び		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	今、求められる教師とはー教育界の現状と課題	
第2回 Session 2	今、中学校社会科・高等学校地理歴史科の教員として何をすべきか	
第3回 Session 3	教材編成・研究の実際 I 授業指導計画、学習指導案の作成、授業展開、教育評価	
第4回 Session 4	教材編成・研究の実際 II 歴史総合	
第5回 Session 5	教材編成・研究の実際 III 歴史総合	
第6回 Session 6	教材編成・研究の実際 IV 歴史総合	
第7回 Session 7	教材編成・研究の実際 V 歴史総合	
第8回 Session 8	授業研究 I (情報機器・教材の活用方法、ICT教育など)	
第9回 Session 9	授業研究 II (受講生による授業教材作成を中心に)	
第10回 Session 10	授業研究 III (受講生による授業教材作成を中心に)	
第11回 Session 11	授業研究 IV (受講生による授業教材作成を中心に)	
第12回 Session 12	授業研究 V (受講生による模擬授業を中心に)	
第13回 Session 13	授業研究 VI (受講生による模擬授業を中心に)	
第14回 Session 14	授業研究 VII (受講生による模擬授業を中心に)	
第15回 Session 15	定期試験に代わるレポート提出	

授業外学修 Study Required outside Class	受講者は、自分の授業研究(模擬授業)に向けて、当該箇所の参考書を読み、資料研究を行っておくこと。

教科書 Required texts	①『「歴史総合」の授業を創る』原田智仁編著、明治図書 ￥2000＋税 ②授業中の配布するレジュメを使用する。
参考文献・資料 Reference books	東井義雄『一日一言』 森信三『修身教授録・一日一言』 兵庫県版高等学校地理歴史科用副読本『世界と日本』
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	100%	出席点20%と定期試験に代わるレポート80%。
	備考 Note 【オンライン受講生対象】平常レポートを追加で課し、平常レポート100%で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年02月17日 10時51分52秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜3時限	秋学期／Fall	院1－205

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48029004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】社会・地理歴史科教育法 4／Meth of Tch Social Stds Geogrphy & Hstry		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	蔭木 原洋(KAGEKI MOTOHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、受講生が、(中学校・社会、高等学校・地理歴史の教員免許状取得のため)教科及び教科の指導法に関しての能力を身に着けることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire abilities regarding subjects and teaching methods (for obtaining a teacher's license for junior high school/social studies , high school/geography history).		
到達目標/Learning Goals	・受講生が、中学校社会科における地理的分野・歴史的分野の内容と学習方法を理解し、自ら作成した学習指導案によって授業が展開できる実践的指導力を身に着けることを目標とする。 ・受講生が高等学校の地理歴史科の教科内容を学習指導要領や教科書・資料から理解し、自ら作成した学習指導案によって授業が展開できる実践的指導力を身に着けることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	・Students will be able to understand the contents and learning methods of the geographical and historical fields in junior high school social studies and acquire practical teaching ability that allows lessons to be developed based on the learning guidance plan created by onself.		
授業の概要・背景 Course Outline	新学習指導要領が目指す①基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得②「社会的な見方・考え方」を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成③主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成 以上3点を盛り込んだ模擬授業を、講師と受講生が協力して作り上げていきましょう。		
授業方法 Course Format	本授業は、初回から対面授業で行います。授業では第7回までは講義型を中心とするが、随時アクティブラーニング形式を取り入れる。第8回以降は、受講生による授業教材作成と模擬授業の実習を中心に、実践力を養う。【オンライン受講対象者】オンラインでの受講を許可された学生に対しては、LUNAの教材・課題・テスト欄に授業内容のパワポ資料をアップロードさせていただきます。詳細はhaz36030@kwansei.ac.jp)		
関連科目/Related Courses	教科「公共」		
検索キーワード/Keywords	「歴史総合」主体的・対話的で深い学び		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	今、求められる教師とはー教育界の現状と課題	
第2回 Session 2	今、中学校社会科・高等学校地理歴史科の教員として何をすべきか	
第3回 Session 3	教材編成・研究の実際 I 授業指導計画、学習指導案の作成、授業展開、教育評価	
第4回 Session 4	教材編成・研究の実際 II 歴史総合	
第5回 Session 5	教材編成・研究の実際 III 歴史総合	
第6回 Session 6	教材編成・研究の実際 IV 歴史総合	
第7回 Session 7	教材編成・研究の実際 V 歴史総合	
第8回 Session 8	授業研究 I (情報機器・教材の活用方法、ICT教育など)	
第9回 Session 9	授業研究 II (受講生による授業教材作成を中心に)	
第10回 Session 10	授業研究 III (受講生による授業教材作成を中心に)	
第11回 Session 11	授業研究 IV (受講生による授業教材作成を中心に)	
第12回 Session 12	授業研究 V (受講生による模擬授業を中心に)	
第13回 Session 13	授業研究 VI (受講生による模擬授業を中心に)	
第14回 Session 14	授業研究 VII (受講生による模擬授業を中心に)	
第15回 Session 15	定期試験に代わるレポート提出	

授業外学修 Study Required outside Class	受講者は、自分の授業研究(模擬授業)に向けて、当該箇所の参考書を読み、資料研究を行っておくこと。

教科書 Required texts	①『「歴史総合」の授業を創る』原田智仁編著、明治図書 ￥2000＋税 ②授業中の配布するレジュメを使用する。
参考文献・資料 Reference books	東井義雄『一日一言』 森信三『修身教授録・一日一言』 兵庫県版高等学校地理歴史科用副読本『世界と日本』
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	100%	出席点20%と定期試験に代わるレポート80%。
	備考 Note 【オンライン受講生対象】平常レポートを追加で課し、平常レポート100%で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年02月17日 10時52分08秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜4時限	秋学期／Fall	院1－205

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48029005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】社会・地理歴史科教育法 5／Meth of Tch Social Stds Geogrphy & Hstry		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	蔭木 原洋(KAGEKI MOTOHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、受講生が、(中学校・社会、高等学校・地理歴史の教員免許状取得のため)教科及び教科の指導法に関しての能力を身に着けることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire abilities regarding subjects and teaching methods (for obtaining a teacher's license for junior high school/social studies , high school/geography history).		
到達目標/Learning Goals	・受講生が、中学校社会科における地理的分野・歴史的分野の内容と学習方法を理解し、自ら作成した学習指導案によって授業が展開できる実践的指導力を身に着けることを目標とする。 ・受講生が高等学校の地理歴史科の教科内容を学習指導要領や教科書・資料から理解し、自ら作成した学習指導案によって授業が展開できる実践的指導力を身に着けることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	・Students will be able to understand the contents and learning methods of the geographical and historical fields in junior high school social studies and acquire practical teaching ability that allows lessons to be developed based on the learning guidance plan created by onself.		
授業の概要・背景 Course Outline	新学習指導要領が目指す①基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得②「社会的な見方・考え方」を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成③主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成 以上3点を盛り込んだ模擬授業を、講師と受講生が協力して作り上げていきましょう。		
授業方法 Course Format	本授業は、初回から対面授業で行います。授業では第7回までは講義型を中心とするが、随時アクティブラーニング形式を取り入れる。第8回以降は、受講生による授業教材作成と模擬授業の実習を中心に、実践力を養う。【オンライン受講対象者】オンラインでの受講を許可された学生に対しては、LUNAの教材・課題・テスト欄に授業内容のパワポ資料をアップロードさせていただきます。詳細はhaz36030@kwansei.ac.jp)		
関連科目/Related Courses	教科「公共」		
検索キーワード/Keywords	「歴史総合」主体的・対話的で深い学び		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	今、求められる教師とはー教育界の現状と課題	
第2回 Session 2	今、中学校社会科・高等学校地理歴史科の教員として何をすべきか	
第3回 Session 3	教材編成・研究の実際 I 授業指導計画、学習指導案の作成、授業展開、教育評価	
第4回 Session 4	教材編成・研究の実際 II 歴史総合	
第5回 Session 5	教材編成・研究の実際 III 歴史総合	
第6回 Session 6	教材編成・研究の実際 IV 歴史総合	
第7回 Session 7	教材編成・研究の実際 V 歴史総合	
第8回 Session 8	授業研究 I (情報機器・教材の活用方法、ICT教育など)	
第9回 Session 9	授業研究 II (受講生による授業教材作成を中心に)	
第10回 Session 10	授業研究 III (受講生による授業教材作成を中心に)	
第11回 Session 11	授業研究 IV (受講生による授業教材作成を中心に)	
第12回 Session 12	授業研究 V (受講生による模擬授業を中心に)	
第13回 Session 13	授業研究 VI (受講生による模擬授業を中心に)	
第14回 Session 14	授業研究 VII (受講生による模擬授業を中心に)	
第15回 Session 15	定期試験に代わるレポート提出	

授業外学修 Study Required outside Class	受講者は、自分の授業研究(模擬授業)に向けて、当該箇所の参考書を読み、資料研究を行っておくこと。

教科書 Required texts	①『「歴史総合」の授業を創る』原田智仁編著、明治図書　¥2000＋税 ②授業中の配布するレジュメを使用する。
参考文献・資料 Reference books	東井義雄『一日一言』 森信三『修身教授録・一日一言』 兵庫県版高等学校地理歴史科用副読本『世界と日本』
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	100%	出席点20%と定期試験に代わるレポート80%。
	備考 Note		
	【オンライン受講生対象】平常レポートを追加で課し、平常レポート100%で評価する。		
更新日時/Date of Update		2022年02月17日　10時52分22秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜4時限	秋学期／Fall	I－105

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48030001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】社会・公民科教育法 1／Meth of Tch Social Stds & Civcs		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	倉橋 忠(KURAHASHI TADASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	この授業は、受講生が、中学校社会科公民的分野を指導するために必要な知識と技能を習得し、実践的指導力を獲得することを目的に行います。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire the knowledge and skills necessary to teach the civics field of social studies in junior high school and gain practical leadership skills.		
到達目標/Learning Goals	(1)受講生は、中学校社会科公民的分野の内容を理解し、指導計画及び学習指導案を作成することができる。 (2)受講生は、評価方法について理解し、学習指導案と評価問題を作成することができる。 (3)受講生は、自ら作成した学習指導案によって模擬授業を行うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to (1) understand the contents of the civics field of social studies in junior high school and prepare lesson plans and teaching plans, (2) understand the evaluation methods and create teaching plans and evaluation test questions, (3) conduct simulated lessons with the teaching plans they create.		
授業の概要・背景 Course Outline	この授業では、具体的な目標として「思考力・判断力・表現力」を育成するための「学習指導案」・「板書計画」・「パフォーマンス課題」を受講生が作成できるようになることをすすめています。 その目標を実現するために、授業では教育方法的な理論と具体的な実践事例の両側面から学びます。主な学習内容として、社会科の歴史、学習指導要領の趣旨、教育目標と教材の関係、目標に準拠した評価の方法、パフォーマンス課題とルーブリックの作り方、授業設計の方法などを扱います。 また、公民的分野の授業実践事例を通して、発問の仕方や教材開発の方法、学習集団の育成法、ICTなど教育機器の活用方法についても学びます。 さらに、受講生全員に模擬授業を実演してもらいます。模擬授業後には、授業担当者(倉橋)による講評及び、受講生同士による相互評価を行う場面を設定して、学習指導案の完成度を高めたり、授業実践力を培えるようにします。		
授業方法 Course Format	この授業は、対面授業で行います。学習に必要な「レジュメ」と資料等をLUNAの「教材・課題・テスト」に、授業実施日の2日前までにアップロードします。 なお、オンライン授業での受講を許可された受講生がいる場合は、対面授業とは別に授業動画を授業実施日にYouTubeを通して公開します。オンライン授業受講の許可を受けた人は、その授業動画を視聴して受講して下さい。 毎回の授業で「時間外の学習課題」を出題します。「時間外の学習課題」の提出方法は、LUNAの掲示板の「フォーラム」を活用します。授業担当者は授業日から3日以内の「フォーラムへの書き込み」に対してコメントを返します。そのことで、受講生同士や授業担当者との「意見交換」を行います。		
関連科目/Related Courses	公民科教育法、社会・地理歴史科教育法、地理歴史教育法		
検索キーワード/Keywords	公民的分野 学習指導案 指導案の書き方 指導計画 板書 教材 発問 模擬授業 思考力 判断力 表現力 目標準拠評価 評価基準 パフォーマンス課題 アクティブ・ラーニング 主体的・対話的な深い学び		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	社会科教育の課題と教員の仕事	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:「社会科の授業に関する意識調査」に回答し提出すること。回答の提出方法・期限は授業内で指示する。
第2回 Session 2	社会科の歴史と学習指導要領(社会科・公民的分野)の推移	予習の課題:最新版『中学校学習指導要領』の社会科(p.26)・公民的分野の「1目標」及び「2内容」(p.42ーp.46)を読んでおくこと。 復習の課題:社会科の歴史を踏まえ、改定学習指導要領の特徴と「自分の社会科の授業に対するイメージ」との異同について整理すること。
第3回 Session 3	社会科・公民的分野と道徳及び総合的な学習の時間	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:改訂学習指導要領の社会科・公民的分野の教育目標と道徳教育及び総合的な学習の時間の異同を整理しておくこと。
第4回 Session 4	社会科・公民的分野の授業設計と学習評価	予習の課題:中学校学習指導要領「第3 指導計画の作成と内容の取り扱い」(p.48ーp.49)を読んでおくこと。 復習の課題:授業で紹介する「試験問題」を一つだけ取り上げて、「評価と授業の一体化」を実現するために必要なことを具体的に整理すること。
第5回 Session 5	事例研究(1)「主体的・対話的な深い学び」と「パフォーマンス評価」	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:生徒の書いた「作文」を実際に採点して、「パフォーマンス評価」を具現化する際に必要なことを整理しておくこと。
第6回 Session 6	事例研究(2) 学習指導と授業のユニバーサル・デザイン化	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:授業のユニバーサル・デザイン化を実現する方法について整理しておくこと。
第7回	事例研究(3) 社会科の学びと学習集団の育成	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。

Session 7		復習の課題: 社会科の学力形成と学習集団の育成の関係性について整理しておくこと。
第8回 Session 8	事例研究(4) 社会科の教材・教具の開発と活用	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 教育目標と教材づくりの関係を具体的な場面を想定して整理しておくこと。
第9回 Session 9	事例研究(5) 社会科の学びを支援する板書と発問の方法	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 発問で授業展開を構成することについて、特定の学習内容を選択して具体的に計画してみること。
第10回 Session 10	授業研究(1) 学習指導案の書き方(模擬授業の計画を含む)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 学習指導案を書きたい単元を選択し、具体的に授業設計するための準備を行う。
第11回 Session 11	授業研究(1)「模擬授業」(「現代社会と文化」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「現代社会と文化」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第12回 Session 12	授業研究(2)「模擬授業」(「私たちと政治」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「私たちと政治」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第13回 Session 13	授業研究(3)「模擬授業」(「私たちと経済」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「私たちと経済」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第14回 Session 14	授業研究(4)「模擬授業」(「国際社会の諸課題」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「授業ノート」の冒頭に示す「学習課題」への「レジュメ」を考えること。 復習の課題: 「貧困問題」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。

教科書 Required texts	「レジュメ」及び資料等を配布します。「レジュメ」と資料等は、LUNAの「教材・課題・テスト」にアップロードしますのでダウンロードして活用して下さい。
参考文献・資料 Reference books	(1)文部科学省『中学校学習指導要領』(最新版) (2)文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』(最新版) (3)文部科学省『高等学校学習指導要領』(最新版) (4)文部科学省『高等学校学習指導要領解説 公民編』(最新版) (5)中学校・公民的分野の教科書(受講生の出身中学校で使用されているものが望ましいです。出身中学校の教科書が手に入らないときは、他社のものでも最新の教科書であれば可とします。)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	全学統一様式による調査、及び学期末に自作アンケートによる調査で授業評価を行う。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	70%	課題についての作品の提出を求めます。課題は、「学習指導案」と「板書計画」及び「パフォーマンス課題」です。
	その他／Others(99)	30%	模擬授業の実演(10%)と、授業内での「学習課題」及び「時間外の学習課題」に対する取り組みを評価します(20%)。
	備考 Note 提出課題等の評価は、授業者作成の「成績評価のためのルーブリック」に基づき行います。		
添付ファイル1/File Attachement 1	成績評価のためのルーブリック.pdf	説明1/Explanation 1	成績評価のためのルーブリック(評価基準)です。
URLリンク1/URL 1	https://www.youtube.com/channel/UCRU3MaQtHufODN28kUIdn0w		
URLリンク2/URL 2	https://www.nande2.jp/		
更新日時/Date of Update	2022年02月03日 05時05分51秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	金曜3時限	春学期／Spring	D-203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48030002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】社会・公民科教育法 2／Meth of Tch Social Stds & Civcs		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	倉橋 忠(KURAHASHI TADASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	この授業は、受講生が、中学校社会科公民的分野を指導するために必要な知識と技能を習得し、実践的指導力を獲得することを目的に行います。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire the knowledge and skills necessary to teach the civics field of social studies in junior high school and gain practical leadership skills.		
到達目標/Learning Goals	(1)受講生は、中学校社会科公民的分野の内容を理解し、指導計画及び学習指導案を作成することができる。 (2)受講生は、評価方法について理解し、学習指導案と評価問題を作成することができる。 (3)受講生は、自ら作成した学習指導案によって模擬授業を行うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to (1) understand the contents of the civics field of social studies in junior high school and prepare lesson plans and teaching plans, (2) understand the evaluation methods and create teaching plans and evaluation test questions, (3) conduct simulated lessons with the teaching plans they create.		
授業の概要・背景 Course Outline	この授業では、具体的な目標として「思考力・判断力・表現力」を育成するための「学習指導案」・「板書計画」・「パフォーマンス課題」を受講生が作成できるようになることをすすめています。 その目標を実現するために、授業では教育方法的な理論と具体的な実践事例の両側面から学びます。主な学習内容として、社会科の歴史、学習指導要領の趣旨、教育目標と教材の関係、目標に準拠した評価の方法、パフォーマンス課題とルーブリックの作り方、授業設計の方法などを扱います。 また、公民的分野の授業実践事例を通して、発問の仕方や教材開発の方法、学習集団の育成法、ICTなど教育機器の活用方法についても学びます。 さらに、受講生全員に模擬授業を実演してもらいます。模擬授業後には、授業担当者(倉橋)による講評及び、受講生同士による相互評価を行う場面を設定して、学習指導案の完成度を高めたり、授業実践力を培えるようにします。		
授業方法 Course Format	この授業は、対面授業で行います。学習に必要な「レジュメ」と資料等をLUNAの「教材・課題・テスト」に、授業実施日の2日前までにアップロードします。 なお、オンライン授業での受講を許可された受講生がいる場合は、対面授業とは別に授業動画を授業実施日にYouTubeを通して公開します。オンライン授業受講の許可を受けた人は、その授業動画を視聴して受講して下さい。 毎回の授業で「時間外の学習課題」を出題します。「時間外の学習課題」の提出方法は、LUNAの掲示板の「フォーラム」を活用します。授業担当者は授業日から3日以内の「フォーラムへの書き込み」に対してコメントを返します。そのことで、受講生同士や授業担当者との「意見交換」を行います。		
関連科目/Related Courses	公民科教育法、社会・地理歴史科教育法、地理歴史教育法		
検索キーワード/Keywords	公民的分野 学習指導案 指導案の書き方 指導計画 板書 教材 発問 模擬授業 思考力 判断力 表現力 目標準拠評価 評価基準 パフォーマンス課題 アクティブ・ラーニング 主体的・対話的な深い学び		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	社会科教育の課題と教員の仕事	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:「社会科の授業に関する意識調査」に回答し提出すること。回答の提出方法・期限は授業内で指示する。
第2回 Session 2	社会科の歴史と学習指導要領(社会科・公民的分野)の推移	予習の課題:最新版『中学校学習指導要領』の社会科(p.26)・公民的分野の「1目標」及び「2内容」(p.42ーp.46)を読んでおくこと。 復習の課題:社会科の歴史を踏まえ、改定学習指導要領の特徴と「自分の社会科の授業に対するイメージ」との異同について整理すること。
第3回 Session 3	社会科・公民的分野と道徳及び総合的な学習の時間	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:改訂学習指導要領の社会科・公民的分野の教育目標と道徳教育及び総合的な学習の時間の異同を整理しておくこと。
第4回 Session 4	社会科・公民的分野の授業設計と学習評価	予習の課題:中学校学習指導要領「第3 指導計画の作成と内容の取り扱い」(p.48ーp.49)を読んでおくこと。 復習の課題:授業で紹介する「試験問題」を一つだけ取り上げて、「評価と授業の一体化」を実現するために必要なことを具体的に整理すること。
第5回 Session 5	事例研究(1)「主体的・対話的な深い学び」と「パフォーマンス評価」	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:生徒の書いた「作文」を実際に採点して、「パフォーマンス評価」を具現化する際に必要なことを整理しておくこと。
第6回 Session 6	事例研究(2) 学習指導と授業のユニバーサル・デザイン化	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:授業のユニバーサル・デザイン化を実現する方法について整理しておくこと。
第7回	事例研究(3) 社会科の学びと学習集団の育成	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。

Session 7		復習の課題: 社会科の学力形成と学習集団の育成の関係性について整理しておくこと。
第8回 Session 8	事例研究(4) 社会科の教材・教具の開発と活用	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 教育目標と教材づくりの関係を具体的な場面を想定して整理しておくこと。
第9回 Session 9	事例研究(5) 社会科の学びを支援する板書と発問の方法	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 発問で授業展開を構成することについて、特定の学習内容を選択して具体的に計画してみること。
第10回 Session 10	授業研究(1) 学習指導案の書き方(模擬授業の計画を含む)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 学習指導案を書きたい単元を選択し、具体的に授業設計するための準備を行う。
第11回 Session 11	授業研究(1)「模擬授業」(「現代社会と文化」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「現代社会と文化」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第12回 Session 12	授業研究(2)「模擬授業」(「私たちと政治」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「私たちと政治」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第13回 Session 13	授業研究(3)「模擬授業」(「私たちと経済」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「私たちと経済」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第14回 Session 14	授業研究(4)「模擬授業」(「国際社会の諸課題」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「授業ノート」の冒頭に示す「学習課題」への「レジュメ」を考えること。 復習の課題: 「貧困問題」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。

教科書 Required texts	「レジュメ」及び資料等を配布します。「レジュメ」と資料等は、LUNAの「教材・課題・テスト」にアップロードしますのでダウンロードして活用して下さい。
参考文献・資料 Reference books	(1)文部科学省『中学校学習指導要領』(最新版) (2)文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』(最新版) (3)文部科学省『高等学校学習指導要領』(最新版) (4)文部科学省『高等学校学習指導要領解説 公民編』(最新版) (5)中学校・公民的分野の教科書(受講生の出身中学校で使用されているものが望ましいです。出身中学校の教科書が手に入らないときは、他社のものでも最新の教科書であれば可とします。)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	全学統一様式による調査、及び学期末に自作アンケートによる調査で授業評価を行う。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	70%	課題についての作品の提出を求めます。課題は、「学習指導案」と「板書計画」及び「パフォーマンス課題」です。
	その他／Others(99)	30%	模擬授業の実演(10%)と、授業内での「学習課題」及び「時間外の学習課題」に対する取り組みを評価します(20%)。
	備考 Note 提出課題等の評価は、授業者作成の「成績評価のためのルーブリック」に基づき行います。		
添付ファイル1/File Attachement 1	成績評価のためのルーブリック.pdf	説明1/Explanation 1	成績評価のためのルーブリック(評価基準)です。
URLリンク1/URL 1	https://www.youtube.com/channel/UCRU3MaQtHufODN28kUIdn0w		
URLリンク2/URL 2	https://www.nande2.jp/		
更新日時/Date of Update	2022年02月03日 05時06分44秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	金曜4時限	春学期／Spring	D-203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48030003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】社会・公民科教育法 3／Meth of Tch Social Stds & Civcs		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	倉橋 忠(KURAHASHI TADASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	この授業は、受講生が、中学校社会科公民的分野を指導するために必要な知識と技能を習得し、実践的指導力を獲得することを目的に行います。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire the knowledge and skills necessary to teach the civics field of social studies in junior high school and gain practical leadership skills.		
到達目標/Learning Goals	(1)受講生は、中学校社会科公民的分野の内容を理解し、指導計画及び学習指導案を作成することができる。 (2)受講生は、評価方法について理解し、学習指導案と評価問題を作成することができる。 (3)受講生は、自ら作成した学習指導案によって模擬授業を行うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to (1) understand the contents of the civics field of social studies in junior high school and prepare lesson plans and teaching plans, (2) understand the evaluation methods and create teaching plans and evaluation test questions, (3) conduct simulated lessons with the teaching plans they create.		
授業の概要・背景 Course Outline	この授業では、具体的な目標として「思考力・判断力・表現力」を育成するための「学習指導案」・「板書計画」・「パフォーマンス課題」を受講生が作成できるようになることをすすめています。 その目標を実現するために、授業では教育方法的な理論と具体的な実践事例の両側面から学びます。主な学習内容として、社会科の歴史、学習指導要領の趣旨、教育目標と教材の関係、目標に準拠した評価の方法、パフォーマンス課題とルーブリックの作り方、授業設計の方法などを扱います。 また、公民的分野の授業実践事例を通して、発問の仕方や教材開発の方法、学習集団の育成法、ICTなど教育機器の活用方法についても学びます。 さらに、受講生全員に模擬授業を実演してもらいます。模擬授業後には、授業担当者(倉橋)による講評及び、受講生同士による相互評価を行う場面を設定して、学習指導案の完成度を高めたり、授業実践力を培えるようにします。		
授業方法 Course Format	この授業は、対面授業で行います。学習に必要な「レジュメ」と資料等をLUNAの「教材・課題・テスト」に、授業実施日の2日前までにアップロードします。 なお、オンライン授業での受講を許可された受講生がいる場合は、対面授業とは別に授業動画を授業実施日にYouTubeを通して公開します。オンライン授業受講の許可を受けた人は、その授業動画を視聴して受講して下さい。 毎回の授業で「時間外の学習課題」を出題します。「時間外の学習課題」の提出方法は、LUNAの掲示板の「フォーラム」を活用します。授業担当者は授業日から3日以内の「フォーラムへの書き込み」に対してコメントを返します。そのことで、受講生同士や授業担当者との「意見交換」を行います。		
関連科目/Related Courses	公民科教育法、社会・地理歴史科教育法、地理歴史教育法		
検索キーワード/Keywords	公民的分野 学習指導案 指導案の書き方 指導計画 板書 教材 発問 模擬授業 思考力 判断力 表現力 目標準拠評価 評価基準 パフォーマンス課題 アクティブ・ラーニング 主体的・対話的な深い学び		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	社会科教育の課題と教員の仕事	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:「社会科の授業に関する意識調査」に回答し提出すること。回答の提出方法・期限は授業内で指示する。
第2回 Session 2	社会科の歴史と学習指導要領(社会科・公民的分野)の推移	予習の課題:最新版『中学校学習指導要領』の社会科(p.26)・公民的分野の「1目標」及び「2内容」(p.42ーp.46)を読んでおくこと。 復習の課題:社会科の歴史を踏まえ、改定学習指導要領の特徴と「自分の社会科の授業に対するイメージ」との異同について整理すること。
第3回 Session 3	社会科・公民的分野と道徳及び総合的な学習の時間	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:改訂学習指導要領の社会科・公民的分野の教育目標と道徳教育及び総合的な学習の時間の異同を整理しておくこと。
第4回 Session 4	社会科・公民的分野の授業設計と学習評価	予習の課題:中学校学習指導要領「第3 指導計画の作成と内容の取り扱い」(p.48ーp.49)を読んでおくこと。 復習の課題:授業で紹介する「試験問題」を一つだけ取り上げて、「評価と授業の一体化」を実現するために必要なことを具体的に整理すること。
第5回 Session 5	事例研究(1)「主体的・対話的な深い学び」と「パフォーマンス評価」	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:生徒の書いた「作文」を実際に採点して、「パフォーマンス評価」を具現化する際に必要なことを整理しておくこと。
第6回 Session 6	事例研究(2) 学習指導と授業のユニバーサル・デザイン化	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:授業のユニバーサル・デザイン化を実現する方法について整理しておくこと。
第7回	事例研究(3) 社会科の学びと学習集団の育成	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。

Session 7		復習の課題: 社会科の学力形成と学習集団の育成の関係性について整理しておくこと。
第8回 Session 8	事例研究(4) 社会科の教材・教具の開発と活用	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 教育目標と教材づくりの関係を具体的な場面を想定して整理しておくこと。
第9回 Session 9	事例研究(5) 社会科の学びを支援する板書と発問の方法	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 発問で授業展開を構成することについて、特定の学習内容を選択して具体的に計画してみること。
第10回 Session 10	授業研究(1) 学習指導案の書き方(模擬授業の計画を含む)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 学習指導案を書きたい単元を選択し、具体的に授業設計するための準備を行う。
第11回 Session 11	授業研究(1)「模擬授業」(「現代社会と文化」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「現代社会と文化」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第12回 Session 12	授業研究(2)「模擬授業」(「私たちと政治」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「私たちと政治」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第13回 Session 13	授業研究(3)「模擬授業」(「私たちと経済」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「私たちと経済」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第14回 Session 14	授業研究(4)「模擬授業」(「国際社会の諸課題」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「授業ノート」の冒頭に示す「学習課題」への「レジュメ」を考えること。 復習の課題: 「貧困問題」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。

教科書 Required texts	「レジュメ」及び資料等を配布します。「レジュメ」と資料等は、LUNAの「教材・課題・テスト」にアップロードしますのでダウンロードして活用して下さい。
参考文献・資料 Reference books	(1)文部科学省『中学校学習指導要領』(最新版) (2)文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』(最新版) (3)文部科学省『高等学校学習指導要領』(最新版) (4)文部科学省『高等学校学習指導要領解説 公民編』(最新版) (5)中学校・公民的分野の教科書(受講生の出身中学校で使用されているものが望ましいです。出身中学校の教科書が手に入らないときは、他社のものでも最新の教科書であれば可とします。)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	全学統一様式による調査、及び学期末に自作アンケートによる調査で授業評価を行う。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	70%	課題についての作品の提出を求めます。課題は、「学習指導案」と「板書計画」及び「パフォーマンス課題」です。
	その他／Others(99)	30%	模擬授業の実演(10%)と、授業内での「学習課題」及び「時間外の学習課題」に対する取り組みを評価します(20%)。
	備考 Note 提出課題等の評価は、授業者作成の「成績評価のためのルーブリック」に基づき行います。		
添付ファイル1/File Attachment 1	成績評価のためのルーブリック.pdf	説明1/Explanation 1	成績評価のためのルーブリック(評価基準)です。
URLリンク1/URL 1	https://www.youtube.com/channel/UCRU3MaQtHufODN28kUIdn0w		
URLリンク2/URL 2	https://www.nande2.jp/		
更新日時/Date of Update	2022年02月03日 05時07分19秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜1時限	秋学期／Fall	C-202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48030004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】社会・公民科教育法 4／Meth of Tch Social Stds & Civcs		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	倉橋 忠(KURAHASHI TADASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	この授業は、受講生が、中学校社会科公民的分野を指導するために必要な知識と技能を習得し、実践的指導力を獲得することを目的に行います。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire the knowledge and skills necessary to teach the civics field of social studies in junior high school and gain practical leadership skills.		
到達目標/Learning Goals	(1)受講生は、中学校社会科公民的分野の内容を理解し、指導計画及び学習指導案を作成することができる。 (2)受講生は、評価方法について理解し、学習指導案と評価問題を作成することができる。 (3)受講生は、自ら作成した学習指導案によって模擬授業を行うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to (1) understand the contents of the civics field of social studies in junior high school and prepare lesson plans and teaching plans, (2) understand the evaluation methods and create teaching plans and evaluation test questions, (3) conduct simulated lessons with the teaching plans they create.		
授業の概要・背景 Course Outline	この授業では、具体的な目標として「思考力・判断力・表現力」を育成するための「学習指導案」・「板書計画」・「パフォーマンス課題」を受講生が作成できるようになることをすすめています。 その目標を実現するために、授業では教育方法的な理論と具体的な実践事例の両側面から学びます。主な学習内容として、社会科の歴史、学習指導要領の趣旨、教育目標と教材の関係、目標に準拠した評価の方法、パフォーマンス課題とルーブリックの作り方、授業設計の方法などを扱います。 また、公民的分野の授業実践事例を通して、発問の仕方や教材開発の方法、学習集団の育成法、ICTなど教育機器の活用方法についても学びます。 さらに、受講生全員に模擬授業を実演してもらいます。模擬授業後には、授業担当者(倉橋)による講評及び、受講生同士による相互評価を行う場面を設定して、学習指導案の完成度を高めたり、授業実践力を培えるようにします。		
授業方法 Course Format	この授業は、対面授業で行います。学習に必要な「レジュメ」と資料等をLUNAの「教材・課題・テスト」に、授業実施日の2日前までにアップロードします。 なお、オンライン授業での受講を許可された受講生がいる場合は、対面授業とは別に授業動画を授業実施日にYouTubeを通して公開します。オンライン授業受講の許可を受けた人は、その授業動画を視聴して受講して下さい。 毎回の授業で「時間外の学習課題」を出題します。「時間外の学習課題」の提出方法は、LUNAの掲示板の「フォーラム」を活用します。授業担当者は授業日から3日以内の「フォーラムへの書き込み」に対してコメントを返します。そのことで、受講生同士や授業担当者との「意見交換」を行います。		
関連科目/Related Courses	公民科教育法、社会・地理歴史科教育法、地理歴史教育法		
検索キーワード/Keywords	公民的分野 学習指導案 指導案の書き方 指導計画 板書 教材 発問 模擬授業 思考力 判断力 表現力 目標準拠評価 評価基準 パフォーマンス課題 アクティブ・ラーニング 主体的・対話的な深い学び		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	社会科教育の課題と教員の仕事	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:「社会科の授業に関する意識調査」に回答し提出すること。回答の提出方法・期限は授業内で指示する。
第2回 Session 2	社会科の歴史と学習指導要領(社会科・公民的分野)の推移	予習の課題:最新版『中学校学習指導要領』の社会科(p.26)・公民的分野の「1目標」及び「2内容」(p.42ーp.46)を読んでおくこと。 復習の課題:社会科の歴史を踏まえ、改定学習指導要領の特徴と「自分の社会科の授業に対するイメージ」との異同について整理すること。
第3回 Session 3	社会科・公民的分野と道徳及び総合的な学習の時間	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:改訂学習指導要領の社会科・公民的分野の教育目標と道徳教育及び総合的な学習の時間の異同を整理しておくこと。
第4回 Session 4	社会科・公民的分野の授業設計と学習評価	予習の課題:中学校学習指導要領「第3 指導計画の作成と内容の取り扱い」(p.48ーp.49)を読んでおくこと。 復習の課題:授業で紹介する「試験問題」を一つだけ取り上げて、「評価と授業の一体化」を実現するために必要なことを具体的に整理すること。
第5回 Session 5	事例研究(1)「主体的・対話的な深い学び」と「パフォーマンス評価」	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:生徒の書いた「作文」を実際に採点して、「パフォーマンス評価」を具現化する際に必要なことを整理しておくこと。
第6回 Session 6	事例研究(2) 学習指導と授業のユニバーサル・デザイン化	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:授業のユニバーサル・デザイン化を実現する方法について整理しておくこと。
第7回	事例研究(3) 社会科の学びと学習集団の育成	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。

Session 7		復習の課題: 社会科の学力形成と学習集団の育成の関係性について整理しておくこと。
第8回 Session 8	事例研究(4) 社会科の教材・教具の開発と活用	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 教育目標と教材づくりの関係を具体的な場面を想定して整理しておくこと。
第9回 Session 9	事例研究(5) 社会科の学びを支援する板書と発問の方法	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 発問で授業展開を構成することについて、特定の学習内容を選択して具体的に計画してみること。
第10回 Session 10	授業研究(1) 学習指導案の書き方(模擬授業の計画を含む)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 学習指導案を書きたい単元を選択し、具体的に授業設計するための準備を行う。
第11回 Session 11	授業研究(1)「模擬授業」(「現代社会と文化」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「現代社会と文化」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第12回 Session 12	授業研究(2)「模擬授業」(「私たちと政治」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「私たちと政治」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第13回 Session 13	授業研究(3)「模擬授業」(「私たちと経済」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「私たちと経済」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第14回 Session 14	授業研究(4)「模擬授業」(「国際社会の諸課題」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「授業ノート」の冒頭に示す「学習課題」への「レジュメ」を考えること。 復習の課題: 「貧困問題」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。

教科書 Required texts	「レジュメ」及び資料等を配布します。「レジュメ」と資料等は、LUNAの「教材・課題・テスト」にアップロードしますのでダウンロードして活用して下さい。
参考文献・資料 Reference books	(1)文部科学省『中学校学習指導要領』(最新版) (2)文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』(最新版) (3)文部科学省『高等学校学習指導要領』(最新版) (4)文部科学省『高等学校学習指導要領解説 公民編』(最新版) (5)中学校・公民的分野の教科書(受講生の出身中学校で使用されているものが望ましいです。出身中学校の教科書が手に入らないときは、他社のものでも最新の教科書であれば可とします。)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	全学統一様式による調査、及び学期末に自作アンケートによる調査で授業評価を行う。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	70%	課題についての作品の提出を求めます。課題は、「学習指導案」と「板書計画」及び「パフォーマンス課題」です。
	その他／Others(99)	30%	模擬授業の実演(10%)と、授業内での「学習課題」及び「時間外の学習課題」に対する取り組みを評価します(20%)。
	備考 Note 提出課題等の評価は、授業者作成の「成績評価のためのルーブリック」に基づき行います。		
添付ファイル1/File Attachment 1	成績評価のためのルーブリック.pdf	説明1/Explanation 1	成績評価のためのルーブリック(評価基準)です。
URLリンク1/URL 1	https://www.youtube.com/channel/UCRU3MaQtHufODN28kUIdn0w		
URLリンク2/URL 2	https://www.nande2.jp/		
更新日時/Date of Update	2022年02月03日 05時07分57秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜2時限	秋学期／Fall	C－204

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48030005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】社会・公民科教育法 5／Meth of Tch Social Stds & Civcs		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	倉橋 忠(KURAHASHI TADASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	この授業は、受講生が、中学校社会科公民的分野を指導するために必要な知識と技能を習得し、実践的指導力を獲得することを目的に行います。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire the knowledge and skills necessary to teach the civics field of social studies in junior high school and gain practical leadership skills.		
到達目標/Learning Goals	(1)受講生は、中学校社会科公民的分野の内容を理解し、指導計画及び学習指導案を作成することができる。 (2)受講生は、評価方法について理解し、学習指導案と評価問題を作成することができる。 (3)受講生は、自ら作成した学習指導案によって模擬授業を行うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to (1) understand the contents of the civics field of social studies in junior high school and prepare lesson plans and teaching plans, (2) understand the evaluation methods and create teaching plans and evaluation test questions, (3) conduct simulated lessons with the teaching plans they create.		
授業の概要・背景 Course Outline	この授業では、具体的な目標として「思考力・判断力・表現力」を育成するための「学習指導案」・「板書計画」・「パフォーマンス課題」を受講生が作成できるようになることをすすめています。 その目標を実現するために、授業では教育方法的な理論と具体的な実践事例の両側面から学びます。主な学習内容として、社会科の歴史、学習指導要領の趣旨、教育目標と教材の関係、目標に準拠した評価の方法、パフォーマンス課題とルーブリックの作り方、授業設計の方法などを扱います。 また、公民的分野の授業実践事例を通して、発問の仕方や教材開発の方法、学習集団の育成法、ICTなど教育機器の活用方法についても学びます。 さらに、受講生全員に模擬授業を実演してもらいます。模擬授業後には、授業担当者(倉橋)による講評及び、受講生同士による相互評価を行う場面を設定して、学習指導案の完成度を高めたり、授業実践力を培えるようにします。		
授業方法 Course Format	この授業は、対面授業で行います。学習に必要な「レジュメ」と資料等をLUNAの「教材・課題・テスト」に、授業実施日の2日前までにアップロードします。 なお、オンライン授業での受講を許可された受講生がいる場合は、対面授業とは別に授業動画を授業実施日にYouTubeを通して公開します。オンライン授業受講の許可を受けた人は、その授業動画を視聴して受講して下さい。 毎回の授業で「時間外の学習課題」を出題します。「時間外の学習課題」の提出方法は、LUNAの掲示板の「フォーラム」を活用します。授業担当者は授業日から3日以内の「フォーラムへの書き込み」に対してコメントを返します。そのことで、受講生同士や授業担当者との「意見交換」を行います。		
関連科目/Related Courses	公民科教育法、社会・地理歴史科教育法、地理歴史教育法		
検索キーワード/Keywords	公民的分野 学習指導案 指導案の書き方 指導計画 板書 教材 発問 模擬授業 思考力 判断力 表現力 目標準拠評価 評価基準 パフォーマンス課題 アクティブ・ラーニング 主体的・対話的な深い学び		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	社会科教育の課題と教員の仕事	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:「社会科の授業に関する意識調査」に回答し提出すること。回答の提出方法・期限は授業内で指示する。
第2回 Session 2	社会科の歴史と学習指導要領(社会科・公民的分野)の推移	予習の課題:最新版『中学校学習指導要領』の社会科(p.26)・公民的分野の「1目標」及び「2内容」(p.42ーp.46)を読んでおくこと。 復習の課題:社会科の歴史を踏まえ、改定学習指導要領の特徴と「自分の社会科の授業に対するイメージ」との異同について整理すること。
第3回 Session 3	社会科・公民的分野と道徳及び総合的な学習の時間	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:改訂学習指導要領の社会科・公民的分野の教育目標と道徳教育及び総合的な学習の時間の異同を整理しておくこと。
第4回 Session 4	社会科・公民的分野の授業設計と学習評価	予習の課題:中学校学習指導要領「第3 指導計画の作成と内容の取り扱い」(p.48ーp.49)を読んでおくこと。 復習の課題:授業で紹介する「試験問題」を一つだけ取り上げて、「評価と授業の一体化」を実現するために必要なことを具体的に整理すること。
第5回 Session 5	事例研究(1)「主体的・対話的な深い学び」と「パフォーマンス評価」	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:生徒の書いた「作文」を実際に採点して、「パフォーマンス評価」を具現化する際に必要なことを整理しておくこと。
第6回 Session 6	事例研究(2) 学習指導と授業のユニバーサル・デザイン化	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題:授業のユニバーサル・デザイン化を実現する方法について整理しておくこと。
第7回	事例研究(3) 社会科の学びと学習集団の育成	予習の課題:事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。

Session 7		復習の課題: 社会科の学力形成と学習集団の育成の関係性について整理しておくこと。
第8回 Session 8	事例研究(4) 社会科の教材・教具の開発と活用	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 教育目標と教材づくりの関係を具体的な場面を想定して整理しておくこと。
第9回 Session 9	事例研究(5) 社会科の学びを支援する板書と発問の方法	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 発問で授業展開を構成することについて、特定の学習内容を選択して具体的に計画してみること。
第10回 Session 10	授業研究(1) 学習指導案の書き方(模擬授業の計画を含む)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 学習指導案を書きたい単元を選択し、具体的に授業設計するための準備を行う。
第11回 Session 11	授業研究(1)「模擬授業」(「現代社会と文化」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「現代社会と文化」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第12回 Session 12	授業研究(2)「模擬授業」(「私たちと政治」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「私たちと政治」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第13回 Session 13	授業研究(3)「模擬授業」(「私たちと経済」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「レジュメ」の冒頭に示す「学習課題」への「自分なりの提案」を考えること。 復習の課題: 「私たちと経済」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。
第14回 Session 14	授業研究(4)「模擬授業」(「国際社会の諸課題」の授業研究を中心に)	予習の課題: 事前に配布する「レジュメ」を読み、「授業ノート」の冒頭に示す「学習課題」への「レジュメ」を考えること。 復習の課題: 「貧困問題」を指導する際に注目させたいことについて整理すること。

教科書 Required texts	「レジュメ」及び資料等を配布します。「レジュメ」と資料等は、LUNAの「教材・課題・テスト」にアップロードしますのでダウンロードして活用して下さい。
参考文献・資料 Reference books	(1)文部科学省『中学校学習指導要領』(最新版) (2)文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』(最新版) (3)文部科学省『高等学校学習指導要領』(最新版) (4)文部科学省『高等学校学習指導要領解説 公民編』(最新版) (5)中学校・公民的分野の教科書(受講生の出身中学校で使用されているものが望ましいです。出身中学校の教科書が手に入らないときは、他社のものでも最新の教科書であれば可とします。)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	全学統一様式による調査、及び学期末に自作アンケートによる調査で授業評価を行う。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	70%	課題についての作品の提出を求めます。課題は、「学習指導案」と「板書計画」及び「パフォーマンス課題」です。
	その他／Others(99)	30%	模擬授業の実演(10%)と、授業内での「学習課題」及び「時間外の学習課題」に対する取り組みを評価します(20%)。
	備考 Note 提出課題等の評価は、授業者作成の「成績評価のためのルーブリック」に基づき行います。		
添付ファイル1/File Attachement 1	成績評価のためのルーブリック.pdf	説明1/Explanation 1	成績評価のためのルーブリック(評価基準)です。
URLリンク1/URL 1	https://www.youtube.com/channel/UCRU3MaQtHufODN28kUIdn0w		
URLリンク2/URL 2	https://www.nande2.jp/		
更新日時/Date of Update	2022年02月03日 05時10分00秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜3時限	秋学期／Fall	I－105

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48033001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】地理歴史科教育法 1／Meth of Tch Geogrphy & Hstry		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	加藤 昌宏(KATO MASAHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	高等学校地理歴史科の基本的な概念を理解し、地理及び歴史の授業実践力の基礎を習得する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the basic concepts of geography and history education and learn the basics of teaching methods for geography and history.		
到達目標/Learning Goals	1. 地理歴史科の目標、内容、方法について理解している。 2. 地理歴史科の指導計画を作成し、模擬授業を行うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1. understand the purpose, content, and methods of geography and history education, 2. design lesson plans of for geography and history and perform mock geography and history lessons.		
授業の概要・背景 Course Outline	前半は高等学校学習指導要領の地理歴史科及び各科目の目標と内容の分析を行い、新しい地理歴史科の方向性を理解する。後半は指導計画の作成や模擬授業の実演・評価を行うことにより、変化の激しい時代を担う高等学校地理歴史科の担当教員として必要な資質能力を育成する。		
授業方法 Course Format	前半は主に講義形式で実施し、レジュメおよび多様な資料を活用しながら、演習や課題に取り組む。 後半は指導計画の作成や模擬授業の実演及び評価を行い、グループワークなどの協働的な活動も取り入れる。		
関連科目/Related Courses	公民科教育法、社会科教育法		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、導入アンケート、学習指導要領の位置付け	
第2回 Session 2	地理歴史科の現状と課題、新しい学習指導要領の方向性	
第3回 Session 3	地理歴史科の目標と科目の編成	
第4回 Session 4	「歴史系」科目の目標と指導内容、指導法(1)	
第5回 Session 5	「歴史系」科目の目標と指導内容、指導法(2)	
第6回 Session 6	「地理系」科目の目標と指導内容、指導法	
第7回 Session 7	地理歴史科の指導計画と評価(1)(年間指導計画、学習指導案)	
第8回 Session 8	地理歴史科の指導計画と評価(2)(学習評価と授業評価)	
第9回 Session 9	地理歴史科の教材と学習方法、ICTの活用	
第10回 Session 10	地理歴史科の授業づくり(教材研究と指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業(1)(模擬授業の実施要領と評価のポイント)	
第12回 Session 12	模擬授業(2)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第13回 Session 13	模擬授業(3)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第14回 Session 14	模擬授業(4)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第15回 Session 15	模擬授業(5)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評・まとめ)、授業評価アンケート	

授業外学修 Study Required outside Class	「高等学校学習指導要領(最新版)」及び「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編(最新版)」などによる予習・復習、時事問題(教育、「地理歴史科」関連)の学習など、毎回1時間。

教科書 Required texts	教科書は指定せず、レジュメ・資料を毎時配布して使用する。
参考文献・資料 Reference books	「高等学校学習指導要領(最新版)」、「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編(最新版)」、高等学校地理歴史科の教科書(旧課程、新課程)。その他は授業で指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	シヤトルシート(シヤトルメール)、授業評価アンケート等
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	60%	シヤトルシート等(30),年間指導計画(20),学習指導案(10)
	その他／Others(99)	40%	模擬授業(評価シート・集団協議を含む)
更新日時/Date of Update	2022年01月16日 10時52分19秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	月曜3時限	春学期／Spring	D－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48033002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】地理歴史科教育法 2／Meth of Tch Geogrphy & Hstry		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	加藤 昌宏(KATO MASAHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	高等学校地理歴史科の基本的な概念を理解し、地理及び歴史の授業実践力の基礎を習得する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the basic concepts of geography and history education and learn the basics of teaching methods for geography and history.		
到達目標/Learning Goals	1. 地理歴史科の目標、内容、方法について理解している。 2. 地理歴史科の指導計画を作成し、模擬授業を行うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1. understand the purpose, content, and methods of geography and history education, 2. design lesson plans of for geography and history and perform mock geography and history lessons.		
授業の概要・背景 Course Outline	前半は高等学校学習指導要領の地理歴史科及び各科目の目標と内容の分析を行い、新しい地理歴史科の方向性を理解する。後半は指導計画の作成や模擬授業の実演・評価を行うことにより、変化の激しい時代を担う高等学校地理歴史科の担当教員として必要な資質能力を育成する。		
授業方法 Course Format	前半は主に講義形式で実施し、レジュメおよび多様な資料を活用しながら、演習や課題に取り組む。 後半は指導計画の作成や模擬授業の実演及び評価を行い、グループワークなどの協働的な活動も取り入れる。		
関連科目/Related Courses	公民科教育法、社会科教育法		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、導入アンケート、学習指導要領の位置付け	
第2回 Session 2	地理歴史科の現状と課題、新しい学習指導要領の方向性	
第3回 Session 3	地理歴史科の目標と科目の編成	
第4回 Session 4	「歴史系」科目の目標と指導内容、指導法(1)	
第5回 Session 5	「歴史系」科目の目標と指導内容、指導法(2)	
第6回 Session 6	「地理系」科目の目標と指導内容、指導法	
第7回 Session 7	地理歴史科の指導計画と評価(1)(年間指導計画、学習指導案)	
第8回 Session 8	地理歴史科の指導計画と評価(2)(学習評価と授業評価)	
第9回 Session 9	地理歴史科の教材と学習方法、ICTの活用	
第10回 Session 10	地理歴史科の授業づくり(教材研究と指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業(1)(模擬授業の実施要領と評価のポイント)	
第12回 Session 12	模擬授業(2)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第13回 Session 13	模擬授業(3)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第14回 Session 14	模擬授業(4)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第15回 Session 15	模擬授業(5)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評・まとめ)、授業評価アンケート	

授業外学修 Study Required outside Class	「高等学校学習指導要領(最新版)」及び「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編(最新版)」などによる予習・復習、時事問題(教育、「地理歴史科」関連)の学習など、毎回1時間。

教科書 Required texts	教科書は指定せず、レジュメ・資料を毎時配布して使用する。
参考文献・資料 Reference books	「高等学校学習指導要領(最新版)」、「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編(最新版)」、高等学校地理歴史科の教科書(旧課程・新課程)。その他は授業で指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	シヤトルシート(シヤトルメール)、授業評価アンケート等
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	60%	シヤトルシート等(30),年間指導計画(20),学習指導案(10)
	その他／Others(99)	40%	模擬授業(評価シート・集団協議を含む)
更新日時/Date of Update	2022年01月16日 10時52分52秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	月曜4時限	春学期／Spring	D－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48033003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】地理歴史科教育法 3／Meth of Tch Geogrphy & Hstry		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	加藤 昌宏(KATO MASAHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	高等学校地理歴史科の基本的な概念を理解し、地理及び歴史の授業実践力の基礎を習得する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the basic concepts of geography and history education and learn the basics of teaching methods for geography and history.		
到達目標/Learning Goals	1. 地理歴史科の目標、内容、方法について理解している。 2. 地理歴史科の指導計画を作成し、模擬授業を行うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1. understand the purpose, content, and methods of geography and history education, 2. design lesson plans of for geography and history and perform mock geography and history lessons.		
授業の概要・背景 Course Outline	前半は高等学校学習指導要領の地理歴史科及び各科目の目標と内容の分析を行い、新しい地理歴史科の方向性を理解する。後半は指導計画の作成や模擬授業の実演・評価を行うことにより、変化の激しい時代を担う高等学校地理歴史科の担当教員として必要な資質能力を育成する。		
授業方法 Course Format	前半は主に講義形式で実施し、レジュメおよび多様な資料を活用しながら、演習や課題に取り組む。 後半は指導計画の作成や模擬授業の実演及び評価を行い、グループワークなどの協働的な活動も取り入れる。		
関連科目/Related Courses	公民科教育法、社会科教育法		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、導入アンケート、学習指導要領の位置付け	
第2回 Session 2	地理歴史科の現状と課題、新しい学習指導要領の方向性	
第3回 Session 3	地理歴史科の目標と科目の編成	
第4回 Session 4	「歴史系」科目の目標と指導内容、指導法(1)	
第5回 Session 5	「歴史系」科目の目標と指導内容、指導法(2)	
第6回 Session 6	「地理系」科目の目標と指導内容、指導法	
第7回 Session 7	地理歴史科の指導計画と評価(1)(年間指導計画、学習指導案)	
第8回 Session 8	地理歴史科の指導計画と評価(2)(学習評価と授業評価)	
第9回 Session 9	地理歴史科の教材と学習方法、ICTの活用	
第10回 Session 10	地理歴史科の授業づくり(教材研究と指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業(1)(模擬授業の実施要領と評価のポイント)	
第12回 Session 12	模擬授業(2)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第13回 Session 13	模擬授業(3)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第14回 Session 14	模擬授業(4)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第15回 Session 15	模擬授業(5)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評・まとめ)、授業評価アンケート	

授業外学修 Study Required outside Class	「高等学校学習指導要領(最新版)」及び「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編(最新版)」などによる予習・復習、時事問題(教育、「地理歴史科」関連)の学習など、毎回1時間。

教科書 Required texts	教科書は指定せず、レジュメ・資料を毎時配布して使用する。
参考文献・資料 Reference books	「高等学校学習指導要領(最新版)」、「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編(最新版)」、高等学校地理歴史科の教科書(旧課程・新課程)。その他は授業で指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	シヤトルシート(シヤトルメール)、授業評価アンケート等
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	60%	シヤトルシート等(30),年間指導計画(20),学習指導案(10)
	その他／Others(99)	40%	模擬授業(評価シート・集団協議を含む)
更新日時/Date of Update	2022年01月16日 10時53分49秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜3時限	秋学期／Fall	D－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48033004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】地理歴史科教育法 4／Meth of Tch Geogrphy & Hstry		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	加藤 昌宏(KATO MASAHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	高等学校地理歴史科の基本的な概念を理解し、地理及び歴史の授業実践力の基礎を習得する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the basic concepts of geography and history education and learn the basics of teaching methods for geography and history.		
到達目標/Learning Goals	1. 地理歴史科の目標、内容、方法について理解している。 2. 地理歴史科の指導計画を作成し、模擬授業を行うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1. understand the purpose, content, and methods of geography and history education, 2. design lesson plans of for geography and history and perform mock geography and history lessons.		
授業の概要・背景 Course Outline	前半は高等学校学習指導要領の地理歴史科及び各科目の目標と内容の分析を行い、新しい地理歴史科の方向性を理解する。後半は指導計画の作成や模擬授業の実演・評価を行うことにより、変化の激しい時代を担う高等学校地理歴史科の担当教員として必要な資質能力を育成する。		
授業方法 Course Format	前半は主に講義形式で実施し、レジュメおよび多様な資料を活用しながら、演習や課題に取り組む。 後半は指導計画の作成や模擬授業の実演及び評価を行い、グループワークなどの協働的な活動も取り入れる。		
関連科目/Related Courses	公民科教育法、社会科教育法		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、導入アンケート、学習指導要領の位置付け	
第2回 Session 2	地理歴史科の現状と課題、新しい学習指導要領の方向性	
第3回 Session 3	地理歴史科の目標と科目の編成	
第4回 Session 4	「歴史系」科目の目標と指導内容、指導法(1)	
第5回 Session 5	「歴史系」科目の目標と指導内容、指導法(2)	
第6回 Session 6	「地理系」科目の目標と指導内容、指導法	
第7回 Session 7	地理歴史科の指導計画と評価(1)(年間指導計画、学習指導案)	
第8回 Session 8	地理歴史科の指導計画と評価(2)(学習評価と授業評価)	
第9回 Session 9	地理歴史科の教材と学習方法、ICTの活用	
第10回 Session 10	地理歴史科の教材と学習方法、ICTの活用	
第11回 Session 11	地理歴史科の授業づくり(教材研究と指導案作成)	
第12回 Session 12	模擬授業(1)(模擬授業の実施要領と評価のポイント)	
第13回 Session 13	模擬授業(2)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第14回 Session 14	模擬授業(3)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第15回 Session 15	模擬授業(4)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第16回 Session 16	模擬授業(5)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評・まとめ)、授業評価アンケート	

授業外学修 Study Required outside Class	「高等学校学習指導要領(最新版)」及び「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編(最新版)」などによる予習・復習、時事問題(教育、「地理歴史科」関連)の学習など、毎回1時間。

教科書 Required texts	教科書は指定せず、レジュメ・資料を毎時配布して使用する。
参考文献・資料 Reference books	「高等学校学習指導要領(最新版)」、「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編(最新版)」、高等学校地理歴史科の教科書(旧課程・新課程)。その他は授業で指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	シヤトルシート(シヤトルメール)、授業評価アンケート等
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	60%	シヤトルシート等(30),年間指導計画(20),学習指導案(10)
	その他／Others(99)	40%	模擬授業(評価シート・集団協議を含む)
更新日時/Date of Update	2022年01月16日 10時54分30秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜4時限	秋学期／Fall	D－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48033005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】地理歴史科教育法 5/Meth of Tch Geogrphy & Hstry		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	加藤 昌宏(KATO MASAHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	高等学校地理歴史科の基本的な概念を理解し、地理及び歴史の授業実践力の基礎を習得する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the basic concepts of geography and history education and learn the basics of teaching methods for geography and history.		
到達目標/Learning Goals	1. 地理歴史科の目標、内容、方法について理解している。 2. 地理歴史科の指導計画を作成し、模擬授業を行うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1. understand the purpose, content, and methods of geography and history education, 2. design lesson plans of for geography and history and perform mock geography and history lessons.		
授業の概要・背景 Course Outline	前半は高等学校学習指導要領の地理歴史科及び各科目の目標と内容の分析を行い、新しい地理歴史科の方向性を理解する。後半は指導計画の作成や模擬授業の実演・評価を行うことにより、変化の激しい時代を担う高等学校地理歴史科の担当教員として必要な資質能力を育成する。		
授業方法 Course Format	前半は主に講義形式で実施し、レジュメおよび多様な資料を活用しながら、演習や課題に取り組む。 後半は指導計画の作成や模擬授業の実演及び評価を行い、グループワークなどの協働的な活動も取り入れる。		
関連科目/Related Courses	公民科教育法、社会科教育法		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、導入アンケート、学習指導要領の位置付け	
第2回 Session 2	地理歴史科の現状と課題、新しい学習指導要領の方向性	
第3回 Session 3	地理歴史科の目標と科目の編成	
第4回 Session 4	「歴史系」科目の目標と指導内容、指導法(1)	
第5回 Session 5	「歴史系」科目の目標と指導内容、指導法(2)	
第6回 Session 6	「地理系」科目の目標と指導内容、指導法	
第7回 Session 7	地理歴史科の指導計画と評価(1)(年間指導計画、学習指導案)	
第8回 Session 8	地理歴史科の指導計画と評価(2)(学習評価と授業評価)	
第9回 Session 9	地理歴史科の教材と学習方法、ICTの活用	
第10回 Session 10	地理歴史科の授業づくり(教材研究と指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業(1)(模擬授業の実施要領と評価のポイント)	
第12回 Session 12	模擬授業(2)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第13回 Session 13	模擬授業(3)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第14回 Session 14	模擬授業(4)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第15回 Session 15	模擬授業(5)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評・まとめ)、授業評価アンケート	

授業外学修 Study Required outside Class	「高等学校学習指導要領(最新版)」及び「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編(最新版)」などによる予習・復習、時事問題(教育、「地理歴史科」関連)の学習など、授業で指示する。

教科書 Required texts	教科書は指定せず、レジュメ・資料を毎時配布して使用する。
参考文献・資料 Reference books	「高等学校学習指導要領(最新版)」及び「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編(最新版)」などによる予習・復習、時事問題(教育、「地理歴史科」関連)の学習など、毎回1時間。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	シヤトルシート(シヤトルメール)、授業評価アンケート等
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	60%	シヤトルシート等(30),年間指導計画(20),学習指導案(10)
	その他／Others(99)	40%	模擬授業(評価シート・集団協議を含む)
更新日時/Date of Update	2022年01月16日 10時55分11秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜1時限	春学期／Spring	I-206

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48034001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】公民科教育法 1／Methods of Teaching Civics		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	加藤 昌宏(KATO MASAHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	高等学校公民科の基本的な概念を理解し、公民科の授業実践力の基礎を習得する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the basic concepts of civics and learn the basics of teaching methods for civics.		
到達目標/Learning Goals	1. 公民科の目標、内容、方法について理解している。 2. 公民科の指導計画を作成し、模擬授業を行うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1. understand the purpose, contents, and methods of civics education, 2. create lesson plans of for civics and perform mock civics lessons.		
授業の概要・背景 Course Outline	前半は高等学校学習指導要領の公民科及び各科目の目標と内容の分析を行い、新しい公民科の方向性を理解する。後半は指導計画の作成や模擬授業の実践・評価を行うことにより、変化の激しい時代を担う高等学校公民科の担当教員として必要な資質能力を育成する。		
授業方法 Course Format	前半は主に講義形式で実施し、レジュメおよび多様な資料を活用しながら、演習や課題に取り組む。 後半は指導計画の作成や模擬授業の実演及び評価を行い、グループワークなどの協働的な活動も取り入れる。		
関連科目/Related Courses	地理歴史科教育法、社会科教育法		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、導入アンケート、学習指導要領の位置付け	
第2回 Session 2	公民科の現状と課題、新しい学習指導要領の方向性	
第3回 Session 3	公民科の目標と科目の編成	
第4回 Session 4	「公共」の目標と指導内容、指導法	
第5回 Session 5	「倫理」「政治・経済」の目標と指導内容、指導法	
第6回 Session 6	公民科の指導計画と評価(1)(年間指導計画、学習指導案)	
第7回 Session 7	公民科の指導計画と評価(2)(学習評価と授業評価)	
第8回 Session 8	公民科の教材と学習方法、ICTの活用	
第9回 Session 9	公民科の授業づくり(1)(教材研究と指導案作成①)	
第10回 Session 10	公民科の授業づくり(2)(教材研究と指導案作成②)	
第11回 Session 11	模擬授業(1)(模擬授業の実施要領と評価のポイント)	
第12回 Session 12	模擬授業(2)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第13回 Session 13	模擬授業(3)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第14回 Session 14	模擬授業(4)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第15回 Session 15	模擬授業(5)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評・まとめ)、授業評価アンケート	

授業外学修 Study Required outside Class	「高等学校学習指導要領(最新版)」、「高等学校指導要領解説 公民編(最新版)」などによる予習・復習、時事問題(教育、「地理歴史科」関連)の学習など、毎回1時間。

教科書 Required texts	教科書は指定せず、レジュメ・資料を毎時配布して使用する。
参考文献・資料 Reference books	「高等学校学習指導要領(最新版)」、「高等学校学習指導要領解説 公民編(最新版)」、高等学校公民科の教科書(旧課程、新課程)。その他は授業で指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	シヤトルシート(シヤトルメール)、授業評価アンケート等
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	60%	シヤトルシート等(30),年間指導計画(20),学習指導案(10)
	その他／Others(99)	40%	模擬授業(評価シート・集団協議を含む)
更新日時/Date of Update	2022年01月16日 10時56分29秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	金曜2時限	春学期／Spring	D－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48034002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】公民科教育法 2／Methods of Teaching Civics		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	加藤 昌宏(KATO MASAHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	高等学校公民科の基本的な概念を理解し、公民科の授業実践力の基礎を習得する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the basic concepts of civics and learn the basics of teaching methods for civics.		
到達目標/Learning Goals	1. 公民科の目標、内容、方法について理解している。 2. 公民科の指導計画を作成し、模擬授業を行うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1. understand the purpose, contents, and methods of civics education, 2. create lesson plans of for civics and perform mock civics lessons.		
授業の概要・背景 Course Outline	前半は高等学校学習指導要領の公民科及び各科目の目標と内容の分析を行い、新しい公民科の方向性を理解する。後半は指導計画の作成や模擬授業の実践・評価を行うことにより、変化の激しい時代を担う高等学校公民科の担当教員として必要な資質能力を育成する。		
授業方法 Course Format	前半は、主に講義形式で実施し、レジュメおよび多様な資料を活用しながら、演習や課題に取り組む。 後半は、指導計画の作成や模擬授業の実演及び評価を行い、グループワークなどの協働的な活動も取り入れる。		
関連科目/Related Courses	地理歴史科教育法、社会科教育法		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、導入アンケート、学習指導要領の位置付け	
第2回 Session 2	公民科の現状と課題、新しい学習指導要領の方向性	
第3回 Session 3	公民科の目標と科目の編成	
第4回 Session 4	「公共」の目標と指導内容、指導法	
第5回 Session 5	「倫理」「政治・経済」の目標と指導内容、指導法	
第6回 Session 6	公民科の指導計画と評価(1)(年間指導計画、学習指導案)	
第7回 Session 7	公民科の指導計画と評価(2)(学習評価と授業評価)	
第8回 Session 8	公民科の教材と学習方法、ICTの活用	
第9回 Session 9	公民科の授業づくり(1)(教材研究と指導案作成①)	
第10回 Session 10	公民科の授業づくり(2)(教材研究と指導案作成②)	
第11回 Session 11	模擬授業(1)(模擬授業の実施要領と評価のポイント)	
第12回 Session 12	模擬授業(2)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第13回 Session 13	模擬授業(3)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第14回 Session 14	模擬授業(4)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第15回 Session 15	模擬授業(5)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評・まとめ)、授業評価アンケート	

授業外学修 Study Required outside Class	「高等学校学習指導要領(最新版)」、「高等学校指導要領解説 公民編(最新版)」などによる予習・復習、時事問題(教育、「地理歴史科」関連)の学習など、毎回1時間。

教科書 Required texts	教科書は指定せず、レジュメ・資料を毎時配布して使用する。
参考文献・資料 Reference books	「高等学校学習指導要領(最新版)」、「高等学校学習指導要領解説 公民編(最新版)」、高等学校公民科の教科書(旧課程、新課程)。その他は授業で指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	シヤトルシート(シヤトルメール)、授業評価アンケート等
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	60%	シヤトルシート等(30),年間指導計画(20),学習指導案(10)
	その他／Others(99)	40%	模擬授業(評価シート・集団協議を含む)
更新日時/Date of Update	2022年01月16日 10時57分01秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜3時限	秋学期／Fall	D－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48034003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】公民科教育法 3／Methods of Teaching Civics		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	加藤 昌宏(KATO MASAHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	高等学校公民科の基本的な概念を理解し、公民科の授業実践力の基礎を習得する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the basic concepts of civics and learn the basics of teaching methods for civics.		
到達目標/Learning Goals	1. 公民科の目標、内容、方法について理解している。 2. 公民科の指導計画を作成し、模擬授業を行うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1. understand the purpose, contents, and methods of civics education, 2. create lesson plans of for civics and perform mock civics lessons.		
授業の概要・背景 Course Outline	前半は高等学校学習指導要領の公民科及び各科目の目標と内容の分析を行い、新しい公民科の方向性を理解する。後半は指導計画の作成や模擬授業の実践・評価を行うことにより、変化の激しい時代を担う高等学校公民科の担当教員として必要な資質能力を育成する。		
授業方法 Course Format	前半は主に講義形式で実施し、レジュメおよび多様な資料を活用しながら、演習や課題に取り組む。 後半は指導計画の作成や模擬授業の実演及び評価を行い、グループワークなどの協働的な活動も取り入れる。		
関連科目/Related Courses	地理歴史科教育法、社会科教育法		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、導入アンケート、学習指導要領の位置付け	
第2回 Session 2	公民科の現状と課題、新しい学習指導要領の方向性	
第3回 Session 3	公民科の目標と科目の編成	
第4回 Session 4	「公共」の目標と指導内容、指導法	
第5回 Session 5	「倫理」「政治・経済」の目標と指導内容、指導法	
第6回 Session 6	公民科の指導計画と評価(1)(年間指導計画、学習指導案)	
第7回 Session 7	公民科の指導計画と評価(2)(学習評価と授業評価)	
第8回 Session 8	公民科の教材と学習方法、ICTの活用	
第9回 Session 9	公民科の授業づくり(1)(教材研究と指導案作成①)	
第10回 Session 10	公民科の授業づくり(2)(教材研究と指導案作成②)	
第11回 Session 11	模擬授業(1)(模擬授業の実施要領と評価のポイント)	
第12回 Session 12	模擬授業(2)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第13回 Session 13	模擬授業(3)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第14回 Session 14	模擬授業(4)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第15回 Session 15	模擬授業(5)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評・まとめ)、授業評価アンケート	

授業外学修 Study Required outside Class	「高等学校学習指導要領(最新版)」、「高等学校指導要領解説 公民編(最新版)」などによる予習・復習、時事問題(教育、「地理歴史科」関連)の学習など、毎回1時間。

教科書 Required texts	教科書は指定せず、レジュメ・資料を毎時配布して使用する。
参考文献・資料 Reference books	「高等学校学習指導要領(最新版)」、「高等学校学習指導要領解説 公民編(最新版)」、高等学校公民科の教科書(旧課程、新課程)。その他は授業で指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	シヤトルシート(シヤトルメール)、授業評価アンケート等
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	60%	シヤトルシート等(30),年間指導計画(20),学習指導案(10)
	その他／Others(99)	40%	模擬授業(評価シート・集団協議を含む)
更新日時/Date of Update	2022年01月16日 10時57分43秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜4時限	秋学期／Fall	D－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48034004	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】公民科教育法 4/Methods of Teaching Civics		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	加藤 昌宏(KATO MASAHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	高等学校公民科の基本的な概念を理解し、公民科の授業実践力の基礎を習得する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the basic concepts of civics and learn the basics of teaching methods for civics.		
到達目標/Learning Goals	1. 公民科の目標、内容、方法について理解している。 2. 公民科の指導計画を作成し、模擬授業を行うことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1. understand the purpose, contents, and methods of civics education, 2. create lesson plans of for civics and perform mock civics lessons.		
授業の概要・背景 Course Outline	前半は高等学校学習指導要領の公民科及び各科目の目標と内容の分析を行い、新しい公民科の方向性を理解する。後半は指導計画の作成や模擬授業の実践・評価を行うことにより、変化の激しい時代を担う高等学校公民科の担当教員として必要な資質能力を育成する。		
授業方法 Course Format	前半は主に講義形式で実施し、レジュメおよび多様な資料を活用しながら、演習や課題に取り組む。 後半は指導計画の作成や模擬授業の実演及び評価を行い、グループワークなどの協働的な活動も取り入れる。		
関連科目/Related Courses	地理歴史科教育法、社会科教育法		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、導入アンケート、学習指導要領の位置付け	
第2回 Session 2	公民科の現状と課題、新しい学習指導要領の方向性	
第3回 Session 3	公民科の目標と科目の編成	
第4回 Session 4	「公共」の目標と指導内容、指導法	
第5回 Session 5	「倫理」「政治・経済」の目標と指導内容、指導法	
第6回 Session 6	公民科の指導計画と評価(1)(年間指導計画、学習指導案)	
第7回 Session 7	公民科の指導計画と評価(2)(学習評価と授業評価)	
第8回 Session 8	公民科の教材と学習方法、ICTの活用	
第9回 Session 9	公民科の授業づくり(1)(教材研究と指導案作成①)	
第10回 Session 10	公民科の授業づくり(2)(教材研究と指導案作成②)	
第11回 Session 11	模擬授業(1)(模擬授業の実施要領と評価のポイント)	
第12回 Session 12	模擬授業(2)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第13回 Session 13	模擬授業(3)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第14回 Session 14	模擬授業(4)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評)	
第15回 Session 15	模擬授業(5)(模擬授業、自己評価・相互評価、講評・まとめ)、授業評価アンケート	

授業外学修 Study Required outside Class	「高等学校学習指導要領(最新版)」、「高等学校指導要領解説 公民編(最新版)」などによる予習・復習、時事問題(教育、「地理歴史科」関連)の学習など、毎回1時間。

教科書 Required texts	教科書は指定せず、レジュメ・資料を毎時配布して使用する。
参考文献・資料 Reference books	「高等学校学習指導要領(最新版)」、「高等学校学習指導要領解説 公民編(最新版)」、高等学校公民科の教科書(旧課程、新課程)。その他は授業で指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	シヤトルシート(シヤトルメール)、授業評価アンケート等
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	60%	シヤトルシート等(30),年間指導計画(20),学習指導案(10)
	その他／Others(99)	40%	模擬授業(評価シート・集団協議を含む)
更新日時/Date of Update	2022年01月16日 10時58分28秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜2時限	春学期／Spring	I－206

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48037000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】商業科教育法A／Methods of Teaching Commerce A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	長谷川 義人(HASEGAWA YOSHITO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	高等学校の商業教育についての基礎的な理論と実践を学習する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn about the theory and practice of general commerce education in high schools and to train talented people to fulfill their social missions as members of society through business in particular.		
到達目標/Learning Goals	社会経済の発展と商業教育の変遷を顧みるとともに、新しい商業教育の理論と実践についても理解を深めることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will reflect on changes in the development of the social economy and commerce education and aim to deepen their understanding of the theory and practice of new commerce education.		
授業の概要・背景 Course Outline	学習指導要領における教科「商業」の概念と意義・目的を学び、また、商業教育の歴史を振り返るだけでなく、現代の日本経済の動向をふまえながら、商業教育の現状と課題、そして今後の在り方を考察する。		
授業方法 Course Format	対面授業を予定(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)。 本授業では、講義型を中心とする。 講義型授業の時は、グループワークを取り入れ、各グループ発表を行う。 【オンライン受講生対象】授業方法の詳細については授業中あるいはLUNA等で別途指示する。 【感染防止重点期間】「授業外学習」欄に掲載。また、LUNA等で指示する。		
検索キーワード/Keywords	商業教育 簿記 商業検定		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	商業教育の意義、我が国の教育の現代的課題、商業科の教師になるための心構え	自己紹介を含め、教師になるための心構えを受講生の前で発表します。
第2回 Session 2	商業の概念(流通経済の発展とマーケティングの概念)	
第3回 Session 3	商業教育の意義と目的、(商業教育の領域、法令と学習指導要領による目的と目標)	
第4回 Session 4	学習指導要領「商業」の改訂の変遷(戦前、戦後の教育改革と商業教育)	
第5回 Session 5	高度経済成長と商業教育	
第6回 Session 6	商業科目と教科の組織(1)教科・科目の意義、商業教科の組織とその変遷	
第7回 Session 7	商業科目と教科の組織(2)商業教科の変遷、商業教育に関する学問の構成	
第8回 Session 8	新しい学習指導要領と商業教育における教材研究と学習指導案作成の意義	
第9回 Session 9	教育課程の意義、教育課程編成の原理、教育課程編成の事例、学習指導案の作成方法	次週は学習指導法についてです。どの教科でも構わないので授業開始時の導入部分を考えて来ててください。
第10回 Session 10	商業科目の学習指導法の原理	各自が考えた教科の授業開始時の導入部分の発表・実施
第11回 Session 11	商業科目の学習指導法と評価の方法	次週は、小学校から現在まで、多くの先生に教えていただいたと思うが、授業方法等で自分が教師になった時に取り入れたいことなどを発表してもらいますので、考えて来ててください。
第12回 Session 12	商業教育と人間形成	各人の授業の取り組みに対する心構えの発表を行う。小学校から現在まで、多くの先生に教えていただいたと思うが、授業方法等で自分が教師になった時に取り入れたいことなどを発表する。
第13回 Session 13	海外の商業教育研究と新しい商業教育の展望(1)海外の商業教育研究の意義、 主要国の教育制度と商業教育	次週は、商業教育の展望や商業教育の在り方等 各人の考えを発表してもらいますので、考えをまとめておいて下さい
第14回 Session 14	海外の商業教育研究と新しい商業教育の展望(2)今後の商業教育の在り方。	商業教育の展望や商業教育の在り方等 各人の考えを発表する
授業外学修 Study Required outside Class	【感染防止重点期間】重点期間が設定された時は、別途LUNA等で支持する。	

教科書 Required texts	文部科学省『高等学校学習指導要領解説 商業編』(最新版)
参考文献・資料 Reference books	文部科学省『高等学校学習指導要領』(最新版) 榎本信義『商業科教育法 ー理論編ー』 高等学校で使用する教科書、各検定試験問題集
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	レポート提出、意見発表、授業への取り組み姿勢等による
	備考 Note レポート提出、意見発表、授業への取り組み姿勢等による総合点とする		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/content/listContentEditable.jsp?content_id=_945237_1&course_id=_193980_1&mode=reset		
更新日時/Date of Update	2022年02月22日 15時02分30秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜4時限	春学期／Spring	G－112

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48038000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】商業科教育法B／Methods of Teaching Commerce B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	長谷川 義人(HASEGAWA YOSHITO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	高等学校の商業教育についての発展的な理論と実践を学習する。特にビジネスを通して社会の一員として自己の社会的使命を果たす人材の養成に携わることについて理解を深める。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn about the theory and practice of special commerce education in high schools and to train talented persons to fulfill their social missions as members of society through business in particular.		
到達目標/Learning Goals	商業教育の方法、特に高等学校における商業教育の目標実現に向かったの効果的な学習指導をいかにすべきか、その基本的な知識・技術を習得し、教師として望ましい心構えや理念を身につけることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will learn how to provide effective educational guidance to realize commercial education, especially in high schools, and acquire basic knowledge and skills and attitudes and philosophy that are desirable for a teacher.		
授業の概要・背景 Course Outline	学習指導要領における教科「商業」の概念と意義・目的を学び、また、商業教育の歴史を振り返るだけでなく、現代の日本経済の動向をふまえながら、商業教育の現状と課題、そして今後の在り方を考察する。		
授業方法 Course Format	授業の配信時期・配信予定等は『授業外学習』欄で指示するので確認すること。 本授業では、講義型を中心とする。実際に教師として教壇に立ち、受講生を高校生と見立てて模擬授業を行っていく。 最終時、受講生が教師として模擬授業を行う。		
検索キーワード/Keywords	商業教育 簿記 商業検定		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教育方法の概念と学習指導法	商業科の教師として、教壇に立った時の心構え等を発表する
第2回 Session 2	学習指導法(教授法)の基本様式	
第3回 Session 3	学習指導法の形態と技術	「ビジネス基礎」の学習指導案を作成し、次週提出する。分野は各自で選択して作成する。
第4回 Session 4	学習教科の学習指導法(指導目標、重点等)	
第5回 Session 5	基礎的科目「ビジネス基礎」の学習指導案の作成と指導法	次週ビジネス基礎について 研究授業を実施する 発表分野を考えておくこと
第6回 Session 6	研究授業・・・「ビジネス基礎」の研究授業を行う 「マーケティング分野」の学習指導	* 研究授業(ビジネス基礎)の実施する
第7回 Session 7	「会計分野(簿記)」の学習指導(1)授業計画作成と模擬授業の実践、留意事項等	次週、簿記について 研究授業を実施する 発表分野を考えておくこと
第8回 Session 8	「会計分野(簿記)」の学習指導(2)授業計画作成と模擬授業の実践、留意事項等	* 研究授業(簿記分野)の実施
第9回 Session 9	「会計分野」の学習指導(3)授業計画作成と模擬授業の実践、留意事項等	* 研究授業(簿記分野)の実施 第2回
第10回 Session 10	「マーケティング・ビジネス分野」の学習指導	兵庫県にの商業高校における進路状況を調べ、最終週までに提出する。様式は各自に任せる。
第11回 Session 11	情報処理科目群の学習指導	総合的科目群の「課題研究」について説明を行うので、各自、自分が取り組みたいと思う「課題研究」の内容について考えてくる。
第12回 Session 12	総合的科目群の学習指導(1)「総合実践」の学習指導	全国の商業高等学校における「課題研究」の実施内容を調べ、一覧にして最終週までに提出する。様式は各自に任せる。最低2高校は調べ、まとめること。
第13回 Session 13	総合的科目群の学習指導(2)「課題研究」の学習指導	次週の「簿記」の研究授業のために学習指導案、当日使用する問題等を作成してくる。分野「簿記」
第14回 Session 14	商業高校における検定・資格取得の指導 研究授業・・・「簿記」の研究授業を行う	各自「簿記」の研究授業を実施する。

教科書 Required texts	文部科学省『高等学校学習指導要領解説 商業編』(最新版)
参考文献・資料 Reference books	文部科学省『高等学校学習指導要領』(最新版) 榎本信義『商業科教育法 ー理論編ー』 高等学校で使用する教科書、各検定試験問題集
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	レポート提出、意見発表、授業への取り組み姿勢等による
	備考 Note レポート提出、意見発表、授業への取り組み姿勢等による総合点とする		
更新日時/Date of Update		2022年02月22日 15時02分51秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜4時限	秋学期／Fall	G－112

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48039001	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】理科教育法A 1／Methods of Teaching Science A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	中西 敏昭(NAKANISHI TOSHIAKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	理科教育において、生徒の興味・関心を高める授業を行う知識と技能を身につけ、また学習指導要領を理解し、生徒の能力開発を目指す理科教育の実践力を培うことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire, in the field of science education, knowledge and skills to conduct lessons that attract the interest of students, understand the course of study, and cultivate the practical teaching abilities for science education aiming for high-school students' ability development		
到達目標/Learning Goals	・授業計画を立て、授業の展開方法・教材の工夫などを行うことができる。 ・ICTなどを活用して授業を編成する能力を身に付けることができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・plan lessons and devise teaching materials; ・acquire the ability to organize lessons using ICT and field works.		
授業方法 Course Format	・講義、各種演習、模擬授業、ディスカッション ・②④⑤⑧⑪⑭回の授業はZoom型オンライン授業で実施。その他は対面授業。ZoomのURLなどはLUNAの「お知らせ」で連絡します。 ・教材や課題等についてはLUNAで指示します。		
関連科目/Related Courses	● 理科教育法B、理科教育法C、理科教育法Dの履修については、理科教育法Aの修得または併行して履修することが望ましい		
検索キーワード/Keywords	理科教育、体験的活動、協同学習、アクティブラーニング、模擬授業		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【対面】オリエンテーション(現在の中学校、高等学校における理科教育の現状)	【復習】中学校・高等学校の理科教科書をアカデミックコモンズ2階の資料室などで閲覧する 【予習】学習指導要領の目標・内容について調べる
第2回 Session 2	【Zoom】理科教育が目指すもの(学習指導要領の目標や内容について)	【復習】アクティブラーニングに関する資料を収集する 【予習】言語活動の充実について、学習指導要領などをもとに調べる
第3回 Session 3	【対面】言語活動と理科教育ーレポート、プレゼンテーション、ディスカッション	【復習】「聴く・書く・話す」ことによる理科における言語活動について整理する 【予習】学習指導案を作成する
第4回 Session 4	【Zoom】言語活動を取り入れた学習指導案の発表	【予習】ICTについて調べる
第5回 Session 5	【Zoom】ICTの活用と理科教育	【復習】ICTの活用について整理する 【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて、予行演習を実施する
第6回 Session 6	【対面】ICTを用いた模擬授業	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える
第7回 Session 7	【対面】様々な理科教育のあり方1ー道德教育と理科教育	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】道德教育の課題についてレポートする
第8回 Session 8	【Zoom】様々な理科教育のあり方2ー環境教育と理科教育	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】環境教育の課題についてレポートする
第9回 Session 9	【対面】様々な理科教育のあり方3ー総合的な学習の時間と理科教育	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】総合的な学習の時間の課題についてレポートする
第10回 Session 10	【対面】理科におけるフィールドワーク(野外実習)のあり方及び教材研究	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】体験活動の課題についてレポートする 【予習】レポートをもとに各自で発表の準備をする
第11回 Session 11	【Zoom】理科と協同学習(ブレインストーミング&KJ法)	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】実施した協同学習をまとめる
第12回 Session 12	【対面】体験的活動と理科教育(教材研究及び学習指導案の作成)	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】教材研究及び学習指導案の作成
第13回 Session 13	【対面】体験的活動と理科教育(模擬授業)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】今までの授業を踏まえて、自らの教育ビジョンの作成
第14回 Session 14	【Zoom】理科教育のあり方とまとめ、理科の教員としてのビジョン作り	【復習】理科教員としてのビジョンを振り返る

教科書 Required texts	中学校学習指導要領, 中学校学習指導要領解説理科編, 高等学校学習指導要領, 高等学校学習指導要領理科編理数編(すべて文部科学省の最新版)※※文部科学省のWebサイトにもあります。
参考書/Reference books	著者名: 畑中忠雄 タイトル: 若い先生のための理科教育概論 発行所: 東洋館出版社 出版年: 2004 ISBN: 4-491-01976-2
参考文献・資料 Reference books	中学校・高等学校の「理科教科書」, 新聞記事 「若い先生のための理科教育概論」(東洋館出版社) 講義資料を配布する
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	アンケート等
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	平常レポート／Individual reports(04)	70%	内容評価	
	その他／Others(99)	30%	授業への意欲, 態度。模擬授業の評価、発表など	
添付ファイル1/File Attachment 1	学習指導案の書き方.docx		説明1/Explanation 1	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_198707_1&cmp_tab_id=_234747_1&editMode=true&mode=cpview			
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 16時26分38秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	IV－303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48039002	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】理科教育法A 2/Methods of Teaching Science A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期/Fall
担当者/Instructor	中西 敏昭(NAKANISHI TOSHIAKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	理科教育において、生徒の興味・関心を高める授業を行う知識と技能を身につけ、また学習指導要領を理解し、生徒の能力開発を目指す理科教育の実践力を培うことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire, in the field of science education, knowledge and skills to conduct lessons that attract the interest of students, understand the course of study, and cultivate the practical teaching abilities for science education aiming for high-school students' ability development		
到達目標/Learning Goals	・授業計画を立て、授業の展開方法・教材の工夫などを行うことができる。 ・ICTなどを活用して授業を編成する能力を身に付けることができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・plan lessons and devise teaching materials; ・acquire the ability to organize lessons using ICT and field works.		
授業方法 Course Format	・講義、各種演習、模擬授業、ディスカッション ・②④⑤⑧⑪⑭回の授業はZoom型オンライン授業で実施。その他は対面授業。ZoomのURLなどはLUNAの「お知らせ」で連絡します。 ・教材や課題等についてはLUNAで指示します。		
関連科目/Related Courses	● 理科教育法B、理科教育法C、理科教育法Dの履修については、理科教育法Aの修得または併行して履修することが望ましい		
検索キーワード/Keywords	理科教育、体験的活動、協同学習、アクティブラーニング、模擬授業		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【対面】オリエンテーション(現在の中学校、高等学校における理科教育の現状)	【復習】中学校・高等学校の理科教科書をアカデミックコモンズ2階の資料室などで閲覧する 【予習】学習指導要領の目標・内容について調べる
第2回 Session 2	【Zoom】理科教育が目指すもの(学習指導要領の目標や内容について)	【復習】アクティブラーニングに関する資料を収集する 【予習】言語活動の充実について、学習指導要領などをもとに調べる
第3回 Session 3	【対面】言語活動と理科教育ーレポート、プレゼンテーション、ディスカッション	【復習】「聴く・書く・話す」ことによる理科における言語活動について整理する 【予習】学習指導案を作成する
第4回 Session 4	【Zoom】言語活動を取り入れた学習指導案の発表	【予習】ICTについて調べる
第5回 Session 5	【Zoom】ICTの活用と理科教育	【復習】ICTの活用について整理する 【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて、予行演習を実施する
第6回 Session 6	【対面】ICTを用いた模擬授業	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える
第7回 Session 7	【対面】様々な理科教育のあり方1ー道德教育と理科教育	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】道德教育の課題についてレポートする
第8回 Session 8	【Zoom】様々な理科教育のあり方2ー環境教育と理科教育	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】環境教育の課題についてレポートする
第9回 Session 9	【対面】様々な理科教育のあり方3ー総合的な学習の時間と理科教育	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】総合的な学習の時間の課題についてレポートする
第10回 Session 10	【対面】理科におけるフィールドワーク(野外実習)のあり方及び教材研究	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】体験活動の課題についてレポートする 【予習】レポートをもとに各自で発表の準備をする
第11回 Session 11	【Zoom】理科と協同学習(ブレインストーミング&KJ法)	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】実施した協同学習をまとめる
第12回 Session 12	【対面】体験的活動と理科教育(教材研究及び学習指導案の作成)	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】教材研究及び学習指導案の作成
第13回 Session 13	【対面】体験的活動と理科教育(模擬授業)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】今までの授業を踏まえて、自らの教育ビジョンの作成
第14回 Session 14	【Zoom】理科教育のあり方とまとめ、理科の教員としてのビジョン作り	【復習】理科教員としてのビジョンを振り返る

教科書 Required texts	中学校学習指導要領, 中学校学習指導要領解説理科編, 高等学校学習指導要領, 高等学校学習指導要領理科編理数編(すべて文部科学省の最新版)※※文部科学省のWebサイトにもあります。
参考書/Reference books	著者名: 畑中忠雄 タイトル: 若い先生のための理科教育概論 発行所: 東洋館出版社 出版年: 2004 ISBN: 4-491-01976-2
参考文献・資料 Reference books	中学校・高等学校の「理科教科書」, 新聞記事 「若い先生のための理科教育概論」(東洋館出版社) 講義資料を配布する
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	アンケート等
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	平常レポート／Individual reports(04)	70%	内容評価	
	その他／Others(99)	30%	授業への意欲, 態度。模擬授業の評価、発表など	
添付ファイル1/File Attachment 1	学習指導案の書き方.docx		説明1/Explanation 1	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_192502_1&cmp_tab_id=_228542_1&editMode=true&mode=cpview			
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 16時26分54秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜2時限	秋学期／Fall	IV－203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48039003	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】理科教育法A 3/Methods of Teaching Science A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	中西 敏昭(NAKANISHI TOSHIAKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	理科教育において、生徒の興味・関心を高める授業を行う知識と技能を身につけ、また学習指導要領を理解し、生徒の能力開発を目指す理科教育の実践力を培うことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire, in the field of science education, knowledge and skills to conduct lessons that attract the interest of students, understand the course of study, and cultivate the practical teaching abilities for science education aiming for high-school students' ability development		
到達目標/Learning Goals	・授業計画を立て、授業の展開方法・教材の工夫などを行うことができる。 ・ICTなどを活用して授業を編成する能力を身に付けることができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・plan lessons and devise teaching materials; ・acquire the ability to organize lessons using ICT and field works.		
授業方法 Course Format	・講義、各種演習、模擬授業、ディスカッション ・②④⑤⑧⑪⑭回の授業はZoom型オンライン授業で実施。その他は対面授業。ZoomのURLなどはLUNAの「お知らせ」で連絡します。 ・教材や課題等についてはLUNAで指示します。		
関連科目/Related Courses	● 理科教育法B、理科教育法C、理科教育法Dの履修については、理科教育法Aの修得または併行して履修することが望ましい		
検索キーワード/Keywords	理科教育、体験的活動、協同学習、アクティブラーニング、模擬授業		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【対面】オリエンテーション(現在の中学校、高等学校における理科教育の現状)	【復習】中学校・高等学校の理科教科書をアカデミックコモンズ2階の資料室などで閲覧する 【予習】学習指導要領の目標・内容について調べる
第2回 Session 2	【Zoom】理科教育が目指すもの(学習指導要領の目標や内容について)	【復習】アクティブラーニングに関する資料を収集する 【予習】言語活動の充実について、学習指導要領などをもとに調べる
第3回 Session 3	【対面】言語活動と理科教育ーレポート、プレゼンテーション、ディスカッション	【復習】「聴く・書く・話す」ことによる理科における言語活動について整理する 【予習】学習指導案を作成する
第4回 Session 4	【Zoom】言語活動を取り入れた学習指導案の発表	【予習】ICTについて調べる
第5回 Session 5	【Zoom】ICTの活用と理科教育	【復習】ICTの活用について整理する 【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて、予行演習を実施する
第6回 Session 6	【対面】ICTを用いた模擬授業	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える
第7回 Session 7	【対面】様々な理科教育のあり方1ー道德教育と理科教育	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】道德教育の課題についてレポートする
第8回 Session 8	【Zoom】様々な理科教育のあり方2ー環境教育と理科教育	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】環境教育の課題についてレポートする
第9回 Session 9	【対面】様々な理科教育のあり方3ー総合的な学習の時間と理科教育	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】総合的な学習の時間の課題についてレポートする
第10回 Session 10	【対面】理科におけるフィールドワーク(野外実習)のあり方及び教材研究	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】体験活動の課題についてレポートする 【予習】レポートをもとに各自で発表の準備をする
第11回 Session 11	【Zoom】理科と協同学習(ブレインストーミング&KJ法)	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】実施した協同学習をまとめる
第12回 Session 12	【対面】体験的活動と理科教育(教材研究及び学習指導案の作成)	授業開始日までに資料をLUNAに掲載 【復習】教材研究及び学習指導案の作成
第13回 Session 13	【対面】体験的活動と理科教育(模擬授業)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】今までの授業を踏まえて、自らの教育ビジョンの作成
第14回 Session 14	【Zoom】理科教育のあり方とまとめ、理科の教員としてのビジョン作り	【復習】理科教員としてのビジョンを振り返る

教科書 Required texts	中学校学習指導要領, 中学校学習指導要領解説理科編, 高等学校学習指導要領, 高等学校学習指導要領理科編理数編(すべて文部科学省の最新版)※※文部科学省のWebサイトにもあります。
参考書/Reference books	著者名: 畑中忠雄 タイトル: 若い先生のための理科教育概論 発行所: 東洋館出版社 出版年: 2004 ISBN: 4-491-01976-2
参考文献・資料 Reference books	中学校・高等学校の「理科教科書」, 新聞記事 「若い先生のための理科教育概論」(東洋館出版社) 講義資料を配布する
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	アンケート等
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	平常レポート／Individual reports(04)	70%	内容評価	
	その他／Others(99)	30%	授業への意欲, 態度。模擬授業の評価、発表など	
添付ファイル1/File Attachment 1	学習指導案の書き方.docx		説明1/Explanation 1	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_202344_1&cmp_tab_id=_238384_1&editMode=true&mode=cpview			
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 16時27分10秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	木曜4時限	春学期／Spring	Ⅱ－302

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48040001	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】理科教育法B 1／Methods of Teaching Science B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	秋吉 博之(AKIYOSHI HIROYUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	・主に高等学校における理科の学習内容を,学習指導要領に基づき理解するとともに学習評価の考え方について理解する。 ・目標や目指す資質・能力に留意し,主として高校「物理」「化学」「生物」「地学」分野の学習内容について背景となる科学との関連も含めて理解を深める。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the contents of science in secondary school based on the course of study and the concept of learning evaluation. Attention should be paid to the goals, and the intended qualities and abilities. They deeply understand the contents of learning of “physics”, “chemistry”, “biology”, and “geology” in the secondary school including the relationship with their scientific backgrounds.		
到達目標/Learning Goals	主に高等学校の理科の授業において,生徒の興味関心を高める授業をすることができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to teach secondary school science classes to enhance interests of secondary school students.		
授業方法 Course Format	対面授業で実施する。オンライン受講許可学生には, LUNAで遠隔授業の方法について連絡する。		
関連科目/Related Courses	「理科教育法A」を修得済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	理科教育, 学習指導案の作成, 模擬授業		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	高等学校学習指導要領における理科の目標・内容と評価について	【復習】高等学校の学習指導要領(理科編・理数編)の内容と評価についてまとめる。 【予習】物理の3分野について, 班で分担して学習指導案を作成する。
第2回 Session 2	物理分野(物体の運動とエネルギー, 波, 電気と磁気)に関する学習内容と教材研究	【予習】教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案を校正する。
第3回 Session 3	物理分野に関する学習指導案の作成(班別検討)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予定演習を実施する。
第4回 Session 4	物理分野に関する模擬授業と振り返り(全体)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】化学の3分野について, 班で分担して学習指導案を作成する。
第5回 Session 5	化学分野(物質の構成, 物質の変化と平衡, 有機化合物の性質)に関する学習内容と教材研究	【予習】教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案を校正する。
第6回 Session 6	化学分野に関する学習指導案の作成(班別検討)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予定演習を実施する。
第7回 Session 7	化学分野に関する模擬授業と振り返り(全体)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】生物の3分野について, 班で分担して学習指導案を作成する。
第8回 Session 8	生物分野(生物の体内環境, 生物の多様性と生態系, 生命現象と物質)に関する学習内容と教材研究	【予習】教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案を校正する。
第9回 Session 9	生物分野に関する学習指導案の作成(班別検討)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予定演習を実施する。
第10回 Session 10	生物分野に関する模擬授業と振り返り(全体)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える。 【予習】地学の3分野について, 班で分担して学習指導案を作成する。
第11回 Session 11	地学分野(地球のすがた, 地球の活動と歴史, 宇宙の構造)に関する学習内容と教材研究	【予習】教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案を校正する。
第12回 Session 12	地学分野に関する学習指導案の作成(班別検討)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予定演習を実施する。
第13回 Session 13	地学分野に関する模擬授業と振り返り(全体)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】高等学校の理科の授業方法や今後の理科教育について課題について整理する。
第14回 Session 14	理科教育についてのディスカッション	【予習】本講座から得た知見を踏まえ, 学習指導案のねらいを明確にする。 【復習】高等学校の学習指導要領(理科編)の目標・内容を再確認するとともに, 効果的な学習評価についてまとめる。

教科書 Required texts	中学校学習指導要領, 中学校学習指導要領解説理科編, 高等学校学習指導要領, 高等学校学習指導要領理科編理数編(すべて文部科学省の最新版)※文部科学省のWebサイトにもある。
参考書/Reference books	著者名: 左巻健男, 内村 浩 他 タイトル: 授業に生かす理科教育法 発行所: 東京書籍 出版年: 2015 ISBN: 978-4-487-80335-4 著者名: 中西敏昭 タイトル: みんなの生物学 発行所: 大学教育出版 出版年: 2012 ISBN: 978-4-86429-149-1 著者名: 秋吉博之 他 タイトル: 理科教育法 第3版 発行所: 大学教育出版 出版年: 2018 ISBN: 978-4-86429-987-9
参考文献・資料 Reference books	「授業に生かす理科教育法」(東京書籍), 「理科教育法 第3版」(大学教育出版), 「みんなの生物学」(大学教育出版) ・中学校・高等学校の「理科教科書」, とくに自分の専門科目の高等学校教科書(新課程)は購入するのが望ましい。教職教育研究センターの資料室資料室で閲覧もできる。 ・文科省webサイト ・授業の中で資料を配布する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	アンケートなど
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	平常レポート／Individual reports(04)	80%	内容評価	
	その他／Others(99)	20%	模擬授業の評価, 討論・発表への意欲・態度	
	備考 Note オンライン受講許可学生への成績評価はLUNAなどにより個別に知らせます。また、「平常レポート」「その他」については基本的に対面式授業と同じですが、変更があればLUNAなどにより個別に連絡します。			
備考 Note	【オンライン受講生対象】 オオンライン受講許可学生には、LUNAで遠隔授業の方法について連絡する。			
添付ファイル5/File Attachement 5	学習指導案の書き方.docx		説明5/Explanation 5	学習指導案の書き方
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/landingPage.jsp?navItem=cp_course_customization&course_id=_192627_1			
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 10時37分54秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	木曜2時限	春学期／Spring	II-110

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48040002	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】理科教育法B 2/Methods of Teaching Science B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期/Fall
担当者/Instructor	中西 敏昭(NAKANISHI TOSHIAKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	・主に高等学校における理科の学習内容を,学習指導要領に基づき理解するとともに学習評価の考え方について理解する。 ・目標や目指す資質・能力に留意し,主として高校「物理」「化学」「生物」「地学」分野の学習内容について背景となる科学との関連も含めて理解を深める。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the contents of science in secondary school based on the course of study and the concept of learning evaluation. Attention should be paid to the goals, and the intended qualities and abilities. They deeply understand the contents of learning of “physics”, “chemistry”, “biology”, and “geology” in the high school including the relationship with their scientific backgrounds.		
到達目標/Learning Goals	主に高等学校の理科の授業において,生徒の興味関心を高める授業をすることができる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to teach secondary school science classes to enhance interests of high school students.		
授業方法 Course Format	講義, 班別ディスカッション, 模擬授業と振り返り(高等学校理科全分野) ・②④⑤⑧⑪⑭回の授業はZoom型オンライン授業で実施。その他は対面授業。ZoomのURLなどはLUNAの「お知らせ」で連絡します。 ・教材や課題等についてはLUNAで指示します。		
関連科目/Related Courses	「理科教育法A」の修得または併行して履修することが望ましい		
検索キーワード/Keywords	理科教育, 学習指導案の作成, 模擬授業		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【対面】高等学校学習指導要領における理科の目標・内容と評価について	【復習】高等学校の学習指導要領(理科編・理数編)の内容と評価についてまとめる 【予習】物理の3分野について, 各自で学習指導案を作成する
第2回 Session 2	【Zoom】物理分野(物体の運動とエネルギー, 波, 電気と磁気)に関する学習内容と教材研究	【復習】教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案を校正する
第3回 Session 3	【対面】物理分野に関する学習指導案の作成(班別模擬授業)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予行演習を実施する
第4回 Session 4	【Zoom】物理分野に関する模擬授業と振り返り(全体模擬授業)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】化学の3分野について, 班で分担して各自で学習指導案を作成する
第5回 Session 5	【Zoom】化学分野(物質の構成, 物質の変化と平衡, 有機化合物の性質)に関する学習内容と教材研究	【復習】教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案を校正する
第6回 Session 6	【対面】化学分野に関する学習指導案の作成(班別模擬授業)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予行演習を実施する
第7回 Session 7	【対面】化学分野に関する模擬授業と振り返り(全体模擬授業)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】生物の3分野について, 班で分担して各自で学習指導案を作成する
第8回 Session 8	【Zoom】生物分野(生物の体内環境, 生物の多様性と生態系, 生命現象と物質)に関する学習内容と教材研究	【習復】教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案を校正する
第9回 Session 9	【対面】生物分野に関する学習指導案の作成(班別模擬授業)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予行演習を実施する
第10回 Session 10	【対面】生物分野に関する模擬授業と振り返り(全体模擬授業)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】地学の3分野について, 班で分担して各自で学習指導案を作成する
第11回 Session 11	【Zoom】地学分野(地球のすがた, 地球の活動と歴史, 宇宙の構造)に関する学習内容と教材研究	【復習】教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案を校正する
第12回 Session 12	【対面】地学分野に関する学習指導案の作成(班別模擬授業)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予行演習を実施す
第13回 Session 13	【対面】地学分野に関する模擬授業と振り返り(全体模擬授業)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】高等学校の理科の授業方法や今後の理科教育について課題について整理する
第14回 Session 14	【Zoom】理科教育についてのディスカッション、まとめ	【予習】本講座から得た知見を踏まえ, 学習指導案のねらいを明確にする 【復習】高等学校の学習指導要領(理科編)の目標・内容を再確認するとともに, 効果的な学習評価についてまとめる

教科書 Required texts	中学校学習指導要領, 中学校学習指導要領解説理科編, 高等学校学習指導要領, 高等学校学習指導要領理科編理数編(すべて文部科学省の最新版)※文部科学省のWebサイトにもある。
参考書/Reference books	著者名: 左巻健男, 内村 浩 他 タイトル: 授業に生かす理科教育法 発行所: 東京書籍 出版年: 2015 ISBN: 978-4-487-80335-4
参考文献・資料 Reference books	「授業に生かす理科教育法」(東京書籍)「みんなの生物学」(大学教育出版) ・中学校・高等学校の「理科教科書」, とくに自分の専門科目の高等学校教科書(新課程)は購入するのが望ましい。教職教育研究センターの資料室資料室で閲覧もできる。 ・文科省webサイト ・授業の中で資料を配布する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	アンケートなど
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	平常レポート／Individual reports(04)	70%	レポート内容評価、学習指導案の評価	
	その他／Others(99)	30%	模擬授業の評価, 討論・発表への意欲・態度	
添付ファイル1/File Attachement 1	学習指導案の書き方.docx		説明1/Explanation 1	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_202479_1&cmp_tab_id=_238519_1&editMode=true&mode=cpview			
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 16時27分34秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜3時限	秋学期／Fall	II－110

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48041001	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】理科教育法C 1／Methods of Teaching Science C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	内山 裕之(UCHIYAMA HIROYUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	主に中学校における理科の学習内容を,学習指導要領に基づき小学校とのつながりも含めて理解する。また, 目標や目指す資質・能力に留意し,主として中学校理科「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の内容について,背景となる科学との関連も含めて理解を深め、模擬授業を実施することができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the contents of science in secondary school based on the course of study and the concept of learning evaluation , including the connection with courses of elementary school. Attention should be paid to the goals, and the intended qualities and abilities. They deeply understand the contents of learning of “energy” , “particles” , “life” , and “ earth” mainly in junior the high schools including the relationship with their scientific backgrounds.		
到達目標/Learning Goals	1 新学習指導要領の考え方である生徒の育成すべき資質・能力を自分の言葉で説明することができる。 2 新学習指導要領の考え方にそった学習指導案を作成することができる。 3 中学校理科の領域で生徒の興味・関心を高め、高度な科学概念を育成しようとする授業に取り組むことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to teach secondary school science classes to enhance interests of junior high school students.		
授業方法 Course Format	対面授業を予定(変更があれば授業中またはLUNAで指示する) 講義, 班別ディスカッション, 模擬授業と振り返り(中学校理科全分野) 【オンライン受講生対象】 オンラインでの受講を許可された学生に対しては、パワーポイントの配信で対応します。LUNAに資料を掲載しますので、掲載されましたら、すぐに確認してください。掲載場所は受講開始後、すぐに連絡します。 【感染防止重点期間】「授業計画」欄へ掲載。		
関連科目/Related Courses	「理科教育法A」を修得済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	理科教育, 学習指導案の作成, 模擬授業		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	対面授業で実施。 中学校「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の学習指導要領の目標と評価(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)	【復習】新学習指導要領中学校理科の目標における改訂のポイントについて整理し、説明することができる。
第2回 Session 2	対面授業を予定 「エネルギー」に関する学習内容と教材研究(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)	【復習】エネルギー領域に関する学習内容と実験教材を理解し分類・まとめをすることができる。
第3回 Session 3	対面授業で実施。「エネルギー」に関する学習指導案の作成(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)	【復習】指導案の書き方を理解し、エネルギー領域の指導案を作成することができる。
第4回 Session 4	対面授業で実施。「エネルギー」に関する模擬授業のモデルの紹介と振り返り(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善のあり方を具体的に説明することができる。
第5回 Session 5	対面授業で実施。「粒子」に関する学習内容と教材研究(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)	【復習】粒子領域に関する学習内容と実験教材を理解し分類・まとめをすることができる。
第6回 Session 6	対面授業で実施。「粒子」に関する学習指導案の作成(班別)(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)	【復習】指導案の書き方を理解し、粒子領域の指導案を作成することができる。
第7回 Session 7	対面授業で実施。「粒子」に関する模擬授業と振り返り(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善のあり方を具体的に説明することができる。
第8回 Session 8	対面授業で実施。「生命」に関する学習内容と教材研究(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)	【復習】生命領域に関する学習内容と実験教材を理解し分類・まとめをすることができる。
第9回 Session 9	対面授業で実施。「生命」に関する学習指導案の作成(班別)(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)	【復習】指導案の書き方を理解し、生命領域の指導案を作成することができる。
第10回 Session 10	対面授業で実施。「生命」に関する模擬授業と振り返り(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善のあり方を具体的に説明することができる。
第11回 Session 11	対面授業で実施。「地球」に関する学習内容と教材研究(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)	【復習】地球領域に関する学習内容と実験教材を理解し分類・まとめをすることができる。
第12回 Session 12	対面授業で実施。「地球」に関する学習指導案の作成(班別)(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)	【復習】指導案の書き方を理解し、地球領域の指導案を作成することができる。
第13回 Session 13	対面授業で実施。「地球」に関する模擬授業と振り返り(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善のあり方を具体的に説明することができる。
第14回 Session 14	対面授業で実施。「自然環境の保全と科学技術の利用に関する学習内容と教材研究・学習指導案の作成(変更があれば授業中またはLUNAで指示する)	【復習】自然環境の保全と科学技術の利用に関する学習内容が説明でき、その指導案を作成することができる。

教科書 Required texts	中学校学習指導要領, 中学校学習指導要領解説理科編理数編(すべて文部科学省の最新版) 講義の中で重要部分の資料プリントを配布する
参考書/Reference books	著者名: 広木正紀 内山裕之 タイトル: 理科の授業づくり 発行所: 東京書籍 出版年: 2012 ISBN: 978-4-487-80688-1
参考文献・資料 Reference books	「理科の授業づくり」(東京書籍) 講義の中で重要な部分の資料プリントを配布する
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	アンケートなど
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	70%	レポートの記述内容の評価
	その他／Others(99)	30%	模擬授業発表及び指導案の評価
	備考 Note 【オンライン受講生対象の成績評価方法】オンライン(LUNA)で出された課題のレポート70%およびZOOMでのオンライン模擬授業発表および作成した指導案30%で行います。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_198977_1&cmp_tab_id=_235017_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年02月21日 09時50分43秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	II-110

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48041002	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】理科教育法C 2／Methods of Teaching Science C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	中西 敏昭(NAKANISHI TOSHIAKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	主に中学校における理科の学習内容を,学習指導要領に基づき小学校とのつながりも含めて理解する。また, 目標や目指す資質・能力に留意し,主として中学校理科「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の内容について,背景となる科学との関連も含めて理解を深める。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the contents of science in secondary school based on the course of study and the concept of learning evaluation , including the connection with courses of elementary school. Attention should be paid to the goals, and the intended qualities and abilities. They deeply understand the contents of learning of “energy” , “particles” , “life” , and “earth” mainly in junior the high schools including the relationship with their scientific backgrounds.		
到達目標/Learning Goals	主に中学校の理科の授業において, 生徒の興味関心を高める授業をすることができる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to teach secondary school science classes to enhance interests of junior high school students.		
授業方法 Course Format	・講義, 班別ディスカッション, 模擬授業と振り返り(中学校理科全分野) ・②④⑤⑧⑪⑭回の授業はZoom型オンライン授業で実施。その他は対面授業。ZoomのURLなどはLUNAの「お知らせ」で連絡します。 ・教材や課題等についてはLUNAで指示します。		
関連科目/Related Courses	「理科教育法A」の修得または併行して履修することが望ましい		
検索キーワード/Keywords	理科教育, 学習指導案の作成, 模擬授業		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【対面】中学校学習指導要領における理科の学習指導要領の目標と評価 Zoomの使い方	【復習】中学校の学習指導要領解説(理科編)の内容と評価について確認 【予習】「エネルギー」分野について, 各自で学習指導案を作成する
第2回 Session 2	【Zoom】「エネルギー」に関する学習内容と教材研究	【復習】教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案の校正
第3回 Session 3	【対面】「エネルギー」に関する学習指導案の作成(班別模擬授業)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予行演習を実施する
第4回 Session 4	【Zoom】「エネルギー」に関する全体模擬授業と振り返り	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】班で粒子分野を分担し, 各自で学習指導案の作成
第5回 Session 5	【Zoom】「粒子」に関する学習内容と教材研究	【復習】教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案の校正
第6回 Session 6	【対面】「粒子」に関する学習指導案の作成(班別模擬授業)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予行演習を実施する
第7回 Session 7	【対面】「粒子」に関する模擬授業と振り返り	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】班で生命分野を分担し, 各自で学習指導案の作成
第8回 Session 8	【Zoom】「生命」に関する学習内容と教材研究	【復習】教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案の校正
第9回 Session 9	【対面】「生命」に関する学習指導案の作成(班別)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予行演習を実施する
第10回 Session 10	【対面】「生命」に関する模擬授業と振り返り	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】班で地球分野を分担し, 各自で学習指導案の作成
第11回 Session 11	【Zoom】「地球」に関する学習内容と教材研究	【復習】教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案の校正
第12回 Session 12	【対面】「地球」に関する学習指導案の作成(班別)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予行演習を実施する
第13回 Session 13	【対面】「地球」に関する模擬授業と振り返り および 「環境」に関する学習内容と教材研究	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】環境分野について, 各自で学習指導案の作成し, 予行演習を実施する
第14回 Session 14	【Zoom】自然環境の保全と科学技術の利用に関する学習内容と教材研究・学習指導案の発表 「環境」に関する模擬授業と振り返り	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える

教科書 Required texts	中学校学習指導要領, 中学校学習指導要領解説理科編, 高等学校学習指導要領, 高等学校学習指導要領理科編理数編(すべて文部科学省の最新版) 文部科学省のWebサイトにもあります。
参考書/Reference books	著者名:左巻健男, 内村 浩 他 タイトル:授業に生かす理科教育法 発行所:東京書籍 出版年:2015 ISBN:978-4-487-80335-4
参考文献・資料 Reference books	「授業に生かす理科教育法」(東京書籍) ・中学校・高等学校の「理科教科書」, とくに自分の専門科目の教科書(新課程)は購入するのが望ましい。大学への登校が可能であれば, 教職教育研究センターの資料室資料室で閲覧できる。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	アンケートなど
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	平常レポート／Individual reports(04)	70%	レポート内容評価,学習指導案の評価	
	その他／Others(99)	30%	模擬授業, 討論・発表への意欲・態度	
添付ファイル1/File Attachment 1	学習指導案の書き方.docx		説明1/Explanation 1	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_192816_1&cmp_tab_id=_228856_1&editMode=true&mode=cpview			
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 16時27分54秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜3時限	秋学期／Fall	IV－203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48042001	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】理科教育法D 1／Methods of Teaching Science D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	中西 敏昭(NAKANISHI TOSHIAKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	理科のおもしろさを体得するために、実験・実習・観察の技法を学び、実験書(教材)の開発を行い、よりよい指導方法を修得する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn the techniques of experiments, practical training, observation, and devise experiment sheets (teaching materials), and finally gain better teaching methods aiming at acquiring interests of students in the science.		
到達目標/Learning Goals	安全に留意しながら、身近な材料を用いて実験・実習・観察するスキルを身に付けることができる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to acquire skills for experiments, practical training and observation using familiar materials with attention paid to the safety.		
授業方法 Course Format	・講義, 実験演習, 演示実験を含んだ模擬授業 ・②④⑤⑧⑪⑭回の授業はZoom型オンライン授業で実施。その他は対面授業。ZoomのURLなどはLUNAの「お知らせ」で連絡します。 ・教材や課題等についてはLUNAで指示します。		
関連科目/Related Courses	「理科教育法A」を修得済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	理科教育法 演示実験 模擬授業		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	魅力のある理科の授業とは何か ー理科における実験・観察の意義	【復習】理科教育における安全教育、安全指導 (身近な教材の利用) 【予習】エネルギー・物理分野の身近な演示実験の準備
第2回 Session 2	エネルギー・物理分野の魅力ある授業のための自主教材研究1 ～班別演示実験	【復習】演示実験の修正と学習指導案の検討 【予習】模擬授業の準備
第3回 Session 3	実験・観察を含んだ物理分野の学習指導案の検討及び作成(班別模擬授業)	【復習】模擬授業を踏まえて、学習指導案・実験の修正 【予習】粒子・化学分野の身近な演示実験の準備
第4回 Session 4	粒子・化学分野の魅力ある授業のための自主教材研究2 ～班別演示実験	【復習】演示実験の修正と学習指導案の検討 【予習】生命・環境・生物分野の身近な演示実験の準備
第5回 Session 5	生命・環境・生物分野の魅力ある授業のための自主教材研究3 ～班別演示実験	【復習】演示実験の修正と学習指導案の検討 【予習】模擬授業の準備
第6回 Session 6	実験・観察を含んだ化学分野の学習指導案の検討及び作成(班別模擬授業)	【復習】模擬授業を踏まえて、学習指導案・実験の修正 【予習】模擬授業の準備
第7回 Session 7	実験・観察を含んだ生物分野の学習指導案の検討及び作成(班別模擬授業)	【復習】模擬授業を踏まえて、学習指導案・実験の修正 【予習】地球・地学分野の身近な演示実験の準備
第8回 Session 8	地球・地学分野の魅力ある授業のための自主教材研究4 ～班別演示実験	【復習】演示実験の修正と学習指導案の検討 【予習】模擬授業の準備
第9回 Session 9	実験・観察を含んだ地学分野の学習指導案の検討及び作成(班別模擬授業)	【復習】模擬授業を踏まえて、学習指導案・実験の修正 【予習】全体模擬授業1の準備
第10回 Session 10	実験指導書(自主教材)を用いた模擬授業1(物理)と授業の振り返り	【復習】学習指導案及び実験指導書(物理)の完成 【予習】全体模擬授業2の準備
第11回 Session 11	実験指導書(自主教材)を用いた模擬授業2(化学)と授業の振り返り	【復習】学習指導案及び実験指導書(化学)の完成 【予習】全体模擬授業3の準備
第12回 Session 12	実験指導書(自主教材)を用いた模擬授業3(生物)と授業の振り返り	【復習】学習指導案及び実験指導書(生物)の完成 【予習】全体模擬授業4の準備
第13回 Session 13	実験指導書(自主教材)を用いた模擬授業4(地学)と授業の振り返り	【復習】学習指導案及び実験指導書(地学)の完成 【予習】ディスカッションの準備
第14回 Session 14	観察・実験の評価と授業デザインの改善 ーディスカッション「楽しくて、よく分かる理科授業に必要な要素」とは何か	【復習】ディスカッションのまとめ 本授業や他の理科教育法などを受講して得られた知見などから魅力ある授業を考える

教科書 Required texts	中学校学習指導要領, 中学校学習指導要領解説理科編, 高等学校学習指導要領, 高等学校学習指導要領理科編理数編(すべて文部科学省の最新版) 文部科学省のWebサイトにもあります。
参考文献・資料 Reference books	・中学校・高等学校の「理科教科書」, とくに自分の専門科目の高等学校教科書(新課程)は購入するのが望ましい。大学への登校が可能であれば, 教職教育研究センターの資料室資料室で閲覧できる。 ※ 講義資料はLUNAで事前に配布する
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	アンケートなど
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	平常レポート／Individual reports(04)	70%	レポート内容評価, 実験指導書・学習指導案の内容評価	
	その他／Others(99)	30%	模擬授業および実験の評価, 討論・発表への意欲・態度	
添付ファイル1/File Attachment 1	学習指導案の書き方.docx		説明1/Explanation 1	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_205313_1&cmp_tab_id=_241353_1&editMode=true&mode=cpview			
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 16時28分19秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	木曜3時限	春学期／Spring	II－110

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48042002	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】理科教育法D 2／Methods of Teaching Science D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	中西 敏昭(NAKANISHI TOSHIAKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	理科のおもしろさを体得するために、実験・実習・観察の技法を学び、実験書(教材)の開発を行い、よりよい指導方法を修得する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn the techniques of experiments, practical training, observation, and devise experiment sheets (teaching materials), and finally gain better teaching methods aiming at acquiring interests of students in the science.		
到達目標/Learning Goals	安全に留意しながら、身近な材料を用いて実験・実習・観察するスキルを身に付けることができる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to acquire skills for experiments, practical training and observation using familiar materials with attention paid to the safety.		
授業方法 Course Format	・講義, 実験演習, 演示実験を含んだ模擬授業 ・②④⑤⑧⑪⑭回の授業はZoom型オンライン授業で実施。その他は対面授業。ZoomのURLなどはLUNAの「お知らせ」で連絡します。 ・教材や課題等についてはLUNAで指示します。		
関連科目/Related Courses	「理科教育法A」を修得済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	理科教育法 演示実験 模擬授業		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	魅力のある理科の授業とは何か ー理科における実験・観察の意義	【復習】理科教育における安全教育、安全指導(身近な教材の利用) 【予習】エネルギー・物理分野の身近な演示実験の準備
第2回 Session 2	エネルギー・物理分野の魅力ある授業のための自主教材研究1 ～班別演示実験	【復習】演示実験の修正と学習指導案の検討 【予習】模擬授業の準備
第3回 Session 3	実験・観察を含んだ物理分野の学習指導案の検討及び作成(班別模擬授業)	【復習】模擬授業を踏まえて、学習指導案・実験の修正 【予習】粒子・化学分野の身近な演示実験の準備
第4回 Session 4	粒子・化学分野の魅力ある授業のための自主教材研究2 ～班別演示実験	【復習】演示実験の修正と学習指導案の検討 【予習】生命・環境・生物分野の身近な演示実験の準備
第5回 Session 5	生命・環境・生物分野の魅力ある授業のための自主教材研究3 ～班別演示実験	【復習】演示実験の修正と学習指導案の検討 【予習】模擬授業の準備
第6回 Session 6	実験・観察を含んだ化学分野の学習指導案の検討及び作成(班別模擬授業)	【復習】模擬授業を踏まえて、学習指導案・実験の修正 【予習】模擬授業の準備
第7回 Session 7	実験・観察を含んだ生物分野の学習指導案の検討及び作成(班別模擬授業)	【復習】模擬授業を踏まえて、学習指導案・実験の修正 【予習】地球・地学分野の身近な演示実験の準備
第8回 Session 8	地球・地学分野の魅力ある授業のための自主教材研究4 ～班別演示実験	【復習】演示実験の修正と学習指導案の検討 【予習】模擬授業の準備
第9回 Session 9	実験・観察を含んだ地学分野の学習指導案の検討及び作成(班別模擬授業)	【復習】模擬授業を踏まえて、学習指導案・実験の修正 【予習】全体模擬授業1の準備
第10回 Session 10	実験指導書(自主教材)を用いた模擬授業1(物理)と授業の振り返り	【復習】学習指導案及び実験指導書(物理)の完成 【予習】全体模擬授業2の準備
第11回 Session 11	実験指導書(自主教材)を用いた模擬授業2(化学)と授業の振り返り	【復習】学習指導案及び実験指導書(化学)の完成 【予習】全体模擬授業3の準備
第12回 Session 12	実験指導書(自主教材)を用いた模擬授業3(生物)と授業の振り返り	【復習】学習指導案及び実験指導書(生物)の完成 【予習】全体模擬授業4の準備
第13回 Session 13	実験指導書(自主教材)を用いた模擬授業4(地学)と授業の振り返り	【復習】学習指導案及び実験指導書(地学)の完成 【予習】ディスカッションの準備
第14回 Session 14	観察・実験の評価と授業デザインの改善 ーディスカッション「楽しくて、よく分かる理科授業に必要な要素」とは何か	【復習】ディスカッションのまとめ 本授業や他の理科教育法などを受講して得られた知見などから魅力ある授業を考える

教科書 Required texts	中学校学習指導要領, 中学校学習指導要領解説理科編, 高等学校学習指導要領, 高等学校学習指導要領理科編理数編(すべて文部科学省の最新版) 文部科学省のWebサイトにもあります。
参考文献・資料 Reference books	・中学校・高等学校の「理科教科書」, とくに自分の専門科目の高等学校教科書(新課程)は購入するのが望ましい。大学への登校が可能であれば, 教職教育研究センターの資料室資料室で閲覧できる。 ※ 講義資料はLUNAで事前に配布する
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	アンケートなど
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	平常レポート／Individual reports(04)	70%	レポート内容評価, 実験指導書・学習指導案の内容評価	
	その他／Others(99)	30%	模擬授業および実験の評価, 討論・発表への意欲・態度	
添付ファイル1/File Attachment 1	学習指導案の書き方.docx		説明1/Explanation 1	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_199151_1&cmp_tab_id=_235191_1&editMode=true&mode=cpview			
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 16時28分39秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜4時限	秋学期／Fall	II－110

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48043001	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】数学科教育法A 1／Methods of Teaching Mathematics A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	田中 章雅(TANAKA AKIMASA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	中学校、高等学校の数学教育について、学習指導要領と内外の教育諸調査、各領域の主な内容とその系統性、学習指導案と模擬授業、科学技術の活用など、基礎的な知識と技能を得ることを目標とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the contents of the national course of study, lesson plans, and use of technology to acquire basic knowledge and skills related to secondary mathematics education.		
到達目標/Learning Goals	中等数学教育の内容やその課題について基礎的な知識と理解を持ち、基本的な授業計画が設計できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire basic knowledge about the contents of secondary mathematics education and will be able to design basic lesson plans.		
授業方法 Course Format	各回とも、講義の部分とグループワーク等演習の部分で講義を進めていきます。 【オンライン受講生対象】オンラインでの受講を許可された学生に対しては、オンデマンドA型オンライン授業で進めていきますが、プレゼンテーションや模擬授業を行う際には、それぞれの各授業に合った方法によって配信で対応します。詳しくはLUNA等に掲載します。		
検索キーワード/Keywords	数学科教育 学習指導要領 学習指導案 模擬授業 数学教育		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、中学校高等学校での数学教育の概観＜講義・演習・グループワーク＞	【予習課題】190分 第1回授業までに各自が学習した高等学校数学の授業について振り返り、今後教員として授業を行うとしたら、どのような部分に留意すべきかまとめてくる。
第2回 Session 2	中学校高等学校における数学科カリキュラム概説＜講義・演習・グループワーク＞	【予習課題】190分 第2回授業までに各自が学習した高等学校数学のカリキュラムについて、教科書を参考にしながら各年度の内容や流れ、評価すべき点等をまとめてくる。
第3回 Session 3	中学校高等学校における数学教育の目標と実態＜講義・演習・グループワーク＞	【予習課題】190分 第3回授業までに教科書「数学科の目標」を参考にし、数学科の目標達成のためにはどのような授業が望ましいのかまとめてくる。
第4回 Session 4	中学校高等学校における生徒たちの実態とその評価＜講義・演習・グループワーク＞	【復習課題】190分 第4回授業を参考に、成績不振者にはどのような授業(学習方法)が適切だと考えるかまとめる。
第5回 Session 5	中学校高等学校における数学教育の最新テーマ①＜講義・演習・グループワーク＞	【復習課題】190分 第5回授業を参考に、ICTを使用した数学科授業の方法についてまとめる。
第6回 Session 6	中学校高等学校における数学教育の最新テーマ②＜講義・演習・グループワーク＞	【復習課題】190分 第6回授業を参考に、数学知識を用いた探究活動の実例についてまとめる。
第7回 Session 7	数学科授業の見学(実施回変更の可能性あり)	【復習課題】190分 第7回授業を参考に、理想とする数学科授業についてまとめる。
第8回 Session 8	授業構成の考え方と評価	【復習課題】190分 第8回授業を参考に、数学科授業進行案をまとめてくる。
第9回 Session 9	教科指導案の作成	【復習課題】190分 第9回授業を参考に、数学科授業指導案をまとめてくる。
第10回 Session 10	模擬授業の実践①	【復習課題】190分 第10回授業を参考に、各自の数学科授業指導案をブラッシュアップさせる。
第11回 Session 11	模擬授業の実践②	【復習課題】190分 第11回授業を参考に、各自の数学科授業指導案をブラッシュアップさせる。
第12回 Session 12	模擬授業の実践③	【復習課題】190分 第12回授業を参考に、各自の数学科授業指導案をブラッシュアップさせる。
第13回 Session 13	定期試験の作成と評価の方法	【復習課題】190分 第13回授業を参考に、各自の数学科授業指導案に対する試験案を作成する。
第14回 Session 14	これからの数学教育と講義のまとめ	【復習課題】190分 第14回授業を参考に、各自の数学科授業指導案および試験案に対する評価案を作成する。

授業外学修 Study Required outside Class	教育政策、教育課題に常に関心を持つ。数学の一般書を数多く読む。

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 数学科編 発行所:日本文教出版 出版年:2018 ISBN:978-4536590129 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 数学編理数編 発行所:学校図書 出版年:2019 ISBN:978-4762505355
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	100%	
	備考 Note 【オンライン受講生対象】オンラインでの受講を許可された学生に対しては、平常レポート100%で成績評価します。		
更新日時/Date of Update	2022年01月24日 03時16分48秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期/Spring	水曜5時限	春学期/Spring	IV－202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48043002	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】数学科教育法A 2／Methods of Teaching Mathematics A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	田中 章雅(TANAKA AKIMASA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	中学校、高等学校の数学教育について、学習指導要領と内外の教育諸調査、各領域の主な内容とその系統性、学習指導案と模擬授業、科学技術の活用など、基礎的な知識と技能を得ることを目標とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the contents of the national course of study, lesson plans, and use of technology to acquire basic knowledge and skills related to secondary mathematics education.		
到達目標/Learning Goals	中等数学教育の内容やその課題について基礎的な知識と理解を持ち、基本的な授業計画が設計できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire basic knowledge about the contents of secondary mathematics education and will be able to design basic lesson plans.		
授業方法 Course Format	各回とも、講義の部分とグループワーク等演習の部分で講義を進めていきます。 【オンライン受講生対象】オンラインでの受講を許可された学生に対しては、オンデマンドA型オンライン授業で進めていきますが、プレゼンテーションや模擬授業を行う際には、それぞれの各授業に合った方法によって配信で対応します。詳しくはLUNA等に掲載します。		
検索キーワード/Keywords	数学科教育 学習指導要領 学習指導案 模擬授業 数学教育		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、中学校高等学校での数学教育の概観＜講義・演習・グループワーク＞	【予習課題】190分 第1回授業までに各自が学習した高等学校数学の授業について振り返り、今後教員として授業を行うとしたら、どのような部分に留意すべきかまとめてくる。
第2回 Session 2	中学校高等学校における数学科カリキュラム概説＜講義・演習・グループワーク＞	【予習課題】190分 第2回授業までに各自が学習した高等学校数学のカリキュラムについて、教科書を参考にしながら各年度の内容や流れ、評価すべき点等をまとめてくる。
第3回 Session 3	中学校高等学校における数学教育の目標と実態＜講義・演習・グループワーク＞	【予習課題】190分 第3回授業までに教科書「数学科の目標」を参考にし、数学科の目標達成のためにはどのような授業が望ましいのかまとめてくる。
第4回 Session 4	中学校高等学校における生徒たちの実態とその評価＜講義・演習・グループワーク＞	【復習課題】190分 第4回授業を参考に、成績不振者にはどのような授業(学習方法)が適切だと考えるかまとめる。
第5回 Session 5	中学校高等学校における数学教育の最新テーマ①＜講義・演習・グループワーク＞	【復習課題】190分 第5回授業を参考に、ICTを使用した数学科授業の方法についてまとめる。
第6回 Session 6	中学校高等学校における数学教育の最新テーマ②＜講義・演習・グループワーク＞	【復習課題】190分 第6回授業を参考に、数学知識を用いた探究活動の実例についてまとめる。
第7回 Session 7	数学科授業の見学(実施回変更の可能性あり)	【復習課題】190分 第7回授業を参考に、理想とする数学科授業についてまとめる。
第8回 Session 8	授業構成の考え方と評価	【復習課題】190分 第8回授業を参考に、数学科授業進行案をまとめてくる。
第9回 Session 9	教科指導案の作成	【復習課題】190分 第9回授業を参考に、数学科授業指導案をまとめてくる。
第10回 Session 10	模擬授業の実践①	【復習課題】190分 第10回授業を参考に、各自の数学科授業指導案をブラッシュアップさせる。
第11回 Session 11	模擬授業の実践②	【復習課題】190分 第11回授業を参考に、各自の数学科授業指導案をブラッシュアップさせる。
第12回 Session 12	模擬授業の実践③	【復習課題】190分 第12回授業を参考に、各自の数学科授業指導案をブラッシュアップさせる。
第13回 Session 13	定期試験の作成と評価の方法	【復習課題】190分 第13回授業を参考に、各自の数学科授業指導案に対する試験案を作成する。
第14回 Session 14	これからの数学教育と講義のまとめ	【復習課題】190分 第14回授業を参考に、各自の数学科授業指導案および試験案に対する評価案を作成する。

授業外学修 Study Required outside Class	教育政策、教育課題に常に関心を持つ。数学の一般書を数多く読む。

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 数学科編 発行所:日本文教出版 出版年:2018 ISBN:978-4536590129 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 数学編理数編 発行所:学校図書 出版年:2019 ISBN:978-4762505355
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	100%	
	備考 Note 【オンライン受講生対象】オンラインでの受講を許可された学生に対しては、平常レポート100%で成績評価します。		
更新日時/Date of Update	2022年01月24日 03時17分34秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期/Fall	水曜4時限	秋学期/Fall	IV－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48043003	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】数学科教育法A 3/Methods of Teaching Mathematics A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	澁谷 久(SHIBUYA HISASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、数学科における今求められる教育の上に立つ指導方法の在り方を捉えるとともに、教えることの楽しさを感じることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to grasp how the method of instruction should be on the education required now in mathematics, and also to experience a delight of teaching.		
到達目標/Learning Goals	本講義を履修することにより、中学校及び高等学校数学科の指導における基礎的な知識と授業構築にかかわる実践的な能力、すなわち、教材分析、指導プロセスや評価の設定、指導方法や教材の選択・開発に関する能力を修得することができ、授業を実践できる自己効力感をもち、「数学を教えたい」という確かな気持ちが生まれることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to gain the basic knowledge and the practical abilities about lesson organization on the instruction of mathematics in junior high schools and high schools, that is, to learn analysis of teaching materials, instruction process, setting the evaluation, method of instruction and the ability about selection and development of teaching materials, and to have a sense of self-efficacy to practice lessons and to arise definite feeling “I’d like to teach math.”		
授業の概要・背景 Course Outline	理解と楽しさに焦点をあて、中学校及び高等学校数学科における指導の在り方について考察する。特に中学校及び高等学校数学科の指導について、その全体像を捉える。授業VTRの視聴や担当者による模範授業を経験することから、以後の内容を鮮明にする。前半は、学習指導要領や教科書から、数学科のカリキュラムや数学を通して生徒に育成すべき資質・能力、今求められる数学教育について捉える。後半は、ICTの活用や数学教育における観察・実験に焦点をあて、これらの実習を通して、理解と楽しさの授業空間を生む方法を体験する。さらに、学習指導案の作成、模擬授業を実践する。本授業は、数学科の内容における具体的な場面を通して、確かな理解を促進する。		
授業方法 Course Format	講義、演習、議論、発表、グループワーク 【オンライン受講許可学生対象】 オンデマンド配信予定。LUNAに教材(音声付きPowerPoint、Word等)を授業開始時に掲示します。 模擬授業の実践の回において、グループ内のメンバーの学習指導案をLUNAに掲示する。模擬授業の実践にかかわる対応をLUNAで指示するので確認すること(リポート課題を課す)。		
関連科目/Related Courses	数学科教育法B、数学科教育法C、数学科教育法D		
検索キーワード/Keywords	数学科教育 学習指導要領 学習指導案 模擬授業 ICT 観察・実験 授業参観		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ガイダンス、授業の構成【講義】【演習】	【予習課題】(190分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」の構成を確認する。全体を閲覧する。
第2回 Session 2	数学科のカリキュラム(数学科のカリキュラムの概観)【講義】【演習】	【予習課題】(190分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」の「中学校数学科の内容の構成」(p12,13)及び「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」の「各科目の内容」(p15,16)を確認する。現行の教科書も閲覧する。
第3回 Session 3	学習指導要領と数学的に考える資質・能力(学習指導要領の特徴、数学科の目標、数学的に考える資質・能力、数学的な見方・考え方)【講義】【演習】	【復習課題】(190分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」(p20-29)または「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」(p23-30)の「数学科の目標」を読む。内容をまとめる。
第4回 Session 4	数学科の授業の実際(授業VTRの視聴や担当者による模範授業)【講義】【議論】	【復習課題】(190分)記憶に残る数学の授業についてのレポートを提出する。
第5回 Session 5	数学教育のキーワード(今求められる数学教育、学習指導要領の概観)【講義】【演習】	【予習課題】(60分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」(p6-10)及び「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」(p6-10)の「数学科改訂の趣旨及び要点」を読む。
第6回 Session 6	数学科に関する生徒の実態(諸調査からの生徒の実態)【講義】【演習】	【復習課題】(130分)数学科に関する生徒の実態にかかわるレポートを提出する。
第7回 Session 7	数学的活動(数学的活動の具体例とその意義)【講義】【演習】	【予習課題】(60分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」(p94-99, p125-130, p158-161)の「各学年の目標及び内容」の[数学的活動]を読む。
第8回 Session 8	授業構築の基礎(教材分析、指導プロセスや評価の設定、指導方法や教材の選択・開発の方法、評価の方法、指導と評価の一体化)【講義】【演習】	【復習課題】(100分)授業構築の基礎、今までの授業を踏まえ、自分が目指す授業像をつくる。
第9回 Session 9	学習指導案の作成の方法(学習指導案の意義や形式)、学習指導案作成のための資料による授業づくりの計画、作成開始【講義】【演習】	【復習課題】(400分)自分が構築する授業の単元を決め、学習指導案を作成し、提出する。
第10回 Session 10	ICTの活用(図形や関数学習用のソフト、デジタル教科書の活用、ICTを授業に組み込む方法)【講義】【演習】	【復習課題】(190分)授業で使用した図形や関数学習用のソフトに関する操作練習をするとともに、授業での活用方法を考える。
第11回 Session 11	数学教育における観察・実験(数学教育における観察・実験の具体例とその意義(ICTの活用を含む))【講義】【演習】 学習指導案の交流【演習】【議論】【発表】【グループワーク】	【復習課題】(90分)数学教育における現物実験と思考実験の具体例を探す。 【復習課題】(100分)自分の学習指導案に対する討議を踏まえ、学習指導案を修正する。
第12回 Session 12	グループによる模擬授業の実践と考察Ⅰ【演習】【議論】【発表】【グループワーク】 授業づくりの振り返りと授業改善の視点【講義】【演習】【議論】	【予習課題】(190分)授業者は、模擬授業のトライアウト(予備実践)を行う。 【復習課題】(130分)レポート「模擬授業の実践」を提出する。

	【グループワーク】	
第13回 Session 13	グループによる模擬授業の実践と考察Ⅱ【演習】【議論】【発表】 【グループワーク】 授業づくりの振り返りと授業改善の視点【講義】【演習】【議論】 【グループワーク】	【予習課題】(190分)授業者は、模擬授業のトライアウト(予備実践)を行う。 【復習課題】(130分)レポート「模擬授業の実践」を提出する。
第14回 Session 14	授業参観(中学校における数学科の授業参観、実施回さらに感染症の状況により変更の可能性あり)【講義】【演習】 まとめ【講義】	【復習課題】(130分)授業参観についてのレポートを提出する。

授業計画 Overview for each class	「フィードバック方法」 課題(レポート)提出後2～3週間後を目途に、授業において全体の講評を伝える。 模擬授業に関する講評は、授業内で授業者に口頭で伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	「授業外学習」内の【予習課題】はその授業に向けて、【復習課題】はその授業を受講してから取り組むものです。

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編 発行所:日本文教出版 出版年:2018 IS BN:9784536590129
	著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編 発行所:学校図書 出版年:2019 ISBN:9784762505355
	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示) 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN: 9784827815580
	著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領(平成30年告示) 発行所:東山書房 出版年:2019 ISBN: 9784827815672
参考書/Reference books	著者名:湍谷久 タイトル:わかるから楽しい! 中学校数学おもしろ教材コレクション 発行所:明治図書 出版年:2012 ISBN: 9784180606467
	著者名:湍谷久 タイトル:見てふれて、納得! 中学校数学 おもしろ教材&授業アイデア 発行所:明治図書 出版年:2019 I SBN:9784180697274
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	平常レポート／Individual reports(04)	40%		
	その他／Others(99)	60%	模擬授業の実践(学習指導案) 30, 学習への取り組み状況など 30	
	備考 Note 上記の項目により総合的に評価します。平常レポート、学習指導案・模擬授業の評価の観点の観点は事前に示します。「学習への取り組み状況など」は、授業の参加態度、模擬授業に向かう態度やグループにおける討論への参加態度、課題(レポート)の取り組みに対する意欲等の状況から評価します。 【オンライン受講許可学生対象】 模擬授業の実践にかわる対応と評価の観点をLUNAで指示するので確認すること(レポート課題を課す)。			
備考 Note	・[教科書]のうち「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」文部科学省、2018年、日本文教出版、9784536590129 「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」文部科学省、2019年、学校図書、9784762505355は毎回持参してください。 ・以下のものを持参するようにしてください(前時に指示します)。 はさみ、カッター、のり、セロハンテープ、定規、コンパス ・課題(レポート)はLUNAに提出してください。 ・授業中の飲食は禁止しますが、水分の補給としての飲は可とします。			
添付ファイル1/File Attachment 1	数学科学習指導案型.rtf		説明1/Explanation 1	模擬授業で使用する学習指導案の型です。
添付ファイル2/File Attachment 2	授業参観についてのレポート 用紙.docx		説明2/Explanation 2	授業参観についてのレポート用紙です。
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 22時13分59秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期/Spring	木曜3時限	春学期/Spring	IV-202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48044001	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】数学科教育法B 1/Methods of Teaching Mathematics B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	田中 章雅(TANAKA AKIMASA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	主として高等学校の数学教育における教材研究と授業づくりをテーマとして取り上げ、基礎的な知識と技能を得るとともに、学習指導案作成や模擬授業、試験問題作成などを通して実践的な授業力を培うことを目標とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the planning of lessons mainly for high school mathematics to acquire practical skills for developing mathematics classes.		
到達目標/Learning Goals	高校数学の教材研究と授業づくりに関心と知識、理解を持ち、基本的な授業計画が設計できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire interest and basic knowledge about the planning of lessons for high school mathematics and will be able to develop their own lesson plans.		
授業方法 Course Format	各回とも、講義の部分とグループワーク等演習の部分で講義を進めていきます。 【オンライン受講生対象】オンラインでの受講を許可された学生に対しては、オンデマンドA型オンライン授業で進めていきますが、プレゼンテーションや模擬授業を行う際には、それぞれの各授業に合った方法によって配信で対応します。詳しくはLUNA等に掲載します。		
関連科目/Related Courses	「数学科教育法A」を修得済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	数学科教育 学習指導要領 学習指導案 模擬授業 数学教育		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、高校数学のカリキュラムの変遷、学びを深める授業について<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第1回授業までに各自が学習した高等学校数学のカリキュラムについて、教科書を参考にしながら各年度の内容や流れ、評価すべき点等をまとめてくる。
第2回 Session 2	「数と式」分野の教授法と学習指導案の作成<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第2回授業までに各自が学習した高等学校数学「数と式」の分野について、教科書を参考にしながらどのような流れで学習したか、その授業内容や課題内容をまとめてくる。
第3回 Session 3	「数と式」分野の学習指導計画プレゼンテーションと模擬授業<講義・演習・グループワーク>	【復習課題】190分 第3回授業で作成した学習指導案について、他のグループの発表・模擬授業をふまえて、振り返りを行い、改善点をまとめる。
第4回 Session 4	「関数」分野の教授法と学習指導案の作成<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第4回授業までに各自が学習した高等学校数学「関数」の分野について、教科書を参考にしながらどのような流れで学習したか、その授業内容や課題内容をまとめてくる。
第5回 Session 5	「関数」分野の学習指導計画プレゼンテーションと模擬授業<講義・演習・グループワーク>	【復習課題】190分 第5回授業で作成した学習指導案について、他のグループの発表・模擬授業をふまえて、振り返りを行い、改善点をまとめる。
第6回 Session 6	「図形と計量」分野の教授法と学習指導案の作成<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第6回授業までに各自が学習した高等学校数学「図形と計量」の分野について、教科書を参考にしながらどのような流れで学習したか、その授業内容や課題内容をまとめてくる。
第7回 Session 7	「図形と計量」分野の学習指導計画プレゼンテーションと模擬授業<講義・演習・グループワーク>	【復習課題】190分 第7回授業で作成した学習指導案について、他のグループの発表・模擬授業をふまえて、振り返りを行い、改善点をまとめる。
第8回 Session 8	「解析」分野の教授法と学習指導案の作成<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第8回授業までに各自が学習した高等学校数学「解析」の分野について、教科書を参考にしながらどのような流れで学習したか、その授業内容や課題内容をまとめてくる。
第9回 Session 9	「解析」分野の学習指導計画プレゼンテーションと模擬授業<講義・演習・グループワーク>	【復習課題】190分 第9回授業で作成した学習指導案について、他のグループの発表・模擬授業をふまえて、振り返りを行い、改善点をまとめる。
第10回 Session 10	発展的内容の教授法と学習指導案の作成<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第10回授業までに各自が学習した高等学校数学における発展的内容(数学Ⅲの内容等)について、教科書を参考にしながらどのような流れで学習したか、その授業内容や課題内容をまとめてくる。
第11回 Session 11	発展的内容の学習指導計画プレゼンテーションと模擬授業<講義・演習・グループワーク>	【復習課題】190分 第11回授業で作成した学習指導案について、他のグループの発表・模擬授業をふまえて、振り返りを行い、改善点をまとめる。
第12回 Session 12	現在の高校数学教育に関する重要テーマまとめ①統計分野<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第12回授業までに、統計分野における昨今の高校数学教育における話題についてリサーチを行いまとめておく。
第13回 Session 13	現在の高校数学教育に関する重要テーマまとめ②ICT教育<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第13回授業までに、ICT教育における昨今の高校数学教育における話題についてリサーチを行いまとめておく。
第14回 Session 14	現在の高校数学教育に関する重要テーマまとめ③探究活動<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第14回授業までに、探究活動における昨今の高校数学教育における話題についてリサーチを行いまとめておく。

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 数学科編 発行所:日本文教出版 出版年:2018 ISBN:978-4536590129 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 数学編理数編 発行所:学校図書 出版年:2019 ISBN:978-4762505355
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	100%	
	備考 Note 【オンライン受講生対象】オンラインでの受講を許可された学生に対しては、平常レポート100%で成績評価します。		
更新日時/Date of Update	2022年01月24日 01時27分10秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期/Spring	水曜4時限	春学期/Spring	IV－202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48044002	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】数学科教育法B 2/Methods of Teaching Mathematics B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期/Fall
担当者/Instructor	田中 章雅(TANAKA AKIMASA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	主として高等学校の数学教育における教材研究と授業づくりをテーマとして取り上げ、基礎的な知識と技能を得るとともに、学習指導案作成や模擬授業、試験問題作成などを通して実践的な授業力を培うことを目標とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the planning of lessons mainly for high school mathematics to acquire practical skills for developing mathematics classes.		
到達目標/Learning Goals	高校数学の教材研究と授業づくりに関心と知識、理解を持ち、基本的な授業計画が設計できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire interest and basic knowledge about the planning of lessons for high school mathematics and will be able to develop their own lesson plans.		
授業方法 Course Format	各回とも、講義の部分とグループワーク等演習の部分で講義を進めていきます。 【オンライン受講生対象】オンラインでの受講を許可された学生に対しては、オンデマンドA型オンライン授業で進めていきますが、プレゼンテーションや模擬授業を行う際には、それぞれの各授業に合った方法によって配信で対応します。詳しくはLUNA等に掲載します。		
関連科目/Related Courses	「数学科教育法A」を修得済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	数学科教育 学習指導要領 学習指導案 模擬授業 数学教育		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、高校数学のカリキュラムの変遷、学びを深める授業について<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第1回授業までに各自が学習した高等学校数学のカリキュラムについて、教科書を参考にしながら各年度の内容や流れ、評価すべき点等をまとめてくる。
第2回 Session 2	「数と式」分野の教授法と学習指導案の作成<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第2回授業までに各自が学習した高等学校数学「数と式」の分野について、教科書を参考にしながらどのような流れで学習したか、その授業内容や課題内容をまとめてくる。
第3回 Session 3	「数と式」分野の学習指導計画プレゼンテーションと模擬授業<講義・演習・グループワーク>	【復習課題】190分 第3回授業で作成した学習指導案について、他のグループの発表・模擬授業をふまえて、振り返りを行い、改善点をまとめる。
第4回 Session 4	「関数」分野の教授法と学習指導案の作成<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第4回授業までに各自が学習した高等学校数学「関数」の分野について、教科書を参考にしながらどのような流れで学習したか、その授業内容や課題内容をまとめてくる。
第5回 Session 5	「関数」分野の学習指導計画プレゼンテーションと模擬授業<講義・演習・グループワーク>	【復習課題】190分 第5回授業で作成した学習指導案について、他のグループの発表・模擬授業をふまえて、振り返りを行い、改善点をまとめる。
第6回 Session 6	「図形と計量」分野の教授法と学習指導案の作成<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第6回授業までに各自が学習した高等学校数学「図形と計量」の分野について、教科書を参考にしながらどのような流れで学習したか、その授業内容や課題内容をまとめてくる。
第7回 Session 7	「図形と計量」分野の学習指導計画プレゼンテーションと模擬授業<講義・演習・グループワーク>	【復習課題】190分 第7回授業で作成した学習指導案について、他のグループの発表・模擬授業をふまえて、振り返りを行い、改善点をまとめる。
第8回 Session 8	「解析」分野の教授法と学習指導案の作成<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第8回授業までに各自が学習した高等学校数学「解析」の分野について、教科書を参考にしながらどのような流れで学習したか、その授業内容や課題内容をまとめてくる。
第9回 Session 9	「解析」分野の学習指導計画プレゼンテーションと模擬授業<講義・演習・グループワーク>	【復習課題】190分 第9回授業で作成した学習指導案について、他のグループの発表・模擬授業をふまえて、振り返りを行い、改善点をまとめる。
第10回 Session 10	発展的内容の教授法と学習指導案の作成<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第10回授業までに各自が学習した高等学校数学における発展的内容(数学Ⅲの内容等)について、教科書を参考にしながらどのような流れで学習したか、その授業内容や課題内容をまとめてくる。
第11回 Session 11	発展的内容の学習指導計画プレゼンテーションと模擬授業<講義・演習・グループワーク>	【復習課題】190分 第11回授業で作成した学習指導案について、他のグループの発表・模擬授業をふまえて、振り返りを行い、改善点をまとめる。
第12回 Session 12	現在の高校数学教育に関する重要テーマまとめ①統計分野<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第12回授業までに、統計分野における昨今の高校数学教育における話題についてリサーチを行いまとめておく。
第13回 Session 13	現在の高校数学教育に関する重要テーマまとめ②ICT教育<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第13回授業までに、ICT教育における昨今の高校数学教育における話題についてリサーチを行いまとめておく。
第14回 Session 14	現在の高校数学教育に関する重要テーマまとめ③探究活動<講義・演習・グループワーク>	【予習課題】190分 第14回授業までに、探究活動における昨今の高校数学教育における話題についてリサーチを行いまとめておく。

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 数学科編 発行所:日本文教出版 出版年:2018 ISBN:978-4536590129 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 数学編理数編 発行所:学校図書 出版年:2019 ISBN:978-4762505355
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	100%	
	備考 Note 【オンライン受講生対象】オンラインでの受講を許可された学生に対しては、平常レポート100%で成績評価します。		
更新日時/Date of Update	2022年01月24日 01時28分46秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期/Fall	水曜5時限	秋学期/Fall	IV－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48045001	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】数学科教育法C 1／Methods of Teaching Mathematics C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	澁谷 久(SHIBUYA HISASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、中学校及び高等学校数学科の指導内容の数学的な価値に根拠において生徒の学びを拓く授業の在り方を考え、授業を構築する技能を高めることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to predicate on mathematical value of instruction contents in mathematics in junior high school and high school, and examine how the lessons which open up students’ studying should be, and to improve the skill to organize the lessons.		
到達目標/Learning Goals	本講義を履修することにより、数学とはどんな学問か、指導する立場からその特性、すなわち、教科書の内容は、数学の本質をどの程度表しているのか、どのような数学的意味や価値をもつのかを捉えることができ、中学校数学科の内容構成とそれに関連する高等学校数学科の内容に即して進め、「数学をみる力」と「数学を整理する力」を修得することができる。さらに、創意をもって学習指導案を作成、模擬授業(グループによる学習指導案の交流)を通して、授業を実践できる技能を身に付けることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to grasp the characteristic, what the mathematics is, from the instructor’s point of view, that is, how much essence of mathematics the contents of textbooks signify and what mathematical meaning and value they have,based on the contents organization of mathematics in junior high school and the contents of mathematics in high school according to it, and learn “the ability to see mathematics” and “the ability to sort mathematics”. Additionally, the purpose is to gain the skill to practice lessons through the making of teaching plans with an originality and the practice of trial lessons.		
授業の概要・背景 Course Outline	数学教育は、時代や子供の実態により変化し、画一的な方法では限界があることを理解し、そこには教員個々の創造的な営みに期待することが大きいことを捉える。指導と研究を繰り返しながら、新しい数学教育を創る一員としての自覚と意欲を高める。内容を広く構造・体系的に設定し、中学校数学科の各領域における数学とそれに関連する高等学校数学科における数学を見渡す。前半は中学校数学科の「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」各領域の各内容とそれに関連する高等学校数学科の各内容に即し、学問そして指導対象としての数学の基礎を学ぶ。後半は、学習指導案の作成、及び、模擬授業(グループによる学習指導案の交流)を通して、指導における実践力を高める。		
授業方法 Course Format	講義、演習、議論、発表、グループワーク 【オンライン受講許可学生対象】 オンデマンド配信予定。LUNAに教材(音声付きPowerPoint、Word等)を授業開始時に掲示します。 模擬授業の実践の回において、グループ内のメンバーの学習指導案をLUNAに掲示する。模擬授業の実践にかわる対応をLUNAで指示するので確認すること(リポート課題を課す)。		
関連科目/Related Courses	数学科教育法A、数学科教育法B、数学科教育法D 「数学科教育法A」を修得済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	数学科教育 学習指導要領 学びを拓く授業 教具・学習具 学習指導案 模擬授業 ICT		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ガイダンス、授業の構成、学びを拓く授業【講義】【演習】	【復習課題】(190分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」の「中学校数学科の内容の構成」p12,13及び「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」の「各科目の内容」p15,16を確認する。現行の教科書も閲覧する。
第2回 Session 2	中学校数学科の「数と式」領域:「正の数・負の数」、「文字を用いた式」、「文字を用いた式の四則計算」、「平方根」、「式の展開と因数分解」、「一元一次方程式(比例式)」、「連立二元一次方程式」、「二次方程式」の中核的概念・原理・法則とその数学的意味や価値、及び、学びを拓く授業のデザイン【講義】【演習】	【予習課題】(60分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」の「各学年の内容」の中の「数と式」(p65-74, p102-107, p133-142)を読む。現行の教科書も閲覧する。 【復習課題】(130分) 中学校数学科の「数と式」領域の内容にかかわる指導法のリポートを提出する。
第3回 Session 3	中学校数学科「数と式」と高等学校数学科「代数」のつながり【講義】【演習】	【予習課題】(190分)「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」の「各科目の内容と内容の取扱い」の中の「代数」に関する部分を読む(内容は第2回の授業で示す)。現行の教科書も閲覧する。
第4回 Session 4	中学校数学科の「図形」領域:「平面図形」、「空間図形」、「基本的な平面図形と平行線の性質」、「図形の合同」、「図形の相似」、「円周角と中心角」、「三平方の定理」の中核的概念・原理・法則とその数学的意味や価値、及び、学びを拓く授業のデザイン【講義】【演習】	【予習課題】(60分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」の「各学年の内容」の中の「図形」(p74-82, p108-116, p143-151)を読む。現行の教科書も閲覧する。 【復習課題】(130分) 中学校数学科の「図形」領域の内容にかかわる指導法のリポートを提出する。
第5回 Session 5	中学校数学科「図形」と高等学校数学科「幾何」のつながり【講義】【演習】	【予習課題】(190分)「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」の「各科目の内容と内容の取扱い」の中の「図形」に関する部分を読む(内容は第4回の授業で示す)。現行の教科書も閲覧する。
第6回 Session 6	中学校数学科の「関数」領域:「比例、反比例」、「一次関数」、「関数y=ax ² 」の中核的概念・原理・法則とその数学的意味や価値、及び、学びを拓く授業のデザイン【講義】【演習】	【予習課題】(60分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」の「各学年の内容」の中の「関数」(p82-87, p117-120, p152-154)を読む。現行の教科書も閲覧する。
第7回 Session 7	中学校数学科「関数」と高等学校数学科「解析」のつながり【講義】【演習】	【予習課題】(190分)「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」の「各科目の内容と内容の取扱い」の中の「解析」に関する部分を読む(内容は第6回の授業で示す)。現行の教科書も閲覧する。
第8回 Session 8	中学校数学科の「データの活用」領域:「データの分布の傾向」、「多数の観察や多数回の試行によって得られる確率」、「データの分布の比較」、「場合の数を基にして得られる確率」、「標本調査」の中核的概念・原理・法則とその数学的意味や価値、及び、	【予習課題】(60分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」の「各学年の内容」の中の「データの活用」(p87-94, p120-125, p154-157)を読む。現行の教科書も閲覧する。 【復習課題】(130分) 中学校数学科の「データの活用」領域の内

	学びを拓く授業のデザイン【講義】【演習】	容にかかわる指導法のレポートを提出する。
第9回 Session 9	中学校数学科「データの活用」と高等学校数学科「確率・統計」のつながり【講義】【演習】	【予習課題】(190分)「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」の「各科目の内容と内容の取扱い」の中の「確率・統計」に関する部分を読む(内容は第8回の授業で示す)。現行の教科書も閲覧する。
第10回 Session 10	学習指導案作成のための資料による授業づくりの計画, 作成開始【講義】【演習】	【予習課題】(60分)事前にLUNAに配信した(「数学科教育法A」では学習済み)「学習指導案の作成について」等を閲覧する。 【復習課題】(300分)自分が構築する授業の単元を決め, 学習指導案を作成し, 提出する。
第11回 Session 11	中高の数学科における数学的構成の意義(縦断的・横断的視点から)【講義】【演習】	【復習課題】引き続き学習指導案の作成に取り組む。
第12回 Session 12	数学科における障害のある生徒への指導【講義】【演習】 学習指導案の交流【演習】【議論】【発表】【グループワーク】	【予習課題】学習指導案を作成する。 【復習課題】(190分)レポート「学習指導案の交流」の一部を作成する。
第13回 Session 13	グループによる模擬授業の実践と考察Ⅰ【演習】【議論】【発表】【グループワーク】 授業づくりの振り返りと授業改善の視点【講義】【演習】【議論】【グループワーク】	【予習課題】(190分)授業者は, 模擬授業のトライアウト(予備実践)を行う。
第14回 Session 14	グループによる模擬授業の実践と考察Ⅱ【演習】【議論】【発表】【グループワーク】 授業づくりの振り返りと授業改善の視点【講義】【演習】【議論】【グループワーク】 まとめ【講義】	【予習課題】(190分)授業者は, 模擬授業のトライアウト(予備実践)を行う。 【復習課題】(150分)レポート「学習指導案の交流」を提出する。

授業計画 Overview for each class	「フィードバック方法」 課題(レポート)提出後2〜3週間後を目途に, 授業において全体の講評を伝える。 模擬授業に関する講評は, 授業内で授業者に口頭で伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	「授業外学習」内の【予習課題】はその授業に向けて, 【復習課題】はその授業を受講してから取り組むものです。

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編 発行所:日本文教出版 出版年:2018 IS BN:9784536590129 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編 発行所:学校図書 出版年:2019 ISBN:9784762505355 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示) 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN: 9784827815580 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領(平成30年告示) 発行所:東山書房 出版年:2019 ISBN: 9784827815672
参考書/Reference books	著者名:澁谷久 タイトル:わかるから楽しい! 中学校数学おもしろ教材コレクション 発行所:明治図書 出版年:2012 ISBN: 9784180606467 著者名:澁谷久 タイトル:見てふれて, 納得! 中学校数学 おもしろ教材&授業アイデア 発行所:明治図書 出版年:2019 I SBN:9784180697274
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	
	その他／Others(99)	60%	模擬授業(学習指導案) 30, 学習への取り組み状況など 30
	備考 Note 上記の項目により総合的に評価します。平常レポート、学習指導案・模擬授業の評価の観点は事前に示します。「学習への取り組み状況など」は、授業の参加態度、模擬授業に向かう態度やグループにおける討論への参加態度、課題(レポート)の取り組みに対する意欲等の状況から評価します。 【オンライン受講許可学生対象】 模擬授業の実践にかかわる対応と評価の観点をLUNAで指示するので確認すること(レポート課題を課す)。		
備考 Note	・[教科書]のうち「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」文部科学省, 2018年, 日本文教出版, 9784536590129 「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」文部科学省, 2019年, 学校図書, 9784762505355は毎回持参してください。 ・以下のものを持参するようにしてください。 はさみ, カッター, のり, セロハンテープ, 定規, コンパス ・課題(レポート)はLUNAに提出してください。 ・授業中の飲食は禁止しますが, 水分の補給としての飲は可とします。		
添付ファイル1/File Attachement 1	数学科学習指導案型.rtf	説明1/Explanation 1	模擬授業で使用する学習指導案の型です。
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 22時14分19秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜1時限	春学期／Spring	IVー201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48045002	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】数学科教育法C 2／Methods of Teaching Mathematics C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	澁谷 久(SHIBUYA HISASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、中学校及び高等学校数学科の指導内容の数学的な価値に根拠において生徒の学びを拓く授業の在り方を考え、授業を構築する技能を高めることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to predicate on mathematical value of instruction contents in mathematics in junior high school and high school, and examine how the lessons which open up students’ studying should be, and to improve the skill to organize the lessons.		
到達目標/Learning Goals	本講義を履修することにより、数学とはどんな学問か、指導する立場からその特性、すなわち、教科書の内容は、数学の本質をどの程度表しているのか、どのような数学的意味や価値をもつのかを捉えることができ、中学校数学科の内容構成とそれに関連する高等学校数学科の内容に即して進め、「数学をみる力」と「数学を整理する力」を修得することができる。さらに、創意をもって学習指導案を作成、模擬授業(グループによる学習指導案の交流)を通して、授業を実践できる技能を身に付けることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to grasp the characteristic, what the mathematics is, from the instructor’s point of view, that is, how much essence of mathematics the contents of textbooks signify and what mathematical meaning and value they have,based on the contents organization of mathematics in junior high school and the contents of mathematics in high school according to it, and learn “the ability to see mathematics” and “the ability to sort mathematics”. Additionally, the purpose is to gain the skill to practice lessons through the making of teaching plans with an originality and the practice of trial lessons.		
授業の概要・背景 Course Outline	数学教育は、時代や子供の実態により変化し、画一的な方法では限界があることを理解し、そこには教員個々の創造的な営みに期待することが大きいことを捉える。指導と研究を繰り返しながら、新しい数学教育を創る一員としての自覚と意欲を高める。内容を広く構造・体系的に設定し、中学校数学科の各領域における数学とそれに関連する高等学校数学科における数学を見渡す。前半は中学校数学科の「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」各領域の各内容とそれに関連する高等学校数学科の各内容に即し、学問そして指導対象としての数学の基礎を学ぶ。後半は、学習指導案の作成、及び、模擬授業(グループによる学習指導案の交流)を通して、指導における実践力を高める。		
授業方法 Course Format	講義、演習、議論、発表、グループワーク 【オンライン受講許可学生対象】 オンデマンド配信予定。LUNAに教材(音声付きPowerPoint、Word等)を授業開始時に掲示します。 模擬授業の実践の回において、グループ内のメンバーの学習指導案をLUNAに掲示する。模擬授業の実践にかわる対応をLUNAで指示するので確認すること(リポート課題を課す)。		
関連科目/Related Courses	数学科教育法A、数学科教育法B、数学科教育法D 「数学科教育法A」を修得済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	数学科教育 学習指導要領 学びを拓く授業 教具・学習具 学習指導案 模擬授業 ICT		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ガイダンス、授業の構成、学びを拓く授業【講義】【演習】	【復習課題】(190分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」の「中学校数学科の内容の構成」p12,13及び「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」の「各科目の内容」p15,16を確認する。現行の教科書も閲覧する。
第2回 Session 2	中学校数学科の「数と式」領域:「正の数・負の数」、「文字を用いた式」、「文字を用いた式の四則計算」、「平方根」、「式の展開と因数分解」、「一元一次方程式(比例式)」、「連立二元一次方程式」、「二次方程式」の中核的概念・原理・法則とその数学的意味や価値、及び、学びを拓く授業のデザイン【講義】【演習】	【予習課題】(60分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」の「各学年の内容」の中の「数と式」(p65-74, p102-107, p133-142)を読む。現行の教科書も閲覧する。 【復習課題】(130分) 中学校数学科の「数と式」領域の内容にかかわる指導法のリポートを提出する。
第3回 Session 3	中学校数学科「数と式」と高等学校数学科「代数」のつながり【講義】【演習】	【予習課題】(190分)「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」の「各科目の内容と内容の取扱い」の中の「代数」に関する部分を読む(内容は第2回の授業で示す)。現行の教科書も閲覧する。
第4回 Session 4	中学校数学科の「図形」領域:「平面図形」、「空間図形」、「基本的な平面図形と平行線の性質」、「図形の合同」、「図形の相似」、「円周角と中心角」、「三平方の定理」の中核的概念・原理・法則とその数学的意味や価値、及び、学びを拓く授業のデザイン【講義】【演習】	【予習課題】(60分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」の「各学年の内容」の中の「図形」(p74-82, p108-116, p143-151)を読む。現行の教科書も閲覧する。 【復習課題】(130分) 中学校数学科の「図形」領域の内容にかかわる指導法のリポートを提出する。
第5回 Session 5	中学校数学科「図形」と高等学校数学科「幾何」のつながり【講義】【演習】	【予習課題】(190分)「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」の「各科目の内容と内容の取扱い」の中の「図形」に関する部分を読む(内容は第4回の授業で示す)。現行の教科書も閲覧する。
第6回 Session 6	中学校数学科の「関数」領域:「比例、反比例」、「一次関数」、「関数y=ax ² 」の中核的概念・原理・法則とその数学的意味や価値、及び、学びを拓く授業のデザイン【講義】【演習】	【予習課題】(60分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」の「各学年の内容」の中の「関数」(p82-87, p117-120, p152-154)を読む。現行の教科書も閲覧する。
第7回 Session 7	中学校数学科「関数」と高等学校数学科「解析」のつながり【講義】【演習】	【予習課題】(190分)「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」の「各科目の内容と内容の取扱い」の中の「解析」に関する部分を読む(内容は第6回の授業で示す)。現行の教科書も閲覧する。
第8回 Session 8	中学校数学科の「データの活用」領域:「データの分布の傾向」、「多数の観察や多数回の試行によって得られる確率」、「データの分布の比較」、「場合の数を基にして得られる確率」、「標本調査」の中核的概念・原理・法則とその数学的意味や価値、及び、	【予習課題】(60分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」の「各学年の内容」の中の「データの活用」(p87-94, p120-125, p154-157)を読む。現行の教科書も閲覧する。 【復習課題】(130分) 中学校数学科の「データの活用」領域の内

	学びを拓く授業のデザイン【講義】【演習】	容にかかわる指導法のレポートを提出する。
第9回 Session 9	中学校数学科「データの活用」と高等学校数学科「確率・統計」のつながり【講義】【演習】	【予習課題】(190分)「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」の「各科目の内容と内容の取扱い」の中の「確率・統計」に関する部分を読む(内容は第8回の授業で示す)。現行の教科書も閲覧する。
第10回 Session 10	学習指導案作成のための資料による授業づくりの計画, 作成開始【講義】【演習】	【予習課題】(60分)事前にLUNAに配信した(「数学科教育法A」では学習済み)「学習指導案の作成について」等を閲覧する。 【復習課題】(300分)自分が構築する授業の単元を決め, 学習指導案を作成し, 提出する。
第11回 Session 11	中高の数学科における数学的構成の意義(縦断的・横断的視点から)【講義】【演習】	【復習課題】引き続き学習指導案の作成に取り組む。
第12回 Session 12	数学科における障害のある生徒への指導【講義】【演習】 学習指導案の交流【演習】【議論】【発表】【グループワーク】	【予習課題】学習指導案を作成する。 【復習課題】(190分)レポート「学習指導案の交流」の一部を作成する。
第13回 Session 13	グループによる模擬授業の実践と考察Ⅰ【演習】【議論】【発表】【グループワーク】 授業づくりの振り返りと授業改善の視点【講義】【演習】【議論】【グループワーク】	【予習課題】(190分)授業者は, 模擬授業のトライアウト(予備実践)を行う。
第14回 Session 14	グループによる模擬授業の実践と考察Ⅱ【演習】【議論】【発表】【グループワーク】 授業づくりの振り返りと授業改善の視点【講義】【演習】【議論】【グループワーク】 まとめ【講義】	【予習課題】(190分)授業者は, 模擬授業のトライアウト(予備実践)を行う。 【復習課題】(150分)レポート「学習指導案の交流」を提出する。

授業計画 Overview for each class	「フィードバック方法」 課題(レポート)提出後2〜3週間後を目途に, 授業において全体の講評を伝える。 模擬授業に関する講評は, 授業内で授業者に口頭で伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	「授業外学習」内の【予習課題】はその授業に向けて, 【復習課題】はその授業を受講してから取り組むものです。

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編 発行所:日本文教出版 出版年:2018 IS BN:9784536590129
	著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編 発行所:学校図書 出版年:2019 ISBN:9784762505355
	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示) 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN: 9784827815580
	著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領(平成30年告示) 発行所:東山書房 出版年:2019 ISBN: 9784827815672
参考書/Reference books	著者名:澁谷久 タイトル:わかるから楽しい! 中学校数学おもしろ教材コレクション 発行所:明治図書 出版年:2012 ISBN: 9784180606467
	著者名:澁谷久 タイトル:見てふれて, 納得! 中学校数学 おもしろ教材&授業アイデア 発行所:明治図書 出版年:2019 I SBN:9784180697274
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	
	その他／Others(99)	60%	模擬授業(学習指導案) 30, 学習への取り組み状況など 30
	備考 Note 上記の項目により総合的に評価します。平常レポート、学習指導案・模擬授業の評価の観点は事前に示します。「学習への取り組み状況など」は、授業の参加態度、模擬授業に向かう態度やグループにおける討論への参加態度、課題(レポート)の取り組みに対する意欲等の状況から評価します。 【オンライン受講許可学生対象】 模擬授業の実践にかかわる対応と評価の観点をLUNAで指示するので確認すること(レポート課題を課す)。		
備考 Note	・[教科書]のうち「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」文部科学省, 2018年, 日本文教出版, 9784536590129 「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」文部科学省, 2019年, 学校図書, 9784762505355は毎回持参してください。 ・以下のものを持参するようにしてください。 はさみ, カッター, のり, セロハンテープ, 定規, コンパス ・課題(レポート)はLUNAに提出してください。 ・授業中の飲食は禁止しますが, 水分の補給としての飲は可とします。		
添付ファイル1/File Attachement 1	数学科学習指導案型.rtf	説明1/Explanation 1	模擬授業で使用する学習指導案の型です。
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 22時14分42秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	木曜2時限	秋学期／Fall	IVー303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48046001	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】数学科教育法D 1／Methods of Teaching Mathematics D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	澁谷 久(SHIBUYA HISASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、中学校及び高等学校数学科における授業づくりの観点を鮮明にし、「授業をみる目」、「授業をつくる目」を養うことである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to make the point of lesson planning in mathematics in junior high school and high school clearer, and to cultivate “eyes of watching lessons” and “eyes of lesson planning.”		
到達目標/Learning Goals	本講義を履修することにより、中学校及び高等学校数学科の教科指導の中核となる題材を捉え、課題場面での具体的展開例を考察し、生徒のつまずきに対応できる力を備えることができる。また、学習指導案の作成、及び、模擬授業の実践を通して、学習指導の重みを感じ、理論と実践の往還による授業を確かにみる目、授業をつくる目をもち、授業づくりに対する意欲を高めることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to grasp the theme which is in the center of guidance of school courses of mathematics in junior high school and high school and examine the practical examples of developing in the scene of task and prepare for responding the students’ failures.Also, the purpose is to experience the importance of educational guidance, have eyes which see and make lessons definitely by coming and going of theory and practice through the making of teaching plans and the practice of trial lessons, and to enhance motivation for lesson planning.		
授業の概要・背景 Course Outline	諸調査によると日本の中学生は数学に自信がないとされ、高校生も含め、数学における興味・関心や楽しみの程度は低い。本講義では、数学科各科目で習得した学問としての数学と授業づくりの理論に基づきながら、中学校及び高等学校数学科における「わかって、楽しい」授業を行うために必要な要素を総合的にまとめる。また、数学的教具・学習具の開発、学習指導案の作成、及び、模擬授業(ICTの活用を含む)の実践により、授業づくりの技能を高める。		
授業方法 Course Format	講義、演習、議論、発表、グループワーク 【オンライン受講許可学生対象】 オンデマンド配信予定。LUNAに教材(音声付きPowerPoint、Word等)を授業開始時に掲示します。 模擬授業の実践の回において、グループ内のメンバーの学習指導案をLUNAに掲示する。模擬授業の実践にかかわる対応をLUNAで指示するので確認すること(リポート課題を課す)。		
関連科目/Related Courses	数学科教育法A、数学科教育法B、数学科教育法C 「数学科教育法A」を修得済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	数学科教育 学習指導要領 教具・学習具の開発 学習指導案 模擬授業 わかって楽しい授業		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ガイダンス、授業の構成【講義】【演習】	【予習課題】(60分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」(p6-10)及び「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」(p6-10)の「数学科改訂の趣旨及び要点」を読む。
第2回 Session 2	数学科におけるわかって楽しい授業【講義】【演習】	【復習課題】(100分)数学科における「わかって楽しい」授業を行うために必要な要素を総合的にまとめ、授業構築の基盤とする。
第3回 Session 3	数学科の背景となる領域とその関係、教材研究への活用【講義】【演習】	【復習課題】(440分)模擬授業の実践を見通し、教材の開発に活かせる書籍を探し読む。
第4回 Session 4	数学科における課題場面での展開(数学科の教科指導の中核となる題材と課題場面での具体的展開例)【講義】【演習】	【復習課題】(130分)授業で扱った題材とは異なる課題場面での具体的展開例を考え、提出する。
第5回 Session 5	数学的教具・学習具とその開発の方法【講義】【演習】	【復習課題】(100分)開発する数学的教具または学習具を使用する単元や内容を決める。
第6回 Session 6	数学的教具・学習具の開発【講義】【演習】	【復習課題】(400分)数学的教具または学習具を開発し、画像にて提出する(説明リポートを添付する)。
第7回 Session 7	発展的な学習内容についての探究と学習指導への位置付け【講義】【演習】	【予習課題】(100分)中学校または高等学校の数学科の教科書における発展的な学習の内容を捉える。 【復習課題】引き続き数学的教具・学習具の開発に取り組む。
第8回 Session 8	中学校及び高等学校数学科の先生の作成した学習指導案からの学び【講義】【演習】	【復習課題】(60分)「授業を確かにみる目」、「授業をつくる目」をもつこととはどのようなことをまとめる。
第9回 Session 9	ICTを活用した数学の授業【講義】【演習】	【復習課題】(100分)ICTを活用した授業を構想する。
第10回 Session 10	授業づくりの計画、学習指導案の作成開始【講義】【演習】	【予習課題】(60分)LUNAに配信した(「数学科教育法A」では学習済み)「学習指導案の作成について」等を閲覧する。 【復習課題】(300分)自分が構築する授業の単元を決め、学習指導案を作成し、提出する。
第11回 Session 11	数学科の場面指導にかかわる問題への取り組み【講義】【演習】	【復習課題】引き続き学習指導案の作成に取り組む。
第12回 Session 12	数学科教育における実践研究の動向と授業設計の向上【講義】【演習】 学習指導案の交流【演習】【議論】【発表】【グループワーク】	【予習課題】学習指導案を作成する。 【復習課題】(90分)授業で配付した数学科教育における実践研究に関する資料を読む(読み切れなかった部分)。 【復習課題】(190分)リポート「学習指導案の交流」の一部を作成する(第14回の授業後にグループ内での「ファイル交換」をする)。
第13回 Session 13	グループによる模擬授業の実践と考察Ⅰ【演習】【議論】【発表】【グループワーク】 授業づくりの振り返りと授業改善の視点【講義】【演習】【議論】【グループワーク】	【予習課題】(190分)授業者は、模擬授業のトライアウト(予備実践)を行う。
	グループによる模擬授業の実践と考察Ⅱ【演習】【議論】【発表】	【予習課題】(190分)授業者は、模擬授業のトライアウト(予備実

第14回 Session 14	【グループワーク】 授業づくりの振り返りと授業改善の視点【講義】【演習】【議論】 【グループワーク】 まとめ【講義】	践)を行う。 【復習課題】(150分)レポート「学習指導案の交流」を提出する。

授業計画 Overview for each class	「フィードバック方法」 課題(レポート)、開発した教具・学習具の提出後2～3週間後を目途に、授業において全体の講評を伝える。 模擬授業に関する講評は、対面授業内で授業者に口頭で伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	「授業外学習」内の【予習課題】はその授業に向けて、【復習課題】はその授業を受講してから取り組むものです。

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編 発行所:日本文教出版 出版年:2018 IS BN:9784536590129 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編 発行所:学校図書 出版年:2019 ISBN:9784762505355 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示) 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN: 9784827815580 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領(平成30年告示) 発行所:東山書房 出版年:2019 ISBN: 9784827815672
参考書/Reference books	著者名:澁谷久 タイトル:わかるから楽しい! 中学校数学おもしろ教材コレクション 発行所:明治図書 出版年:2012 ISBN: 9784180606467 著者名:澁谷久 タイトル:見てふれて、納得! 中学校数学 おもしろ教材&授業アイデア 発行所:明治図書 出版年:2019 I SBN:9784180697274
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されていま す。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	40%	平常レポート 20, 教具・学習具の開発 20
	その他/Others(99)	60%	模擬授業の実践(学習指導案) 30, 学習への取り組み状況など 30
	備考 Note 上記の項目により総合的に評価します。平常レポート、教具・学習具の開発、学習指導案・模擬授業の評価の観点は事前に示します。「学習 への取り組み状況など」は、授業の参加態度、模擬授業に向かう態度やグループにおける討論への参加態度、課題(レポート)の取り組みに 対する意欲等の状況から評価します。 【オンライン受講許可学生対象】 模擬授業の実践にかわる対応と評価の観点をLUNAで指示するので確認すること(レポート課題を課す)。		
備考 Note	・[教科書]のうち「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」文部科学省、2018年、日本文教出版、9784536590129 「高等学校学 習指導要領(平成30年告 示)解説 数学編 理数編」文部科学省、2019年、学校図書、9784762505355は毎回持参してください。 ・以下のものを持参するようにしてください。 はさみ、カッター、のり、セロハンテープ、定規、コンパス ・課題(レポート)はLUNAに提出してください。 ・授業中での飲食は禁止しますが、水分の補給としての飲は可とします。		
添付ファイル1/File Attachment 1	数学科学習指導案型.rtf	説明1/Explanation 1	模擬授業で使用する学習指導案の型です。
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 22時15分19秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期/Spring	木曜4時限	春学期/Spring	IV-203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48046002	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】数学科教育法D 2／Methods of Teaching Mathematics D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	澁谷 久(SHIBUYA HISASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、中学校及び高等学校数学科における授業づくりの観点を鮮明にし、「授業をみる目」、「授業をつくる目」を養うことである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to make the point of lesson planning in mathematics in junior high school and high school clearer, and to cultivate “eyes of watching lessons” and “eyes of lesson planning.”		
到達目標/Learning Goals	本講義を履修することにより、中学校及び高等学校数学科の教科指導の中核となる題材を捉え、課題場面での具体的展開例を考察し、生徒のつまずきに対応できる力を備えることができる。また、学習指導案の作成、及び、模擬授業の実践を通して、学習指導の重みを感じ、理論と実践の往還による授業を確かにみる目、授業をつくる目をもち、授業づくりに対する意欲を高めることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to grasp the theme which is in the center of guidance of school courses of mathematics in junior high school and high school and examine the practical examples of developing in the scene of task and prepare for responding the students’ failures.Also, the purpose is to experience the importance of educational guidance, have eyes which see and make lessons definitely by coming and going of theory and practice through the making of teaching plans and the practice of trial lessons, and to enhance motivation for lesson planning.		
授業の概要・背景 Course Outline	諸調査によると日本の中学生は数学に自信がないとされ、高校生も含め、数学における興味・関心や楽しみの程度は低い。本講義では、数学科各科目で習得した学問としての数学と授業づくりの理論に基づきながら、中学校及び高等学校数学科における「わかって、楽しい」授業を行うために必要な要素を総合的にまとめる。また、数学的教具・学習具の開発、学習指導案の作成、及び、模擬授業(ICTの活用を含む)の実践により、授業づくりの技能を高める。		
授業方法 Course Format	講義、演習、議論、発表、グループワーク 【オンライン受講許可学生対象】 オンデマンド配信予定。LUNAに教材(音声付きPowerPoint、Word等)を授業開始時に掲示します。 模擬授業の実践の回において、グループ内のメンバーの学習指導案をLUNAに掲示する。模擬授業の実践にかかわる対応をLUNAで指示するので確認すること(リポート課題を課す)。		
関連科目/Related Courses	数学科教育法A、数学科教育法B、数学科教育法C 「数学科教育法A」を修得済または並行して履修することが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	数学科教育 学習指導要領 教具・学習具の開発 学習指導案 模擬授業 わかって楽しい授業		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ガイダンス、授業の構成【講義】【演習】	【予習課題】(60分)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」(p6-10)及び「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」(p6-10)の「数学科改訂の趣旨及び要点」を読む。
第2回 Session 2	数学科におけるわかって楽しい授業【講義】【演習】	【復習課題】(100分)数学科における「わかって楽しい」授業を行うために必要な要素を総合的にまとめ、授業構築の基盤とする。
第3回 Session 3	数学科の背景となる領域とその関係、教材研究への活用【講義】【演習】	【復習課題】(440分)模擬授業の実践を見通し、教材の開発に活かせる書籍を探し読む。
第4回 Session 4	数学科における課題場面での展開(数学科の教科指導の中核となる題材と課題場面での具体的展開例)【講義】【演習】	【復習課題】(130分)授業で扱った題材とは異なる課題場面での具体的展開例を考え、提出する。
第5回 Session 5	数学的教具・学習具とその開発の方法【講義】【演習】	【復習課題】(100分)開発する数学的教具または学習具を使用する単元や内容を決める。
第6回 Session 6	数学的教具・学習具の開発【講義】【演習】	【復習課題】(400分)数学的教具または学習具を開発し、画像にて提出する(説明リポートを添付する)。
第7回 Session 7	発展的な学習内容についての探究と学習指導への位置付け【講義】【演習】	【予習課題】(100分)中学校または高等学校の数学科の教科書における発展的な学習の内容を捉える。 【復習課題】引き続き数学的教具・学習具の開発に取り組む。
第8回 Session 8	中学校及び高等学校数学科の先生の作成した学習指導案からの学び【講義】【演習】	【復習課題】(60分)「授業を確かにみる目」、「授業をつくる目」をもつこととはどのようなことをまとめる。
第9回 Session 9	ICTを活用した数学の授業【講義】【演習】	【復習課題】(100分)ICTを活用した授業を構想する。
第10回 Session 10	授業づくりの計画、学習指導案の作成開始【講義】【演習】	【予習課題】(60分)LUNAに配信した(「数学科教育法A」では学習済み)「学習指導案の作成について」等を閲覧する。 【復習課題】(300分)自分が構築する授業の単元を決め、学習指導案を作成し、提出する。
第11回 Session 11	数学科の場面指導にかかわる問題への取り組み【講義】【演習】	【復習課題】引き続き学習指導案の作成に取り組む。
第12回 Session 12	数学科教育における実践研究の動向と授業設計の向上【講義】【演習】 学習指導案の交流【演習】【議論】【発表】【グループワーク】	【予習課題】学習指導案を作成する。 【復習課題】(90分)授業で配付した数学科教育における実践研究に関する資料を読む(読み切れなかった部分)。 【復習課題】(190分)リポート「学習指導案の交流」の一部を作成する(第14回の授業後にグループ内での「ファイル交換」をする)。
第13回 Session 13	グループによる模擬授業の実践と考察Ⅰ【演習】【議論】【発表】【グループワーク】 授業づくりの振り返りと授業改善の視点【講義】【演習】【議論】【グループワーク】	【予習課題】(190分)授業者は、模擬授業のトライアウト(予備実践)を行う。
	グループによる模擬授業の実践と考察Ⅱ【演習】【議論】【発表】	【予習課題】(190分)授業者は、模擬授業のトライアウト(予備実

第14回 Session 14	【グループワーク】 授業づくりの振り返りと授業改善の視点【講義】【演習】【議論】 【グループワーク】 まとめ【講義】	践)を行う。 【復習課題】(150分)レポート「学習指導案の交流」を提出する。

授業計画 Overview for each class	「フィードバック方法」 課題(レポート)、開発した教具・学習具の提出後2～3週間後を目途に、授業において全体の講評を伝える。 模擬授業に関する講評は、対面授業内で授業者に口頭で伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	「授業外学習」内の【予習課題】はその授業に向けて、【復習課題】はその授業を受講してから取り組むものです。

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編 発行所:日本文教出版 出版年:2018 IS BN:9784536590129 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編 発行所:学校図書 出版年:2019 ISBN:9784762505355 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示) 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN: 9784827815580 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領(平成30年告示) 発行所:東山書房 出版年:2019 ISBN: 9784827815672
参考書/Reference books	著者名:澁谷久 タイトル:わかるから楽しい! 中学校数学おもしろ教材コレクション 発行所:明治図書 出版年:2012 ISBN: 9784180606467 著者名:澁谷久 タイトル:見てふれて、納得! 中学校数学 おもしろ教材&授業アイデア 発行所:明治図書 出版年:2019 I SBN:9784180697274
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
成績評価 Grading	平常レポート/Individual reports(04)	40%	平常レポート 20, 教具・学習具の開発 20
	その他/Others(99)	60%	模擬授業の実践(学習指導案) 30, 学習への取り組み状況など 30
	備考 Note		
	上記の項目により総合的に評価します。平常レポート、教具・学習具の開発、学習指導案・模擬授業の評価の観点の事前示します。「学習への取り組み状況など」は、授業の参加態度、模擬授業に向かう態度やグループにおける討論への参加態度、課題(レポート)の取り組みに対する意欲等の状況から評価します。 【オンライン受講許可学生対象】 模擬授業の実践にかわる対応と評価の観点をLUNAで指示するので確認すること(レポート課題を課す)。		
備考 Note	・[教科書]のうち「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」文部科学省、2018年、日本文教出版、9784536590129 「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編」文部科学省、2019年、学校図書、9784762505355は毎回持参してください。 ・以下のものを持参するようにしてください。 はさみ、カッター、のり、セロハンテープ、定規、コンパス ・課題(レポート)はLUNAに提出してください。 ・授業中での飲食は禁止しますが、水分の補給としての飲は可とします。		
添付ファイル1/File Attachment 1	数学科学習指導案型.rtf	説明1/Explanation 1	模擬授業で使用する学習指導案の型です。
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 22時15分55秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期/Fall	木曜3時限	秋学期/Fall	IV-202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48047000	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】情報科教育法A/Methods of Teaching Information A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	畑井 克彦(HATAI KATSUHIKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	高等学校教科「情報」について、この科目で教育すべき授業内容についての理解を深め、授業を実践できるようにする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is to obtain and be ale to apply content knowledge, teaching and assessment methods of the high school subject “Information”.		
到達目標/Learning Goals	高等学校における情報教育の意義を理解し、情報教育を担当する情報科の教員としての幅広い知識・意識・技能・態度を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Understand the importance/significance of Informatics education and obtain broad knowledge and various teaching methods to be an effective teacher of high school subject “Information”.		
授業の概要・背景 Course Outline	社会の情報化に対応するため2003年から教科情報が設置された。情報社会において信頼のネットワークが求められている。ICT技術にも精通しながら、情報社会の進展についての大きな方向性を見定める力が求められている。各自が情報端末(スマートフォンなど)を持つ時代では、一人の呼びかけによって社会的に大きな事柄を成し遂げることが可能である。このような時代に「自己実現できる生徒」を導ける教師を目指す講座である。 2022年度より新学習指導要領での実施になる情報ⅠとⅡに取り組む。		
授業方法 Course Format	対面授業。 【オンライン受講生対象】所属学部 to オンラインでの受講を認められた学生は、科目のホームページ示したZoomでの受講をすること。 講義と個人・グループによる課題プロジェクト学習およびプレゼン、討議を組み合わせた “Active Learning” を実践する。模擬授業を数多く実施し、経験が積めるようにしている。 いたまちSNS (http://sns.itamachi.jp/) をリフレクションや課題提出に活用する。授業後に提出を行い、受講生相互による対話を促進していく。教育関係情報(書籍・ネット・研究会)を相互に情報提供し合い、創発的に授業を進めることをねらっている。 アフター・ウィズコロナ時代のオンライン授業に積極的に取り組む。		
関連科目/Related Courses	情報科教育法B		
検索キーワード/Keywords	情報活用の実践力/情報の科学的理解/情報社会に参画する態度/Active Learning/模擬授業/社会構成主義/質的研究		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	授業概要、参加型・プロジェクト学習、模擬授業等についてのオリエンテーション いたまちSNSへ登録 学びの経験をストーリー化し共有。	授業のリフレクションと課題(0.5h) いたまちSNSへの投稿(以下略)
第2回 Session 2	「Society5.0」で求められる資質・能力(コンピテンシー等) 学習指導要領における教科情報の科目編成の理念と内容構成① 高校での「地域連携授業」の実践紹介、1分間スピーチ①	授業のリフレクションと課題(0.5h) 学習指導要領の事前学習(0.5h) 教員研修用教材の事前学習(1h)
第3回 Session 3	教科「情報」で育成すべき資質・能力 学習指導要領における教科情報の科目編成の理念と内容構成② マイクロティーチング① 一分間スピーチ②	授業のリフレクションと課題(0.5h) マイクロティーチング指導案の準備(1h) 教員研修用教材の事前学習(1h)
第4回 Session 4	教員研修用教材-序章 「年間指導計画」作成の理念と方法 「単元指導計画」作成の理念と方法 マイクロティーチング②	授業のリフレクションと課題(0.5h) マイクロティーチング指導案の準備(1h) 教員研修用教材の事前学習(1h)
第5回 Session 5	教員研修用教材-第1章 「各校時の指導計画(教案)」作成の理念と方法 学習指導要領における科目「情報Ⅰ」の内容と取り扱い マイクロティーチング③	授業のリフレクションと課題(0.5h) マイクロティーチング授業の準備(1h) 教員研修用教材の事前学習(1h)
第6回 Session 6	教員研修用教材-第2章 マイクロティーチングから得られたことのまとめ	授業のリフレクションと課題(0.5h) 学習指導要領の事前学習(0.5h) 模擬授業の準備(1h) 教員研修用教材の事前学習(1h)
第7回 Session 7	教員研修用教材-第3章① 模擬授業①:「情報Ⅰ」	授業のリフレクションと課題(0.5h) 模擬授業の準備(1h) 教員研修用教材の事前学習(1h)
第8回 Session 8	教員研修用教材-第3章② 模擬授業②:「情報Ⅰ」	授業のリフレクションと課題(0.5h) 模擬授業の準備(1h) 教員研修用教材の事前学習(1h)
第9回 Session 9	教員研修用教材-第4章① 模擬授業③:「情報Ⅰ」	授業のリフレクションと課題(0.5h) 模擬授業の準備(1h) 種々の教育問題についてテーマを準備(0.5h)
第10回 Session 10	種々の教育問題についてテーマ設定し対話 指導案の改良版提出について	授業のリフレクションと課題(0.5h) 教員研修用教材の事前学習(1h)
第11回 Session 11	教員研修用教材-第4章② 模擬授業④:「情報Ⅰ」	授業のリフレクションと課題(0.5h) 模擬授業の準備(1h) 教員研修用教材の事前学習(1h)
	模擬授業⑤:「情報Ⅰ」	授業のリフレクションと課題(0.5h)

第12回 Session 12	Gergen『現実はいいつも対話から生まれる』(情報科教育法Bの教科書)について 教育実践を支える考え方について 斉藤喜博『授業入門』、 国土社について	模擬授業の準備(1h)
第13回 Session 13	模擬授業⑥:「情報 I」 模擬授業についてのリフレクション	授業のリフレクションと課題(0.5h) 模擬授業全体を通じたリフレクション(1h)
第14回 Session 14	授業全体のまとめと振り返り; 今後の情報科教育の展望、情報 科教員の課題と期待	得られたことの総括(0.5h) 最終レポートの提出(1h)

授業外学修 Study Required outside Class	初回の授業については、科目のホームページの「お知らせ」で確認すること。

教科書/Required texts	著者名: 文部科学省 タイトル: 高等学校学習指導要領解説情報編(平成30年告示) 発行所: 開隆館出版販売 出版年: 2019 ISBN: 978-4304021633 著者名: 文部科学省 タイトル: 「情報 I」教員研修用教材(本編) 発行所: 出版年: 2020 ISBN:
参考書/Reference books	著者名: K.J.Gergen, L.Hersted タイトル: ダイアログ・マネジメント 発行所: ディスカバー・トゥエンティワン 出版年: 2015 IS BN: 978-4-7993-1816-4 著者名: K.J.Gergen, M.Gergen タイトル: 現実はいいつも対話から生まれる 発行所: ディスカバー・トゥエンティワン 出版年: 2018 ISBN: 978-4-7993-2356-4
参考文献・資料 Reference books	授業で適宜指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
成績評価 Grading	授業中試験／In-class examination(03)	40%	マイクロ授業・模擬授業(指導案等を含む)
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	リフレクションと他者へのコメントなど
	その他／Others(99)	20%	教育課題の対話、レポート その他
	備考 Note 【オンライン受講生対象】対面での受講と変わりなく、模擬授業など実施する。		
備考 Note	模擬授業に十分な時間を取っているシラバスであるが、人数によっては内容を変更する可能性がある。 以下のリンクの資料を事前に読んでおくこと。 インターネットやTV(WBSなどで我が国における情報教育の現状と課題について情報収集に心掛けること。 特に、社会構成主義や質的研究についての知識を広く収集し、模擬授業の参考とすること。		
URLリンク2/URL 2	https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/		
URLリンク3/URL 3	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416756.htm		
更新日時/Date of Update	2022年01月20日 15時25分23秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜5時限	春学期／Spring	II-112

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48048000	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】情報科教育法B／Methods of Teaching Information B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	畑井 克彦(HATAI KATSUHIKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	高等学校教科「情報」について、この科目で教育すべき授業内容についての理解を深め、授業実践できるようにする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is to obtain and be ale to apply content knowledge, teaching and assessment methods of the high school subject “Information”.		
到達目標/Learning Goals	高等学校における情報教育の意義を理解し、情報教育を担う情報科の教員としての幅広い知識・意識・技能・態度を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Understand the importance/significance of Informatics education and obtain broad knowledge and various teaching methods to be an effective teacher of high school subject “Information”.		
授業の概要・背景 Course Outline	社会の情報化に対応するため2003年から教科情報が設置された。情報社会において信頼のネットワークが求められている。ICT技術にも精通しながら、情報社会の進展についての大きな方向性を見定める力が求められている。各自が情報端末(スマートフォンなど)を持つ時代では、一人の呼びかけによって社会的に大きな事柄を成し遂げることが可能である。このような時代に「自己実現できる生徒」を導ける教師を目指す講座である。 2022年度より新学習指導要領での実施になる情報ⅠとⅡに取り組む。(情報Ⅱの実施は2023年度から)		
授業方法 Course Format	講義と個人・グループによる課題プロジェクト学習およびプレゼン、討議を組み合わせた “Active Learning” を実践する。模擬授業を数多く実施し、経験が詰めるようにしている。 いたまちSNS(http://sns.itamachi.jp/)をリフレクションや課題提出に活用する。授業後に提出を行い、受講生相互による対話を促進していく。教育関係情報(書籍・ネット・研究会)を相互に情報提供し合い、創発的に授業を進めることをねらっている。 アフター・ウィズコロナ時代のオンライン授業に積極的に取り組む。		
関連科目/Related Courses	情報科教育法A		
検索キーワード/Keywords	情報活用の実践力/情報の科学的理解/情報社会に参画する態度/Active Learning/模擬授業/社会構成主義/質的研究		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	授業概要、参加型・プロジェクト学習、模擬授業等についてのオリエンテーション いたまちSNSへ未登録者の登録 学びの経験をストーリー化し共有。	授業のリフレクションと課題(0.5h) いたまちSNSへの投稿(以下略)
第2回 Session 2	今後の更なる「Society5.0」で求められる資質・能力(コンピテンシー等) 「自己分析」の実施 教員研修用教材について	授業のリフレクションと課題(0.5h) 学習指導要領の事前学習(0.5h) 教員研修用教材について事前学習(1h)
第3回 Session 3	教員研修用教材ー第1章 マイクロティーチング①、	授業のリフレクションと課題(0.5h) マイクロティーチング指導案の準備(0.5h) 教員研修用教材について事前学習(1h)
第4回 Session 4	教員研修用教材ー第2章 マイクロティーチング②、	授業のリフレクションと課題(0.5h) マイクロティーチング指導案の準備(0.5h) 教員研修用教材について事前学習(1h)
第5回 Session 5	教員研修用教材ー第3章 マイクロティーチング③、	授業のリフレクションと課題(0.5h) マイクロティーチング授業の準備(0.5h) 教員研修用教材について事前学習(1h)
第6回 Session 6	マイクロティーチングから得られたことのまとめ 教員研修用教材ー第4章	授業のリフレクションと課題(0.5h) 模擬授業の準備(1h) 教員研修用教材について事前学習(1h)
第7回 Session 7	模擬授業①:「情報Ⅱ」 教員研修用教材ー第5章①	授業のリフレクションと課題(0.5h) 模擬授業の準備(1h) 教員研修用教材について事前学習(1h)
第8回 Session 8	模擬授業②:「情報Ⅱ」 教員研修用教材ー第5章②	授業のリフレクションと課題(0.5h) 模擬授業の準備(1h) 教員研修用教材について事前学習(1h)
第9回 Session 9	模擬授業③:「情報Ⅱ」 現実対話(現実はいつも対話から生まれる)1章	授業のリフレクションと課題(0.5h) 模擬授業の準備(1h) 現実はいつも対話から生まれるの事前学習(1h)
第10回 Session 10	種々の教育問題についてテーマ設定し対話 現実対話2章	授業のリフレクションと課題(0.5h) 現実はいつも対話から生まれるの事前学習(1h)
第11回 Session 11	模擬授業④:「情報Ⅱ」 現実対話3章	授業のリフレクションと課題(0.5h) 現実はいつも対話から生まれるの事前学習(1h) 模擬授業の準備(1h)
第12回 Session 12	模擬授業⑤:「情報Ⅱ」 現実対話4章	授業のリフレクションと課題(0.5h) 模擬授業の準備(1h) 現実はいつも対話から生まれるの事前学習
第13回 Session 13	模擬授業⑥:「情報Ⅱ」 現実対話5章	授業のリフレクションと課題(0.5h) 模擬授業全体を通じたリフレクション(1h)
第14回 Session 14	授業全体のまとめと振り返り;今後の情報科教育の展望、情報科教員の課題と期待	得られたことの総括(1h) 最終レポートの提出(1h)

授業外学修 Study Required outside Class	初回の授業については、科目のホームページで、「お知らせ」で確認すること。
教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:「情報Ⅱ」教員研修用教材(本編) 発行所: 出版年:2020 ISBN: 著者名:K.J.Gergen,M.Gergen タイトル:現実はいつも対話から生まれる 発行所:ディスカバー・トゥエンティワン 出版年:2018 ISBN:978-4-7993-2356-4
参考書/Reference books	著者名:岡本 敏雄, 高橋 参吉他 タイトル:情報科教育法 第2版 発行所:丸善出版 出版年:2015 ISBN:978-4621089071 著者名:K.J.Gergen, L.Hersted タイトル:ダイアログ・マネジメント 発行所:ディスカバー・トゥエンティワン 出版年:2015 IS BN:978-4-7993-1816-4
参考文献・資料 Reference books	授業で適宜指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	40%	マイクロ授業・模擬授業(指導案等を含む)
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	リフレクションと討議用資料作成など
	その他／Others(99)	20%	教育課題の対話、レポート その他
備考 Note	模擬授業に十分な時間を取っているシラバスであるが、人数によっては内容を変更する可能性がある。 以下のリンクの資料を事前に読んでおくこと。 インターネットやTV(WBSなどで我が国における情報教育の現状と課題について情報収集に心掛けること。 特に、社会構成主義や質的研究についての知識を広く収集し、模擬授業の参考とすること		
URLリンク2/URL 2	https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/		
URLリンク3/URL 3	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00742.html		
更新日時/Date of Update	2022年01月20日 15時25分40秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜5時限	秋学期／Fall	II-112

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48049000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】保健体育科教育法A／Methods of Teaching Health and Physical Education A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	浦田 達也(URATA TATSUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業がめざすのは、中学校及び高等学校における保健体育科教育の方向性(目的・内容・方法)をふまえ、自分自身がめざす授業を具体的にイメージし、それを目指したカリキュラムを理解・検討することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is to understand and examine the curriculum aimed at creating a concrete image of the class you want to teach, based on the direction of health and physical education (objectives, content, and methods) in junior high schools and high Schools.		
到達目標/Learning Goals	1. 中学校及び高等学校における保健体育科の意義や目標を理解すること 2. 保健体育科に関する基礎的能力(基礎知識や教材理解)を身に付け、これからの保健体育科のあり方について考えること 3. 人間の成長に対して効果的な学習サイクルに基づいた学習指導について理解すること 4. ICT機器を取り入れた教育法を身に付けること		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a) understand the significance and goals of health and physical education in junior and senior high schools. b) acquire the basic skills (basic knowledge and understanding of teaching materials) related to health and physical education, and to think about the future of health and physical education. c) understand the learning guidance based on the effective learning cycle for human growth. d) acquire pedagogical methods that incorporate ICT equipment.		
授業方法 Course Format	講義を中心として授業を進めるが、内容に応じてグループワークを導入する。		
検索キーワード/Keywords	良い保健体育授業、教材(運動)研究、評価の基準と規準		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(良い保健体育授業とは?) ※提出物のフィードバック方法は、提出物などに直接コメントし、実施後2～3週後を目途に返却する。	【予習課題】保健体育の学習指導要領を読み、良い保健体育授業について考えておくこと 【復習課題】講義で学んだより良い授業について、自分の考えをまとめておくこと
第2回 Session 2	保健体育科とはどのような教科なのか?	【予習課題】参考書p48～52、82～85を読み、保健体育科の特徴についてまとめておくこと 【復習課題】講義で学んだ教科存立の条件について、整理すること
第3回 Session 3	保健体育科の現状と問題点	【予習課題】参考書p12～19を読み、保健体育科の現状と問題点についてまとめておくこと 【復習課題】講義で学んだ保健体育科の現状と問題点について、整理すること
第4回 Session 4	現代社会における体育教師像	【予習課題】参考書p34～38を読み、保健体育科の教師像についてまとめておくこと 【復習課題】講義で学んだ現代社会における体育教師像について、整理すること
第5回 Session 5	保健体育科の目標と学力	【予習課題】参考書p40～43を読み、保健体育科の目標と学力についてまとめておくこと 【復習課題】講義で学んだ保健体育科の目標と学力について、整理すること
第6回 Session 6	保健体育科の領域編成について	【予習課題】事前配布資料を読み、保健体育科の領域編成についてまとめておくこと 【復習課題】講義で学んだ保健体育科の領域編成について、整理すること
第7回 Session 7	学習指導要領の変遷からみた学校体育	【予習課題】過去の学習指導要領を読み、最新版との違いについてまとめておくこと 【復習課題】講義で学んだ学習指導要領の変遷からみた学校体育について、整理すること
第8回 Session 8	保健体育科の教育内容とカリキュラム	【予習課題】事前配布資料を読み、保健体育科の教育内容とカリキュラムについてまとめておくこと 【復習課題】講義で学んだ保健体育科の教育内容とカリキュラムについて、整理すること
第9回 Session 9	保健体育授業の構造と授業の組み立て	【予習課題】参考書p52～65、85～99を読み、保健体育授業の構造と授業の組み立てについてまとめておくこと 【復習課題】講義で学んだ保健体育授業の構造と授業の組み立てについて、整理すること
第10回 Session 10	保健体育科の評価・評定	【予習課題】保健体育の学習指導要領解説を読み、保健体育科の評価・評定についてまとめておくこと 【復習課題】講義で学んだ保健体育科の評価・評定について、整理すること
第11回 Session 11	体育実技の評価規準と基準	【予習課題】保健体育の学習指導要領解説を読み、保健体育科の評価・評定について自分なりの評価規準を作成しておくこと 【復習課題】講義で学んだ体育実技の評価規準と基準について、整理すること
第12回 Session 12	指導計画の作成について	【予習課題】事前配布資料を読み、指導計画の作成についてまとめておくこと 【復習課題】指導計画を作成するにあたり、必要な内容を整理

		すること
第13回 Session 13	ICTを活用した保健体育科の教材研究、指導案、授業展開の技術	【予習課題】学習過程とは何かについて、まとめておくこと 【復習課題】講義で学んだ学習過程について整理し、その過程を考慮したICT教材についてまとめること
第14回 Session 14	これからの保健体育科のあり方、ICTを用いた授業実践事例、まとめ	【予習課題】これまでの講義を振り返り、これからの保健体育科の在り方について、まとめておくこと 【復習課題】講義で学んだこれからの保健体育科のあり方について、整理すること

授業外学修 Study Required outside Class	学習指導要領及び学習指導要領解説を熟読し、体育分野及び保健分野の学習指導のあり方について事前に理解をふかめておくこと。 LUNAの掲示板をつかわない形で連絡を取りたい場合には、下記のアドレスにメールください。 igr29921@kwansei.ac.jp

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編 発行所:東山書房 出版年:2019 ISB N:4827815763 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説保健体育編 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN:4827815682
教科書 Required texts	中学校・高等学校の学習指導要領(最新版)および解説は各自で購入しておくこと その他については授業の中で紹介する
参考書/Reference books	著者名:杉山重利・佐藤豊・園山和夫 タイトル:めざそう!保健体育教師 発行所:朝日出版 出版年:2010 ISBN:4255005168
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	関西学院大学の方法による
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
成績評価 Grading	平常リポート/Individual reports(04)	40%	学習指導案の作成を行なってもらう
	その他/Others(99)	60%	授業への取組状況(毎授業での講義の整理):30%、授業内課題:30%
	備考 Note 平常リポート、授業中課題および学習指導案作成により評価する。2/3の出席を求める。 コロナウイルスの感染状況の変化によっては実施ができない場合には、レポートなどにより代替える。		
備考 Note	授業内容は事前に学生へ周知した上で変更する場合がある。		
更新日時/Date of Update	2022年02月15日 17時27分01秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期/Spring	水曜5時限	春学期/Spring	G-203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48050000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】保健体育科教育法B／Methods of Teaching Health and Physical Education B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	浦田 達也(URATA TATSUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業は、保健体育科教育に必要な理論を理解した上で、保健体育科の目標・内容・方法・評価の理解して、適切な授業設計を身につけることをめざす。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the theories necessary for health and physical education, understand the goals, content, methods, and evaluation of health and physical education, and learn to design appropriate classes.		
到達目標/Learning Goals	1. 学習指導案を作成して、その指導案通りの模擬授業を行なうことができる 2. テーマとしての単元のとらえ方を理解して、適切な授業目標とその評価法を設定できる 3. 模擬授業を通して教授スキルを向上させるとともに、学習指導の構造について理解して、模擬授業を行なうことができる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1. be able to prepare a study plan and conduct a mock class according to the plan. 2. understand how to understand a unit as a theme, and to set appropriate lesson objectives and evaluation methods. 3. be able to improve teaching skills through mock classes, and to be able to conduct mock classes with an understanding of the structure of learning instruction.		
授業方法 Course Format	オンライン授業を基本とするが、コロナの状況によっては数回の対面授業を実施することがある。 対面で授業を実施する場合、実施一週間前の授業日もしくはそれまでの期間にLUNA等で知らせる。オンライン授業は、LUNA等を活用したビデオオンデマンドで配信する。また課題についても同様にLUNA等を活用して提出をもとめる。 【オンライン受講生対象】 対面授業を実施する場合には、対面授業を同時双方向でオンライン配信(Zoomなどで)する。		
検索キーワード/Keywords	楽しい体育 学習指導案 保健体育 評価規準		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	体育における授業構成の考え方 ※提出物のフィードバック方法は、提出物などに直接コメントし、実施後2～3週後を目途に返却する。	【予習課題】体育の目標論について予習する 【復習課題】体育の3つの目標の関連性について振り返りをする
第2回 Session 2	体育の教材研究と学習指導案の作成方法	【予習課題】体育の学習過程のタイプにつて予習しておくこと 【復習課題】学習過程の決定プロセスについて振り返り学習をすること
第3回 Session 3	個別運動領域(ダンス)の指導(1)学習指導案実践	【予習課題】個人種目の教材研究をしておくこと 【復習課題】指導案作成において学習目的・内容と単元構成のあり方に関して具体的に考えておくこと
第4回 Session 4	個別運動領域(ダンス)の指導案(2)の振り返り 個別運動領域(体づくり・個人競技・知識等)の指導(1)指導案実践	【予習課題】個人種目の教材研究をしておくこと 【復習課題】学習指導案の振り返りをもとに次の指導案を作成する
第5回 Session 5	個別運動領域(体づくり・個人競技・知識等)の指導(2)の学習指導案の振り返り 個別運動領域(対人競技・武道ダンス等)の指導(1)学習指導案実践	【予習課題】対人種目・武道ダンスの教材研究をしておくこと 【復習課題】学習指導案の振り返りをもとに次の指導案を作成する
第6回 Session 6	個別運動領域(対人競技・武道ダンス等)の指導(2)学習指導案の振り返り 個別運動領域(球技種目等)の指導(1)学習指導案実践	【予習課題】球技の教材研究をしておくこと 【復習課題】学習指導案の振り返りをもとに次の指導案を作成する
第7回 Session 7	個別運動領域(球技種目等)の指導(2)学習指導案の振り返り	【予習課題】学指導案と学習過程について振り返りながらまとめておくこと 【復習課題】学習指導案の振り返りをもとに学習指導案作成のポイントを整理すること
第8回 Session 8	体育の選択制授業(1)テーマによる学習指導計画のあり方	【予習課題】学習指導要領で体育の選択制授業について予習すること 【復習課題】テーマ学習について整理しておくこと
第9回 Session 9	体育の選択制授業(2)テーマによる学習指導案実践	【予習課題】スポーツライフに関して予習しておく 【復習課題】スポーツライフとの関係でテーマ学習の学習指導案を作成する
第10回 Session 10	体育の選択制授業(3)テーマによる学習指導案の振り返り 保健の教材研究と学習指導(情報機器・教材の活用を含む)について	【予習課題】学習指導要領の保健分野を予習する 【復習課題】保健の学習指導案を作成する
第11回 Session 11	保健の模擬授業1:領域1	【予習課題】領域1について予習しておくこと 【復習課題】領域2の学習指導案を作成す
第12回 Session 12	保健の模擬授業2:領域2	【予習課題】領域2について予習しておくこと 【復習課題】領域3の学習指導案を作成する
第13回 Session 13	保健の模擬授業3:領域3	【予習課題】領域3について予習しておくこと 【復習課題】領域4の学習指導案を作成する
第14回 Session 14	保健の模擬授業4:領域4 および まとめ	【予習課題】領域4について予習しておくこと 【復習課題】秋学期全体について自分なりにまとめておくこと

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編 発行所:東山書房 出版年:2019 ISB N:4827815763 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説保健体育編 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN: 4827815682
教科書 Required texts	学習指導要領および学習指導要領解説(最新版)については各自で購入しておくこと その他については授業の中で紹介します
参考文献・資料 Reference books	学習指導要領および学習指導要領解説(最新版)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	関西学院大学の方法による
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されていま す。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	40%	学習指導案の作成を行なってもら
	その他／Others(99)	60%	授業内容確認フォームへの回答:30%、授業内課題:30%
	備考 Note 平常リポート及び授業中の提出物などにより総合的に評価する。 正当な理由なく欠席した場合は減点対象となる。全体の2/3の出席を求める。		
備考 Note	授業内容は、事前に学生へ説明した上で変更する場合があります。		
更新日時/Date of Update	2022年02月15日 17時27分58秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜5時限	秋学期／Fall	G-203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48051000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】保健体育科教育法C／Methods of Teaching Health and Physical Education C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	中須賀 巧(NAKASUGA TAKUMI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義は、体育で取り扱う運動やスポーツ(素材)が持つ学習内容(教材観)について理解を深めることを目的とする。また保健体育科に求められる学力や体育に臨む生徒の心理社会的要因などにも触れながら学習する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand of the learning contents (view of teaching materials) of sports and sports (materials) handled in physical education. In addition, Students learn about the academic skills needs for physical education and the psychosocial factors of children engaged in physical education.		
到達目標/Learning Goals	保健体育科に求められる学力、子どものやる気を高める心理社会的要因、指導要領に示されている運動・スポーツが持つ学習内容(教材観)について理解を深め、さらに自己の考えや意見を持ち、説明することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will their understand of the academic skills needed for physical education, psychosocial factors that increase children's motivation, and the learning content (view of teaching materials) of exercise and sports. In addition, they have their own thoughts and opinions and can explain.		
授業方法 Course Format	対面授業を実施する予定。対面授業では授業づくりの方法や模擬授業を行い、意見発表の機会も設ける。 授業資料等はLUNAIに掲載する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	保健体育科、各領域の目標および内容の理解	
第2回 Session 2	現代に求められる学力と保健体育との関連	
第3回 Session 3	保健体育授業に取り組む生徒の実態と問題	
第4回 Session 4	様々な二極化現象の実態と体育授業の関連	
第5回 Session 5	生涯スポーツと体育授業について	
第6回 Session 6	体育における楽しさ・面白さの理解と問題	
第7回 Session 7	教材観・生徒観・指導観の「観」のもつ意味	
第8回 Session 8	教材観の構築と種目理解①体づくり運動	
第9回 Session 9	教材観の構築と種目理解②器械運動	
第10回 Session 10	教材観の構築と種目理解③陸上競技	
第11回 Session 11	教材観の構築と種目理解④水泳	
第12回 Session 12	教材観の構築と種目理解⑤球技	
第13回 Session 13	教材観の構築と種目理解⑥武道	
第14回 Session 14	教材観の構築と種目理解⑦ダンス	
授業外学修 Study Required outside Class	予習：各回の最後に次回の内容について予告する。その内容について著書、論文、ネット記事などから情報を収集しておくこと。 復習：各回で取り組んだ内容を整理し、自己の意見や考えを含め、まとめシートを作成しておくこと。	

参考文献・資料 Reference books	学習指導要領および解説 中学校・高等学校の学習指導要領および解説(保健体育科)は各自購入しておくこと。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	平常レポート／Individual reports(04)	60%	キャンパス(あるいはオンライン)による毎回の課題レポートによって評価	
	その他／Others(99)	40%	キャンパス(あるいはオンライン)による最終レポートによって評価	
添付ファイル1/File Attachement 1	学習指導要領解説(中学校保健体育編)平成29年7月.pdf		説明1/Explanation 1	中学校学習指導要領解説保健体育編
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_184749_1&cmp_tab_id=_213616_1&editMode=true&mode=cpview			
更新日時/Date of Update	2022年02月16日 09時12分10秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	月曜4時限	春学期／Spring	G－205

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48052000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】保健体育科教育法D／Methods of Teaching Health and Physical Education D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	中須賀 巧(NAKASUGA TAKUMI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義では、保健体育科で扱う内容の教材観(何を教え、学ばせるのかといった学習内容)を中核とした授業を計画する。また模擬授業では、省察(授業分析)や指導と評価の一体化について理解を深める。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purposes of this course is for students to planned of simulated lesson focus the view of teaching materials (learning contents such as what to teach and learn) in the contents handled in physical education. In addition, for students understand of the reflection and the evaluation for simulated lesson.		
到達目標/Learning Goals	教材観(学習内容)について自己の考えや意見を持ち、説明ができる。教材観・生徒観・指導観について考え、指導案を作成できる。模擬授業を省察し、自己および他者の授業改善点や工夫について提案・説明ができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire have their own thoughts and opinions on teaching material views (learning contents) and will be able to explain, think about teaching material views, student views, and teaching views, and will be able to create lesson plans, reflect on simulated lessons, and propose and explain will be able to self- and others' lessons improvement points and ideas,		
授業方法 Course Format	対面授業を実施する予定。対面授業では授業づくりの方法や模擬授業を行い、意見発表の機会も設ける。 授業資料等はLUNAに掲載する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教材観①: 素材・学習内容・教材の関連	
第2回 Session 2	教材観②: あなたは体育で何を教えるの	
第3回 Session 3	教材観③: 学習内容から教材へ	
第4回 Session 4	教材観④: 学習内容と評価の密接なつながり	
第5回 Session 5	生徒観: 生徒理解に向けた多様な視点	
第6回 Session 6	指導観: 多様な指導実践事例についての紹介	
第7回 Session 7	学習指導案の作成と検討	
第8回 Session 8	学習指導案の提案と修正	
第9回 Session 9	模擬授業の取り組み方と分析法	
第10回 Session 10	模擬授業の実践とグループ分析①体づくり運動	
第11回 Session 11	模擬授業の実践とグループ分析②器械運動	
第12回 Session 12	模擬授業の実践とグループ分析③球技ゴール型: その1	
第13回 Session 13	模擬授業の実践とグループ分析④球技ゴール型: その2	
第14回 Session 14	模擬授業の実践とグループ分析⑤球技ネット型	

授業外学修 Study Required outside Class	予習: 各回の最後に次回の内容について予告する。その内容について著書、論文、ネット記事などから情報を収集しておくこと。 復習: 各回で取り組んだ内容を整理し、自己の意見や考えを含め、まとめシートを作成しておくこと。

参考文献・資料 Reference books	学習指導要領および解説(最新版) 中学校および高等学校の学習指導要領および解説(保健体育科)は各自購入しておくこと。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	60%	キャンパス(もしくはオンライン)で実施する最終レポートで評価。
	その他／Others(99)	40%	キャンパス(もしくはオンライン)による毎回のレポート課題で評価(40%)。模擬授業とディスカッションへの取り組み、参加状況(10%)。
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_175869_1&cmp_tab_id=_204736_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年02月16日 09時12分29秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	木曜2時限	秋学期／Fall	G-203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48053001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】道徳教育論 1／Principles of Moral Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	下野 厚子(SHIMONO ATSUKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	学校において道徳教育を展開するために必要な基礎的理論と指導のあり方を理解する		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand basic theories and method of moral education.		
到達目標/Learning Goals	次の3点を授業の目標とする。 ・道徳とその教育に関する諸理論および歴史を理解する ・諸法令や学習指導要領等から学校における道徳教育と道徳科の授業を理解する ・多様な道徳科の指導方法とその指導計画・授業実践・評価等を学ぶ		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・understand basic moral theories and the history of moral education ・understand moral education at school and a class according to laws, ordinances and the Course of Study for moral education ・develop various teaching methods, teaching plans , lesson practices and evaluation methods for moral education		
授業方法 Course Format	【対面授業時】LUNAに事前に資料をアップロードしておくので、授業時に印刷またはダウンロードして持参すること。 【緊急時及びオンライン受講許可学生対象】LUNAにオンデマンドで配信する。各授業回までに、授業データ(音声付きパワーポイント等)をLUNAに掲載する。下記の「URLリンク1」を見ること。		
検索キーワード/Keywords	道徳教育／授業実践		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	道徳とは何か	授業は当面の間、LUNAからのオンデマンド配信とする。
第2回 Session 2	人間形成における道徳性	
第3回 Session 3	道徳性をめぐる現状の課題	
第4回 Session 4	道徳教育の歴史(1)近代	
第5回 Session 5	道徳教育の歴史(2)特設道徳から教科化へ	
第6回 Session 6	学校における道徳教育と道徳科	
第7回 Session 7	道徳教育と道徳科の目標と内容	
第8回 Session 8	道徳教育の諸計画	
第9回 Session 9	道徳教育の指導法と教材(1)読み物資料を中心に	
第10回 Session 10	道徳教育の指導法と教材(2)問題解決学習とロールプレイ	
第11回 Session 11	読み物資料を中心とした授業(1)指導案について	
第12回 Session 12	読み物資料を中心とした授業(2)発問について	
第13回 Session 13	読み物資料を中心とした授業(3)子供の発言と活動について	
第14回 Session 14	読み物資料を中心とした授業(4)授業実践と評価方法	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。 提出後の授業回において全体の講評を口頭で伝えるかLUNAへ掲載し、課題へのフィードバックとする。
授業外学修 Study Required outside Class	授業の資料は、事前にLUNAに掲載するので、授業前に読んでおくこと。 授業中に学んだ項目やキーワード等については、よく復習をして理解を深めておくこと。

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 発行所:教育出版 出版年:2018 ISBN:978-4827815597 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別な教科 道徳編 発行所:教育出版 出版年:2018 ISBN:978-4316300849
参考書/Reference books	著者名:小笠原道雄・田代尚弘・堺正之編 タイトル:道徳教育の可能性 発行所:福村出版 出版年:2012 ISBN:978-4571101557 著者名:横山利弘 タイトル:道徳教育とは何だろうか 発行所:暁教育図書 出版年:2007 ISBN:978-4252782891 著者名:横山利弘監修 タイトル:楽しく豊かな道徳科の授業をつくる 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2017 ISBN:978-4623080854
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	100%	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/manageCourseItem?content_id=_948385_1&course_id=_197128_1&do=add&dispatch=add		
更新日時/Date of Update	2022年02月15日 16時59分32秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	B－204

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48053002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】道徳教育論 2／Principles of Moral Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	下野 厚子(SHIMONO ATSUKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	学校において道徳教育を展開するために必要な基礎的理論と指導のあり方を理解する		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand basic theories and method of moral education.		
到達目標/Learning Goals	次の3点を授業の目標とする。 ・道徳とその教育に関する諸理論および歴史を理解する ・諸法令や学習指導要領等から学校における道徳教育と道徳科の授業を理解する ・多様な道徳科の指導方法とその指導計画・授業実践・評価等を学ぶ		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・understand basic moral theories and the history of moral education ・understand moral education at school and a class according to laws, ordinances and the Course of Study for moral education ・develop various teaching methods, teaching plans , lesson practices and evaluation methods for moral education		
授業方法 Course Format	【対面授業時】LUNAに事前に資料をアップロードしておくので、授業時に印刷またはダウンロードして持参すること。 【緊急時及びオンライン受講許可学生対象】LUNAにオンデマンドで配信する。各授業回までに、授業データ(音声付きパワーポイント等)をLUNAに掲載する。下記の「URLリンク1」を見ること。		
検索キーワード/Keywords	道徳教育／授業実践		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	道徳とは何か	授業は当面の間、LUNAからのオンデマンド配信とする。
第2回 Session 2	人間形成における道徳性	
第3回 Session 3	道徳性をめぐる現状の課題	
第4回 Session 4	道徳教育の歴史(1)近代	
第5回 Session 5	道徳教育の歴史(2)特設道徳から教科化へ	
第6回 Session 6	学校における道徳教育と道徳科	
第7回 Session 7	道徳教育と道徳科の目標と内容	
第8回 Session 8	道徳教育の諸計画	
第9回 Session 9	道徳教育の指導法と教材(1)読み物資料を中心に	
第10回 Session 10	道徳教育の指導法と教材(2)問題解決学習とロールプレイ	
第11回 Session 11	読み物資料を中心とした授業(1)指導案について	
第12回 Session 12	読み物資料を中心とした授業(2)発問について	
第13回 Session 13	読み物資料を中心とした授業(3)子供の発言と活動について	
第14回 Session 14	読み物資料を中心とした授業(4)授業実践と評価方法	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。 提出後の授業回において全体の講評を口頭で伝えるかLUNAへ掲載し、課題へのフィードバックとする。
授業外学修 Study Required outside Class	授業の資料は、事前にLUNAに掲載するので、授業前に読んでおくこと。 授業中に学んだ項目やキーワード等については、よく復習をして理解を深めておくこと。

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 発行所:教育出版 出版年:2018 ISBN:978-4827815597 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別な教科 道徳編 発行所:教育出版 出版年:2018 ISBN:978-4316300849
参考書/Reference books	著者名:小笠原道雄・田代尚弘・堺正之編 タイトル:道徳教育の可能性 発行所:福村出版 出版年:2012 ISBN:978-4571101557 著者名:横山利弘 タイトル:道徳教育とは何だろうか 発行所:暁教育図書 出版年:2007 ISBN:978-4252782891 著者名:横山利弘監修 タイトル:楽しく豊かな道徳科の授業をつくる 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2017 ISBN:978-4623080854
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	100%	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/manageCourseItem?content_id=_948385_1&course_id=_197128_1&do=add&dispatch=add		
更新日時/Date of Update	2022年02月15日 16時59分50秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	H-201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48053003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】道徳教育論 3／Principles of Moral Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	下野 厚子(SHIMONO ATSUKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	学校において道徳教育を展開するために必要な基礎的理論と指導のあり方を理解する		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand basic theories and method of moral education.		
到達目標/Learning Goals	次の3点を授業の目標とする。 ・道徳とその教育に関する諸理論および歴史を理解する ・諸法令や学習指導要領等から学校における道徳教育と道徳科の授業を理解する ・多様な道徳科の指導方法とその指導計画・授業実践・評価等を学ぶ		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・understand basic moral theories and the history of moral education ・understand moral education at school and a class according to laws, ordinances and the Course of Study for moral education ・develop various teaching methods, teaching plans , lesson practices and evaluation methods for moral education		
授業方法 Course Format	【対面授業時】LUNAに事前に資料をアップロードしておくので、授業時に印刷またはダウンロードして持参すること。 【緊急時及びオンライン受講許可学生対象】LUNAにオンデマンドで配信する。各授業回までに、授業データ(音声付きパワーポイント等)をLUNAに掲載する。下記の「URLリンク1」を見ること。		
検索キーワード/Keywords	道徳教育／授業実践		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	道徳とは何か	授業は当面の間、LUNAからのオンデマンド配信とする。
第2回 Session 2	人間形成における道徳性	
第3回 Session 3	道徳性をめぐる現状の課題	
第4回 Session 4	道徳教育の歴史(1)近代	
第5回 Session 5	道徳教育の歴史(2)特設道徳から教科化へ	
第6回 Session 6	学校における道徳教育と道徳科	
第7回 Session 7	道徳教育と道徳科の目標と内容	
第8回 Session 8	道徳教育の諸計画	
第9回 Session 9	道徳教育の指導法と教材(1)読み物資料を中心に	
第10回 Session 10	道徳教育の指導法と教材(2)問題解決学習とロールプレイ	
第11回 Session 11	読み物資料を中心とした授業(1)指導案について	
第12回 Session 12	読み物資料を中心とした授業(2)発問について	
第13回 Session 13	読み物資料を中心とした授業(3)子供の発言と活動について	
第14回 Session 14	読み物資料を中心とした授業(4)授業実践と評価方法	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。 提出後の授業回において全体の講評を口頭で伝えるかLUNAへ掲載し、課題へのフィードバックとする。
授業外学修 Study Required outside Class	授業の資料は、事前にLUNAに掲載するので、授業前に読んでおくこと。 授業中に学んだ項目やキーワード等については、よく復習をして理解を深めておくこと。

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 発行所:教育出版 出版年:2018 ISBN:978-4827815597 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別な教科 道徳編 発行所:教育出版 出版年:2018 ISBN:978-4316300849
参考書/Reference books	著者名:小笠原道雄・田代尚弘・堺正之編 タイトル:道徳教育の可能性 発行所:福村出版 出版年:2012 ISBN:978-4571101557 著者名:横山利弘 タイトル:道徳教育とは何だろうか 発行所:暁教育図書 出版年:2007 ISBN:978-4252782891 著者名:横山利弘監修 タイトル:楽しく豊かな道徳科の授業をつくる 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2017 ISBN:978-4623080854
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	100%	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/manageCourseItem?content_id=_948385_1&course_id=_197128_1&do=add&dispatch=add		
更新日時/Date of Update	2022年02月15日 17時00分04秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期/Fall	火曜4時限	秋学期/Fall	B-104

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48053004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】道徳教育論 4／Principles of Moral Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	白銀 夏樹(SHIROKANE NATSUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	学校において道徳教育を展開するため必要な基礎的理論と指導のあり方を理解する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand basic theories and methods of moral education.		
到達目標/Learning Goals	次の3点を授業の目標としている。 ・基礎的な道徳理論と道徳教育の歴史を理解する ・日本の道徳教育に関する諸法令や学習指導要領を理解する ・道徳教育に関するカリキュラム・指導方法・評価の基本的な知識を身につける		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・understand basic moral theories and the history of moral education, ・understand laws, ordinances and the Course of Study for moral education in Japan, and ・develop their basic knowledge of curriculums, teaching methods and evaluation methods for moral education.		
授業方法 Course Format	対面授業。LUNAを通して教材や課題を提示する場合がある。 【オンライン受講許可学生対象】3回目以降「オンデマンド」で動画を配信予定。各授業回から2日後以内にLUNAへ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords	道徳教育／授業実践		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	道徳とは何か ～カントと功利主義を手掛かりに考える～	毎授業時までに資料をLUNAに掲載するので印刷し持参すること(第1回は印刷不要)。
第2回 Session 2	人間形成における道徳性 ～美と道徳、罪責と道徳～	
第3回 Session 3	現代の課題としての道徳 ～若者と将来の道徳性～	
第4回 Session 4	近代の道徳教育の歴史	
第5回 Session 5	特設道徳から教科化への歴史	
第6回 Session 6	学校における道徳教育と道徳科	
第7回 Session 7	道徳教育と道徳科の目標と内容	
第8回 Session 8	道徳教育の諸計画(カリキュラム)	
第9回 Session 9	道徳教育の指導法と教材(1)～読み物教材を中心に～	
第10回 Session 10	道徳教育の指導法と教材(2)～問題解決学習とロールプレイ～	
第11回 Session 11	読み物を中心とした授業とその指導案	
第12回 Session 12	読み物を中心とした授業実践とその批評	
第13回 Session 13	活動を中心とした授業とその指導案	
第14回 Session 14	活動を中心とした授業実践とその批評・まとめ	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	授業の資料は事前にLUNAに掲載するので、内容を授業前に理解し(1時間)、あわせて資料の内容に応じた道徳・学校教育・日本史に関する周辺情報を集めておくこと(1時間)。復習としては、授業中に学んだキーワード等について簡単な説明ができるようにする(1時間)とともに、与えた課題に取り組むこと(1時間)。

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所: 出版年: ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 発行所:教育出版 出版年:2018 ISBN:978-4316300849
参考書/Reference books	著者名:小笠原道雄・田代尚弘・塚正之編 タイトル:道徳教育の可能性 発行所:福村出版 出版年:2012 ISBN:978-4571101557 著者名:横山利弘 タイトル:道徳教育とは何だろうか 発行所:暁教育図書 出版年:2007 ISBN:978-4252782891 著者名:横山利弘監修 タイトル:楽しく豊かな道徳科の授業をつくる 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2017 ISBN:978-4623080854
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	100%	
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】平常リポート100%とし、LUNAでリポート課題を課す。LUNAに題目・提出期日等を掲載するので確認すること。		
更新日時/Date of Update	2022年01月12日 11時19分48秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	木曜2時限	秋学期／Fall	B－303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48053005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】道徳教育論 5/Principles of Moral Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	白銀 夏樹(SHIROKANE NATSUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	学校において道徳教育を展開するため必要な基礎的理論と指導のあり方を理解する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand basic theories and methods of moral education.		
到達目標/Learning Goals	次の3点を授業の目標としている。 ・基礎的な道徳理論と道徳教育の歴史を理解する ・日本の道徳教育に関する諸法令や学習指導要領を理解する ・道徳教育に関するカリキュラム・指導方法・評価の基本的な知識を身につける		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・understand basic moral theories and the history of moral education, ・understand laws, ordinances and the Course of Study for moral education in Japan, and ・develop their basic knowledge of curriculums, teaching methods and evaluation methods for moral education.		
授業方法 Course Format	対面授業。LUNAを通して教材や課題を提示する場合がある。 【オンライン受講許可学生対象】3回目以降「オンデマンド」で動画を配信予定。各授業回から2日後以内にLUNAへ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords	道徳教育／授業実践		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	道徳とは何か ～カントと功利主義を手掛かりに考える～	毎授業時までに資料をLUNAに掲載するので印刷し持参すること(第1回は印刷不要)。
第2回 Session 2	人間形成における道徳性 ～美と道徳、罪責と道徳～	
第3回 Session 3	現代の課題としての道徳 ～若者と将来の道徳性～	
第4回 Session 4	近代の道徳教育の歴史	
第5回 Session 5	特設道徳から教科化への歴史	
第6回 Session 6	学校における道徳教育と道徳科	
第7回 Session 7	道徳教育と道徳科の目標と内容	
第8回 Session 8	道徳教育の諸計画(カリキュラム)	
第9回 Session 9	道徳教育の指導法と教材(1)～読み物教材を中心に～	
第10回 Session 10	道徳教育の指導法と教材(2)～問題解決学習とロールプレイ～	
第11回 Session 11	読み物を中心とした授業とその指導案	
第12回 Session 12	読み物を中心とした授業実践とその批評	
第13回 Session 13	活動を中心とした授業とその指導案	
第14回 Session 14	活動を中心とした授業実践とその批評・まとめ	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	授業の資料は事前にLUNAに掲載するので、内容を授業前に理解し(1時間)、あわせて資料の内容に応じた道徳・学校教育・日本史に関する周辺情報を集めておくこと(1時間)。復習としては、授業中に学んだキーワード等について簡単な説明ができるようにする(1時間)とともに、与えた課題に取り組むこと(1時間)。

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所: 出版年: ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 発行所:教育出版 出版年:2018 ISBN:978-4316300849
参考書/Reference books	著者名:小笠原道雄・田代尚弘・堺正之編 タイトル:道徳教育の可能性 発行所:福村出版 出版年:2012 ISBN:978-4571101557 著者名:横山利弘 タイトル:道徳教育とは何だろうか 発行所:暁教育図書 出版年:2007 ISBN:978-4252782891 著者名:横山利弘監修 タイトル:楽しく豊かな道徳科の授業をつくる 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2017 ISBN:978-4623080854
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	100%	
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】平常リポート100%とし、LUNAでリポート課題を課す。LUNAに題目・提出期日等を掲載するので確認すること。		
更新日時/Date of Update	2022年01月12日 11時20分42秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	金曜3時限	春学期／Spring	VII－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48054001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別活動論 1／Principles of Special Activities		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	天野 義美(AMANO YOSHIMI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 1(教職(専門))/特別活動論 1(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の特質や意義、内容、指導方法について考察することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to consider the characteristic significance, contents, and instruction methods of Special Activities and Integrated Studies.		
到達目標/Learning Goals	下記の事項について修得することを目標とする。 1 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の目標、意義、内容を把握することができる。 2 教育の今日的課題解決に向けて、特別活動および総合的な学習(探究)の時間が果たすべき役割を理解することができる。 3 主体的な学びを通して、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の指導方法や実践方法についての考えを確立することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1 understand the aim, significance, and contents of Special Activities and Integrated Studies. 2 understand the role of Special Activities and Integrated Studies in solving contemporary problems in education. 3 establish, through active learning, ideas about instruction and practice methods for Special Activities and Integrated Studies.		
授業の概要・背景 Course Outline	特別活動や総合的な学習(探究)の時間は、教育課程に位置付く教育活動であることが学校教育法施行規則で法的に定められている。すなわち、学校現場では所有する教員免許状の教科如何にかかわらず、全教職員が特別活動および総合的な学習(探究)の時間の指導に取り組まなければならない。従って、教職課程の授業で、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の理論と方法を学ぶ必要がある。本講義では、「児童生徒の人間形成や生きる力の育成の基本となる教育活動は、特別活動および総合的な学習(探究)の時間である」という視点で、特別活動や総合的な学習(探究)の時間の大切さ、素晴らしさについて共に追究する。		
授業方法 Course Format	各回の授業の予習として、教科書の関連ページを前もって指定する。授業ではそれらを要約した内容、詳細を加えた説明、異なる切口からの解説などで展開する。教育実践での事例紹介や、映像画像などを適宜織り交ぜて、履修生の理解の促進を図る。 なお、授業計画欄にあるグループワークは、対面授業時での導入を予定しているが、コロナの感染状況を鑑みて判断する。 【オンライン受講許可学生対象】オンデマンドA型オンライン授業で実施する。全授業回とも授業時間に合わせて、PPTのスライド、音声入り動画(OneDriveに保存)、復習用補助説明等をLUNAの「教材・課題・テスト」欄に提供する。		
関連科目/Related Courses	特に無し		
検索キーワード/Keywords	学級活動(ホームルーム活動) 生徒会活動 学校行事 人間関係形成 社会参画 自己実現 探究的な学習過程 考えるための技法		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【講義】 授業の概要 1 特別活動とは何か 2 総合的な学習(探究)の時間とは何か 3 学校教育での位置付け 【グループワーク】 本講義を通しての学習グループを編成する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp10-15,24,162)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校教育における特別活動(以下 特活)及び総合的な学習・探究の時間(以下 総合)とは、どのような教育活動なのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:大学の教職課程の授業科目に「特活・総合の指導法」の学修が必修とされているのは何故か。
第2回 Session 2	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の特質 1 子どもの現状と課題 2 特別活動の特質 3 総合的な学習(探究)の時間の特質 【グループワーク】 学級目標を話し合って作成する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp14-19,32-35,104,197-202)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:教育の今日的課題の解決に向けて、特活及び総合が果たす役割とは何か？ 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:今、子ども達に育む力として、特活や総合に求められているものは何か、教育的な役割を考察する。
第3回 Session 3	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の目標、意義、内容 1 それぞれの目標と教育的意義 2 それぞれの内容とその取扱い 3 校種間の関連と授業時数 【グループワーク】 職場体験について、経験してきたことを基に振り返る。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp24-29,162-172)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校教育における特活及び総合の目標、意義、内容にはどのようなものがあるのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:特活と総合との違いについて、生徒や保護者

		の理解を得るために、どのように説明するか。
第4回 Session 4	【講義】 総合的な学習(探究)の時間の学習指導 1 探究的な学習過程 2 協働的な学習 3 「考えるための技法」 【グループワーク】 中高時代に体験した総合の学びについて情報を交換する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp194-202)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:探究的な学習過程を基にした総合の学習展開とはどのようなものなのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:探究的な学習過程に沿った事例に準じて、ワークシート(課題設定シート)を作成する。
第5回 Session 5	【講義】 総合的な学習(探究)の時間の指導実践 1 課題の設定 2 情報の収集 3 整理・分析 4 まとめ・表現 【グループワーク】 探究的な学習過程に沿って、事例を検討する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp214-235)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:探究的な学習過程に沿った総合の事例には、どのようなものが考えられるのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:紹介された総合の2事例について、探究的な学習過程で展開されていることを確認する。
第6回 Session 6	【講義】 特別活動(学級活動・ホームルーム活動)の目標と内容 1 目標と教育的意義 2 内容とその取扱い 3 展開事例 【グループワーク】 よりよい学級を目指して、問題点を協議する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp40-59,60)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学級活動の目標、並びに、目標を達成するための内容はどのように構成されているか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:創意工夫次第で、学級の生活が豊かになるような係活動を考案する。
第7回 Session 7	【講義】 特別活動(学級活動(1)学級や学校における生活づくりへの参画)の指導実践 1 指導の実際 2 事前一本時一事後の流れ 3 学習指導案(例) 【グループワーク】 学級集会活動の議題について、学級目標や提案理由に基づいた話合いに取り組む。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp38,46-67,68-75)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:よりよい学級や学校づくりに向けて、学級活動(1)の話合い活動を充実させるための留意点。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:事例について、学級のみなが楽しめる学級集会活動の在り方を検討する。
第8回 Session 8	【講義】 特別活動(生徒会活動)の目標と内容 1 目標と教育的意義 2 内容とその取扱い 3 展開事例 【グループワーク】 校則について、生徒会活動の視点で考察する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp78-102)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:生徒会活動の目標 並びに、目標を達成するための内容はどのように構成されているか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:ある高校の生徒会活動の事例について、社会参画の視点で考察する。
第9回 Session 9	【講義】 特別活動(学校行事)の目標と内容① 1 目標と教育的意義 2 内容とその取扱い (1)儀式的行事 (2)文化的行事 【グループワーク】 儀式的行事「入学式」に関して報道された記事について意見を交換する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp128-139)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校行事の目標、並びに、それを達成するための儀式的行事、文化的行事の内容構成。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:学校行事に関する課題と、それを克服する手立てについて考察する。
第10回 Session 10	【講義】 特別活動(学校行事)の目標と内容② 1 内容とその取扱い (3)健康安全・体育的行事 (4)旅行・集団宿泊的行事 (5)勤労生産・奉仕的行事 2 取扱い上の留意点 【グループワーク】 遠足を実施する想定で、事前に下見する時のポイントを考え合う。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp128-139)を再度読んで授業に備えること。 「予習の視点」:健康安全・体育的行事、旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事のねらいと内容構成。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:学校行事の在り方と、生徒の自主的・実践的な態度の育成との兼ね合いを事例で検討する。
第11回 Session 11	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間と他の教育活動との関連、ならびに指導計画 1 他の教育活動との関連 2 全体計画 3 年間指導計画 【グループワーク】 学校行事の年間計画を協議して作成する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書 (pp147-148,206-207,62-67,83-91,132-135,176-180,184-189)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校教育目標達成に向けて、特活・総合と他の教育活動との関連、及び、指導計画作成の要点。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:学校行事の精選のポイントは、教育的意義や価値の有無にあることを事例を通して考察する。
第12回 Session 12	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の評価 1 学力のとらえ方 2 特別活動および総合的な学習(探究)の時間で育つ力 3 評価の実際 【演習】 提供された素材について、個人内絶対評価で評価する演習に取り組む。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp150-157,242-246,191)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:評価のもつ意味と、特活・総合にふさわしい評価のあり方。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:よいところを積極的に認め合う相互評価の教育的な価値を考察する。
第13回 Session 13	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間をめぐる諸問題 1 教育的意義の理解 2 学校力・教師力 3 活動時間の確保	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp144-146,149-150,207-211,240-241)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:特活・総合の教育的意義の理解を深めるためにはどのような取組が求められるか。 【授業後の復習】(2時間)

		配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」: 特活(学校行事)あるいは総合の時間に実施されている自然体験学習の教育的なねらいを考察する。
第14回 Session 14	【講義】 これからの学校教育と特別活動および総合的な学習(探究)の時間 1 新学習指導要領の趣旨 2 特別活動の課題と展望 3 総合的な学習(探究)の時間の課題と展望 4 キーワードでの振り返り・まとめ	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp16-19,22,30-31,37,159,248)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」: 新学習指導要領から読み取れる特活と総合の課題と展望。 【授業後の復習】(2時間) 特活および総合に関する知識・理解を確かなものにして、それぞれの指導法を確立する。 「復習の課題」: 全授業を振り返って、特活・総合の理論と方法について学修したことをまとめる。

授業計画 Overview for each class	【課題に対するフィードバック方法】 ① 対面授業時に限るが、グループ協議での提出物については、直接コメント記入したり朱を入れたりしたものを、次の授業回で返却する。同時に、口頭でも説明する。 ② 個別が提出する課題については、全体の講評を次の授業回で口頭で伝えるか、文章で記述した解説を配布する。 ③ 平常リポートについては、提出締切り後の数週間以内に、全体の講評をLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名: 中園大三郎・松田修・中尾豊喜編著 タイトル: 特別活動と総合的な学習・探究の理論と指導 発行所: 学術研究出版 出版年: 2020 ISBN: 978-4-910415-05-5
参考書/Reference books	著者名: 文部科学省 タイトル: 中学校学習指導要領(平成29年告示) 発行所: 東山書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-8278-1558-0 著者名: 文部科学省 タイトル: 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編 発行所: 東山書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-8278-1562-7 著者名: 文部科学省 タイトル: 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編 発行所: 東山書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-8278-1561-0 著者名: 文部科学省 タイトル: 高等学校学習指導要領(平成30年告示) 発行所: 東山書房 出版年: 2019 ISBN: 978-4-8278-1567-2 著者名: 文部科学省 タイトル: 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 特別活動編 発行所: 東京書籍 出版年: 2019 ISBN: 978-4-4872-8635-5 著者名: 文部科学省 タイトル: 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編 発行所: 学校図書 出版年: 2019 ISBN: 978-4-7625-0536-2 著者名: 赤坂雅裕・佐藤光友編著 タイトル: やさしく学ぶ特別活動 発行所: ミネルヴァ書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-623-08282-7 著者名: 国立教育政策研究所 タイトル: 学級・学校文化を創造する特別活動 中学校編 発行所: 東京書籍 出版年: 2016 ISBN: 978-4-487-80961-5
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	全学統一様式による調査として実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート/Individual reports(04)	50%	
	その他/Others(99)	50%	授業時の参加態度(20%)、課題等の提出物(30%)
	備考 Note 公欠を除く出席すべき授業回数の3分の1を超えて欠席している者は、原則として評価対象外とする。(遅刻・中抜け・早退等は、3回で欠席1回とみなす。) 正当な理由のない欠席・遅刻・中抜け・早退、授業中のスマホいじり、内職(本授業以外の作業)等は、減点の対象となる。 【オンライン受講許可学生対象】毎回の授業で提示する課題について、授業日を含めた3日以内の回答をもって出席認定とする。課題回答の不提出は欠席となり、減点の対象となる。平常リポートの課題と要項は、提出期限の約1か月前に提示する。添付する用紙を用いてLUNAで提出すること。		
備考 Note	本講義では、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の理論と指導法について、概論(第1回)→総論(第2～3回)→各論(第4～10回)→細論(第11～13回)→結論・まとめ(第14回)で展開し、それぞれの理解を図ったうえで、最後にリポートの提出を課す。 毎授業の授業外学習欄に、【授業前の予習】「予習の視点」と、【授業後の復習】「復習の課題」とを提示しているので、授業外の学習に努めること。課題回答にあたっては、添付している課題回答用紙を用いて、授業日を含めた3日以内にLUNAで提出すること。		
更新日時/Date of Update	2022年02月09日 18時26分12秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期/Spring	月曜4時限	春学期/Spring	B-202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48054002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別活動論 2／Principles of Special Activities		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	久保田 真功(KUBOTA MAKOTO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 2(教職(専門))/特別活動論 2(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職志望の学生が、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義や内容等に加え、特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連、特別活動および総合的な学習(探究)の時間を効果的に実施する上での学級経営の重要性について理解するとともに、指導上のポイントや留意点を理解することにある。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students who aim to be teachers to understand the significance of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, the relation between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, the significance for class management, and the points to undertake in the teaching of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies.		
到達目標/Learning Goals	本授業の到達目標は、以下の通りである。 1. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義(目標や内容を含む)の理解 2. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の教育課程上の位置づけに対する理解 3. 特別活動と総合的な学習(探究)の時間との共通点および相違点の理解 4. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連の理解 5. 学級経営の重要性についての理解 6. 特別活動と総合的な学習(探究)の時間の指導上のポイントや留意点の理解		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of 1. the significance of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 2. the positioning of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies in a course of study, 3. the common features and different features between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 4. the relation between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 5. the significance for class management, 6. the points to undertake in the teaching of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies.		
授業方法 Course Format	授業は講義形式で行う。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(授業の概要や評価方法等に関する説明)	
第2回 Session 2	特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義	
第3回 Session 3	特別活動および総合的な学習(探究)の時間の教育課程上の位置づけ	
第4回 Session 4	特別活動と総合的な学習(探究)の時間との共通点および相違点	
第5回 Session 5	特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連	
第6回 Session 6	学級活動(ホームルーム活動)の目標と内容	
第7回 Session 7	学級活動(ホームルーム活動)の実践事例	
第8回 Session 8	生徒会活動および学校行事の目標と内容	
第9回 Session 9	生徒会活動および学校行事の実践事例	
第10回 Session 10	総合的な学習(探究)の時間の指導計画の作成	
第11回 Session 11	総合的な学習(探究)の時間の指導と評価	
第12回 Session 12	総合的な学習(探究)の時間の実践事例	
第13回 Session 13	学級経営の重要性	
第14回 Session 14	学級経営の三領域(「必然的領域」「計画的領域」「偶発的領域」)	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	授業に臨む際には、授業計画を参考にし、授業で扱うテーマについて前もって学習しておくこと。

教科書 Required texts	資料は「LUNA」にアップしておくので、授業に臨む際に事前に印刷しておくこと。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 特別活動編 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 特別活動編 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター タイトル:学級・学校文化を創る特別活動 中学校編 発行所:東京書籍 出版年:2016 ISBN: 著者名:白松賢 タイトル:学級経営の教科書 発行所:東洋館出版 出版年:2017 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	授業時に適宜指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業時に実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	60%	
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	
更新日時/Date of Update	2022年02月28日 12時30分34秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜1時限	春学期／Spring	B－304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48054003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別活動論 3／Principles of Special Activities		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	天野 義美(AMANO YOSHIMI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 3(教職(専門))/特別活動論 3(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の特質や意義、内容、指導方法について考察することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to consider the characteristic significance, contents, and instruction methods of Special Activities and Integrated Studies.		
到達目標/Learning Goals	下記の事項について修得することを目標とする。 1 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の目標、意義、内容を把握することができる。 2 教育の今日的課題解決に向けて、特別活動および総合的な学習(探究)の時間が果たすべき役割を理解することができる。 3 主体的な学びを通して、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の指導方法や実践方法についての考えを確立することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1 understand the aim, significance, and contents of Special Activities and Integrated Studies. 2 understand the role of Special Activities and Integrated Studies in solving contemporary problems in education. 3 establish, through active learning, ideas about instruction and practice methods for Special Activities and Integrated Studies.		
授業の概要・背景 Course Outline	特別活動や総合的な学習(探究)の時間は、教育課程に位置付く教育活動であることが学校教育法施行規則で法的に定められている。すなわち、学校現場では所有する教員免許状の教科如何にかかわらず、全教職員が特別活動および総合的な学習(探究)の時間の指導に取り組まなければならない。従って、教職課程の授業で、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の理論と方法を学ぶ必要がある。本講義では、「児童生徒の人間形成や生きる力の育成の基本となる教育活動は、特別活動および総合的な学習(探究)の時間である」という視点で、特別活動や総合的な学習(探究)の時間の大切さ、素晴らしさについて共に追究する。		
授業方法 Course Format	各回の授業の予習として、教科書の関連ページを前もって指定する。授業ではそれらを要約した内容、詳細を加えた説明、異なる切口からの解説などで展開する。教育実践での事例紹介や、映像画像などを適宜織り交ぜて、履修生の理解の促進を図る。 なお、授業計画欄にあるグループワークは、対面授業時での導入を予定しているが、コロナの感染状況を鑑みて判断する。 【オンライン受講許可学生対象】オンデマンドA型オンライン授業で実施する。全授業回とも授業時間に合わせて、PPTのスライド、音声入り動画(OneDriveに保存)、復習用補助説明等をLUNAの「教材・課題・テスト」欄に提供する。		
関連科目/Related Courses	特に無し		
検索キーワード/Keywords	学級活動(ホームルーム活動) 生徒会活動 学校行事 人間関係形成 社会参画 自己実現 探究的な学習過程 考えるための技法		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【講義】 授業の概要 1 特別活動とは何か 2 総合的な学習(探究)の時間とは何か 3 学校教育での位置付け 【グループワーク】 本講義を通しての学習グループを編成する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp10-15,24,162)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校教育における特別活動(以下 特活)及び総合的な学習・探究の時間(以下 総合)とは、どのような教育活動なのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:大学の教職課程の授業科目に「特活・総合の指導法」の学修が必修とされているのは何故か。
第2回 Session 2	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の特質 1 子どもの現状と課題 2 特別活動の特質 3 総合的な学習(探究)の時間の特質 【グループワーク】 学級目標を話し合って作成する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp14-19,32-35,104,197-202)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:教育の今日的課題の解決に向けて、特活及び総合が果たす役割とは何か？ 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:今、子ども達に育む力として、特活や総合に求められているものは何か、教育的な役割を考察する。
第3回 Session 3	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の目標、意義、内容 1 それぞれの目標と教育的意義 2 それぞれの内容とその取扱い 3 校種間の関連と授業時数 【グループワーク】 職場体験について、経験してきたことを基に振り返る。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp24-29,162-172)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校教育における特活及び総合の目標、意義、内容にはどのようなものがあるのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:特活と総合との違いについて、生徒や保護者

		の理解を得るために、どのように説明するか。
第4回 Session 4	【講義】 総合的な学習(探究)の時間の学習指導 1 探究的な学習過程 2 協働的な学習 3 「考えるための技法」 【グループワーク】 中高時代に体験した総合の学びについて情報を交換する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp194-202)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:探究的な学習過程を基にした総合の学習展開とはどのようなものなのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:探究的な学習過程に沿った事例に準じて、ワークシート(課題設定シート)を作成する。
第5回 Session 5	【講義】 総合的な学習(探究)の時間の指導実践 1 課題の設定 2 情報の収集 3 整理・分析 4 まとめ・表現 【グループワーク】 探究的な学習過程に沿って、事例を検討する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp214-235)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:探究的な学習過程に沿った総合の事例には、どのようなものが考えられるのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:紹介された総合の2事例について、探究的な学習過程で展開されていることを確認する。
第6回 Session 6	【講義】 特別活動(学級活動・ホームルーム活動)の目標と内容 1 目標と教育的意義 2 内容とその取扱い 3 展開事例 【グループワーク】 よりよい学級を目指して、問題点を協議する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp40-59,60)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学級活動の目標、並びに、目標を達成するための内容はどのように構成されているか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:創意工夫次第で、学級の生活が豊かになるような係活動を考案する。
第7回 Session 7	【講義】 特別活動(学級活動(1)学級や学校における生活づくりへの参画)の指導実践 1 指導の実際 2 事前一本時一事後の流れ 3 学習指導案(例) 【グループワーク】 学級集会活動の議題について、学級目標や提案理由に基づいた話合いに取り組む。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp38,46-67,68-75)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:よりよい学級や学校づくりに向けて、学級活動(1)の話合い活動を充実させるための留意点。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:事例について、学級のみなが楽しめる学級集会活動の在り方を検討する。
第8回 Session 8	【講義】 特別活動(生徒会活動)の目標と内容 1 目標と教育的意義 2 内容とその取扱い 3 展開事例 【グループワーク】 校則について、生徒会活動の視点で考察する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp78-102)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:生徒会活動の目標 並びに、目標を達成するための内容はどのように構成されているか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:ある高校の生徒会活動の事例について、社会参画の視点で考察する。
第9回 Session 9	【講義】 特別活動(学校行事)の目標と内容① 1 目標と教育的意義 2 内容とその取扱い (1)儀式的行事 (2)文化的行事 【グループワーク】 儀式的行事「入学式」に関して報道された記事について意見を交換する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp128-139)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校行事の目標、並びに、それを達成するための儀式的行事、文化的行事の内容構成。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:学校行事に関する課題と、それを克服する手立てについて考察する。
第10回 Session 10	【講義】 特別活動(学校行事)の目標と内容② 1 内容とその取扱い (3)健康安全・体育的行事 (4)旅行・集団宿泊的行事 (5)勤労生産・奉仕的行事 2 取扱い上の留意点 【グループワーク】 遠足を実施する想定で、事前に下見する時のポイントを考え合う。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp128-139)を再度読んで授業に備えること。 「予習の視点」:健康安全・体育的行事、旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事のねらいと内容構成。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:学校行事の在り方と、生徒の自主的・実践的な態度の育成との兼ね合いを事例で検討する。
第11回 Session 11	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間と他の教育活動との関連、ならびに指導計画 1 他の教育活動との関連 2 全体計画 3 年間指導計画 【グループワーク】 学校行事の年間計画を協議して作成する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp147-148,206-207,62-67,83-91,132-135,176-180,184-189)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校教育目標達成に向けて、特活・総合と他の教育活動との関連、及び、指導計画作成の要点。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:学校行事の精選のポイントは、教育的意義や価値の有無にあることを事例を通して考察する。
第12回 Session 12	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の評価 1 学力のとらえ方 2 特別活動および総合的な学習(探究)の時間で育つ力 3 評価の実際 【演習】 提供された素材について、個人内絶対評価で評価する演習に取り組む。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp150-157,242-246,191)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:評価のもつ意味と、特活・総合にふさわしい評価のあり方。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:よいところを積極的に認め合う相互評価の教育的な価値を考察する。
第13回 Session 13	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間をめぐる諸問題 1 教育的意義の理解 2 学校力・教師力 3 活動時間の確保	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp144-146,149-150,207-211,240-241)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:特活・総合の教育的意義の理解を深めるためにはどのような取組が求められるか。 【授業後の復習】(2時間)

		配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」: 特活(学校行事)あるいは総合の時間に実施されている自然体験学習の教育的なねらいを考察する。
第14回 Session 14	【講義】 これからの学校教育と特別活動および総合的な学習(探究)の時間 1 新学習指導要領の趣旨 2 特別活動の課題と展望 3 総合的な学習(探究)の時間の課題と展望 4 キーワードでの振り返り・まとめ	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp16-19,22,30-31,37,159,248)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」: 新学習指導要領から読み取れる特活と総合の課題と展望。 【授業後の復習】(2時間) 特活および総合に関する知識・理解を確かなものにして、それぞれの指導法を確立する。 「復習の課題」: 全授業を振り返って、特活・総合の理論と方法について学修したことをまとめる。

授業計画 Overview for each class	【課題に対するフィードバック方法】 ① 対面授業時に限るが、グループ協議での提出物については、直接コメント記入したり朱を入れたりしたものを、次の授業回で返却する。同時に、口頭でも説明する。 ② 個別が提出する課題については、全体の講評を次の授業回で口頭で伝えるか、文章で記述した解説を配布する。 ③ 平常リポートについては、提出締切り後の数週間以内に、全体の講評をLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名: 中園大三郎・松田修・中尾豊喜編著 タイトル: 特別活動と総合的な学習・探究の理論と指導 発行所: 学術研究出版 出版年: 2020 ISBN: 978-4-910415-05-5
参考書/Reference books	著者名: 文部科学省 タイトル: 中学校学習指導要領(平成29年告示) 発行所: 東山書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-8278-1558-0 著者名: 文部科学省 タイトル: 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編 発行所: 東山書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-8278-1562-7 著者名: 文部科学省 タイトル: 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編 発行所: 東山書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-8278-1561-0 著者名: 文部科学省 タイトル: 高等学校学習指導要領(平成30年告示) 発行所: 東山書房 出版年: 2019 ISBN: 978-4-8278-1567-2 著者名: 文部科学省 タイトル: 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 特別活動編 発行所: 東京書籍 出版年: 2019 ISBN: 978-4-4872-8635-5 著者名: 文部科学省 タイトル: 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編 発行所: 学校図書 出版年: 2019 ISBN: 978-4-7625-0536-2 著者名: 赤坂雅裕・佐藤光友編著 タイトル: やさしく学ぶ特別活動 発行所: ミネルヴァ書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-623-08282-7 著者名: 国立教育政策研究所 タイトル: 学級・学校文化を創造する特別活動 中学校編 発行所: 東京書籍 出版年: 2016 ISBN: 978-4-487-80961-5
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	全学統一様式による調査として実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート/Individual reports(04)	50%	
	その他/Others(99)	50%	授業時の参加態度(20%)、課題等の提出物(30%)
	備考 Note 公欠を除く出席すべき授業回数の3分の1を超えて欠席している者は、原則として評価対象外とする。(遅刻・中抜け・早退等は、3回で欠席1回とみなす。) 正当な理由のない欠席・遅刻・中抜け・早退、授業中のスマホいじり、内職(本授業以外の作業)等は、減点の対象となる。 【オンライン受講許可学生対象】毎回の授業で提示する課題について、授業日を含めた3日以内の回答をもって出席認定とする。課題回答の不提出は欠席となり、減点の対象となる。平常リポートの課題と要項は、提出期限の約1か月前に提示する。添付する用紙を用いてLUNAで提出すること。		
備考 Note	本講義では、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の理論と指導法について、概論(第1回)→総論(第2～3回)→各論(第4～10回)→細論(第11～13回)→結論・まとめ(第14回)で展開し、それぞれの理解を図ったうえで、最後にリポートの提出を課す。 毎授業の授業外学習欄に、【授業前の予習】「予習の視点」と、【授業後の復習】「復習の課題」とを提示しているので、授業外の学習に努めること。課題回答にあたっては、添付している課題回答用紙を用いて、授業日を含めた3日以内にLUNAで提出すること。		
更新日時/Date of Update	2022年02月09日 18時26分12秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期/Fall	月曜4時限	秋学期/Fall	B-302

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48054004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別活動論 4／Principles of Special Activities		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	久保田 真功(KUBOTA MAKOTO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 4(教職(専門))/特別活動論 4(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職志望の学生が、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義や内容等に加え、特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連、特別活動および総合的な学習(探究)の時間を効果的に実施する上での学級経営の重要性について理解するとともに、指導上のポイントや留意点を理解することにある。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students who aim to be teachers to understand the significance of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, the relation between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, the significance for class management, and the points to undertake in the teaching of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies.		
到達目標/Learning Goals	本授業の到達目標は、以下の通りである。 1. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義(目標や内容を含む)の理解 2. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の教育課程上の位置づけに対する理解 3. 特別活動と総合的な学習(探究)の時間との共通点および相違点の理解 4. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連の理解 5. 学級経営の重要性についての理解 6. 特別活動と総合的な学習(探究)の時間の指導上のポイントや留意点の理解		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of 1. the significance of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 2. the positioning of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies in a course of study, 3. the common features and different features between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 4. the relation between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 5. the significance for class management, 6. the points to undertake in the teaching of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies.		
授業方法 Course Format	授業は講義形式で行う。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(授業の概要や評価方法等に関する説明)	
第2回 Session 2	特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義	
第3回 Session 3	特別活動および総合的な学習(探究)の時間の教育課程上の位置づけ	
第4回 Session 4	特別活動と総合的な学習(探究)の時間との共通点および相違点	
第5回 Session 5	特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連	
第6回 Session 6	学級活動(ホームルーム活動)の目標と内容	
第7回 Session 7	学級活動(ホームルーム活動)の実践事例	
第8回 Session 8	生徒会活動および学校行事の目標と内容	
第9回 Session 9	生徒会活動および学校行事の実践事例	
第10回 Session 10	総合的な学習(探究)の時間の指導計画の作成	
第11回 Session 11	総合的な学習(探究)の時間の指導と評価	
第12回 Session 12	総合的な学習(探究)の時間の実践事例	
第13回 Session 13	学級経営の重要性	
第14回 Session 14	学級経営の三領域(「必然的領域」「計画的領域」「偶発的領域」)	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	授業に臨む際には、授業計画を参考にし、授業で扱うテーマについて前もって学習しておくこと。

教科書 Required texts	資料は「LUNA」にアップしておくので、授業に臨む際に事前に印刷をしておくこと。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 特別活動編 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 特別活動編 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター タイトル:学級・学校文化を創る特別活動 中学校編 発行所:東京書籍 出版年:2016 ISBN: 著者名:白松賢 タイトル:学級経営の教科書 発行所:東洋館出版 出版年:2017 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	授業時に適宜指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業時に実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	60%	
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	
更新日時/Date of Update	2022年02月28日 12時31分13秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜2時限	秋学期／Fall	B－304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48054005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別活動論 5/Principles of Special Activities		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	久保田 真功(KUBOTA MAKOTO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 5(教職(専門))/特別活動論 5(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職志望の学生が、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義や内容等に加え、特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連、特別活動および総合的な学習(探究)の時間を効果的に実施する上での学級経営の重要性について理解するとともに、指導上のポイントや留意点を理解することにある。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students who aim to be teachers to understand the significance of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, the relation between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, the significance for class management, and the points to undertake in the teaching of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies.		
到達目標/Learning Goals	本授業の到達目標は、以下の通りである。 1. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義(目標や内容を含む)の理解 2. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の教育課程上の位置づけに対する理解 3. 特別活動と総合的な学習(探究)の時間との共通点および相違点の理解 4. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連の理解 5. 学級経営の重要性についての理解 6. 特別活動と総合的な学習(探究)の時間の指導上のポイントや留意点の理解		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of 1. the significance of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 2. the positioning of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies in a course of study, 3. the common features and different features between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 4. the relation between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 5. the significance for class management, 6. the points to undertake in the teaching of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies.		
授業方法 Course Format	授業は講義形式で行う。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(授業の概要や評価方法等に関する説明)	
第2回 Session 2	特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義	
第3回 Session 3	特別活動および総合的な学習(探究)の時間の教育課程上の位置づけ	
第4回 Session 4	特別活動と総合的な学習(探究)の時間との共通点および相違点	
第5回 Session 5	特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連	
第6回 Session 6	学級活動(ホームルーム活動)の目標と内容	
第7回 Session 7	学級活動(ホームルーム活動)の実践事例	
第8回 Session 8	生徒会活動および学校行事の目標と内容	
第9回 Session 9	生徒会活動および学校行事の実践事例	
第10回 Session 10	総合的な学習(探究)の時間の指導計画の作成	
第11回 Session 11	総合的な学習(探究)の時間の指導と評価	
第12回 Session 12	総合的な学習(探究)の時間の実践事例	
第13回 Session 13	学級経営の重要性	
第14回 Session 14	学級経営の三領域(「必然的領域」「計画的領域」「偶発的領域」)	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	授業に臨む際には、授業計画を参考にし、授業で取り扱うテーマについて前もって学習しておくこと。

教科書 Required texts	資料は「LUNA」にアップしておくので、授業に臨む際に事前に印刷しておくこと。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 特別活動編 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 特別活動編 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター タイトル:学級・学校文化を創る特別活動 中学校編 発行所:東京書籍 出版年:2016 ISBN: 著者名:白松賢 タイトル:学級経営の教科書 発行所:東洋館出版 出版年:2017 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	授業時に適宜指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業時に実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	60%	
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	
更新日時/Date of Update	2022年02月28日 12時31分39秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	月曜3時限	春学期／Spring	III－325

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48054301	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 1／Methods of Special Activities and Integrated Studies		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	天野 義美(AMANO YOSHIMI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 1(教職(専門))/特別活動論 1(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の特質や意義、内容、指導方法について考察することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to consider the characteristic significance, contents, and instruction methods of Special Activities and Integrated Studies.		
到達目標/Learning Goals	下記の事項について修得することを目標とする。 1 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の目標、意義、内容を把握することができる。 2 教育の今日的課題解決に向けて、特別活動および総合的な学習(探究)の時間が果たすべき役割を理解することができる。 3 主体的な学びを通して、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の指導方法や実践方法についての考えを確立することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1 understand the aim, significance, and contents of Special Activities and Integrated Studies. 2 understand the role of Special Activities and Integrated Studies in solving contemporary problems in education. 3 establish, through active learning, ideas about instruction and practice methods for Special Activities and Integrated Studies.		
授業の概要・背景 Course Outline	特別活動や総合的な学習(探究)の時間は、教育課程に位置付く教育活動であることが学校教育法施行規則で法的に定められている。すなわち、学校現場では所有する教員免許状の教科如何にかかわらず、全教職員が特別活動および総合的な学習(探究)の時間の指導に取り組まなければならない。従って、教職課程の授業で、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の理論と方法を学ぶ必要がある。本講義では、「児童生徒の人間形成や生きる力の育成の基本となる教育活動は、特別活動および総合的な学習(探究)の時間である」という視点で、特別活動や総合的な学習(探究)の時間の大切さ、素晴らしさについて共に追究する。		
授業方法 Course Format	各回の授業の予習として、教科書の関連ページを前もって指定する。授業ではそれらを要約した内容、詳細を加えた説明、異なる切口からの解説などで展開する。教育実践での事例紹介や、映像画像などを適宜織り交ぜて、履修生の理解の促進を図る。 なお、授業計画欄にあるグループワークは、対面授業時での導入を予定しているが、コロナの感染状況を鑑みて判断する。 【オンライン受講許可学生対象】オンデマンドA型オンライン授業で実施する。全授業回とも授業時間に合わせて、PPTのスライド、音声入り動画(OneDriveに保存)、復習用補助説明等をLUNAの「教材・課題・テスト」欄に提供する。		
関連科目/Related Courses	特に無し		
検索キーワード/Keywords	学級活動(ホームルーム活動) 生徒会活動 学校行事 人間関係形成 社会参画 自己実現 探究的な学習過程 考えるための技法		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【講義】 授業の概要 1 特別活動とは何か 2 総合的な学習(探究)の時間とは何か 3 学校教育での位置付け 【グループワーク】 本講義を通しての学習グループを編成する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp10-15,24,162)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校教育における特別活動(以下 特活)及び総合的な学習・探究の時間(以下 総合)とは、どのような教育活動なのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:大学の教職課程の授業科目に「特活・総合の指導法」の学修が必修とされているのは何故か。
第2回 Session 2	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の特質 1 子どもの現状と課題 2 特別活動の特質 3 総合的な学習(探究)の時間の特質 【グループワーク】 学級目標を話し合って作成する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp14-19,32-35,104,197-202)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:教育の今日的課題の解決に向けて、特活及び総合が果たす役割とは何か？ 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:今、子ども達に育む力として、特活や総合に求められているものは何か、教育的な役割を考察する。
第3回 Session 3	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の目標、意義、内容 1 それぞれの目標と教育的意義 2 それぞれの内容とその取扱い 3 校種間の関連と授業時数 【グループワーク】 職場体験について、経験してきたことを基に振り返る。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp24-29,162-172)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校教育における特活及び総合の目標、意義、内容にはどのようなものがあるのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:特活と総合との違いについて、生徒や保護者

		の理解を得るために、どのように説明するか。
第4回 Session 4	【講義】 総合的な学習(探究)の時間の学習指導 1 探究的な学習過程 2 協働的な学習 3 「考えるための技法」 【グループワーク】 中高時代に体験した総合の学びについて情報を交換する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp194-202)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:探究的な学習過程を基にした総合の学習展開とはどのようなものなのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:探究的な学習過程に沿った事例に準じて、ワークシート(課題設定シート)を作成する。
第5回 Session 5	【講義】 総合的な学習(探究)の時間の指導実践 1 課題の設定 2 情報の収集 3 整理・分析 4 まとめ・表現 【グループワーク】 探究的な学習過程に沿って、事例を検討する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp214-235)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:探究的な学習過程に沿った総合の事例には、どのようなものが考えられるのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:紹介された総合の2事例について、探究的な学習過程で展開されていることを確認する。
第6回 Session 6	【講義】 特別活動(学級活動・ホームルーム活動)の目標と内容 1 目標と教育的意義 2 内容とその取扱い 3 展開事例 【グループワーク】 よりよい学級を目指して、問題点を協議する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp40-59,60)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学級活動の目標、並びに、目標を達成するための内容はどのように構成されているか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:創意工夫次第で、学級の生活が豊かになるような係活動を考案する。
第7回 Session 7	【講義】 特別活動(学級活動(1)学級や学校における生活づくりへの参画)の指導実践 1 指導の実際 2 事前一本時一事後の流れ 3 学習指導案(例) 【グループワーク】 学級集会活動の議題について、学級目標や提案理由に基づいた話合いに取り組む。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp38,46-67,68-75)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:よりよい学級や学校づくりに向けて、学級活動(1)の話合い活動を充実させるための留意点。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:事例について、学級のみなが楽しめる学級集会活動の在り方を検討する。
第8回 Session 8	【講義】 特別活動(生徒会活動)の目標と内容 1 目標と教育的意義 2 内容とその取扱い 3 展開事例 【グループワーク】 校則について、生徒会活動の視点で考察する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp78-102)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:生徒会活動の目標 並びに、目標を達成するための内容はどのように構成されているか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:ある高校の生徒会活動の事例について、社会参画の視点で考察する。
第9回 Session 9	【講義】 特別活動(学校行事)の目標と内容① 1 目標と教育的意義 2 内容とその取扱い (1)儀式的行事 (2)文化的行事 【グループワーク】 儀式的行事「入学式」に関して報道された記事について意見を交換する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp128-139)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校行事の目標、並びに、それを達成するための儀式的行事、文化的行事の内容構成。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:学校行事に関する課題と、それを克服する手立てについて考察する。
第10回 Session 10	【講義】 特別活動(学校行事)の目標と内容② 1 内容とその取扱い (3)健康安全・体育的行事 (4)旅行・集団宿泊的行事 (5)勤労生産・奉仕的行事 2 取扱い上の留意点 【グループワーク】 遠足を実施する想定で、事前に下見する時のポイントを考え合う。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp128-139)を再度読んで授業に備えること。 「予習の視点」:健康安全・体育的行事、旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事のねらいと内容構成。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:学校行事の在り方と、生徒の自主的・実践的な態度の育成との兼ね合いを事例で検討する。
第11回 Session 11	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間と他の教育活動との関連、ならびに指導計画 1 他の教育活動との関連 2 全体計画 3 年間指導計画 【グループワーク】 学校行事の年間計画を協議して作成する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書 (pp147-148,206-207,62-67,83-91,132-135,176-180,184-189)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校教育目標達成に向けて、特活・総合と他の教育活動との関連、及び、指導計画作成の要点。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:学校行事の精選のポイントは、教育的意義や価値の有無にあることを事例を通して考察する。
第12回 Session 12	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の評価 1 学力のとらえ方 2 特別活動および総合的な学習(探究)の時間で育つ力 3 評価の実際 【演習】 提供された素材について、個人内絶対評価で評価する演習に取り組む。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp150-157,242-246,191)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:評価のもつ意味と、特活・総合にふさわしい評価のあり方。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:よいところを積極的に認め合う相互評価の教育的な価値を考察する。
第13回 Session 13	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間をめぐる諸問題 1 教育的意義の理解 2 学校力・教師力 3 活動時間の確保	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp144-146,149-150,207-211,240-241)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:特活・総合の教育的意義の理解を深めるためにはどのような取組が求められるか。 【授業後の復習】(2時間)

		配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」: 特活(学校行事)あるいは総合の時間に実施されている自然体験学習の教育的なねらいを考察する。
第14回 Session 14	【講義】 これからの学校教育と特別活動および総合的な学習(探究)の時間 1 新学習指導要領の趣旨 2 特別活動の課題と展望 3 総合的な学習(探究)の時間の課題と展望 4 キーワードでの振り返り・まとめ	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp16-19,22,30-31,37,159,248)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」: 新学習指導要領から読み取れる特活と総合の課題と展望。 【授業後の復習】(2時間) 特活および総合に関する知識・理解を確かなものにして、それぞれの指導法を確立する。 「復習の課題」: 全授業を振り返って、特活・総合の理論と方法について学修したことをまとめる。

授業計画 Overview for each class	【課題に対するフィードバック方法】 ① 対面授業時に限るが、グループ協議での提出物については、直接コメント記入したり朱を入れたりしたものを、次の授業回で返却する。同時に、口頭でも説明する。 ② 個別が提出する課題については、全体の講評を次の授業回で口頭で伝えるか、文章で記述した解説を配布する。 ③ 平常リポートについては、提出締切り後の数週間以内に、全体の講評をLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名: 中園大三郎・松田修・中尾豊喜編著 タイトル: 特別活動と総合的な学習・探究の理論と指導 発行所: 学術研究出版 出版年: 2020 ISBN: 978-4-910415-05-5
参考書/Reference books	著者名: 文部科学省 タイトル: 中学校学習指導要領(平成29年告示) 発行所: 東山書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-8278-1558-0 著者名: 文部科学省 タイトル: 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編 発行所: 東山書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-8278-1562-7 著者名: 文部科学省 タイトル: 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編 発行所: 東山書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-8278-1561-0 著者名: 文部科学省 タイトル: 高等学校学習指導要領(平成30年告示) 発行所: 東山書房 出版年: 2019 ISBN: 978-4-8278-1567-2 著者名: 文部科学省 タイトル: 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 特別活動編 発行所: 東京書籍 出版年: 2019 ISBN: 978-4-4872-8635-5 著者名: 文部科学省 タイトル: 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編 発行所: 学校図書 出版年: 2019 ISBN: 978-4-7625-0536-2 著者名: 赤坂雅裕・佐藤光友編著 タイトル: やさしく学ぶ特別活動 発行所: ミネルヴァ書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-623-08282-7 著者名: 国立教育政策研究所 タイトル: 学級・学校文化を創造する特別活動 中学校編 発行所: 東京書籍 出版年: 2016 ISBN: 978-4-487-80961-5
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	全学統一様式による調査として実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート/Individual reports(04)	50%	
	その他/Others(99)	50%	授業時の参加態度(20%)、課題等の提出物(30%)
	備考 Note 公欠を除く出席すべき授業回数の3分の1を超えて欠席している者は、原則として評価対象外とする。(遅刻・中抜け・早退等は、3回で欠席1回とみなす。) 正当な理由のない欠席・遅刻・中抜け・早退、授業中のスマホいじり、内職(本授業以外の作業)等は、減点の対象となる。 【オンライン受講許可学生対象】毎回の授業で提示する課題について、授業日を含めた3日以内の回答をもって出席認定とする。課題回答の不提出は欠席となり、減点の対象となる。平常リポートの課題と要項は、提出期限の約1か月前に提示する。添付する用紙を用いてLUNAで提出すること。		
備考 Note	本講義では、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の理論と指導法について、概論(第1回)→総論(第2～3回)→各論(第4～10回)→細論(第11～13回)→結論・まとめ(第14回)で展開し、それぞれの理解を図ったうえで、最後にリポートの提出を課す。 毎授業の授業外学習欄に、【授業前の予習】「予習の視点」と、【授業後の復習】「復習の課題」とを提示しているので、授業外の学習に努めること。課題回答にあたっては、添付している課題回答用紙を用いて、授業日を含めた3日以内にLUNAで提出すること。		
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 16時18分56秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期/Spring	月曜4時限	春学期/Spring	B-202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48054302	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 2／Methods of Special Activities and Integrated Studies		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	久保田 真功(KUBOTA MAKOTO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 2(教職(専門))/特別活動論 2(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職志望の学生が、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義や内容等に加え、特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連、特別活動および総合的な学習(探究)の時間を効果的に実施する上での学級経営の重要性について理解するとともに、指導上のポイントや留意点を理解することにある。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students who aim to be teachers to understand the significance of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, the relation between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, the significance for class management, and the points to undertake in the teaching of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies.		
到達目標/Learning Goals	本授業の到達目標は、以下の通りである。 1. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義(目標や内容を含む)の理解 2. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の教育課程上の位置づけに対する理解 3. 特別活動と総合的な学習(探究)の時間との共通点および相違点の理解 4. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連の理解 5. 学級経営の重要性についての理解 6. 特別活動と総合的な学習(探究)の時間の指導上のポイントや留意点の理解		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of 1. the significance of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 2. the positioning of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies in a course of study, 3. the common features and different features between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 4. the relation between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 5. the significance for class management, 6. the points to undertake in the teaching of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies.		
授業方法 Course Format	授業は講義形式で行う。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(授業の概要や評価方法等に関する説明)	
第2回 Session 2	特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義	
第3回 Session 3	特別活動および総合的な学習(探究)の時間の教育課程上の位置づけ	
第4回 Session 4	特別活動と総合的な学習(探究)の時間との共通点および相違点	
第5回 Session 5	特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連	
第6回 Session 6	学級活動(ホームルーム活動)の目標と内容	
第7回 Session 7	学級活動(ホームルーム活動)の実践事例	
第8回 Session 8	生徒会活動および学校行事の目標と内容	
第9回 Session 9	生徒会活動および学校行事の実践事例	
第10回 Session 10	総合的な学習(探究)の時間の指導計画の作成	
第11回 Session 11	総合的な学習(探究)の時間の指導と評価	
第12回 Session 12	総合的な学習(探究)の時間の実践事例	
第13回 Session 13	学級経営の重要性	
第14回 Session 14	学級経営の三領域(「必然的領域」「計画的領域」「偶発的領域」)	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	授業に臨む際には、授業計画を参考にし、授業で扱うテーマについて前もって学習しておくこと。

教科書 Required texts	資料は「LUNA」にアップしておくので、授業に臨む際に事前に印刷しておくこと。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 特別活動編 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 特別活動編 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター タイトル:学級・学校文化を創る特別活動 中学校編 発行所:東京書籍 出版年:2016 ISBN: 著者名:白松賢 タイトル:学級経営の教科書 発行所:東洋館出版 出版年:2017 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	授業時に適宜指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業時に実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	60%	
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	
更新日時/Date of Update	2022年02月28日 12時30分34秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜1時限	春学期／Spring	B－304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48054303	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 3／Methods of Special Activities and Integrated Studies		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	天野 義美(AMANO YOSHIMI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 3(教職(専門))/特別活動論 3(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の特質や意義、内容、指導方法について考察することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to consider the characteristic significance, contents, and instruction methods of Special Activities and Integrated Studies.		
到達目標/Learning Goals	下記の事項について修得することを目標とする。 1 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の目標、意義、内容を把握することができる。 2 教育の今日的課題解決に向けて、特別活動および総合的な学習(探究)の時間が果たすべき役割を理解することができる。 3 主体的な学びを通して、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の指導方法や実践方法についての考えを確立することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1 understand the aim, significance, and contents of Special Activities and Integrated Studies. 2 understand the role of Special Activities and Integrated Studies in solving contemporary problems in education. 3 establish, through active learning, ideas about instruction and practice methods for Special Activities and Integrated Studies.		
授業の概要・背景 Course Outline	特別活動や総合的な学習(探究)の時間は、教育課程に位置付く教育活動であることが学校教育法施行規則で法的に定められている。すなわち、学校現場では所有する教員免許状の教科如何にかかわらず、全教職員が特別活動および総合的な学習(探究)の時間の指導に取り組まなければならない。従って、教職課程の授業で、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の理論と方法を学ぶ必要がある。本講義では、「児童生徒の人間形成や生きる力の育成の基本となる教育活動は、特別活動および総合的な学習(探究)の時間である」という視点で、特別活動や総合的な学習(探究)の時間の大切さ、素晴らしさについて共に追究する。		
授業方法 Course Format	各回の授業の予習として、教科書の関連ページを前もって指定する。授業ではそれらを要約した内容、詳細を加えた説明、異なる切口からの解説などで展開する。教育実践での事例紹介や、映像画像などを適宜織り交ぜて、履修生の理解の促進を図る。 なお、授業計画欄にあるグループワークは、対面授業時での導入を予定しているが、コロナの感染状況を鑑みて判断する。 【オンライン受講許可学生対象】オンデマンドA型オンライン授業で実施する。全授業回とも授業時間に合わせて、PPTのスライド、音声入り動画(OneDriveに保存)、復習用補助説明等をLUNAの「教材・課題・テスト」欄に提供する。		
関連科目/Related Courses	特に無し		
検索キーワード/Keywords	学級活動(ホームルーム活動) 生徒会活動 学校行事 人間関係形成 社会参画 自己実現 探究的な学習過程 考えるための技法		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【講義】 授業の概要 1 特別活動とは何か 2 総合的な学習(探究)の時間とは何か 3 学校教育での位置付け 【グループワーク】 本講義を通しての学習グループを編成する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp10-15,24,162)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校教育における特別活動(以下 特活)及び総合的な学習・探究の時間(以下 総合)とは、どのような教育活動なのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:大学の教職課程の授業科目に「特活・総合の指導法」の学修が必修とされているのは何故か。
第2回 Session 2	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の特質 1 子どもの現状と課題 2 特別活動の特質 3 総合的な学習(探究)の時間の特質 【グループワーク】 学級目標を話し合って作成する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp14-19,32-35,104,197-202)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:教育の今日的課題の解決に向けて、特活及び総合が果たす役割とは何か？ 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:今、子ども達に育む力として、特活や総合に求められているものは何か、教育的な役割を考察する。
第3回 Session 3	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の目標、意義、内容 1 それぞれの目標と教育的意義 2 それぞれの内容とその取扱い 3 校種間の関連と授業時数 【グループワーク】 職場体験について、経験してきたことを基に振り返る。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp24-29,162-172)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校教育における特活及び総合の目標、意義、内容にはどのようなものがあるのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:特活と総合との違いについて、生徒や保護者

		の理解を得るために、どのように説明するか。
第4回 Session 4	【講義】 総合的な学習(探究)の時間の学習指導 1 探究的な学習過程 2 協働的な学習 3 「考えるための技法」 【グループワーク】 中高時代に体験した総合の学びについて情報を交換する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp194-202)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:探究的な学習過程を基にした総合の学習展開とはどのようなものなのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:探究的な学習過程に沿った事例に準じて、ワークシート(課題設定シート)を作成する。
第5回 Session 5	【講義】 総合的な学習(探究)の時間の指導実践 1 課題の設定 2 情報の収集 3 整理・分析 4 まとめ・表現 【グループワーク】 探究的な学習過程に沿って、事例を検討する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp214-235)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:探究的な学習過程に沿った総合の事例には、どのようなものが考えられるのか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:紹介された総合の2事例について、探究的な学習過程で展開されていることを確認する。
第6回 Session 6	【講義】 特別活動(学級活動・ホームルーム活動)の目標と内容 1 目標と教育的意義 2 内容とその取扱い 3 展開事例 【グループワーク】 よりよい学級を目指して、問題点を協議する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp40-59,60)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学級活動の目標、並びに、目標を達成するための内容はどのように構成されているか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:創意工夫次第で、学級の生活が豊かになるような係活動を考案する。
第7回 Session 7	【講義】 特別活動(学級活動(1)学級や学校における生活づくりへの参画)の指導実践 1 指導の実際 2 事前一本時一事後の流れ 3 学習指導案(例) 【グループワーク】 学級集会活動の議題について、学級目標や提案理由に基づいた話合いに取り組む。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp38,46-67,68-75)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:よりよい学級や学校づくりに向けて、学級活動(1)の話合い活動を充実させるための留意点。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:事例について、学級のみなが楽しめる学級集会活動の在り方を検討する。
第8回 Session 8	【講義】 特別活動(生徒会活動)の目標と内容 1 目標と教育的意義 2 内容とその取扱い 3 展開事例 【グループワーク】 校則について、生徒会活動の視点で考察する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp78-102)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:生徒会活動の目標 並びに、目標を達成するための内容はどのように構成されているか。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:ある高校の生徒会活動の事例について、社会参画の視点で考察する。
第9回 Session 9	【講義】 特別活動(学校行事)の目標と内容① 1 目標と教育的意義 2 内容とその取扱い (1)儀式的行事 (2)文化的行事 【グループワーク】 儀式的行事「入学式」に関して報道された記事について意見を交換する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp128-139)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校行事の目標、並びに、それを達成するための儀式的行事、文化的行事の内容構成。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:学校行事に関する課題と、それを克服する手立てについて考察する。
第10回 Session 10	【講義】 特別活動(学校行事)の目標と内容② 1 内容とその取扱い (3)健康安全・体育的行事 (4)旅行・集団宿泊的行事 (5)勤労生産・奉仕的行事 2 取扱い上の留意点 【グループワーク】 遠足を実施する想定で、事前に下見する時のポイントを考え合う。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp128-139)を再度読んで授業に備えること。 「予習の視点」:健康安全・体育的行事、旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事のねらいと内容構成。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:学校行事の在り方と、生徒の自主的・実践的な態度の育成との兼ね合いを事例で検討する。
第11回 Session 11	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間と他の教育活動との関連、ならびに指導計画 1 他の教育活動との関連 2 全体計画 3 年間指導計画 【グループワーク】 学校行事の年間計画を協議して作成する。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp147-148,206-207,62-67,83-91,132-135,176-180,184-189)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:学校教育目標達成に向けて、特活・総合と他の教育活動との関連、及び、指導計画作成の要点。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:学校行事の精選のポイントは、教育的意義や価値の有無にあることを事例を通して考察する。
第12回 Session 12	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の評価 1 学力のとらえ方 2 特別活動および総合的な学習(探究)の時間で育つ力 3 評価の実際 【演習】 提供された素材について、個人内絶対評価で評価する演習に取り組む。	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp150-157,242-246,191)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:評価のもつ意味と、特活・総合にふさわしい評価のあり方。 【授業後の復習】(2時間) 配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」:よいところを積極的に認め合う相互評価の教育的な価値を考察する。
第13回 Session 13	【講義】 特別活動および総合的な学習(探究)の時間をめぐる諸問題 1 教育的意義の理解 2 学校力・教師力 3 活動時間の確保	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp144-146,149-150,207-211,240-241)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」:特活・総合の教育的意義の理解を深めるためにはどのような取組が求められるか。 【授業後の復習】(2時間)

		配布したPowerPointのスライドと、復習用補助説明とを見比べて学修内容の定着を図ること。 「復習の課題」: 特活(学校行事)あるいは総合の時間に実施されている自然体験学習の教育的なねらいを考察する。
第14回 Session 14	【講義】 これからの学校教育と特別活動および総合的な学習(探究)の時間 1 新学習指導要領の趣旨 2 特別活動の課題と展望 3 総合的な学習(探究)の時間の課題と展望 4 キーワードでの振り返り・まとめ	【授業前の予習】(2時間) 教科書(pp16-19,22,30-31,37,159,248)を読んで授業に備えること。 「予習の視点」: 新学習指導要領から読み取れる特活と総合の課題と展望。 【授業後の復習】(2時間) 特活および総合に関する知識・理解を確かなものにして、それぞれの指導法を確立する。 「復習の課題」: 全授業を振り返って、特活・総合の理論と方法について学修したことをまとめる。

授業計画 Overview for each class	【課題に対するフィードバック方法】 ① 対面授業時に限るが、グループ協議での提出物については、直接コメント記入したり朱を入れたりしたものを、次の授業回で返却する。同時に、口頭でも説明する。 ② 個別が提出する課題については、全体の講評を次の授業回で口頭で伝えるか、文章で記述した解説を配布する。 ③ 平常リポートについては、提出締切り後の数週間以内に、全体の講評をLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名: 中園大三郎・松田修・中尾豊喜編著 タイトル: 特別活動と総合的な学習・探究の理論と指導 発行所: 学術研究出版 出版年: 2020 ISBN: 978-4-910415-05-5
参考書/Reference books	著者名: 文部科学省 タイトル: 中学校学習指導要領(平成29年告示) 発行所: 東山書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-8278-1558-0 著者名: 文部科学省 タイトル: 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編 発行所: 東山書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-8278-1562-7 著者名: 文部科学省 タイトル: 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編 発行所: 東山書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-8278-1561-0 著者名: 文部科学省 タイトル: 高等学校学習指導要領(平成30年告示) 発行所: 東山書房 出版年: 2019 ISBN: 978-4-8278-1567-2 著者名: 文部科学省 タイトル: 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 特別活動編 発行所: 東京書籍 出版年: 2019 ISBN: 978-4-4872-8635-5 著者名: 文部科学省 タイトル: 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編 発行所: 学校図書 出版年: 2019 ISBN: 978-4-7625-0536-2 著者名: 赤坂雅裕・佐藤光友編著 タイトル: やさしく学ぶ特別活動 発行所: ミネルヴァ書房 出版年: 2018 ISBN: 978-4-623-08282-7 著者名: 国立教育政策研究所 タイトル: 学級・学校文化を創造する特別活動 中学校編 発行所: 東京書籍 出版年: 2016 ISBN: 978-4-487-80961-5
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	全学統一様式による調査として実施
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート/Individual reports(04)	50%	
	その他/Others(99)	50%	授業時の参加態度(20%)、課題等の提出物(30%)
	備考 Note 公欠を除く出席すべき授業回数の3分の1を超えて欠席している者は、原則として評価対象外とする。(遅刻・中抜け・早退等は、3回で欠席1回とみなす。) 正当な理由のない欠席・遅刻・中抜け・早退、授業中のスマホいじり、内職(本授業以外の作業)等は、減点の対象となる。 【オンライン受講許可学生対象】毎回の授業で提示する課題について、授業日を含めた3日以内の回答をもって出席認定とする。課題回答の不提出は欠席となり、減点の対象となる。平常リポートの課題と要項は、提出期限の約1か月前に提示する。添付する用紙を用いてLUNAで提出すること。		
備考 Note	本講義では、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の理論と指導法について、概論(第1回)→総論(第2～3回)→各論(第4～10回)→細論(第11～13回)→結論・まとめ(第14回)で展開し、それぞれの理解を図ったうえで、最後にリポートの提出を課す。 毎授業の授業外学習欄に、【授業前の予習】「予習の視点」と、【授業後の復習】「復習の課題」とを提示しているので、授業外の学習に努めること。課題回答にあたっては、添付している課題回答用紙を用いて、授業日を含めた3日以内にLUNAで提出すること。		
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 16時31分02秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期/Fall	月曜4時限	秋学期/Fall	B-302

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48054304	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 4／Methods of Special Activities and Integrated Studies		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	久保田 真功(KUBOTA MAKOTO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 4(教職(専門))/特別活動論 4(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職志望の学生が、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義や内容等に加え、特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連、特別活動および総合的な学習(探究)の時間を効果的に実施する上での学級経営の重要性について理解するとともに、指導上のポイントや留意点を理解することにある。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students who aim to be teachers to understand the significance of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, the relation between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, the significance for class management, and the points to undertake in the teaching of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies.		
到達目標/Learning Goals	本授業の到達目標は、以下の通りである。 1. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義(目標や内容を含む)の理解 2. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の教育課程上の位置づけに対する理解 3. 特別活動と総合的な学習(探究)の時間との共通点および相違点の理解 4. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連の理解 5. 学級経営の重要性についての理解 6. 特別活動と総合的な学習(探究)の時間の指導上のポイントや留意点の理解		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of 1. the significance of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 2. the positioning of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies in a course of study, 3. the common features and different features between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 4. the relation between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 5. the significance for class management, 6. the points to undertake in the teaching of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies.		
授業方法 Course Format	授業は講義形式で行う。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(授業の概要や評価方法等に関する説明)	
第2回 Session 2	特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義	
第3回 Session 3	特別活動および総合的な学習(探究)の時間の教育課程上の位置づけ	
第4回 Session 4	特別活動と総合的な学習(探究)の時間との共通点および相違点	
第5回 Session 5	特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連	
第6回 Session 6	学級活動(ホームルーム活動)の目標と内容	
第7回 Session 7	学級活動(ホームルーム活動)の実践事例	
第8回 Session 8	生徒会活動および学校行事の目標と内容	
第9回 Session 9	生徒会活動および学校行事の実践事例	
第10回 Session 10	総合的な学習(探究)の時間の指導計画の作成	
第11回 Session 11	総合的な学習(探究)の時間の指導と評価	
第12回 Session 12	総合的な学習(探究)の時間の実践事例	
第13回 Session 13	学級経営の重要性	
第14回 Session 14	学級経営の三領域(「必然的領域」「計画的領域」「偶発的領域」)	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	授業に臨む際には、授業計画を参考にし、授業で扱うテーマについて前もって学習しておくこと。

教科書 Required texts	資料は「LUNA」にアップしておくので、授業に臨む際に事前に印刷をしておくこと。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 特別活動編 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 特別活動編 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター タイトル:学級・学校文化を創る特別活動 中学校編 発行所:東京書籍 出版年:2016 ISBN: 著者名:白松賢 タイトル:学級経営の教科書 発行所:東洋館出版 出版年:2017 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	授業時に適宜指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業時に実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	60%	
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	
更新日時/Date of Update	2022年02月28日 12時31分13秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜2時限	秋学期／Fall	B－304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48054305	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 5/Methods of Special Activities and Integrated Studies		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	久保田 真功(KUBOTA MAKOTO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】特別活動・総合的な学習の時間の指導法 5(教職(専門))/特別活動論 5(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、教職志望の学生が、特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義や内容等に加え、特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連、特別活動および総合的な学習(探究)の時間を効果的に実施する上での学級経営の重要性について理解するとともに、指導上のポイントや留意点を理解することにある。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students who aim to be teachers to understand the significance of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, the relation between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, the significance for class management, and the points to undertake in the teaching of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies.		
到達目標/Learning Goals	本授業の到達目標は、以下の通りである。 1. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義(目標や内容を含む)の理解 2. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間の教育課程上の位置づけに対する理解 3. 特別活動と総合的な学習(探究)の時間との共通点および相違点の理解 4. 特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連の理解 5. 学級経営の重要性についての理解 6. 特別活動と総合的な学習(探究)の時間の指導上のポイントや留意点の理解		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of 1. the significance of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 2. the positioning of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies in a course of study, 3. the common features and different features between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 4. the relation between Extra-Curricular Activities and Integrated Studies, 5. the significance for class management, 6. the points to undertake in the teaching of Extra-Curricular Activities and Integrated Studies.		
授業方法 Course Format	授業は講義形式で行う。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(授業の概要や評価方法等に関する説明)	
第2回 Session 2	特別活動および総合的な学習(探究)の時間の意義	
第3回 Session 3	特別活動および総合的な学習(探究)の時間の教育課程上の位置づけ	
第4回 Session 4	特別活動と総合的な学習(探究)の時間との共通点および相違点	
第5回 Session 5	特別活動および総合的な学習(探究)の時間と各教科等との関連	
第6回 Session 6	学級活動(ホームルーム活動)の目標と内容	
第7回 Session 7	学級活動(ホームルーム活動)の実践事例	
第8回 Session 8	生徒会活動および学校行事の目標と内容	
第9回 Session 9	生徒会活動および学校行事の実践事例	
第10回 Session 10	総合的な学習(探究)の時間の指導計画の作成	
第11回 Session 11	総合的な学習(探究)の時間の指導と評価	
第12回 Session 12	総合的な学習(探究)の時間の実践事例	
第13回 Session 13	学級経営の重要性	
第14回 Session 14	学級経営の三領域(「必然的領域」「計画的領域」「偶発的領域」)	

授業計画 Overview for each class	複数回、講義の際に課題を課す。課題の内容に対する講評は次回以降の授業中に行う。
授業外学修 Study Required outside Class	授業に臨む際には、授業計画を参考にし、授業で扱うテーマについて前もって学習しておくこと。

教科書 Required texts	資料は「LUNA」にアップしておくので、授業に臨む際に事前に印刷をしておくこと。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 特別活動編 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 特別活動編 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編 発行所: 出版年:2018 ISBN: 著者名:文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター タイトル:学級・学校文化を創る特別活動 中学校編 発行所:東京書籍 出版年:2016 ISBN: 著者名:白松賢 タイトル:学級経営の教科書 発行所:東洋館出版 出版年:2017 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	授業時に適宜指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業時に実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	60%	
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	
更新日時/Date of Update	2022年02月28日 12時31分39秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	月曜3時限	春学期／Spring	III－325

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48055001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育方法基礎論 1／Basic Prncpls of Edl Meth		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	吉田 卓司(YOSHIDA TAKASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】教育方法基礎論 1(教職(専門))/教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 1(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	・教育方法論に関する基礎的理解。 ・情報通信技術(ICT)の活用を含む教育の方法、教育の技術そして評価方法の修得。 ・生徒の情報活用能力(情報リテラシーを含む)を育成するための指導方法の修得。		
授業目的(英文) Course Purpose	・Understanding about the basis of educational methods. ・The acquirement of a method of the education, a technique of the education and the evaluation method including the application of information and communication technology(ICT). ・The acquirement of the instruction method to raise the ability for information utilization (including the information literacy) of the student.		
到達目標/Learning Goals	「未来を生きる子どもたちに求められている資質・能力とは何か」に関する理解を基礎として、その資質・能力を育成するために必要な教育論と教育法を習得することが目標である。		
到達目標(英文) Learning Goals	As a bases on understanding about “what is nature, the ability demanded from children living in the future?”, the goal is to acquire the educational theories and of the learning methods necessary to bring up the nature and ability.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育の中心的な活動となる授業のあり方に関して、教育方法学の観点からさまざまな関連要因について幅広く学び、良い授業とはどのようなものかを考察する。これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するため、問題解決学習、発見学習、探究などの学習指導の様式を検討し、アクティブ・ラーニングや学びの共同体などの事例研究を通じて、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現について理解を深める。また、教育の質的向上につながる教育評価の在り方についても考察する。 さらに、学校を取り巻く情報通信技術の環境における急速な変化に対応するため、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の在り方、外部人材・外部機関との連携の在り方について考察する。各種の学習メディアの特性を生かしながら生徒の情報活用能力を高め、個別最適な学び、協働的な学び、主体的・対話的で深い学びを実現するために必要な知識・技能を身に付ける。 なお、授業は講義型を中心とするが、毎回テーマに関してグループ・ワークによる議論、発表などのアクティブラーニングを取り入れる。		
授業方法 Course Format	Basically this course format is a lecture form, but adopts active learning such as a discussion, the group work and presentations.		
関連科目/Related Courses	各教科教育方法論、総合的な学習の時間の指導法		
検索キーワード/Keywords	教育方法 情報通信技術(ICT)		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教育方法の基礎的理論と実践について:教育実践から教育方法学へのつながりを考察し、教育方法の基礎的理論とともに教育的な働きかけとしての教授と訓練の在り方を理解する。	予習として『教育方法原論』の「はじめに」と序章を読む。 復習の内容については授業時に指示する。
第2回 Session 2	学習意欲と動機づけ支援:動機づけに関する基礎的な理論を踏まえて、生徒の自ら学ぶ意欲を促すために必要な支援の在り方について考察し、主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第3回 Session 3	学習指導の基本原理と授業における指導技術:学習指導の特質と直観の働きについて理解を深め、段階教授法、問題解決学習、発見学習、探究などの学習指導の様式を検討する。アクティブ・ラーニング、学びの共同体、ジグソー学習などの実践を取り上げて考察し、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。さらに、教師としての話し方や板書を活用した授業を行うための基礎的技術を学ぶ。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第4回 Session 4	授業づくり:教材および教科書の基本的性格とその在り方を踏まえ、目標設定や学習者理解の方法について検討し、授業実践の計画にあたる学習指導案の作成方法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第5回 Session 5	教育評価:教育評価の歴史や定義、評価主体と対象について理解し、評価の時期や場所を踏まえて適切に教育評価を行う方法について考察する。集団に準拠した評価、目標に準拠した評価、他者評価と自己評価、診断的評価、形成的評価、総括的評価など、教育評価の目的や方法を学ぶ。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第6回 Session 6	授業研究:授業研究の定義と歴史的な発展の流れについて考察し、教師としての話し方や板書に関する基礎的技術だけではなく、その指導技術を向上させる方法についても理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第7回 Session 7	情報教育とICTについて:情報化社会への急速な進展を背景に、学校における教育の情報化ではどのような対応が求められるのかを考察する。視聴覚教育から情報教育への歴史的な発展の流れを踏まえた上で、ICTの活用の意義と在り方を考える。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第8回 Session 8	学校におけるICT環境整備について:学校ICTの環境整備における現状と課題を理解し、その意義と在り方を考察する。外部人材・外部機関との連携に関する先進的な自治体の取組状況などを取り上げ、ICTを効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。

第9回 Session 9	デジタル教材の作成・活用について: デジタル教材やデジタル教科書の背景にあるさまざまな学習理論を取り上げて考察し、デジタル教材の作成法や活用法、デジタル教科書の活用法を理解する。学習履歴データの収集と分析に関する実証研究の成果などを踏まえ、教育データの適切な活用方法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第10回 Session 10	情報活用能力の育成について: 生徒の情報活用能力向上のための具体的な指導例を取り上げ考察する。また、情報活用能力と思考力、リテラシーとの関連性を考え、生徒の思考力、判断力、表現力を育成する方法や主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第11回 Session 11	各教科等の特性に応じた情報通信技術の活用について: 各教科等の特性を踏まえた情報通信技術の効果的な活用法を理解する。また、特別の支援を必要とする生徒に対する情報通信技術の活用の意義と在り方を考察し、個別最適な学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第12回 Session 12	遠隔・オンライン教育と情報モラル教育について: 遠隔・オンライン教育の有効性や課題を考察し、関連するシステムの効果的な活用による個別最適な学びや協働的な学びの実現、主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。また、情報モラルに関する教育委員会や学校の取組を取り上げて考察し、生徒の情報モラルを育成するための指導法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第13回 Session 13	校務の情報化について: 統合型校務支援システムに関する先行事例を取り上げ、導入に向けた課題や導入による効果、教育情報セキュリティに関する留意事項などを考察する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第14回 Session 14	総括: 第1回から第14回の授業で学んだ学習・指導理論を生かした学習指導計画を立案し、その効果的な実践方法を考察する。基礎的な学習指導理論をもとに目標・内容、様々な教材、授業展開、評価基準等の視点を総合的に網羅した学習指導案の作成法を理解する。また、学習指導や校務において、ICTを効果的に活用する方法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第15回 Session 15	定期試験	

教科書/Required texts	著者名: 吉田卓司 タイトル: 教育方法原論 発行所: 三学出版 出版年: 2013 ISBN: 978-4-903520-76-6
教科書 Required texts	上記の他、自作のレジュメ、配布資料を使用する。
参考書/Reference books	著者名: 吉田卓司ほか タイトル: 総合的な学習/探究の時間の実践研究 発行所: 溪水社 出版年: 2021 ISBN: 978-4-86327-552-2
参考文献・資料 Reference books	中学校学習指導要領及び高等学校学習指導要領(最新版)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	筆記試験
	平常レポート／Individual reports(04)	25%	平常授業時の課題レポートの内容と提出状況
	その他／Others(99)	25%	講義時のワークに対する積極性と質疑応答・発言の内容
備考 Note	教育方法及びICTIに関する新たな動向が生じた場合や、本講義の学修の進行状況及び疾病感染の拡大状況に応じて、学修内容の加除修正等授業計画の変更を行う場合がある。		
更新日時/Date of Update	2022年01月19日 05時00分16秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	5別ー6

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48055002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育方法基礎論 2／Basic Prncpls of Edl Meth		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	三上 明洋(MIKAMI AKIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】教育方法基礎論 2(教職(専門))/教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 2(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本講義では、授業や評価に関する基礎的な理論を理解した上で、学校における情報通信技術の活用を推進し、生徒の情報活用能力(情報モラルを含む)を効果的に高めるための指導法を身につけることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand basic theories regarding classroom teaching and educational evaluation, and to acquire teaching methods and techniques for developing students' abilities to comprehend and utilize information correctly(including information morals).		
到達目標/Learning Goals	1. 教育方法の基礎的な理論を理解できる。 2. 基礎的な評価方法を理解できる。 3. 教育において情報通信技術を効果的に活用することができる。 4. 生徒の情報活用能力を効果的に高めるための指導法を理解し実践できる。 5. 学校における情報通信技術の活用を推進することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to understand basic theories of educational methods. 2. Students will be able to understand basic evaluation methods. 3. Students will be able to use the information and communication technology in education effectively. 4. Students will be able to understand teaching methods and techniques for developing students' abilities to comprehend and utilize information correctly(including information morals) and put them into practice. 5. Students will be able to promote the use of information and communication technology at school.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育の中心的な活動となる授業のあり方に関して、教育方法学の観点からさまざまな関連要因について幅広く学び、良い授業とはどのようなものかを考察します。これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するため、アクティブ・ラーニングや学びの共同体などの事例研究を通じて、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現について理解を深めます。また、教育の質的向上につながる教育評価の在り方についても考察します。 さらに、学校を取り巻く情報通信技術の環境における急速な変化に対応するため、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の在り方、外部人材・外部機関との連携の在り方について考察します。各種の学習メディアの特性を生かしながら生徒の情報活用能力を高め、個別最適な学び、協働的な学び、主体的・対話的で深い学びを実現するために必要な知識・技能を身に付けてください。		
授業方法 Course Format	本授業では、講義型を中心とする。ただし、毎回テーマに関してペア・ワークまたはグループ・ワークによる議論、全体発表などを行う。 【オンライン受講許可学生対象】各授業回(授業日)までに、LUNA へ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	＜14回すべて対面授業で実施＞ 【講義】 テーマ:授業の概要説明、教育方法の基礎的理論と実践	【復習課題】80分 第1回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 3～22を読む
第2回 Session 2	【講義】 テーマ:学習意欲と動機づけ支援	【復習課題】80分 第2回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 35～47を読む
第3回 Session 3	【講義】 テーマ:学習指導の基本原理と授業における指導技術(アクティブ・ラーニング)	【復習課題】80分 第3回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 51～76を読む
第4回 Session 4	【講義】 テーマ:授業づくり	【復習課題】80分 第4回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 105～115を読む
第5回 Session 5	【講義】 テーマ:教育評価	【復習課題】80分 第5回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 119～132を読む
第6回 Session 6	【講義】 テーマ:授業研究	【復習課題】80分 第6回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 133～143を読む
第7回 Session 7	【講義】 テーマ:情報教育とICT	【復習課題】80分 第7回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 147～156を読む
第8回 Session 8	【講義】 テーマ:学校におけるICT環境整備	【復習課題】80分 第8回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp. 8～13, 24～28を読む
	【講義】	【復習課題】80分

第9回 Session 9	テーマ:デジタル教材の作成・活用とインストラクショナルデザイン	第9回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 161～175を読む
第10回 Session 10	【講義】 テーマ:情報活用能力の育成	【復習課題】80分 第10回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 177～188. (堀田, 2020)pp.14～23を読む
第11回 Session 11	【講義】 テーマ:各教科等の特性に応じた情報通信技術の活用	【復習課題】80分 第11回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp.64～70を読む
第12回 Session 12	【講義】 テーマ:遠隔・オンライン教育と情報モラル教育	【復習課題】80分 第12回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp.56～63を読む
第13回 Session 13	【講義】 テーマ:校務の情報化	【復習課題】80分 第13回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp.157～160を読む
第14回 Session 14	【講義】 テーマ:総括	【復習課題】190分 これまでに学習した事項を総復習すること。 【予習課題】120分 定期試験に備えて、すべての学習事項を復習する

授業計画 Overview for each class	提出物や定期試験等の実施後2～3週間後を目途に、全体の講評を授業において口頭で伝えるか、またはLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名:樋口直宏(編著) タイトル:MINERVAはじめて学ぶ教職①教育の方法と技術 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2019 ISBN:9784623085057 著者名:堀田龍也(編著) タイトル:教育技術MOOK PC1人1台時代の間違えない学校ICT 発行所:小学館 出版年:2020 IS BN:9784091050960
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「中学校・高等学校学習指導要領(最新版)」
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	
	授業中試験／In-class examination(03)	20%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note		
	【オンライン受講許可学生対象】定期試験(50%)、授業中試験(20%)に代わる平常レポートを追加で課し、平常レポート100%で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 17時01分05秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	木曜1時限	春学期／Spring	G-201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48055003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育方法基礎論 3／Basic Pnncpls of Edl Meth		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	吉田 卓司(YOSHIDA TAKASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】教育方法基礎論 3(教職(専門))/教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 3(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	・教育方法論に関する基礎的理解。 ・情報通信技術(ICT)の活用を含む教育の方法、教育の技術そして評価方法の修得。 ・生徒の情報活用能力(情報リテラシーを含む)を育成するための指導方法の修得。		
授業目的(英文) Course Purpose	・Understanding about the basis of educational methods. ・The acquirement of a method of the education, a technique of the education and the evaluation method including the application of information and communication technology(ICT). ・The acquirement of the instruction method to raise the ability for information utilization (including the information literacy) of the student.		
到達目標/Learning Goals	「未来を生きる子どもたちに求められている資質・能力とは何か」に関する理解を基礎として、その資質・能力を育成するために必要な教育論と教育法を習得することが目標である。		
到達目標(英文) Learning Goals	As a bases on understanding about “what is nature, the ability demanded from children living in the future?”, the goal is to acquire the educational theories and of the learning methods necessary to bring up the nature and ability.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育の中心的な活動となる授業のあり方に関して、教育方法学の観点からさまざまな関連要因について幅広く学び、良い授業とはどのようなものかを考察する。これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するため、問題解決学習、発見学習、探究などの学習指導の様式を検討し、アクティブ・ラーニングや学びの共同体などの事例研究を通じて、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現について理解を深める。また、教育の質的向上につながる教育評価の在り方についても考察する。 さらに、学校を取り巻く情報通信技術の環境における急速な変化に対応するため、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の在り方、外部人材・外部機関との連携の在り方について考察する。各種の学習メディアの特性を生かしながら生徒の情報活用能力を高め、個別最適な学び、協働的な学び、主体的・対話的で深い学びを実現するために必要な知識・技能を身に付ける。 なお、授業は講義型を中心とするが、毎回テーマに関してグループ・ワークによる議論、発表などのアクティブラーニングを取り入れる。		
授業方法 Course Format	Basically this course format is a lecture form, but adopts active learning such as a discussion, the group work and presentations.		
関連科目/Related Courses	各教科教育方法論、総合的な学習の時間の指導法		
検索キーワード/Keywords	教育方法 情報通信技術(ICT)		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教育方法の基礎的理論と実践について:教育実践から教育方法学へのつながりを考察し、教育方法の基礎的理論とともに教育的な働きかけとしての教授と訓練の在り方を理解する。	予習として『教育方法原論』の「はじめに」と序章を読む。 復習の内容については授業時に指示する。
第2回 Session 2	学習意欲と動機づけ支援:動機づけに関する基礎的な理論を踏まえて、生徒の自ら学ぶ意欲を促すために必要な支援の在り方について考察し、主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第3回 Session 3	学習指導の基本原理と授業における指導技術:学習指導の特質と直観の働きについて理解を深め、段階教授法、問題解決学習、発見学習、探究などの学習指導の様式を検討する。アクティブ・ラーニング、学びの共同体、ジグソー学習などの実践を取り上げて考察し、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。さらに、教師としての話し方や板書を活用した授業を行うための基礎的技術を学ぶ。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第4回 Session 4	授業づくり:教材および教科書の基本的性格とその在り方を踏まえ、目標設定や学習者理解の方法について検討し、授業実践の計画にあたる学習指導案の作成方法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第5回 Session 5	教育評価:教育評価の歴史や定義、評価主体と対象について理解し、評価の時期や場所を踏まえて適切に教育評価を行う方法について考察する。集団に準拠した評価、目標に準拠した評価、他者評価と自己評価、診断的評価、形成的評価、総括的評価など、教育評価の目的や方法を学ぶ。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第6回 Session 6	授業研究:授業研究の定義と歴史的な発展の流れについて考察し、教師としての話し方や板書に関する基礎的技術だけではなく、その指導技術を向上させる方法についても理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第7回 Session 7	情報教育とICTについて:情報化社会への急速な進展を背景に、学校における教育の情報化ではどのような対応が求められるのかを考察する。視聴覚教育から情報教育への歴史的な発展の流れを踏まえた上で、ICTの活用の意義と在り方を考える。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第8回 Session 8	学校におけるICT環境整備について:学校ICTの環境整備における現状と課題を理解し、その意義と在り方を考察する。外部人材・外部機関との連携に関する先進的な自治体の取組状況などを取り上げ、ICTを効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。

第9回 Session 9	デジタル教材の作成・活用について: デジタル教材やデジタル教科書の背景にあるさまざまな学習理論を取り上げて考察し、デジタル教材の作成法や活用法、デジタル教科書の活用法を理解する。学習履歴データの収集と分析に関する実証研究の成果などを踏まえ、教育データの適切な活用方法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第10回 Session 10	情報活用能力の育成について: 生徒の情報活用能力向上のための具体的な指導例を取り上げ考察する。また、情報活用能力と思考力、リテラシーとの関連性を考え、生徒の思考力、判断力、表現力を育成する方法や主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第11回 Session 11	各教科等の特性に応じた情報通信技術の活用について: 各教科等の特性を踏まえた情報通信技術の効果的な活用法を理解する。また、特別の支援を必要とする生徒に対する情報通信技術の活用の意義と在り方を考察し、個別最適な学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第12回 Session 12	遠隔・オンライン教育と情報モラル教育について: 遠隔・オンライン教育の有効性や課題を考察し、関連するシステムの効果的な活用による個別最適な学びや協働的な学びの実現、主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。また、情報モラルに関する教育委員会や学校の取組を取り上げて考察し、生徒の情報モラルを育成するための指導法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第13回 Session 13	校務の情報化について: 統合型校務支援システムに関する先行事例を取り上げ、導入に向けた課題や導入による効果、教育情報セキュリティに関する留意事項などを考察する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第14回 Session 14	総括: 第1回から第14回の授業で学んだ学習・指導理論を生かした学習指導計画を立案し、その効果的な実践方法を考察する。基礎的な学習指導理論をもとに目標・内容、様々な教材、授業展開、評価基準等の視点を総合的に網羅した学習指導案の作成法を理解する。また、学習指導や校務において、ICTを効果的に活用する方法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第15回 Session 15	定期試験	

教科書/Required texts	著者名: 吉田卓司 タイトル: 教育方法原論 発行所: 三学出版 出版年: 2013 ISBN: 978-4-903520-76-6
教科書 Required texts	上記の他、自作のレジュメ、配布資料を使用する。
参考書/Reference books	著者名: 吉田卓司ほか タイトル: 総合的な学習/探究の時間の実践研究 発行所: 溪水社 出版年: 2021 ISBN: 978-4-86327-552-2
参考文献・資料 Reference books	中学校学習指導要領及び高等学校学習指導要領(最新版)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	筆記試験
	平常レポート／Individual reports(04)	25%	平常授業時の課題レポートの内容と提出状況
	その他／Others(99)	25%	講義時のワークに対する積極性と質疑応答・発言の内容
備考 Note	教育方法及びICTIに関する新たな動向が生じた場合や、本講義の学修の進行状況及び疾病感染の拡大状況に応じて、学修内容の加除修正等授業計画の変更を行う場合がある。		
更新日時/Date of Update	2022年01月19日 05時01分05秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜4時限	秋学期／Fall	4別ー202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48055004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育方法基礎論 4／Basic Prncpls of Edl Meth		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	三上 明洋(MIKAMI AKIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】教育方法基礎論 4(教職(専門))/教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 4(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本講義では、授業や評価に関する基礎的な理論を理解した上で、学校における情報通信技術の活用を推進し、生徒の情報活用能力(情報モラルを含む)を効果的に高めるための指導法を身につけることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand basic theories regarding classroom teaching and educational evaluation, and to acquire teaching methods and techniques for developing students' abilities to comprehend and utilize information correctly(including information morals).		
到達目標/Learning Goals	1. 教育方法の基礎的な理論を理解できる。 2. 基礎的な評価方法を理解できる。 3. 教育において情報通信技術を効果的に活用することができる。 4. 生徒の情報活用能力を効果的に高めるための指導法を理解し実践できる。 5. 学校における情報通信技術の活用を推進することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to understand basic theories of educational methods. 2. Students will be able to understand basic evaluation methods. 3. Students will be able to use the information and communication technology in education effectively. 4. Students will be able to understand teaching methods and techniques for developing students' abilities to comprehend and utilize information correctly(including information morals) and put them into practice. 5. Students will be able to promote the use of information and communication technology at school.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育の中心的な活動となる授業のあり方に関して、教育方法学の観点からさまざまな関連要因について幅広く学び、良い授業とはどのようなものかを考察します。これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するため、アクティブ・ラーニングや学びの共同体などの事例研究を通じて、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現について理解を深めます。また、教育の質的向上につながる教育評価の在り方についても考察します。 さらに、学校を取り巻く情報通信技術の環境における急速な変化に対応するため、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の在り方、外部人材・外部機関との連携の在り方について考察します。各種の学習メディアの特性を生かしながら生徒の情報活用能力を高め、個別最適な学び、協働的な学び、主体的・対話的で深い学びを実現するために必要な知識・技能を身に付けてください。		
授業方法 Course Format	本授業では、講義型を中心とする。ただし、毎回テーマに関してペア・ワークまたはグループ・ワークによる議論、全体発表などを行う。 【オンライン受講許可学生対象】各授業回(授業日)までに、LUNA へ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	<14回すべて対面授業で実施> 【講義】 テーマ:授業の概要説明、教育方法の基礎的理論と実践	【復習課題】80分 第1回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 3～22を読む
第2回 Session 2	【講義】 テーマ:学習意欲と動機づけ支援	【復習課題】80分 第2回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 35～47を読む
第3回 Session 3	【講義】 テーマ:学習指導の基本原理と授業における指導技術(アクティブ・ラーニング)	【復習課題】80分 第3回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 51～76を読む
第4回 Session 4	【講義】 テーマ:授業づくり	【復習課題】80分 第4回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 105～115を読む
第5回 Session 5	【講義】 テーマ:教育評価	【復習課題】80分 第5回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 119～132を読む
第6回 Session 6	【講義】 テーマ:授業研究	【復習課題】80分 第6回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 133～143を読む
第7回 Session 7	【講義】 テーマ:情報教育とICT	【復習課題】80分 第7回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 147～156を読む
第8回 Session 8	【講義】 テーマ:学校におけるICT環境整備	【復習課題】80分 第8回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp. 8～13, 24～28を読む
	【講義】	【復習課題】80分

第9回 Session 9	テーマ:デジタル教材の作成・活用とインストラクショナルデザイン	第9回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 161～175を読む
第10回 Session 10	【講義】 テーマ:情報活用能力の育成	【復習課題】80分 第10回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 177～188. (堀田, 2020)pp.14～23を読む
第11回 Session 11	【講義】 テーマ:各教科等の特性に応じた情報通信技術の活用	【復習課題】80分 第11回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp.64～70を読む
第12回 Session 12	【講義】 テーマ:遠隔・オンライン教育と情報モラル教育	【復習課題】80分 第12回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp.56～63を読む
第13回 Session 13	【講義】 テーマ:校務の情報化	【復習課題】80分 第13回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp.157～160を読む
第14回 Session 14	【講義】 テーマ:総括	【復習課題】190分 これまでに学習した事項を総復習すること。 【予習課題】120分 定期試験に備えて、すべての学習事項を復習する

授業計画 Overview for each class	提出物や定期試験等の実施後2～3週間後を目途に、全体の講評を授業において口頭で伝えるか、またはLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名:樋口直宏(編著) タイトル:MINERVAはじめて学ぶ教職①教育の方法と技術 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2019 ISBN:9784623085057 著者名:堀田龍也(編著) タイトル:教育技術MOOK PC1人1台時代の間違えない学校ICT 発行所:小学館 出版年:2020 IS BN:9784091050960
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「中学校・高等学校学習指導要領(最新版)」
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	
	授業中試験／In-class examination(03)	20%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note		
	【オンライン受講許可学生対象】定期試験(50%)、授業中試験(20%)に代わる平常レポートを追加で課し、平常レポート100%で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 17時06分45秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	木曜2時限	秋学期／Fall	4別－202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48055005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育方法基礎論 5/Basic Pnncpls of Edl Meth		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期/Fall
担当者/Instructor	三上 明洋(MIKAMI AKIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】教育方法基礎論 5(教職(専門))/教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 5(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本講義では、授業や評価に関する基礎的な理論を理解した上で、学校における情報通信技術の活用を推進し、生徒の情報活用能力(情報モラルを含む)を効果的に高めるための指導法を身につけることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand basic theories regarding classroom teaching and educational evaluation, and to acquire teaching methods and techniques for developing students' abilities to comprehend and utilize information correctly(including information morals).		
到達目標/Learning Goals	1. 教育方法の基礎的な理論を理解できる。 2. 基礎的な評価方法を理解できる。 3. 教育において情報通信技術を効果的に活用することができる。 4. 生徒の情報活用能力を効果的に高めるための指導法を理解し実践できる。 5. 学校における情報通信技術の活用を推進することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to understand basic theories of educational methods. 2. Students will be able to understand basic evaluation methods. 3. Students will be able to use the information and communication technology in education effectively. 4. Students will be able to understand teaching methods and techniques for developing students' abilities to comprehend and utilize information correctly(including information morals) and put them into practice. 5. Students will be able to promote the use of information and communication technology at school.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育の中心的な活動となる授業のあり方に関して、教育方法学の観点からさまざまな関連要因について幅広く学び、良い授業とはどのようなものかを考察します。これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するため、アクティブ・ラーニングや学びの共同体などの事例研究を通じて、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現について理解を深めます。また、教育の質的向上につながる教育評価の在り方についても考察します。 さらに、学校を取り巻く情報通信技術の環境における急速な変化に対応するため、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の在り方、外部人材・外部機関との連携の在り方について考察します。各種の学習メディアの特性を生かしながら生徒の情報活用能力を高め、個別最適な学び、協働的な学び、主体的・対話的で深い学びを実現するために必要な知識・技能を身に付けてください。		
授業方法 Course Format	本授業では、講義型を中心とする。ただし、毎回テーマに関してペア・ワークまたはグループ・ワークによる議論、全体発表などを行う。 【オンライン受講許可学生対象】各授業回(授業日)までに、LUNA へ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	<14回すべて対面授業で実施> 【講義】 テーマ:授業の概要説明、教育方法の基礎的理論と実践	【復習課題】80分 第1回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 3～22を読む
第2回 Session 2	【講義】 テーマ:学習意欲と動機づけ支援	【復習課題】80分 第2回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 35～47を読む
第3回 Session 3	【講義】 テーマ:学習指導の基本原理と授業における指導技術(アクティブ・ラーニング)	【復習課題】80分 第3回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 51～76を読む
第4回 Session 4	【講義】 テーマ:授業づくり	【復習課題】80分 第4回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 105～115を読む
第5回 Session 5	【講義】 テーマ:教育評価	【復習課題】80分 第5回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 119～132を読む
第6回 Session 6	【講義】 テーマ:授業研究	【復習課題】80分 第6回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 133～143を読む
第7回 Session 7	【講義】 テーマ:情報教育とICT	【復習課題】80分 第7回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 147～156を読む
第8回 Session 8	【講義】 テーマ:学校におけるICT環境整備	【復習課題】80分 第8回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp. 8～13, 24～28を読む
	【講義】	【復習課題】80分

第9回 Session 9	テーマ:デジタル教材の作成・活用とインストラクショナルデザイン	第9回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 161～175を読む
第10回 Session 10	【講義】 テーマ:情報活用能力の育成	【復習課題】80分 第10回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 177～188. (堀田, 2020)pp.14～23を読む
第11回 Session 11	【講義】 テーマ:各教科等の特性に応じた情報通信技術の活用	【復習課題】80分 第11回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp.64～70を読む
第12回 Session 12	【講義】 テーマ:遠隔・オンライン教育と情報モラル教育	【復習課題】80分 第12回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp.56～63を読む
第13回 Session 13	【講義】 テーマ:校務の情報化	【復習課題】80分 第13回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp.157～160を読む
第14回 Session 14	【講義】 テーマ:総括	【復習課題】190分 これまでに学習した事項を総復習すること。 【予習課題】120分 定期試験に備えて、すべての学習事項を復習する

授業計画 Overview for each class	提出物や定期試験等の実施後2～3週間後を目途に、全体の講評を授業において口頭で伝えるか、またはLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名:樋口直宏(編著) タイトル:MINERVAはじめて学ぶ教職①教育の方法と技術 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2019 ISBN:9784623085057 著者名:堀田龍也(編著) タイトル:教育技術MOOK PC1人1台時代の間違えない学校ICT 発行所:小学館 出版年:2020 IS BN:9784091050960
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「中学校・高等学校学習指導要領(最新版)」
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	
	授業中試験／In-class examination(03)	20%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note		
	【オンライン受講許可学生対象】定期試験(50%)、授業中試験(20%)に代わる平常レポートを追加で課し、平常レポート100%で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年01月13日 17時08分32秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜3時限	秋学期／Fall	IV－401

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48055301	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 1／Basic Principles of Edl Meth(Including Use of ICT)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	吉田 卓司(YOSHIDA TAKASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】教育方法基礎論 1(教職(専門))/教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 1(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	・教育方法論に関する基礎的理解。 ・情報通信技術(ICT)の活用を含む教育の方法、教育の技術そして評価方法の修得。 ・生徒の情報活用能力(情報リテラシーを含む)を育成するための指導方法の修得。		
授業目的(英文) Course Purpose	・Understanding about the basis of educational methods. ・The acquirement of a method of the education, a technique of the education and the evaluation method including the application of information and communication technology(ICT). ・The acquirement of the instruction method to raise the ability for information utilization (including the information literacy) of the student.		
到達目標/Learning Goals	「未来を生きる子どもたちに求められている資質・能力とは何か」に関する理解を基礎として、その資質・能力を育成するために必要な教育論と教育法を習得することが目標である。		
到達目標(英文) Learning Goals	As a bases on understanding about “what is nature, the ability demanded from children living in the future?”, the goal is to acquire the educational theories and of the learning methods necessary to bring up the nature and ability.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育の中心的な活動となる授業のあり方に関して、教育方法学の観点からさまざまな関連要因について幅広く学び、良い授業とはどのようなものかを考察する。これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するため、問題解決学習、発見学習、探究などの学習指導の様式を検討し、アクティブ・ラーニングや学びの共同体などの事例研究を通じて、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現について理解を深める。また、教育の質的向上につながる教育評価の在り方についても考察する。 さらに、学校を取り巻く情報通信技術の環境における急速な変化に対応するため、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の在り方、外部人材・外部機関との連携の在り方について考察する。各種の学習メディアの特性を生かしながら生徒の情報活用能力を高め、個別最適な学び、協働的な学び、主体的・対話的で深い学びを実現するために必要な知識・技能を身に付ける。 なお、授業は講義型を中心とするが、毎回テーマに関してグループ・ワークによる議論、発表などのアクティブラーニングを取り入れる。		
授業方法 Course Format	Basically this course format is a lecture form, but adopts active learning such as a discussion, the group work and presentations.		
関連科目/Related Courses	各教科教育方法論、総合的な学習の時間の指導法		
検索キーワード/Keywords	教育方法 情報通信技術(ICT)		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教育方法の基礎的理論と実践について:教育実践から教育方法学へのつながりを考察し、教育方法の基礎的理論とともに教育的な働きかけとしての教授と訓練の在り方を理解する。	予習として『教育方法原論』の「はじめに」と序章を読了する。 復習の内容については授業時に指示する。
第2回 Session 2	学習意欲と動機づけ支援:動機づけに関する基礎的な理論を踏まえて、生徒の自ら学ぶ意欲を促すために必要な支援の在り方について考察し、主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第3回 Session 3	学習指導の基本原理と授業における指導技術:学習指導の特質と直観の働きについて理解を深め、段階教授法、問題解決学習、発見学習、探究などの学習指導の様式を検討する。アクティブ・ラーニング、学びの共同体、ジグソー学習などの実践を取り上げて考察し、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。さらに、教師としての話し方や板書を活用した授業を行うための基礎的技術を学ぶ。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第4回 Session 4	授業づくり:教材および教科書の基本的性格とその在り方を踏まえ、目標設定や学習者理解の方法について検討し、授業実践の計画にあたる学習指導案の作成方法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第5回 Session 5	教育評価:教育評価の歴史や定義、評価主体と対象について理解し、評価の時期や場所を踏まえて適切に教育評価を行う方法について考察する。集団に準拠した評価、目標に準拠した評価、他者評価と自己評価、診断的評価、形成的評価、総括的評価など、教育評価の目的や方法を学ぶ。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第6回 Session 6	授業研究:授業研究の定義と歴史的な発展の流れについて考察し、教師としての話し方や板書に関する基礎的技術だけではなく、その指導技術を向上させる方法についても理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第7回 Session 7	情報教育とICTについて:情報化社会への急速な進展を背景に、学校における教育の情報化ではどのような対応が求められるのかを考察する。視聴覚教育から情報教育への歴史的な発展の流れを踏まえた上で、ICTの活用の意義と在り方を考える。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第8回 Session 8	学校におけるICT環境整備について:学校ICTの環境整備における現状と課題を理解し、その意義と在り方を考察する。外部人材・外部機関との連携に関する先進的な自治体の取組状況などを取り上げ、ICTを効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。

第9回 Session 9	デジタル教材の作成・活用について: デジタル教材やデジタル教科書の背景にあるさまざまな学習理論を取り上げて考察し、デジタル教材の作成法や活用法、デジタル教科書の活用法を理解する。学習履歴データの収集と分析に関する実証研究の成果などを踏まえ、教育データの適切な活用方法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第10回 Session 10	情報活用能力の育成について: 生徒の情報活用能力向上のための具体的な指導例を取り上げ考察する。また、情報活用能力と思考力、リテラシーとの関連性を考え、生徒の思考力、判断力、表現力を育成する方法や主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第11回 Session 11	各教科等の特性に応じた情報通信技術の活用について: 各教科等の特性を踏まえた情報通信技術の効果的な活用法を理解する。また、特別の支援を必要とする生徒に対する情報通信技術の活用の意義と在り方を考察し、個別最適な学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第12回 Session 12	遠隔・オンライン教育と情報モラル教育について: 遠隔・オンライン教育の有効性や課題を考察し、関連するシステムの効果的な活用による個別最適な学びや協働的な学びの実現、主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。また、情報モラルに関する教育委員会や学校の取組を取り上げて考察し、生徒の情報モラルを育成するための指導法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第13回 Session 13	校務の情報化について: 統合型校務支援システムに関する先行事例を取り上げ、導入に向けた課題や導入による効果、教育情報セキュリティに関する留意事項などを考察する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第14回 Session 14	総括: 第1回から第14回の授業で学んだ学習・指導理論を生かした学習指導計画を立案し、その効果的な実践方法を考察する。基礎的な学習指導理論をもとに目標・内容、様々な教材、授業展開、評価基準等の視点を総合的に網羅した学習指導案の作成法を理解する。また、学習指導や校務において、ICTを効果的に活用する方法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第15回 Session 15	定期試験	

教科書/Required texts	著者名: 吉田卓司 タイトル: 教育方法原論 発行所: 三学出版 出版年: 2013 ISBN: 978-4-903520-76-6
教科書 Required texts	上記の他、自作のレジュメ、配布資料を使用する。
参考書/Reference books	著者名: 吉田卓司ほか タイトル: 総合的な学習/探究の時間の実践研究 発行所: 溪水社 出版年: 2021 ISBN: 978-4-86327-552-2
参考文献・資料 Reference books	中学校学習指導要領及び高等学校学習指導要領(最新版)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	筆記試験
	平常レポート／Individual reports(04)	25%	平常授業時の課題レポートの内容と提出状況
	その他／Others(99)	25%	講義時のワークに対する積極性と質疑応答・発言の内容
備考 Note	教育方法及びICTに関する新たな動向が生じた場合や、本講義の学修の進行状況及び疾病感染の拡大状況に応じて、学修内容の加除修正等授業計画の変更を行う場合がある。		
更新日時/Date of Update	2022年02月09日 18時26分12秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	5別ー6

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48055302	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 2／Basic Principles of Edl Meth(Including Use of ICT)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	三上 明洋(MIKAMI AKIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】教育方法基礎論 2(教職(専門))/教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 2(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本講義では、授業や評価に関する基礎的な理論を理解した上で、学校における情報通信技術の活用を推進し、生徒の情報活用能力(情報モラルを含む)を効果的に高めるための指導法を身につけることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand basic theories regarding classroom teaching and educational evaluation, and to acquire teaching methods and techniques for developing students' abilities to comprehend and utilize information correctly(including information morals).		
到達目標/Learning Goals	1. 教育方法の基礎的な理論を理解できる。 2. 基礎的な評価方法を理解できる。 3. 教育において情報通信技術を効果的に活用することができる。 4. 生徒の情報活用能力を効果的に高めるための指導法を理解し実践できる。 5. 学校における情報通信技術の活用を推進することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to understand basic theories of educational methods. 2. Students will be able to understand basic evaluation methods. 3. Students will be able to use the information and communication technology in education effectively. 4. Students will be able to understand teaching methods and techniques for developing students' abilities to comprehend and utilize information correctly(including information morals) and put them into practice. 5. Students will be able to promote the use of information and communication technology at school.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育の中心的な活動となる授業のあり方に関して、教育方法学の観点からさまざまな関連要因について幅広く学び、良い授業とはどのようなものかを考察します。これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するため、アクティブ・ラーニングや学びの共同体などの事例研究を通じて、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現について理解を深めます。また、教育の質的向上につながる教育評価の在り方についても考察します。 さらに、学校を取り巻く情報通信技術の環境における急速な変化に対応するため、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の在り方、外部人材・外部機関との連携の在り方について考察します。各種の学習メディアの特性を生かしながら生徒の情報活用能力を高め、個別最適な学び、協働的な学び、主体的・対話的で深い学びを実現するために必要な知識・技能を身に付けてください。		
授業方法 Course Format	本授業では、講義型を中心とする。ただし、毎回テーマに関してペア・ワークまたはグループ・ワークによる議論、全体発表などを行う。 【オンライン受講許可学生対象】各授業回(授業日)までに、LUNA へ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	<14回すべて対面授業で実施> 【講義】 テーマ:授業の概要説明、教育方法の基礎的理論と実践	【復習課題】80分 第1回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 3～22を読む
第2回 Session 2	【講義】 テーマ:学習意欲と動機づけ支援	【復習課題】80分 第2回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 35～47を読む
第3回 Session 3	【講義】 テーマ:学習指導の基本原理と授業における指導技術(アクティブ・ラーニング)	【復習課題】80分 第3回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 51～76を読む
第4回 Session 4	【講義】 テーマ:授業づくり	【復習課題】80分 第4回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 105～115を読む
第5回 Session 5	【講義】 テーマ:教育評価	【復習課題】80分 第5回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 119～132を読む
第6回 Session 6	【講義】 テーマ:授業研究	【復習課題】80分 第6回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 133～143を読む
第7回 Session 7	【講義】 テーマ:情報教育とICT	【復習課題】80分 第7回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 147～156を読む
第8回 Session 8	【講義】 テーマ:学校におけるICT環境整備	【復習課題】80分 第8回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp. 8～13, 24～28を読む
	【講義】	【復習課題】80分

第9回 Session 9	テーマ:デジタル教材の作成・活用とインストラクショナルデザイン	第9回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 161～175を読む
第10回 Session 10	【講義】 テーマ:情報活用能力の育成	【復習課題】80分 第10回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 177～188. (堀田, 2020)pp.14～23を読む
第11回 Session 11	【講義】 テーマ:各教科等の特性に応じた情報通信技術の活用	【復習課題】80分 第11回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp.64～70を読む
第12回 Session 12	【講義】 テーマ:遠隔・オンライン教育と情報モラル教育	【復習課題】80分 第12回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp.56～63を読む
第13回 Session 13	【講義】 テーマ:校務の情報化	【復習課題】80分 第13回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp.157～160を読む
第14回 Session 14	【講義】 テーマ:総括	【復習課題】190分 これまでに学習した事項を総復習すること。 【予習課題】120分 定期試験に備えて、すべての学習事項を復習する

授業計画 Overview for each class	提出物や定期試験等の実施後2～3週間後を目途に、全体の講評を授業において口頭で伝えるか、またはLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名:樋口直宏(編著) タイトル:MINERVAはじめて学ぶ教職①教育の方法と技術 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2019 ISBN:9784623085057 著者名:堀田龍也(編著) タイトル:教育技術MOOK PC1人1台時代の間違えない学校ICT 発行所:小学館 出版年:2020 IS BN:9784091050960
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「中学校・高等学校学習指導要領(最新版)」
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	
	授業中試験／In-class examination(03)	20%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note		
	【オンライン受講許可学生対象】定期試験(50%)、授業中試験(20%)に代わる平常レポートを追加で課し、平常レポート100%で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年02月09日 18時26分12秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	木曜1時限	春学期／Spring	G-201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48055303	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 3／Basic Principles of Edl Meth(Including Use of ICT)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	吉田 卓司(YOSHIDA TAKASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】教育方法基礎論 3(教職(専門))/教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 3(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	・教育方法論に関する基礎的理解。 ・情報通信技術(ICT)の活用を含む教育の方法、教育の技術そして評価方法の修得。 ・生徒の情報活用能力(情報リテラシーを含む)を育成するための指導方法の修得。		
授業目的(英文) Course Purpose	・Understanding about the basis of educational methods. ・The acquirement of a method of the education, a technique of the education and the evaluation method including the application of information and communication technology(ICT). ・The acquirement of the instruction method to raise the ability for information utilization (including the information literacy) of the student.		
到達目標/Learning Goals	「未来を生きる子どもたちに求められている資質・能力とは何か」に関する理解を基礎として、その資質・能力を育成するために必要な教育論と教育法を習得することが目標である。		
到達目標(英文) Learning Goals	As a bases on understanding about “what is nature, the ability demanded from children living in the future?”, the goal is to acquire the educational theories and of the learning methods necessary to bring up the nature and ability.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育の中心的な活動となる授業のあり方に関して、教育方法学の観点からさまざまな関連要因について幅広く学び、良い授業とはどのようなものかを考察する。これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するため、問題解決学習、発見学習、探究などの学習指導の様式を検討し、アクティブ・ラーニングや学びの共同体などの事例研究を通じて、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現について理解を深める。また、教育の質的向上につながる教育評価の在り方についても考察する。 さらに、学校を取り巻く情報通信技術の環境における急速な変化に対応するため、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の在り方、外部人材・外部機関との連携の在り方について考察する。各種の学習メディアの特性を生かしながら生徒の情報活用能力を高め、個別最適な学び、協働的な学び、主体的・対話的で深い学びを実現するために必要な知識・技能を身に付ける。 なお、授業は講義型を中心とするが、毎回テーマに関してグループ・ワークによる議論、発表などのアクティブラーニングを取り入れる。		
授業方法 Course Format	Basically this course format is a lecture form, but adopts active learning such as a discussion, the group work and presentations.		
関連科目/Related Courses	各教科教育方法論、総合的な学習の時間の指導法		
検索キーワード/Keywords	教育方法 情報通信技術(ICT)		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教育方法の基礎的理論と実践について:教育実践から教育方法学へのつながりを考察し、教育方法の基礎的理論とともに教育的な働きかけとしての教授と訓練の在り方を理解する。	予習として『教育方法原論』の「はじめに」と序章を読む。 復習の内容については授業時に指示する。
第2回 Session 2	学習意欲と動機づけ支援:動機づけに関する基礎的な理論を踏まえて、生徒の自ら学ぶ意欲を促すために必要な支援の在り方について考察し、主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第3回 Session 3	学習指導の基本原理と授業における指導技術:学習指導の特質と直観の働きについて理解を深め、段階教授法、問題解決学習、発見学習、探究などの学習指導の様式を検討する。アクティブ・ラーニング、学びの共同体、ジグソー学習などの実践を取り上げて考察し、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。さらに、教師としての話し方や板書を活用した授業を行うための基礎的技術を学ぶ。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第4回 Session 4	授業づくり:教材および教科書の基本的性格とその在り方を踏まえ、目標設定や学習者理解の方法について検討し、授業実践の計画にあたる学習指導案の作成方法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第5回 Session 5	教育評価:教育評価の歴史や定義、評価主体と対象について理解し、評価の時期や場所を踏まえて適切に教育評価を行う方法について考察する。集団に準拠した評価、目標に準拠した評価、他者評価と自己評価、診断的評価、形成的評価、総括的評価など、教育評価の目的や方法を学ぶ。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第6回 Session 6	授業研究:授業研究の定義と歴史的な発展の流れについて考察し、教師としての話し方や板書に関する基礎的技術だけではなく、その指導技術を向上させる方法についても理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第7回 Session 7	情報教育とICTについて:情報化社会への急速な進展を背景に、学校における教育の情報化ではどのような対応が求められるのかを考察する。視聴覚教育から情報教育への歴史的な発展の流れを踏まえた上で、ICTの活用の意義と在り方を考える。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第8回 Session 8	学校におけるICT環境整備について:学校ICTの環境整備における現状と課題を理解し、その意義と在り方を考察する。外部人材・外部機関との連携に関する先進的な自治体の取組状況などを取り上げ、ICTを効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。

第9回 Session 9	デジタル教材の作成・活用について: デジタル教材やデジタル教科書の背景にあるさまざまな学習理論を取り上げて考察し、デジタル教材の作成法や活用法、デジタル教科書の活用法を理解する。学習履歴データの収集と分析に関する実証研究の成果などを踏まえ、教育データの適切な活用方法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第10回 Session 10	情報活用能力の育成について: 生徒の情報活用能力向上のための具体的な指導例を取り上げ考察する。また、情報活用能力と思考力、リテラシーとの関連性を考え、生徒の思考力、判断力、表現力を育成する方法や主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第11回 Session 11	各教科等の特性に応じた情報通信技術の活用について: 各教科等の特性を踏まえた情報通信技術の効果的な活用法を理解する。また、特別の支援を必要とする生徒に対する情報通信技術の活用の意義と在り方を考察し、個別最適な学びの実現について理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第12回 Session 12	遠隔・オンライン教育と情報モラル教育について: 遠隔・オンライン教育の有効性や課題を考察し、関連するシステムの効果的な活用による個別最適な学びや協働的な学びの実現、主体的・対話的で深い学びの実現について理解する。また、情報モラルに関する教育委員会や学校の取組を取り上げて考察し、生徒の情報モラルを育成するための指導法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第13回 Session 13	校務の情報化について: 統合型校務支援システムに関する先行事例を取り上げ、導入に向けた課題や導入による効果、教育情報セキュリティに関する留意事項などを考察する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第14回 Session 14	総括: 第1回から第14回の授業で学んだ学習・指導理論を生かした学習指導計画を立案し、その効果的な実践方法を考察する。基礎的な学習指導理論をもとに目標・内容、様々な教材、授業展開、評価基準等の視点を総合的に網羅した学習指導案の作成法を理解する。また、学習指導や校務において、ICTを効果的に活用する方法を理解する。	予習復習の内容については授業時に指示する。
第15回 Session 15	定期試験	

教科書/Required texts	著者名: 吉田卓司 タイトル: 教育方法原論 発行所: 三学出版 出版年: 2013 ISBN: 978-4-903520-76-6
教科書 Required texts	上記の他、自作のレジュメ、配布資料を使用する。
参考書/Reference books	著者名: 吉田卓司ほか タイトル: 総合的な学習/探究の時間の実践研究 発行所: 溪水社 出版年: 2021 ISBN: 978-4-86327-552-2
参考文献・資料 Reference books	中学校学習指導要領及び高等学校学習指導要領(最新版)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	筆記試験
	平常レポート／Individual reports(04)	25%	平常授業時の課題レポートの内容と提出状況
	その他／Others(99)	25%	講義時のワークに対する積極性と質疑応答・発言の内容
備考 Note	教育方法及びICTに関する新たな動向が生じた場合や、本講義の学修の進行状況及び疾病感染の拡大状況に応じて、学修内容の加除修正等授業計画の変更を行う場合がある。		
更新日時/Date of Update	2022年02月09日 18時26分12秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜4時限	秋学期／Fall	4別ー202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48055304	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 4／Basic Principles of Edl Meth(Including Use of ICT)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	三上 明洋(MIKAMI AKIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】教育方法基礎論 4(教職(専門))/教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 4(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本講義では、授業や評価に関する基礎的な理論を理解した上で、学校における情報通信技術の活用を推進し、生徒の情報活用能力(情報モラルを含む)を効果的に高めるための指導法を身につけることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand basic theories regarding classroom teaching and educational evaluation, and to acquire teaching methods and techniques for developing students' abilities to comprehend and utilize information correctly(including information morals).		
到達目標/Learning Goals	1. 教育方法の基礎的な理論を理解できる。 2. 基礎的な評価方法を理解できる。 3. 教育において情報通信技術を効果的に活用することができる。 4. 生徒の情報活用能力を効果的に高めるための指導法を理解し実践できる。 5. 学校における情報通信技術の活用を推進することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to understand basic theories of educational methods. 2. Students will be able to understand basic evaluation methods. 3. Students will be able to use the information and communication technology in education effectively. 4. Students will be able to understand teaching methods and techniques for developing students' abilities to comprehend and utilize information correctly(including information morals) and put them into practice. 5. Students will be able to promote the use of information and communication technology at school.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育の中心的な活動となる授業のあり方に関して、教育方法学の観点からさまざまな関連要因について幅広く学び、良い授業とはどのようなものかを考察します。これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するため、アクティブ・ラーニングや学びの共同体などの事例研究を通じて、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現について理解を深めます。また、教育の質的向上につながる教育評価の在り方についても考察します。 さらに、学校を取り巻く情報通信技術の環境における急速な変化に対応するため、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の在り方、外部人材・外部機関との連携の在り方について考察します。各種の学習メディアの特性を生かしながら生徒の情報活用能力を高め、個別最適な学び、協働的な学び、主体的・対話的で深い学びを実現するために必要な知識・技能を身に付けてください。		
授業方法 Course Format	本授業では、講義型を中心とする。ただし、毎回テーマに関してペア・ワークまたはグループ・ワークによる議論、全体発表などを行う。 【オンライン受講許可学生対象】各授業回(授業日)までに、LUNA へ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	＜14回すべて対面授業で実施＞ 【講義】 テーマ:授業の概要説明、教育方法の基礎的理論と実践	【復習課題】80分 第1回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 3～22を読む
第2回 Session 2	【講義】 テーマ:学習意欲と動機づけ支援	【復習課題】80分 第2回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 35～47を読む
第3回 Session 3	【講義】 テーマ:学習指導の基本原理と授業における指導技術(アクティブ・ラーニング)	【復習課題】80分 第3回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 51～76を読む
第4回 Session 4	【講義】 テーマ:授業づくり	【復習課題】80分 第4回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 105～115を読む
第5回 Session 5	【講義】 テーマ:教育評価	【復習課題】80分 第5回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 119～132を読む
第6回 Session 6	【講義】 テーマ:授業研究	【復習課題】80分 第6回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 133～143を読む
第7回 Session 7	【講義】 テーマ:情報教育とICT	【復習課題】80分 第7回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 147～156を読む
第8回 Session 8	【講義】 テーマ:学校におけるICT環境整備	【復習課題】80分 第8回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp. 8～13, 24～28を読む
	【講義】	【復習課題】80分

第9回 Session 9	テーマ:デジタル教材の作成・活用とインストラクショナルデザイン	第9回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 161～175を読む
第10回 Session 10	【講義】 テーマ:情報活用能力の育成	【復習課題】80分 第10回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 177～188. (堀田, 2020)pp.14～23を読む
第11回 Session 11	【講義】 テーマ:各教科等の特性に応じた情報通信技術の活用	【復習課題】80分 第11回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp.64～70を読む
第12回 Session 12	【講義】 テーマ:遠隔・オンライン教育と情報モラル教育	【復習課題】80分 第12回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp.56～63を読む
第13回 Session 13	【講義】 テーマ:校務の情報化	【復習課題】80分 第13回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp.157～160を読む
第14回 Session 14	【講義】 テーマ:総括	【復習課題】190分 これまでに学習した事項を総復習すること。 【予習課題】120分 定期試験に備えて、すべての学習事項を復習する

授業計画 Overview for each class	提出物や定期試験等の実施後2～3週間後を目途に、全体の講評を授業において口頭で伝えるか、またはLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名:樋口直宏(編著) タイトル:MINERVAはじめて学ぶ教職⑪教育の方法と技術 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2019 ISBN:9784623085057 著者名:堀田龍也(編著) タイトル:教育技術MOOK PC1人1台時代の間違えない学校ICT 発行所:小学館 出版年:2020 IS BN:9784091050960
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「中学校・高等学校学習指導要領(最新版)」
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	
	授業中試験／In-class examination(03)	20%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note		
	【オンライン受講許可学生対象】定期試験(50%)、授業中試験(20%)に代わる平常レポートを追加で課し、平常レポート100%で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年02月09日 18時26分12秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	木曜2時限	秋学期／Fall	4別－202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48055305	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 5／Basic Principles of Edl Meth(Including Use of ICT)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	三上 明洋(MIKAMI AKIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】教育方法基礎論 5(教職(専門))/教育方法基礎論(情報通信技術の活用含む) 5(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本講義では、授業や評価に関する基礎的な理論を理解した上で、学校における情報通信技術の活用を推進し、生徒の情報活用能力(情報モラルを含む)を効果的に高めるための指導法を身につけることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand basic theories regarding classroom teaching and educational evaluation, and to acquire teaching methods and techniques for developing students' abilities to comprehend and utilize information correctly(including information morals).		
到達目標/Learning Goals	1. 教育方法の基礎的な理論を理解できる。 2. 基礎的な評価方法を理解できる。 3. 教育において情報通信技術を効果的に活用することができる。 4. 生徒の情報活用能力を効果的に高めるための指導法を理解し実践できる。 5. 学校における情報通信技術の活用を推進することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to understand basic theories of educational methods. 2. Students will be able to understand basic evaluation methods. 3. Students will be able to use the information and communication technology in education effectively. 4. Students will be able to understand teaching methods and techniques for developing students' abilities to comprehend and utilize information correctly(including information morals) and put them into practice. 5. Students will be able to promote the use of information and communication technology at school.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育の中心的な活動となる授業のあり方に関して、教育方法学の観点からさまざまな関連要因について幅広く学び、良い授業とはどのようなものかを考察します。これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するため、アクティブ・ラーニングや学びの共同体などの事例研究を通じて、協働的な学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現について理解を深めます。また、教育の質的向上につながる教育評価の在り方についても考察します。 さらに、学校を取り巻く情報通信技術の環境における急速な変化に対応するため、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の在り方、外部人材・外部機関との連携の在り方について考察します。各種の学習メディアの特性を生かしながら生徒の情報活用能力を高め、個別最適な学び、協働的な学び、主体的・対話的で深い学びを実現するために必要な知識・技能を身に付けてください。		
授業方法 Course Format	本授業では、講義型を中心とする。ただし、毎回テーマに関してペア・ワークまたはグループ・ワークによる議論、全体発表などを行う。 【オンライン受講許可学生対象】各授業回(授業日)までに、LUNA へ授業データ(音声付きパワーポイント等)を掲載するので確認すること。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	<14回すべて対面授業で実施> 【講義】 テーマ:授業の概要説明、教育方法の基礎的理論と実践	【復習課題】80分 第1回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 3～22を読む
第2回 Session 2	【講義】 テーマ:学習意欲と動機づけ支援	【復習課題】80分 第2回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 35～47を読む
第3回 Session 3	【講義】 テーマ:学習指導の基本原理と授業における指導技術(アクティブ・ラーニング)	【復習課題】80分 第3回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 51～76を読む
第4回 Session 4	【講義】 テーマ:授業づくり	【復習課題】80分 第4回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 105～115を読む
第5回 Session 5	【講義】 テーマ:教育評価	【復習課題】80分 第5回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 119～132を読む
第6回 Session 6	【講義】 テーマ:授業研究	【復習課題】80分 第6回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 133～143を読む
第7回 Session 7	【講義】 テーマ:情報教育とICT	【復習課題】80分 第7回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 147～156を読む
第8回 Session 8	【講義】 テーマ:学校におけるICT環境整備	【復習課題】80分 第8回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp. 8～13, 24～28を読む
	【講義】	【復習課題】80分

第9回 Session 9	テーマ:デジタル教材の作成・活用とインストラクショナルデザイン	第9回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 161～175を読む
第10回 Session 10	【講義】 テーマ:情報活用能力の育成	【復習課題】80分 第10回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp. 177～188. (堀田, 2020)pp.14～23を読む
第11回 Session 11	【講義】 テーマ:各教科等の特性に応じた情報通信技術の活用	【復習課題】80分 第11回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp.64～70を読む
第12回 Session 12	【講義】 テーマ:遠隔・オンライン教育と情報モラル教育	【復習課題】80分 第12回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(堀田, 2020)pp.56～63を読む
第13回 Session 13	【講義】 テーマ:校務の情報化	【復習課題】80分 第13回授業時に配布する資料を見直しておくこと 【予習課題】100分 教科書(樋口, 2019)pp.157～160を読む
第14回 Session 14	【講義】 テーマ:総括	【復習課題】190分 これまでに学習した事項を総復習すること。 【予習課題】120分 定期試験に備えて、すべての学習事項を復習する

授業計画 Overview for each class	提出物や定期試験等の実施後2～3週間後を目途に、全体の講評を授業において口頭で伝えるか、またはLUNAへ掲載する。

教科書/Required texts	著者名:樋口直宏(編著) タイトル:MINERVAはじめて学ぶ教職①教育の方法と技術 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2019 ISBN:9784623085057 著者名:堀田龍也(編著) タイトル:教育技術MOOK PC1人1台時代の間違えない学校ICT 発行所:小学館 出版年:2020 IS BN:9784091050960
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「中学校・高等学校学習指導要領(最新版)」
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	
	授業中試験／In-class examination(03)	20%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note		
	【オンライン受講許可学生対象】定期試験(50%)、授業中試験(20%)に代わる平常レポートを追加で課し、平常レポート100%で評価する。		
更新日時/Date of Update	2022年02月09日 18時26分12秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜3時限	秋学期／Fall	IV－401

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48056001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】生徒指導論 1／Principles of Guidance		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】生徒指導・進路指導論 1(教職(専門))/生徒指導論 1(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、生徒指導の意義、内容、方法および課題について学び、具体的、実践的な指導に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of student advising. The course aims to give students the ability to learn how to provide specific and practical advice to students.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・生徒指導・進路指導の意義や基本的理論を理解する。 ・生徒指導・進路指導に関する具体的課題を理解する。 ・すべての生徒を対象とした生徒指導・進路指導に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objectives: ・Become familiar with the principles and theories of student advising and guidance counseling; ・Become familiar with specific challenges of student advising and guidance counseling; ・Gain a basic ability to provide student advising and guidance counseling to all types of students in a tangible way.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、急激な社会の変動を受けて子どもたちの世界は大きく変化し、いじめ、暴力行為、不登校、インターネットに関する課題など多くの教育問題が発生している。この授業では生徒指導の意義のもと、基本的理論をもとにその内容・方法を理解した上で、これらの教育問題の現状と背景・原因を考察する。さらに、進路指導・キャリア教育、教育相談などの視点もふまえながら、教育問題の克服と解決および基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に必要とされる教師の具体的な指導方法を検討する。 なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	生徒指導 教育問題 進路指導 キャリア教育 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	生徒指導の意義・原理(学校教育・教育課程上の位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	生徒指導の内容(教科及び特別活動等教育活動全体で展開されている内容について)	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	生徒指導の方法(集団指導及び教育相談を含めた個別指導などに関する理論と実際)	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	生徒指導の現状(懲戒の定義・意義・機能・分類、その法的位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	生徒指導の課題①(懲戒と体罰の定義・禁止、出席停止の定義・法的位置づけなど)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	生徒指導の課題②(薬物乱用、児童虐待、インターネットや性に関する問題行動)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	いじめの解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教師の基本的対応方法について)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	暴力行為の解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教育相談を踏まえた教師の対応方法)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
	不登校の解説と指導(定義、類型、歴史的背景、現状、発生の	【予習課題】95分

第9回 Session 9	要因について)	前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第10回 Session 10	進路指導を含めた不登校に対する対応	【予習課題】95分 前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	進路指導・キャリア教育の意義と原理	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	進路指導・キャリア教育におけるガイダンスの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	進路指導・キャリア教育におけるキャリアカウンセリングの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	ポートフォリオを活用した進路指導・キャリア教育(体験活動の意義など)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名: 祐宗省三 タイトル: ウェルビーイングの発達学 発行所: 北大路書房 出版年: 2003 ISBN: 978-4762823145
参考文献・資料 Reference books	ウェルビーイングの発達学、生徒指導提要(URLリンク2 URL 2を参照)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1		
URLリンク2/URL 2	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008.htm		
更新日時/Date of Update	2022年02月09日 18時26分12秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	月曜2時限	春学期／Spring	H-201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48056002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】生徒指導論 2／Principles of Guidance		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	吉田 卓司(YOSHIDA TAKASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】生徒指導・進路指導論 2(教職(専門))/生徒指導論 2(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、生徒指導の意義、内容、方法および課題について学び、具体的、実践的な指導に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of student advising. The course aims to give students the ability to learn how to provide specific and practical advice to students.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・生徒指導・進路指導の意義や基本的理論を理解する。 ・生徒指導・進路指導に関する具体的課題を理解する。 ・すべての生徒を対象とした生徒指導・進路指導に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objectives: ・Become familiar with the principles and theories of student advising and guidance counseling; ・Become familiar with specific challenges of student advising and guidance counseling; ・Gain a basic ability to provide student advising and guidance counseling to all types of students in a tangible way.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、急激な社会の変動を受けて子どもたちの世界は大きく変化し、いじめ、暴力行為、不登校、インターネットに関する課題など多くの教育問題が発生している。この授業では生徒指導の意義のもと、基本的理論をもとにその内容・方法を理解した上で、これらの教育問題の現状と背景・原因を考察する。さらに、進路指導・キャリア教育、教育相談などの視点もふまえながら、教育問題の克服と解決および基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に必要とされる教師の具体的な指導方法を検討する。 なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	対面授業(講義形式)を実施する予定である(変更があれば授業中またはLUNAで指示します)。 また、可能な範囲でグループワーク等のアクティブラーニングを用いる。		
検索キーワード/Keywords	生徒指導 教育問題 進路指導 キャリア教育 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	生徒指導の意義・原理(学校教育・教育課程上の位置づけについて)	予習として、生徒指導提要の「まえがき」・第1章第1節及び教育実践基礎論の「はじめに」・序章を読了する。復習については、授業時に指示する
第2回 Session 2	生徒指導の内容(教科及び特別活動等教育活動全体で展開されている内容について)	予習復習の内容については授業時に指示する
第3回 Session 3	生徒指導の方法(集団指導及び教育相談を含めた個別指導などに関する理論と実際)	予習復習の内容については授業時に指示する
第4回 Session 4	生徒指導の現状(懲戒の定義・意義・機能・分類、その法的位置づけについて)	予習復習の内容については授業時に指示する
第5回 Session 5	生徒指導の課題①(懲戒と体罰の定義・禁止、出席停止の定義・法的位置づけなど)	予習復習の内容については授業時に指示する
第6回 Session 6	生徒指導の課題②(薬物乱用、児童虐待、インターネットや性に関する問題行動)	予習復習の内容については授業時に指示する
第7回 Session 7	いじめの解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教師の基本的対応方法について)	予習復習の内容については授業時に指示する
第8回 Session 8	暴力行為の解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教育相談を踏まえた教師の対応方法)	予習復習の内容については授業時に指示する
第9回 Session 9	不登校の解説と指導(定義、類型、歴史的背景、現状、発生の要因について)	予習復習の内容については授業時に指示する
第10回 Session 10	進路指導を含めた不登校に対する対応	予習復習の内容については授業時に指示する
第11回 Session 11	進路指導・キャリア教育の意義と原理	予習復習の内容については授業時に指示する
第12回 Session 12	進路指導・キャリア教育におけるガイダンスの意義と方法	予習復習の内容については授業時に指示する
第13回 Session 13	進路指導・キャリア教育におけるキャリアカウンセリングの意義と方法	予習復習の内容については授業時に指示する
第14回 Session 14	ポートフォリオを活用した進路指導・キャリア教育(体験活動の意義など)	予習復習の内容については授業時に指示する
第15回 Session 15	定期試験	

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと。

教科書/Required texts	著者名：吉田卓司　タイトル：教育実践基礎論　発行所：三学出版　出版年：2017　ISBN：978-4-908877-08-7
教科書 Required texts	上記の他、自作のレジュメ、配布資料を使用する。
参考文献・資料 Reference books	生徒指導提要(URLリンク1に掲載) なお、同書は今春、改訂の予定であり、改訂版が公開された後は、改訂版を用いる。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	筆記試験
	平常レポート／Individual reports(04)	25%	平常授業時の課題レポートの内容と提出状況
	その他／Others(99)	25%	講義時のワークに対する積極性と質疑応答・発言の内容
備考 Note	生徒指導、進路指導に関する新たな動向が生じた場合や、本講義の学修の進行状況及び疾病感染の拡大状況に応じて、学修内容の加除修正等授業計画の変更を行う場合がある。		
URLリンク1/URL 1	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008.htm		
更新日時/Date of Update	2022年02月09日　18時26分12秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	5別－6

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48056003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】生徒指導論 3／Principles of Guidance		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	吉田 卓司(YOSHIDA TAKASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】生徒指導・進路指導論 3(教職(専門))/生徒指導論 3(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、生徒指導の意義、内容、方法および課題について学び、具体的、実践的な指導に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of student advising. The course aims to give students the ability to learn how to provide specific and practical advice to students.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・生徒指導・進路指導の意義や基本的理論を理解する。 ・生徒指導・進路指導に関する具体的課題を理解する。 ・すべての生徒を対象とした生徒指導・進路指導に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objectives: ・Become familiar with the principles and theories of student advising and guidance counseling; ・Become familiar with specific challenges of student advising and guidance counseling; ・Gain a basic ability to provide student advising and guidance counseling to all types of students in a tangible way.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、急激な社会の変動を受けて子どもたちの世界は大きく変化し、いじめ、暴力行為、不登校、インターネットに関する課題など多くの教育問題が発生している。この授業では生徒指導の意義のもと、基本的理論をもとにその内容・方法を理解した上で、これらの教育問題の現状と背景・原因を考察する。さらに、進路指導・キャリア教育、教育相談などの視点もふまえながら、教育問題の克服と解決および基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に必要とされる教師の具体的な指導方法を検討する。 なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	対面授業(講義形式)を実施する予定である(変更があれば授業中またはLUNAで指示します)。 また、可能な範囲でグループワーク等のアクティブラーニングを用いる。		
検索キーワード/Keywords	生徒指導 教育問題 進路指導 キャリア教育 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	生徒指導の意義・原理(学校教育・教育課程上の位置づけについて)	予習として、生徒指導提要の「まえがき」・第1章第1節及び教育実践基礎論の「はじめに」・序章を読了する。復習については、授業時に指示する
第2回 Session 2	生徒指導の内容(教科及び特別活動等教育活動全体で展開されている内容について)	予習復習の内容については授業時に指示する
第3回 Session 3	生徒指導の方法(集団指導及び教育相談を含めた個別指導などに関する理論と実際)	予習復習の内容については授業時に指示する
第4回 Session 4	生徒指導の現状(懲戒の定義・意義・機能・分類、その法的位置づけについて)	予習復習の内容については授業時に指示する
第5回 Session 5	生徒指導の課題①(懲戒と体罰の定義・禁止、出席停止の定義・法的位置づけなど)	予習復習の内容については授業時に指示する
第6回 Session 6	生徒指導の課題②(薬物乱用、児童虐待、インターネットや性に関する問題行動)	予習復習の内容については授業時に指示する
第7回 Session 7	いじめの解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教師の基本的対応方法について)	予習復習の内容については授業時に指示する
第8回 Session 8	暴力行為の解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教育相談を踏まえた教師の対応方法)	予習復習の内容については授業時に指示する
第9回 Session 9	不登校の解説と指導(定義、類型、歴史的背景、現状、発生の要因について)	予習復習の内容については授業時に指示する
第10回 Session 10	進路指導を含めた不登校に対する対応	予習復習の内容については授業時に指示する
第11回 Session 11	進路指導・キャリア教育の意義と原理	予習復習の内容については授業時に指示する
第12回 Session 12	進路指導・キャリア教育におけるガイダンスの意義と方法	予習復習の内容については授業時に指示する
第13回 Session 13	進路指導・キャリア教育におけるキャリアカウンセリングの意義と方法	予習復習の内容については授業時に指示する
第14回 Session 14	ポートフォリオを活用した進路指導・キャリア教育(体験活動の意義など)	予習復習の内容については授業時に指示する
第15回 Session 15	定期試験	

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと。

教科書/Required texts	著者名：吉田卓司　タイトル：教育実践基礎論　発行所：三学出版　出版年：2017　ISBN：978-4-908877-08-7
教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料（プレゼンテーションソフト用）を使用する。
参考文献・資料 Reference books	生徒指導提要（URLリンク1に掲載） なお、同書は今春、改訂の予定であり、改訂版が公開された後は、改訂版を用いる。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	筆記試験
	平常レポート／Individual reports(04)	25%	平常授業時の課題レポートの内容と提出状況
	その他／Others(99)	25%	講義時のワークに対する積極性と質疑・発言の内容
備考 Note	生徒指導、進路指導に関する新たな動向が生じた場合や、本講義の学修の進行状況及び疾病感染の拡大状況に応じて、学修内容の加除修正等授業計画の変更を行う場合がある。		
URLリンク1/URL 1	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008.htm		
更新日時/Date of Update	2022年02月09日　18時26分12秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜5時限	秋学期／Fall	4別－202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48056004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】生徒指導論 4／Principles of Guidance		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】生徒指導・進路指導論 4(教職(専門))/生徒指導論 4(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、生徒指導の意義、内容、方法および課題について学び、具体的、実践的な指導に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of student advising. The course aims to give students the ability to learn how to provide specific and practical advice to students.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・生徒指導・進路指導の意義や基本的理論を理解する。 ・生徒指導・進路指導に関する具体的課題を理解する。 ・すべての生徒を対象とした生徒指導・進路指導に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objectives: ・Become familiar with the principles and theories of student advising and guidance counseling; ・Become familiar with specific challenges of student advising and guidance counseling; ・Gain a basic ability to provide student advising and guidance counseling to all types of students in a tangible way.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、急激な社会の変動を受けて子どもたちの世界は大きく変化し、いじめ、暴力行為、不登校、インターネットに関する課題など多くの教育問題が発生している。この授業では生徒指導の意義のもと、基本的理論をもとにその内容・方法を理解した上で、これらの教育問題の現状と背景・原因を考察する。さらに、進路指導・キャリア教育、教育相談などの視点もふまえながら、教育問題の克服と解決および基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に必要とされる教師の具体的な指導方法を検討する。 なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	生徒指導 教育問題 進路指導 キャリア教育 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	生徒指導の意義・原理(学校教育・教育課程上の位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	生徒指導の内容(教科及び特別活動等教育活動全体で展開されている内容について)	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	生徒指導の方法(集団指導及び教育相談を含めた個別指導などに関する理論と実際)	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	生徒指導の現状(懲戒の定義・意義・機能・分類、その法的位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	生徒指導の課題①(懲戒と体罰の定義・禁止、出席停止の定義・法的位置づけなど)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	生徒指導の課題②(薬物乱用、児童虐待、インターネットや性に関する問題行動)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	いじめの解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教師の基本的対応方法について)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	暴力行為の解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教育相談を踏まえた教師の対応方法)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
	不登校の解説と指導(定義、類型、歴史的背景、現状、発生の	【予習課題】95分

第9回 Session 9	要因について)	前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第10回 Session 10	進路指導を含めた不登校に対する対応	【予習課題】95分 前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	進路指導・キャリア教育の意義と原理	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	進路指導・キャリア教育におけるガイダンスの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	進路指導・キャリア教育におけるキャリアカウンセリングの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	ポートフォリオを活用した進路指導・キャリア教育(体験活動の意義など)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名: 祐宗省三 タイトル: ウェルビーイングの発達学 発行所: 北大路書房 出版年: 2003 ISBN: 978-4762823145
参考文献・資料 Reference books	ウェルビーイングの発達学、生徒指導提要(URLリンク2 URL 2を参照)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1		
URLリンク2/URL 2	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008.htm		
更新日時/Date of Update	2022年02月09日 18時26分12秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜2時限	秋学期／Fall	B－304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48056005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】生徒指導論 5/Principles of Guidance		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】生徒指導・進路指導論 5(教職(専門))/生徒指導論 5(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、生徒指導の意義、内容、方法および課題について学び、具体的、実践的な指導に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of student advising. The course aims to give students the ability to learn how to provide specific and practical advice to students.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・生徒指導・進路指導の意義や基本的理論を理解する。 ・生徒指導・進路指導に関する具体的課題を理解する。 ・すべての生徒を対象とした生徒指導・進路指導に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objectives: ・Become familiar with the principles and theories of student advising and guidance counseling; ・Become familiar with specific challenges of student advising and guidance counseling; ・Gain a basic ability to provide student advising and guidance counseling to all types of students in a tangible way.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、急激な社会の変動を受けて子どもたちの世界は大きく変化し、いじめ、暴力行為、不登校、インターネットに関する課題など多くの教育問題が発生している。この授業では生徒指導の意義のもと、基本的理論をもとにその内容・方法を理解した上で、これらの教育問題の現状と背景・原因を考察する。さらに、進路指導・キャリア教育、教育相談などの視点もふまえながら、教育問題の克服と解決および基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に必要とされる教師の具体的な指導方法を検討する。 なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	生徒指導 教育問題 進路指導 キャリア教育 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	生徒指導の意義・原理(学校教育・教育課程上の位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	生徒指導の内容(教科及び特別活動等教育活動全体で展開されている内容について)	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	生徒指導の方法(集団指導及び教育相談を含めた個別指導などに関する理論と実際)	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	生徒指導の現状(懲戒の定義・意義・機能・分類、その法的位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	生徒指導の課題①(懲戒と体罰の定義・禁止、出席停止の定義・法的位置づけなど)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	生徒指導の課題②(薬物乱用、児童虐待、インターネットや性に関する問題行動)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	いじめの解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教師の基本的対応方法について)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	暴力行為の解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教育相談を踏まえた教師の対応方法)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
	不登校の解説と指導(定義、類型、歴史的背景、現状、発生の	【予習課題】95分

第9回 Session 9	要因について)	前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第10回 Session 10	進路指導を含めた不登校に対する対応	【予習課題】95分 前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	進路指導・キャリア教育の意義と原理	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	進路指導・キャリア教育におけるガイダンスの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	進路指導・キャリア教育におけるキャリアカウンセリングの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	ポートフォリオを活用した進路指導・キャリア教育(体験活動の意義など)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名: 祐宗省三 タイトル: ウェルビーイングの発達学 発行所: 北大路書房 出版年: 2003 ISBN: 978-4762823145
参考文献・資料 Reference books	ウェルビーイングの発達学、生徒指導提要(URLリンク2 URL 2を参照)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1		
URLリンク2/URL 2	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008.htm		
更新日時/Date of Update	2022年02月09日 18時26分12秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜3時限	春学期／Spring	VII－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48056006	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】生徒指導論 6／Principles of Guidance		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】生徒指導・進路指導論 6(教職(専門))/生徒指導論 6(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、生徒指導の意義、内容、方法および課題について学び、具体的、実践的な指導に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of student advising. The course aims to give students the ability to learn how to provide specific and practical advice to students.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・生徒指導・進路指導の意義や基本的理論を理解する。 ・生徒指導・進路指導に関する具体的課題を理解する。 ・すべての生徒を対象とした生徒指導・進路指導に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objectives: ・Become familiar with the principles and theories of student advising and guidance counseling; ・Become familiar with specific challenges of student advising and guidance counseling; ・Gain a basic ability to provide student advising and guidance counseling to all types of students in a tangible way.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、急激な社会の変動を受けて子どもたちの世界は大きく変化し、いじめ、暴力行為、不登校、インターネットに関する課題など多くの教育問題が発生している。この授業では生徒指導の意義のもと、基本的理論をもとにその内容・方法を理解した上で、これらの教育問題の現状と背景・原因を考察する。さらに、進路指導・キャリア教育、教育相談などの視点もふまえながら、教育問題の克服と解決および基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に必要とされる教師の具体的な指導方法を検討する。 なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	生徒指導 教育問題 進路指導 キャリア教育 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	生徒指導の意義・原理(学校教育・教育課程上の位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	生徒指導の内容(教科及び特別活動等教育活動全体で展開されている内容について)	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	生徒指導の方法(集団指導及び教育相談を含めた個別指導などに関する理論と実際)	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	生徒指導の現状(懲戒の定義・意義・機能・分類、その法的位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	生徒指導の課題①(懲戒と体罰の定義・禁止、出席停止の定義・法的位置づけなど)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	生徒指導の課題②(薬物乱用、児童虐待、インターネットや性に関する問題行動)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	いじめの解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教師の基本的対応方法について)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	暴力行為の解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教育相談を踏まえた教師の対応方法)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
	不登校の解説と指導(定義、類型、歴史的背景、現状、発生の	【予習課題】95分

第9回 Session 9	要因について)	前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第10回 Session 10	進路指導を含めた不登校に対する対応	【予習課題】95分 前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	進路指導・キャリア教育の意義と原理	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	進路指導・キャリア教育におけるガイダンスの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	進路指導・キャリア教育におけるキャリアカウンセリングの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	ポートフォリオを活用した進路指導・キャリア教育(体験活動の意義など)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名: 祐宗省三 タイトル: ウェルビーイングの発達学 発行所: 北大路書房 出版年: 2003 ISBN: 978-4762823145
参考文献・資料 Reference books	ウェルビーイングの発達学、生徒指導提要(URLリンク2 URL 2を参照)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1		
URLリンク2/URL 2	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008.htm		
更新日時/Date of Update	2022年02月09日 18時26分12秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜2時限	秋学期／Fall	IV－305

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48056301	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】生徒指導・進路指導論 1／Principles of Student Guidance		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】生徒指導・進路指導論 1(教職(専門))/生徒指導論 1(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、生徒指導の意義、内容、方法および課題について学び、具体的、実践的な指導に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of student advising. The course aims to give students the ability to learn how to provide specific and practical advice to students.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・生徒指導・進路指導の意義や基本的理論を理解する。 ・生徒指導・進路指導に関する具体的課題を理解する。 ・すべての生徒を対象とした生徒指導・進路指導に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objectives: ・Become familiar with the principles and theories of student advising and guidance counseling; ・Become familiar with specific challenges of student advising and guidance counseling; ・Gain a basic ability to provide student advising and guidance counseling to all types of students in a tangible way.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、急激な社会の変動を受けて子どもたちの世界は大きく変化し、いじめ、暴力行為、不登校、インターネットに関する課題など多くの教育問題が発生している。この授業では生徒指導の意義のもと、基本的理論をもとにその内容・方法を理解した上で、これらの教育問題の現状と背景・原因を考察する。さらに、進路指導・キャリア教育、教育相談などの視点もふまえながら、教育問題の克服と解決および基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に必要とされる教師の具体的な指導方法を検討する。 なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	生徒指導 教育問題 進路指導 キャリア教育 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	生徒指導の意義・原理(学校教育・教育課程上の位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	生徒指導の内容(教科及び特別活動等教育活動全体で展開されている内容について)	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	生徒指導の方法(集団指導及び教育相談を含めた個別指導などに関する理論と実際)	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	生徒指導の現状(懲戒の定義・意義・機能・分類、その法的位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	生徒指導の課題①(懲戒と体罰の定義・禁止、出席停止の定義・法的位置づけなど)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	生徒指導の課題②(薬物乱用、児童虐待、インターネットや性に関する問題行動)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	いじめの解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教師の基本的対応方法について)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	暴力行為の解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教育相談を踏まえた教師の対応方法)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
	不登校の解説と指導(定義、類型、歴史的背景、現状、発生の	【予習課題】95分

第9回 Session 9	要因について)	前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第10回 Session 10	進路指導を含めた不登校に対する対応	【予習課題】95分 前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	進路指導・キャリア教育の意義と原理	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	進路指導・キャリア教育におけるガイダンスの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	進路指導・キャリア教育におけるキャリアカウンセリングの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	ポートフォリオを活用した進路指導・キャリア教育(体験活動の意義など)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名: 祐宗省三 タイトル: ウェルビーイングの発達学 発行所: 北大路書房 出版年: 2003 ISBN: 978-4762823145
参考文献・資料 Reference books	ウェルビーイングの発達学、生徒指導提要(URLリンク2 URL 2を参照)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1		
URLリンク2/URL 2	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008.htm		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 15時00分43秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	月曜2時限	春学期／Spring	H-201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48056302	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】生徒指導・進路指導論 2／Principles of Student Guidance		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	吉田 卓司(YOSHIDA TAKASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】生徒指導・進路指導論 2(教職(専門))/生徒指導論 2(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、生徒指導の意義、内容、方法および課題について学び、具体的、実践的な指導に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of student advising. The course aims to give students the ability to learn how to provide specific and practical advice to students.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・生徒指導・進路指導の意義や基本的理論を理解する。 ・生徒指導・進路指導に関する具体的課題を理解する。 ・すべての生徒を対象とした生徒指導・進路指導に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objectives: ・Become familiar with the principles and theories of student advising and guidance counseling; ・Become familiar with specific challenges of student advising and guidance counseling; ・Gain a basic ability to provide student advising and guidance counseling to all types of students in a tangible way.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、急激な社会の変動を受けて子どもたちの世界は大きく変化し、いじめ、暴力行為、不登校、インターネットに関する課題など多くの教育問題が発生している。この授業では生徒指導の意義のもと、基本的理論をもとにその内容・方法を理解した上で、これらの教育問題の現状と背景・原因を考察する。さらに、進路指導・キャリア教育、教育相談などの視点もふまえながら、教育問題の克服と解決および基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に必要とされる教師の具体的な指導方法を検討する。 なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	対面授業(講義形式)を実施する予定である(変更があれば授業中またはLUNAで指示します)。 また、可能な範囲でグループワーク等のアクティブラーニングを用いる。		
検索キーワード/Keywords	生徒指導 教育問題 進路指導 キャリア教育 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	生徒指導の意義・原理(学校教育・教育課程上の位置づけについて)	予習として、生徒指導提要の「まえがき」・第1章第1節及び教育実践基礎論の「はじめに」・序章を読了する。復習については、授業時に指示する
第2回 Session 2	生徒指導の内容(教科及び特別活動等教育活動全体で展開されている内容について)	予習復習の内容については授業時に指示する
第3回 Session 3	生徒指導の方法(集団指導及び教育相談を含めた個別指導などに関する理論と実際)	予習復習の内容については授業時に指示する
第4回 Session 4	生徒指導の現状(懲戒の定義・意義・機能・分類、その法的位置づけについて)	予習復習の内容については授業時に指示する
第5回 Session 5	生徒指導の課題①(懲戒と体罰の定義・禁止、出席停止の定義・法的位置づけなど)	予習復習の内容については授業時に指示する
第6回 Session 6	生徒指導の課題②(薬物乱用、児童虐待、インターネットや性に関する問題行動)	予習復習の内容については授業時に指示する
第7回 Session 7	いじめの解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教師の基本的対応方法について)	予習復習の内容については授業時に指示する
第8回 Session 8	暴力行為の解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教育相談を踏まえた教師の対応方法)	予習復習の内容については授業時に指示する
第9回 Session 9	不登校の解説と指導(定義、類型、歴史的背景、現状、発生の要因について)	予習復習の内容については授業時に指示する
第10回 Session 10	進路指導を含めた不登校に対する対応	予習復習の内容については授業時に指示する
第11回 Session 11	進路指導・キャリア教育の意義と原理	予習復習の内容については授業時に指示する
第12回 Session 12	進路指導・キャリア教育におけるガイダンスの意義と方法	予習復習の内容については授業時に指示する
第13回 Session 13	進路指導・キャリア教育におけるキャリアカウンセリングの意義と方法	予習復習の内容については授業時に指示する
第14回 Session 14	ポートフォリオを活用した進路指導・キャリア教育(体験活動の意義など)	予習復習の内容については授業時に指示する
第15回 Session 15	定期試験	

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと。

教科書/Required texts	著者名: 吉田卓司 タイトル: 教育実践基礎論 発行所: 三学出版 出版年: 2017 ISBN: 978-4-908877-08-7
教科書 Required texts	上記の他、自作のレジュメ、配布資料を使用する。
参考文献・資料 Reference books	生徒指導提要(URLリンク1に掲載) なお、同書は今春、改訂の予定であり、改訂版が公刊された後は、改訂版を用いる。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	筆記試験
	平常レポート／Individual reports(04)	25%	平常授業時の課題レポートの内容と提出状況
	その他／Others(99)	25%	講義時のワークに対する積極性と質疑応答・発言の内容
備考 Note	生徒指導、進路指導に関する新たな動向が生じた場合や、本講義の学修の進行状況及び疾病感染の拡大状況に応じて、学修内容の加除修正等授業計画の変更を行う場合がある。		
URLリンク1/URL 1	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008.htm		
更新日時/Date of Update	2022年01月19日 04時55分41秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	5別－6

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48056303	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】生徒指導・進路指導論 3／Principles of Student Guidance		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	吉田 卓司(YOSHIDA TAKASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】生徒指導・進路指導論 3(教職(専門))/生徒指導論 3(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、生徒指導の意義、内容、方法および課題について学び、具体的、実践的な指導に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of student advising. The course aims to give students the ability to learn how to provide specific and practical advice to students.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・生徒指導・進路指導の意義や基本的理論を理解する。 ・生徒指導・進路指導に関する具体的課題を理解する。 ・すべての生徒を対象とした生徒指導・進路指導に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objectives: ・Become familiar with the principles and theories of student advising and guidance counseling; ・Become familiar with specific challenges of student advising and guidance counseling; ・Gain a basic ability to provide student advising and guidance counseling to all types of students in a tangible way.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、急激な社会の変動を受けて子どもたちの世界は大きく変化し、いじめ、暴力行為、不登校、インターネットに関する課題など多くの教育問題が発生している。この授業では生徒指導の意義のもと、基本的理論をもとにその内容・方法を理解した上で、これらの教育問題の現状と背景・原因を考察する。さらに、進路指導・キャリア教育、教育相談などの視点もふまえながら、教育問題の克服と解決および基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に必要とされる教師の具体的な指導方法を検討する。 なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	対面授業(講義形式)を実施する予定である(変更があれば授業中またはLUNAで指示します)。 また、可能な範囲でグループワーク等のアクティブラーニングを用いる。		
検索キーワード/Keywords	生徒指導 教育問題 進路指導 キャリア教育 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	生徒指導の意義・原理(学校教育・教育課程上の位置づけについて)	予習として、生徒指導提要の「まえがき」・第1章第1節及び教育実践基礎論の「はじめに」・序章を読了する。復習については、授業時に指示する
第2回 Session 2	生徒指導の内容(教科及び特別活動等教育活動全体で展開されている内容について)	予習復習の内容については授業時に指示する
第3回 Session 3	生徒指導の方法(集団指導及び教育相談を含めた個別指導などに関する理論と実際)	予習復習の内容については授業時に指示する
第4回 Session 4	生徒指導の現状(懲戒の定義・意義・機能・分類、その法的位置づけについて)	予習復習の内容については授業時に指示する
第5回 Session 5	生徒指導の課題①(懲戒と体罰の定義・禁止、出席停止の定義・法的位置づけなど)	予習復習の内容については授業時に指示する
第6回 Session 6	生徒指導の課題②(薬物乱用、児童虐待、インターネットや性に関する問題行動)	予習復習の内容については授業時に指示する
第7回 Session 7	いじめの解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教師の基本的対応方法について)	予習復習の内容については授業時に指示する
第8回 Session 8	暴力行為の解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教育相談を踏まえた教師の対応方法)	予習復習の内容については授業時に指示する
第9回 Session 9	不登校の解説と指導(定義、類型、歴史的背景、現状、発生の要因について)	予習復習の内容については授業時に指示する
第10回 Session 10	進路指導を含めた不登校に対する対応	予習復習の内容については授業時に指示する
第11回 Session 11	進路指導・キャリア教育の意義と原理	予習復習の内容については授業時に指示する
第12回 Session 12	進路指導・キャリア教育におけるガイダンスの意義と方法	予習復習の内容については授業時に指示する
第13回 Session 13	進路指導・キャリア教育におけるキャリアカウンセリングの意義と方法	予習復習の内容については授業時に指示する
第14回 Session 14	ポートフォリオを活用した進路指導・キャリア教育(体験活動の意義など)	予習復習の内容については授業時に指示する
第15回 Session 15	定期試験	

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと。

教科書/Required texts	著者名: 吉田卓司 タイトル: 教育実践基礎論 発行所: 三学出版 出版年: 2017 ISBN: 978-4-908877-08-7
教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考文献・資料 Reference books	生徒指導提要(URLリンク1に掲載) なお、同書は今春、改訂の予定であり、改訂版が公開された後は、改訂版を用いる。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	筆記試験
	平常レポート／Individual reports(04)	25%	平常授業時の課題レポートの内容と提出状況
	その他／Others(99)	25%	講義時のワークに対する積極性と質疑・発言の内容
備考 Note	生徒指導、進路指導に関する新たな動向が生じた場合や、本講義の学修の進行状況及び疾病感染の拡大状況に応じて、学修内容の加除修正等授業計画の変更を行う場合がある。		
URLリンク1/URL 1	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008.htm		
更新日時/Date of Update	2022年01月19日 04時56分31秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜5時限	秋学期／Fall	4別ー202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48056304	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】生徒指導・進路指導論 4／Principles of Student Guidance		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】生徒指導・進路指導論 4(教職(専門))/生徒指導論 4(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、生徒指導の意義、内容、方法および課題について学び、具体的、実践的な指導に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of student advising. The course aims to give students the ability to learn how to provide specific and practical advice to students.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・生徒指導・進路指導の意義や基本的理論を理解する。 ・生徒指導・進路指導に関する具体的課題を理解する。 ・すべての生徒を対象とした生徒指導・進路指導に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objectives: ・Become familiar with the principles and theories of student advising and guidance counseling; ・Become familiar with specific challenges of student advising and guidance counseling; ・Gain a basic ability to provide student advising and guidance counseling to all types of students in a tangible way.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、急激な社会の変動を受けて子どもたちの世界は大きく変化し、いじめ、暴力行為、不登校、インターネットに関する課題など多くの教育問題が発生している。この授業では生徒指導の意義のもと、基本的理論をもとにその内容・方法を理解した上で、これらの教育問題の現状と背景・原因を考察する。さらに、進路指導・キャリア教育、教育相談などの視点もふまえながら、教育問題の克服と解決および基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に必要とされる教師の具体的な指導方法を検討する。 なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	生徒指導 教育問題 進路指導 キャリア教育 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	生徒指導の意義・原理(学校教育・教育課程上の位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	生徒指導の内容(教科及び特別活動等教育活動全体で展開されている内容について)	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	生徒指導の方法(集団指導及び教育相談を含めた個別指導などに関する理論と実際)	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	生徒指導の現状(懲戒の定義・意義・機能・分類、その法的位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	生徒指導の課題①(懲戒と体罰の定義・禁止、出席停止の定義・法的位置づけなど)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	生徒指導の課題②(薬物乱用、児童虐待、インターネットや性に関する問題行動)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	いじめの解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教師の基本的対応方法について)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	暴力行為の解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教育相談を踏まえた教師の対応方法)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
	不登校の解説と指導(定義、類型、歴史的背景、現状、発生の	【予習課題】95分

第9回 Session 9	要因について)	前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第10回 Session 10	進路指導を含めた不登校に対する対応	【予習課題】95分 前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	進路指導・キャリア教育の意義と原理	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	進路指導・キャリア教育におけるガイダンスの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	進路指導・キャリア教育におけるキャリアカウンセリングの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	ポートフォリオを活用した進路指導・キャリア教育(体験活動の意義など)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名: 祐宗省三 タイトル: ウェルビーイングの発達学 発行所: 北大路書房 出版年: 2003 ISBN: 978-4762823145
参考文献・資料 Reference books	ウェルビーイングの発達学、生徒指導提要(URLリンク2 URL 2を参照)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1		
URLリンク2/URL 2	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008.htm		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 15時02分06秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜2時限	秋学期／Fall	B－304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48056305	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】生徒指導・進路指導論 5／Principles of Student Guidance		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】生徒指導・進路指導論 5(教職(専門))/生徒指導論 5(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、生徒指導の意義、内容、方法および課題について学び、具体的、実践的な指導に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of student advising. The course aims to give students the ability to learn how to provide specific and practical advice to students.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・生徒指導・進路指導の意義や基本的理論を理解する。 ・生徒指導・進路指導に関する具体的課題を理解する。 ・すべての生徒を対象とした生徒指導・進路指導に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objectives: ・Become familiar with the principles and theories of student advising and guidance counseling; ・Become familiar with specific challenges of student advising and guidance counseling; ・Gain a basic ability to provide student advising and guidance counseling to all types of students in a tangible way.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、急激な社会の変動を受けて子どもたちの世界は大きく変化し、いじめ、暴力行為、不登校、インターネットに関する課題など多くの教育問題が発生している。この授業では生徒指導の意義のもと、基本的理論をもとにその内容・方法を理解した上で、これらの教育問題の現状と背景・原因を考察する。さらに、進路指導・キャリア教育、教育相談などの視点もふまえながら、教育問題の克服と解決および基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に必要とされる教師の具体的な指導方法を検討する。 なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	生徒指導 教育問題 進路指導 キャリア教育 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	生徒指導の意義・原理(学校教育・教育課程上の位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	生徒指導の内容(教科及び特別活動等教育活動全体で展開されている内容について)	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	生徒指導の方法(集団指導及び教育相談を含めた個別指導などに関する理論と実際)	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	生徒指導の現状(懲戒の定義・意義・機能・分類、その法的位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	生徒指導の課題①(懲戒と体罰の定義・禁止、出席停止の定義・法的位置づけなど)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	生徒指導の課題②(薬物乱用、児童虐待、インターネットや性に関する問題行動)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	いじめの解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教師の基本的対応方法について)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	暴力行為の解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教育相談を踏まえた教師の対応方法)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
	不登校の解説と指導(定義、類型、歴史的背景、現状、発生の	【予習課題】95分

第9回 Session 9	要因について)	前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第10回 Session 10	進路指導を含めた不登校に対する対応	【予習課題】95分 前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	進路指導・キャリア教育の意義と原理	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	進路指導・キャリア教育におけるガイダンスの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	進路指導・キャリア教育におけるキャリアカウンセリングの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	ポートフォリオを活用した進路指導・キャリア教育(体験活動の意義など)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名: 祐宗省三 タイトル: ウェルビーイングの発達学 発行所: 北大路書房 出版年: 2003 ISBN: 978-4762823145
参考文献・資料 Reference books	ウェルビーイングの発達学、生徒指導提要(URLリンク2 URL 2を参照)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1		
URLリンク2/URL 2	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008.htm		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 15時03分53秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜3時限	春学期／Spring	VII－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48056306	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】生徒指導・進路指導論 6／Principles of Student Guidance		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses. 【合併】生徒指導・進路指導論 6(教職(専門))/生徒指導論 6(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、生徒指導の意義、内容、方法および課題について学び、具体的、実践的な指導に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of student advising. The course aims to give students the ability to learn how to provide specific and practical advice to students.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・生徒指導・進路指導の意義や基本的理論を理解する。 ・生徒指導・進路指導に関する具体的課題を理解する。 ・すべての生徒を対象とした生徒指導・進路指導に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objectives: ・Become familiar with the principles and theories of student advising and guidance counseling; ・Become familiar with specific challenges of student advising and guidance counseling; ・Gain a basic ability to provide student advising and guidance counseling to all types of students in a tangible way.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、急激な社会の変動を受けて子どもたちの世界は大きく変化し、いじめ、暴力行為、不登校、インターネットに関する課題など多くの教育問題が発生している。この授業では生徒指導の意義のもと、基本的理論をもとにその内容・方法を理解した上で、これらの教育問題の現状と背景・原因を考察する。さらに、進路指導・キャリア教育、教育相談などの視点もふまえながら、教育問題の克服と解決および基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に必要とされる教師の具体的な指導方法を検討する。 なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	生徒指導 教育問題 進路指導 キャリア教育 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	生徒指導の意義・原理(学校教育・教育課程上の位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	生徒指導の内容(教科及び特別活動等教育活動全体で展開されている内容について)	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	生徒指導の方法(集団指導及び教育相談を含めた個別指導などに関する理論と実際)	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	生徒指導の現状(懲戒の定義・意義・機能・分類、その法的位置づけについて)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	生徒指導の課題①(懲戒と体罰の定義・禁止、出席停止の定義・法的位置づけなど)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	生徒指導の課題②(薬物乱用、児童虐待、インターネットや性に関する問題行動)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	いじめの解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教師の基本的対応方法について)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	暴力行為の解説と指導(定義、類型、原因及び背景、教育相談を踏まえた教師の対応方法)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
	不登校の解説と指導(定義、類型、歴史的背景、現状、発生の	【予習課題】95分

第9回 Session 9	要因について)	前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第10回 Session 10	進路指導を含めた不登校に対する対応	【予習課題】95分 前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	進路指導・キャリア教育の意義と原理	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	進路指導・キャリア教育におけるガイダンスの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	進路指導・キャリア教育におけるキャリアカウンセリングの意義と方法	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	ポートフォリオを活用した進路指導・キャリア教育(体験活動の意義など)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名: 祐宗省三 タイトル: ウェルビーイングの発達学 発行所: 北大路書房 出版年: 2003 ISBN: 978-4762823145
参考文献・資料 Reference books	ウェルビーイングの発達学、生徒指導提要(URLリンク2 URL 2を参照)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1		
URLリンク2/URL 2	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008.htm		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 15時04分58秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜2時限	秋学期／Fall	IV－305

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48057001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育相談基礎論 1／Basic Prncpls of Edl Counselng		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	荻田 純久(OGITA YOSHIHISA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、青年期の心理的特徴、学校不適応の諸問題(いじめ、不登校、非行等)、教師としての実践的対応(カウンセリングの基礎を含む)について理解することです。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is to understand the psychological characteristics of adolescence, school maladjustment such as bullying, non-attendance, and delinquency, and practices of teachers for handling them (including the basics of counseling).		
到達目標/Learning Goals	以下を到達目標とします。 a)教育相談の意義と役割を理解している b)発達における青年期の意義と心理的特徴について理解している c)いじめ、不登校、非行についてその現状や背景、また基本的対応のあり方について理解している d)カウンセリングの基本を理解し、実践できる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a) understand the significance and role of school counseling, b) understand the significance and psychological characteristics of adolescence during development, c) understand the current situation and background of bullying, non-attendance, and delinquency and basic approaches for them, d) understand and practice the basics of counseling.		
授業方法 Course Format	・原則、全ての授業において対面で実施します。もしも休講にすることがあれば、その補講はオンデマンドA型オンライン授業で実施します。 ・遅くとも授業の前日までにPDFの教材をLUNAにアップします。必要に応じて、ダウンロード、プリントアウトなどして下さい。 ・授業は、講義が中心となりますが、復習問題、教員採用試験対策問題、心理テストなどを扱った演習も取り入れていきます。 【オンライン受講許可学生対象】 ・PDFの教材、課題に関しては、対面授業の受講生と同じです。 ・その他に関しては、以下のとおりです。 履修登録確定前(1回目から3回目の予定):「オンデマンド」で動画ファイルを配信予定(各授業終了後)。 履修登録確定後(4回目以降の予定):「Zoom」による同時双方向」で配信予定。「オンライン受講許可学生」は、担当者(荻田)宛に大学のメールアドレスからメールを送信して下さい。Zoom情報を個別に通知します。担当者のメールアドレスは、LUNAで通知します。		
検索キーワード/Keywords	教育相談 青年期 いじめ 不登校 カウンセリング		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	＜対面授業で実施＞ 【講義】 ・オリエンテーション(授業科目の概要、シラバス、授業運営、評価の方法) 【演習】 ・学校教育現場における課題と教育相談 【講義】 ・オリエンテーション(本授業で学ぶこと)	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.102～109を読む
第2回 Session 2	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校教育における教育相談の役割と生徒指導との関係 【演習】 ・生徒との信頼関係について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.35～40を読む
第3回 Session 3	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達における青年期の意義 【演習】 ・青年期の意義について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.35～40を読む
第4回 Session 4	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達における青年期の心理的特徴(自意識の先鋭化、アイデンティティと自立をめぐる諸問題) 【演習】 ・生徒と関わる際に念頭に置いておきたいこと	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.81～86を読む
	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分

第5回 Session 5	・復習問題と解説 【講義】 ・適応と不適応（適応・不適応の意味、不適応とストレスとの関係） 【演習】 ・さまざまな学校不適応について	・教科書pp.87～91を読む
第6回 Session 6	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応1 いじめ（日本のいじめの現状と特徴、いじめの心理機制） 【演習】 ・いじめに関するデータから考えること	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.87～91を読む
第7回 Session 7	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応1 いじめへの対応（学校内、保護者、地域社会との連携を含む） 【演習】 ・我が国におけるいじめ問題への取り組みについて	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.91～97を読む
第8回 Session 8	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応2 不登校（不登校の変遷と現状、不登校の心理機制と予後） 【演習】 ・不登校に関するデータから考えること	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.91～97を読む
第9回 Session 9	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応2 不登校への対応（保護者、スクールカウンセラーとの連携、教育支援センターの利用を含む） 【演習】 ・我が国における不登校への取り組みについて	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.97～100を読む
第10回 Session 10	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応3 非行（非行の変遷と現状、非行の心理機制と社会的背景） 【演習】 ・非行の変遷と現在の非行について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.97～100を読む
第11回 Session 11	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応3 非行への対応（保護者、地域社会との連携を含む） 【演習】 ・非行少年の特徴について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.106～109を読む
第12回 Session 12	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・カウンセリングの発展史とカウンセリングマインド 【演習】 ・保護者対応、教師間連携におけるカウンセリングマインドについて	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.110～116を読む
第13回 Session 13	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校カウンセリングの実践（受容、傾聴、共感的理解など） 【演習】 ・家庭との連携に関する実践課題	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書のうち、この授業で扱った内容に関して見直しておく
第14回 Session 14	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・まとめと発展的学習への誘い 【演習】 ・教育相談に関する発展的学習について	【復習課題】 190分 ・振り返りシートの作成と提出 ・全てのPDF教材、ノートなどを復習する

教科書/Required texts	著者名: 善明宣夫 タイトル: 学校教育心理学 発行所: 福村出版 出版年: 2013 ISBN: 978-4-571-22052-4
参考文献・資料 Reference books	生徒指導提要(文部科学省)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	本学所定の形式により学期末に行います。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	30%	学期末に1回、レポート課題をLUNAで提出してもらいます(30点満点×1回=30点)
	その他/Others(99)	70%	毎回の振り返りシートにより評価します(5点満点×14回=70点)
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_212621_1&cmp_tab_id=_254739_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年03月14日 19時48分45秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期/Spring	月曜2時限	春学期/Spring	B-103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48057002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育相談基礎論 2／Basic Prncpls of Edl Counselng		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	善明 宣夫(ZENMYOU NOBUO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、まず青年期の心理的特徴について理解を深めるとともに、学校不適応の諸問題として「いじめ」「不登校」「非行」を取り上げ、その理解と教師としての実践的対応、またカウンセリングの基礎について理解することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the psychological characteristics of adolescence, school maladjustments such as bullying, non-attendance, and delinquency, and practices of teachers for handling them (including the basics of counseling).		
到達目標/Learning Goals	以下を到達目標とする。 a)教育相談の意義と役割を理解している b)発達における青年期の意義と心理的特徴について理解している c)いじめ、不登校、非行についてその現状や背景、また基本的対応のあり方について理解している d)カウンセリングの基本を理解し、実践できる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a) understand the significance and role of school counseling, b) understand the significance and psychological characteristics of adolescence during development, c) understand the current situation and background of bullying, non-attendance, and delinquency and basic approaches for them, d) understand and practice the basics of counseling.		
授業方法 Course Format	講義形式による対面授業で実施。教材や資料等については毎回、LUNAで提示する。		
関連科目/Related Courses	「発達・学習過程論」を修得しているほうが望ましい。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(授業科目の概要、シラバス、授業運営、評価の方法など)	シラバスを参考に教科書を概観し、講義全体のイメージをつかんでおくこと(100分)。
第2回 Session 2	学校教育における教育相談の役割と生徒指導との関係	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第3回 Session 3	発達における青年期の意義	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第4回 Session 4	発達における青年期の心理的特徴	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第5回 Session 5	適応と不適応(適応・不適応の意味、不適応とストレスとの関係)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第6回 Session 6	学校不適応1 いじめ(日本のいじめと諸外国のいじめ、日本のいじめの現状と特徴、いじめの心理機制)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第7回 Session 7	学校不適応1 いじめへの対応(教師の立場からのいじめへの対応－学校内、保護者、地域社会との連携を含む)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第8回 Session 8	学校不適応2 不登校(不登校の変遷と現状、不登校の心理機制と予後の問題)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第9回 Session 9	学校不適応2 不登校への対応(教師の立場からの不登校への対応－保護者、スクールカウンセラーとの連携、教育支援センターの活用等を含む)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第10回 Session 10	学校不適応3 非行(非行の現状と変遷、非行の心理機制と社会的背景)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第11回 Session 11	学校不適応3 非行への対応(教師の立場からの非行への対応－保護者、地域社会との連携を含む)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第12回 Session 12	カウンセリングの発展史とカウンセリングマインド	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第13回 Session 13	学校カウンセリングの実践(受容、傾聴、共感的理解を中心に)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第14回 Session 14	まとめ(授業のふりかえりと試験について)	講義全体について、その内容を理解し、整理しておくこと(190分)。
授業外学修 Study Required outside Class	平常レポートの講評については、次の授業回に口頭で行う。	

教科書/Required texts	著者名:善明 宣夫(編著) タイトル:学校教育心理学 発行所:福村出版 出版年:2013 ISBN:978-4-571-22052-4
参考文献・資料 Reference books	参考文献については適時紹介する。また資料については事前にLUNAで提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	本学所定の形式により学期末に行う。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	90%	
	平常レポート／Individual reports(04)	10%	
	備考 Note		
	【オンライン授業許可学生対象】 平常レポート100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計3回)。授業の4回目以降、LUNAに題目・提出期日等を掲載するので確認すること。		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 15時54分13秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	水曜5時限	春学期／Spring	B-204

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48057003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育相談基礎論 3／Basic Prncpls of Edl Counselng		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	荻田 純久(OGITA YOSHIHISA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、青年期の心理的特徴、学校不適応の諸問題(いじめ、不登校、非行等)、教師としての実践的対応(カウンセリングの基礎を含む)について理解することです。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is to understand the psychological characteristics of adolescence, school maladjustment such as bullying, non-attendance, and delinquency, and practices of teachers for handling them (including the basics of counseling).		
到達目標/Learning Goals	以下を到達目標とします。 a)教育相談の意義と役割を理解している b)発達における青年期の意義と心理的特徴について理解している c)いじめ、不登校、非行についてその現状や背景、また基本的対応のあり方について理解している d)カウンセリングの基本を理解し、実践できる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a) understand the significance and role of school counseling, b) understand the significance and psychological characteristics of adolescence during development, c) understand the current situation and background of bullying, non-attendance, and delinquency and basic approaches for them, d) understand and practice the basics of counseling.		
授業方法 Course Format	・原則、全ての授業において対面で実施します。もしも休講にすることがあれば、その補講はオンデマンドA型オンライン授業で実施します。 ・遅くとも授業の前日までにPDFの教材をLUNAにアップします。必要に応じて、ダウンロード、プリントアウトなどして下さい。 ・授業は、講義が中心となりますが、復習問題、教員採用試験対策問題、心理テストなどを扱った演習も取り入れていきます。 【オンライン受講許可学生対象】 ・PDFの教材、課題に関しては、対面授業の受講生と同じです。 ・その他に関しては、以下のとおりです。 履修登録確定前(1回目から3回目の予定):「オンデマンド」で動画ファイルを配信予定(各授業終了後)。 履修登録確定後(4回目以降の予定):「Zoom」による同時双方向」で配信予定。「オンライン受講許可学生」は、担当者(荻田)宛に大学のメールアドレスからメールを送信して下さい。Zoom情報を個別に通知します。担当者のメールアドレスは、LUNAで通知します。		
検索キーワード/Keywords	教育相談 青年期 いじめ 不登校 カウンセリング		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	＜対面授業で実施＞ 【講義】 ・オリエンテーション(授業科目の概要、シラバス、授業運営、評価の方法) 【演習】 ・学校教育現場における課題と教育相談 【講義】 ・オリエンテーション(本授業で学ぶこと)	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.102～109を読む
第2回 Session 2	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校教育における教育相談の役割と生徒指導との関係 【演習】 ・生徒との信頼関係について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.35～40を読む
第3回 Session 3	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達における青年期の意義 【演習】 ・青年期の意義について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.35～40を読む
第4回 Session 4	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達における青年期の心理的特徴(自意識の先鋭化、アイデンティティと自立をめぐる諸問題) 【演習】 ・生徒と関わる際に念頭に置いておきたいこと	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.81～86を読む
	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分

第5回 Session 5	・復習問題と解説 【講義】 ・適応と不適応(適応・不適応の意味、不適応とストレスとの関係) 【演習】 ・さまざまな学校不適応について	・教科書pp.87～91を読む
第6回 Session 6	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応1 いじめ(日本のいじめの現状と特徴、いじめの心理機制) 【演習】 ・いじめに関するデータから考えること	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.87～91を読む
第7回 Session 7	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応1 いじめへの対応(学校内、保護者、地域社会との連携を含む) 【演習】 ・我が国におけるいじめ問題への取り組みについて	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.91～97を読む
第8回 Session 8	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応2 不登校(不登校の変遷と現状、不登校の心理機制と予後) 【演習】 ・不登校に関するデータから考えること	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.91～97を読む
第9回 Session 9	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応2 不登校への対応(保護者、スクールカウンセラーとの連携、教育支援センターの利用を含む) 【演習】 ・我が国における不登校への取り組みについて	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.97～100を読む
第10回 Session 10	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応3 非行(非行の変遷と現状、非行の心理機制と社会的背景) 【演習】 ・非行の変遷と現在の非行について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.97～100を読む
第11回 Session 11	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応3 非行への対応(保護者、地域社会との連携を含む) 【演習】 ・非行少年の特徴について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.106～109を読む
第12回 Session 12	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・カウンセリングの発展史とカウンセリングマインド 【演習】 ・保護者対応、教師間連携におけるカウンセリングマインドについて	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.110～116を読む
第13回 Session 13	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校カウンセリングの実践(受容、傾聴、共感的理解など) 【演習】 ・家庭との連携に関する実践課題	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書のうち、この授業で扱った内容に関して見直しておく
第14回 Session 14	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・まとめと発展的学習への誘い 【演習】 ・教育相談に関する発展的学習について	【復習課題】 190分 ・振り返りシートの作成と提出 ・全てのPDF教材、ノートなどを復習する

教科書/Required texts	著者名: 善明宣夫 タイトル: 学校教育心理学 発行所: 福村出版 出版年: 2013 ISBN: 978-4-571-22052-4
参考文献・資料 Reference books	生徒指導提要(文部科学省)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	本学所定の形式により学期末に行います。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	30%	学期末に1回、レポート課題をLUNAで提出してもらいます(30点満点×1回=30点)
	その他/Others(99)	70%	毎回の振り返りシートにより評価します(5点満点×14回=70点)
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_216442_1&cmp_tab_id=_258560_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年03月14日 19時49分47秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期/Fall	火曜5時限	秋学期/Fall	B-103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48057004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育相談基礎論 4／Basic Prncpls of Edl Counselng		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	善明 宣夫(ZENMYOU NOBUO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、まず青年期の心理的特徴について理解を深めるとともに、学校不適応の諸問題として「いじめ」「不登校」「非行」を取り上げ、その理解と教師としての実践的対応、またカウンセリングの基礎について理解することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the psychological characteristics of adolescence, school maladjustments such as bullying, non-attendance, and delinquency, and practices of teachers for handling them (including the basics of counseling).		
到達目標/Learning Goals	以下を到達目標とする。 a)教育相談の意義と役割を理解している b)発達における青年期の意義と心理的特徴について理解している c)いじめ、不登校、非行についてその現状や背景、また基本的対応のあり方について理解している d)カウンセリングの基本を理解し、実践できる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a) understand the significance and role of school counseling, b) understand the significance and psychological characteristics of adolescence during development, c) understand the current situation and background of bullying, non-attendance, and delinquency and basic approaches for them, d) understand and practice the basics of counseling.		
授業方法 Course Format	講義形式による対面授業で実施。教材や資料等については毎回、LUNAで提示する。		
関連科目/Related Courses	「発達・学習過程論」を修得しているほうが望ましい。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(授業科目の概要、シラバス、授業運営、評価の方法など)	シラバスを参考に教科書を概観し、講義全体のイメージをつかんでおくこと(100分)。
第2回 Session 2	学校教育における教育相談の役割と生徒指導との関係	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第3回 Session 3	発達における青年期の意義	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第4回 Session 4	発達における青年期の心理的特徴	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第5回 Session 5	適応と不適応(適応・不適応の意味、不適応とストレスとの関係)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第6回 Session 6	学校不適応1 いじめ(日本のいじめと諸外国のいじめ、日本のいじめの現状と特徴、いじめの心理機制)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第7回 Session 7	学校不適応1 いじめへの対応(教師の立場からのいじめへの対応ー学校内、保護者、地域社会との連携を含む)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第8回 Session 8	学校不適応2 不登校(不登校の変遷と現状、不登校の心理機制と予後の問題)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第9回 Session 9	学校不適応2 不登校への対応(教師の立場からの不登校への対応ー保護者、スクールカウンセラーとの連携、教育支援センターの活用等を含む)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第10回 Session 10	学校不適応3 非行(非行の現状と変遷、非行の心理機制と社会的背景)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第11回 Session 11	学校不適応3 非行への対応(教師の立場からの非行への対応ー保護者、地域社会との連携を含む)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第12回 Session 12	カウンセリングの発展史とカウンセリングマインド	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第13回 Session 13	学校カウンセリングの実践(受容、傾聴、共感的理解を中心に)	シラバスを参考に教科書等で予習をして授業に臨むこと(90分)。また教科書、配付資料、ノート等で毎回の復習をしておくこと(100分)。
第14回 Session 14	まとめ(授業のふりかえりと試験について)	講義全体について、その内容を理解し、整理しておくこと(190分)。
授業外学修 Study Required outside Class	平常レポートの講評については、次の授業回に口頭で行う。	

教科書/Required texts	著者名:善明 宣夫(編著) タイトル:学校教育心理学 発行所:福村出版 出版年:2013 ISBN:978-4-571-22052-4
参考文献・資料 Reference books	参考文献については適時紹介する。また資料については事前にLUNAで提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	本学所定の形式により学期末に行う。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	90%	
	平常レポート／Individual reports(04)	10%	
	備考 Note		
	【オンライン授業許可学生対象】 平常レポート100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計3回)。授業の4回目以降、LUNAに題目・提出期日等を掲載するので確認すること。		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 15時55分33秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期/Fall	水曜4時限	秋学期/Fall	B-204

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48057005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育相談基礎論 5/Basic Prncpls of Edl Counselng		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	荻田 純久(OGITA YOSHIHISA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、青年期の心理的特徴、学校不適応の諸問題(いじめ、不登校、非行等)、教師としての実践的対応(カウンセリングの基礎を含む)について理解することです。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is to understand the psychological characteristics of adolescence, school maladjustment such as bullying, non-attendance, and delinquency, and practices of teachers for handling them (including the basics of counseling).		
到達目標/Learning Goals	以下を到達目標とします。 a)教育相談の意義と役割を理解している b)発達における青年期の意義と心理的特徴について理解している c)いじめ、不登校、非行についてその現状や背景、また基本的対応のあり方について理解している d)カウンセリングの基本を理解し、実践できる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a) understand the significance and role of school counseling, b) understand the significance and psychological characteristics of adolescence during development, c) understand the current situation and background of bullying, non-attendance, and delinquency and basic approaches for them, d) understand and practice the basics of counseling.		
授業方法 Course Format	・原則、全ての授業において対面で実施します。もしも休講にすることがあれば、その補講はオンデマンドA型オンライン授業で実施します。 ・遅くとも授業の前日までにPDFの教材をLUNAにアップします。必要に応じて、ダウンロード、プリントアウトなどして下さい。 ・授業は、講義が中心となりますが、復習問題、教員採用試験対策問題、心理テストなどを扱った演習も取り入れていきます。 【オンライン受講許可学生対象】 ・PDFの教材、課題に関しては、対面授業の受講生と同じです。 ・その他に関しては、以下のとおりです。 履修登録確定前(1回目から3回目の予定):「オンデマンド」で動画ファイルを配信予定(各授業終了後)。 履修登録確定後(4回目以降の予定):「Zoom」による同時双方向」で配信予定。「オンライン受講許可学生」は、担当者(荻田)宛に大学のメールアドレスからメールを送信して下さい。Zoom情報を個別に通知します。担当者のメールアドレスは、LUNAで通知します。		
検索キーワード/Keywords	教育相談 青年期 いじめ 不登校 カウンセリング		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	＜対面授業で実施＞ 【講義】 ・オリエンテーション(授業科目の概要、シラバス、授業運営、評価の方法) 【演習】 ・学校教育現場における課題と教育相談 【講義】 ・オリエンテーション(本授業で学ぶこと)	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.102～109を読む
第2回 Session 2	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校教育における教育相談の役割と生徒指導との関係 【演習】 ・生徒との信頼関係について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.35～40を読む
第3回 Session 3	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達における青年期の意義 【演習】 ・青年期の意義について	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.35～40を読む
第4回 Session 4	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・発達における青年期の心理的特徴(自意識の先鋭化、アイデンティティと自立をめぐる諸問題) 【演習】 ・生徒と関わる際に念頭に置いておきたいこと	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分 ・教科書pp.81～86を読む
	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ	【復習課題】90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】100分

第5回 Session 5	・復習問題と解説 【講義】 ・適応と不適応（適応・不適応の意味、不適応とストレスとの関係） 【演習】 ・さまざまな学校不適応について	・教科書pp.87～91を読む
第6回 Session 6	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応1 いじめ（日本のいじめの現状と特徴、いじめの心理機制） 【演習】 ・いじめに関するデータから考えること	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.87～91を読む
第7回 Session 7	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応1 いじめへの対応（学校内、保護者、地域社会との連携を含む） 【演習】 ・我が国におけるいじめ問題への取り組みについて	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.91～97を読む
第8回 Session 8	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応2 不登校（不登校の変遷と現状、不登校の心理機制と予後） 【演習】 ・不登校に関するデータから考えること	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.91～97を読む
第9回 Session 9	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応2 不登校への対応（保護者、スクールカウンセラーとの連携、教育支援センターの利用を含む） 【演習】 ・我が国における不登校への取り組みについて	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.97～100を読む
第10回 Session 10	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応3 非行（非行の変遷と現状、非行の心理機制と社会的背景） 【演習】 ・非行の変遷と現在の非行について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.97～100を読む
第11回 Session 11	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校不適応3 非行への対応（保護者、地域社会との連携を含む） 【演習】 ・非行少年の特徴について	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.106～109を読む
第12回 Session 12	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・カウンセリングの発展史とカウンセリングマインド 【演習】 ・保護者対応、教師間連携におけるカウンセリングマインドについて	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書pp.110～116を読む
第13回 Session 13	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・学校カウンセリングの実践（受容、傾聴、共感的理解など） 【演習】 ・家庭との連携に関する実践課題	【復習課題】 90分 ・振り返りシートの作成と提出 【予習課題】 100分 ・教科書のうち、この授業で扱った内容に関して見直しておく
第14回 Session 14	＜対面授業で実施＞ 【演習】 ・前回の振り返りシートへのリプライ ・復習問題と解説 【講義】 ・まとめと発展的学習への誘い 【演習】 ・教育相談に関する発展的学習について	【復習課題】 190分 ・振り返りシートの作成と提出 ・全てのPDF教材、ノートなどを復習する

教科書/Required texts	著者名: 善明宣夫 タイトル: 学校教育心理学 発行所: 福村出版 出版年: 2013 ISBN: 978-4-571-22052-4
参考文献・資料 Reference books	生徒指導提要(文部科学省)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	本学所定の形式により学期末に行います。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート/Individual reports(04)	30%	学期末に1回、レポート課題をLUNAで提出してもらいます(30点満点×1回=30点)
	その他/Others(99)	70%	毎回の振り返りシートにより評価します(5点満点×14回=70点)
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_220332_1&cmp_tab_id=_262450_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年03月14日 19時50分55秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期/Spring	木曜4時限	春学期/Spring	VII-101

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 1／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	<DP・CPと授業科目との関連> 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 <DP・CPとは？> DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 <各学部・研究科等のDP・CP一覧> https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ:教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ:学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時21分32秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜2時限	秋学期／Fall	G-104

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 2／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	白銀 夏樹(SHIROKANE NATSUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	＜DP・CPと授業科目との関連＞ 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 ＜DP・CPとは？＞ DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 ＜各学部・研究科等のDP・CP一覧＞ https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ・教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ・学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時22分13秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜2時限	秋学期／Fall	G-204

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 3／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	三上 明洋(MIKAMI AKIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	＜DP・CPと授業科目との関連＞ 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 ＜DP・CPとは？＞ DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 ＜各学部・研究科等のDP・CP一覧＞ https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ:教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ:学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時23分05秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜1時限	秋学期／Fall	院1－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 4／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	三上 明洋(MIKAMI AKIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	＜DP・CPと授業科目との関連＞ 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 ＜DP・CPとは？＞ DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 ＜各学部・研究科等のDP・CP一覧＞ https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ・教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ・学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時23分46秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜3時限	秋学期／Fall	G-107

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059005	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 5／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	久保田 真功(KUBOTA MAKOTO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	＜DP・CPと授業科目との関連＞ 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 ＜DP・CPとは？＞ DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 ＜各学部・研究科等のDP・CP一覧＞ https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ:教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ:学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年02月28日 12時32分55秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜3時限	秋学期／Fall	G-224

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059006	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 6／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	久保田 真功(KUBOTA MAKOTO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	<DP・CPと授業科目との関連> 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 <DP・CPとは？> DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 <各学部・研究科等のDP・CP一覧> https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ:教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ:学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年02月28日 12時33分53秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜5時限	秋学期／Fall	G-208

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059007	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 7／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	荻田 純久(OGITA YOSHIHISA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	<DP・CPと授業科目との関連> 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 <DP・CPとは？> DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 <各学部・研究科等のDP・CP一覧> https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ:教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ:学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時24分29秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜2時限	秋学期／Fall	G-203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059008	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 8／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	下野 厚子(SHIMONO ATSUKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	<DP・CPと授業科目との関連> 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 <DP・CPとは?> DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 <各学部・研究科等のDP・CP一覧> https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ:教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ:学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時24分57秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜3時限	秋学期／Fall	A-104

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059009	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 9／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	佐野 茂(SANO SHIGERU)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	＜DP・CPと授業科目との関連＞ 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 ＜DP・CPとは？＞ DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 ＜各学部・研究科等のDP・CP一覧＞ https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ・教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ・学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時25分34秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜5時限	秋学期／Fall	C-104

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059010	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 10／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	松尾 達弥(MATSUO TATSUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	＜DP・CPと授業科目との関連＞ 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 ＜DP・CPとは？＞ DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 ＜各学部・研究科等のDP・CP一覧＞ https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ:教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ:学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時26分24秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜5時限	秋学期／Fall	院1－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059011	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス／Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 11／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	白銀 夏樹(SHIROKANE NATSUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	＜DP・CPと授業科目との関連＞ 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 ＜DP・CPとは？＞ DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 ＜各学部・研究科等のDP・CP一覧＞ https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ:教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ:学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時27分13秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜2時限	秋学期／Fall	II-212

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059012	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 12／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	澁谷 久(SHIBUYA HISASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	<DP・CPと授業科目との関連> 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 <DP・CPとは？> DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 <各学部・研究科等のDP・CP一覧> https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ:教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ:学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時28分18秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜2時限	秋学期／Fall	IV－303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059013	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 13／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	澁谷 久(SHIBUYA HISASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	＜DP・CPと授業科目との関連＞ 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 ＜DP・CPとは？＞ DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 ＜各学部・研究科等のDP・CP一覧＞ https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ:教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ:学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時29分05秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	木曜1時限	秋学期／Fall	IV－212

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059014	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 14／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	荻田 純久(OGITA YOSHIHISA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	<DP・CPと授業科目との関連> 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 <DP・CPとは？> DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 <各学部・研究科等のDP・CP一覧> https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ:教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ:学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時29分38秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	木曜3時限	秋学期／Fall	IV－204

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059015	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 15／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	前原 健三(MAEHARA KENZO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	<DP・CPと授業科目との関連> 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 <DP・CPとは？> DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 <各学部・研究科等のDP・CP一覧> https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ:教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ:学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時30分39秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	木曜2時限	秋学期／Fall	II-305

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48059016	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス／Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教職実践演習(中・高) 16／Seminar of Teaching Practice (Jr. & Sr. High School)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	前原 健三(MAEHARA KENZO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	＜DP・CPと授業科目との関連＞ 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 ＜DP・CPとは？＞ DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 ＜各学部・研究科等のDP・CP一覧＞ https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教職につく上での課題を自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to become aware of the challenges of teaching and to provide supplemental instruction where necessary in areas where their knowledge and skills may be deficient.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教科・教職に関する幅広い基礎的・専門的知識を獲得している。 ・学校現場、地域、社会全体に関わる課題について、適切な対応を考えて議論することができる。 ・生徒の発達に応じた授業の構成や教材・教具の工夫ができる。 ・教育的愛情を持って生徒に接することができ、豊かな対人関係力を身につけ、社会の一員として適切に行動できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・acquire a broad foundation and specialization in topics concerning education and teaching, ・acquire the ability to thoughtfully participate in discussions related to educational issues in a regional, societal, and individual school context, ・acquire the ability to create course outlines, materials, and learning aids appropriate to students’ levels of educational progress, ・acquire the ability to create strong interpersonal relationships, while caringly approaching and interacting with students in a professional manner.		
授業の概要・背景 Course Outline	本授業は、本学のスクールモットーである「マスタリー・フォア・サービス」を体現できる教員の養成を目指し、受講者が習得している知識・技能の向上と定着を図るための各クラス毎の演習と、全体で実施する共通履修のプログラムによる演習から構成する。各クラスでの演習では、模擬授業なども行い、大学で習得してきた知識や技能をさらに発展させていくために、教科に関する科目の担当者の協力を得ながら学生個人にあった必要な方法や方策を習得させていく。全体での演習では、現職教員(教育委員会指導主事など)の教育実践の知見に学ぶことを通して、学生自らの到達レベルを確認し、実務に向けての意欲を高める。そして、大学で学んだ教科・教職に関する知識・技能、教育実習で身に付けた実践的な知識・技能および各学部で学んだ専門的知識の一層の統合を図り、本演習を通して、以下の4項目(1. 教職に対する使命感や情熱、子どもへの愛情、2. コミュニケーション能力、3. 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等に関する指導力、4. 生徒理解や生徒指導、学級経営等に関する指導力)についての教員として必要な資質と能力の到達レベルの確認とさらなる向上を図ることを目標とする。また、討論、ロールプレイング、事例研究、現地調査などを通じて、理論と実践の統合と定着を促す。		
授業方法 Course Format	講義および実習形式にて行う。 クラス単位の授業および全体授業を実施する。 【オンライン受講生対象】 オンライン受講に必要な情報はLUNAで指示する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(講義・ディスカッション)	
第2回 Session 2	社会人としての教員の基本(1)(講義・事例研究)	
第3回 Session 3	社会人としての教員の基本(2)(現地調査・事例研究・ロールプレイング)	
第4回 Session 4	学級経営の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第5回 Session 5	学級経営の理論と実際(2)(事例研究・ロールプレイング・ディスカッション)	
第6回 Session 6	教職の意義と期待される教員の役割(講義・ワークショップ)	
第7回 Session 7	道徳教育と生徒理解(講義・ワークショップ)	
第8回 Session 8	教科指導の理論と実際(1)(現地調査・ディスカッション)	
第9回 Session 9	教科指導の理論と実際(2)(講義・ワークショップ:教材研究)	
第10回 Session 10	教科指導の理論と実際(3)(講義・ワークショップ:学習指導案作成)	
第11回 Session 11	模擬授業と授業分析と評価(1)(ワークショップ・ディスカッション:第1グループ)	
第12回	模擬授業と授業分析と評価(2)(ワークショップ・ディスカシヨ	

Session 12	ン:第2グループ)	
第13回 Session 13	模擬授業と授業分析と評価(3)(ワークショップ・ディスカッショ ン:第3グループ)	
第14回 Session 14	学校間の連携・協力および同僚との関係性、総括(講義・ワー クショップ・ディスカッション)	

授業計画 Overview for each class	発表・模擬授業などの実施後にはその授業内で、課題提出の場合は次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	履修カルテ(ポートフォリオ)を作成しておくこと。

教科書 Required texts	とくに指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示・提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	発表・模擬授業の内容、討論への参加態度、課題などで総合的に評価する。
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時31分15秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜3時限	秋学期／Fall	II-213

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48061000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教育実習A／Teaching Practice A		
単位数/Credit	5	履修期/Term	通年／Year Round
担当者/Instructor	白銀 夏樹(SHIROKANE NATSUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	<DP・CPと授業科目との関連> 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 <DP・CPとは？> DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 <各学部・研究科等のDP・CP一覧> https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、体験による学校教育全般についての学びを通じて教科や教職についての理論を深めることで教師としての実践的指導力を身に付け、自己の教員としての能力や適性について自覚することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire the ability to provide practical guidance, as a teacher, through deepening of their understanding of the theories of teaching and lecturing, to deepen their abilities through a combination of learning about formal education and gaining practical experience, and to acquire an individual awareness of the personal abilities and competencies required to become a teacher.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教育実習の趣旨・目的を理解し、各自の目標を設定して教育実習(学校実習)に臨むことができる。 ・事前講義などの事前指導を通して、教育実習(学校実習)に向けた適切な準備を行うことができる。 ・大学で学んだ教育理論や技術を教育の現場で検証し、不十分な点を補足し研究する。 ・事後講義などの事後指導を通して、今後の自己課題を明らかにし解決しようとする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・be able to understand the goals and effects of the practice of teaching, while developing an approach to their (school based) teaching practicum through the setting of individual goals, ・be able to complete appropriate preparation for their (school based) teaching practicum through lectures and guidance provided in advance of their school placement, ・confirm the educational theories and skills they have learned in a school setting and conduct research to supplement any areas of deficiency, ・identify any future personal challenges and attempt to address them through follow-up classes and guidance.		
授業の概要・背景 Course Outline	この科目は中学校1種免許状または、中学校1種免許状・高等学校1種免許状取得希望者の必修科目である。大学において行うオリエンテーション及び実習に関する事前・事後講義等と、実習校において行うすべての教育活動にわたる実習とが本科目の主な内容である。オリエンテーション、講義、実習への全出席とともに、小論文、実習ノート等の提出を求める。先修科目については「教職課程等履修要項」を、また、授業目的・授業内容の詳細については「教育実習必携」及び「教職ハンドブック」を参照すること。		
授業方法 Course Format	原則として120時間以上の実習校での実習と、事前・事後指導については講義と演習形式を併用して行う。		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	1.オリエンテーション 2.事前講義1(教育実習の意義と心得)(講義) 3.事前講義2(「教育実習への抱負」)←レポート作成 4.事前講義3(教育実習と人権教育)講義 5.事前講義4(教育実習と障害児教育)講義 6.事前講義5(教育実習生を受け入れて)講義 7.事前講義6(模擬授業) 8.学校実習(実習校における観察・参加・実習) 9.事後講義1(「実習を終えて」発表) 10.事後講義2(「実習を終えて」発表) ※ 課題提出の後、次回の授業などにおいて講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	学校実習はもちろん、事前及び事後講義についても真摯な気持ちで臨むこと。

教科書 Required texts	プリントによる資料等を配布する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中に実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	実習校の学校長及び指導教諭による評価と、教育実習ノート、実習関係のレポート及び大学における実習事前・事後指導の成績、並びに実習校への訪問指導の際の評価などをもって総合的に評価する。
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_198297_1&cmp_tab_id=_234337_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年03月01日 09時11分14秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	通年／Year Round	集中・その他	通年／Year Round	未定

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48062000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【400】教育実習B／Teaching Practice B		
単位数/Credit	3	履修期/Term	通年／Year Round
担当者/Instructor	久保田 真功(KUBOTA MAKOTO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	4年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	<DP・CPと授業科目との関連> 各授業科目は、各学部・研究科の定めるDP・CPに基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 また、履修心得や履修の手引きに掲載されている教育課程表(授業科目一覧等)も参考にしてください。 <DP・CPとは?> DP(ディプロマ・ポリシー):各学部等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。 CP(カリキュラム・ポリシー):DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。 <各学部・研究科等のDP・CP一覧> https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000550		
授業目的/Course Purpose	本授業では、体験による学校教育全般についての学びを通じて教科や教職についての理論を深めることで教師としての実践的指導力を身に付け、自己の教員としての能力や適性について自覚することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire the ability to provide practical guidance, as a teacher, through deepening of their understanding of the theories of teaching and lecturing, to deepen their abilities through a combination of learning about formal education and gaining practical experience, and to acquire an individual awareness of the personal abilities and competencies required to become a teacher.		
到達目標/Learning Goals	以下4の点を到達目標として設定する。 ・教育実習の趣旨・目的を理解し、各自の目標を設定して教育実習(学校実習)に臨むことができる。 ・事前講義などの事前指導を通して、教育実習(学校実習)に向けた適切な準備を行うことができる。 ・大学で学んだ教育理論や技術を教育の現場で検証し、不十分な点を補足し研究する。 ・事後講義などの事後指導を通して、今後の自己課題を明らかにし解決しようとする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following four learning objectives: ・be able to understand the goals and effects of the practice of teaching, while developing an approach to their (school based) teaching practicum through the setting of individual goals, ・be able to complete appropriate preparation for their (school based) teaching practicum through lectures and guidance provided in advance of their school placement, ・confirm the educational theories and skills they have learned in a school setting and conduct research to supplement any areas of deficiency, ・identify any future personal challenges and attempt to address them through follow-up classes and guidance.		
授業の概要・背景 Course Outline	この科目は中学校1種免許状または、中学校1種免許状・高等学校1種免許状取得希望者の必修科目である。大学において行うオリエンテーション及び実習に関する事前・事後講義等と、実習校において行うすべての教育活動にわたる実習とが本科目の主な内容である。オリエンテーション、講義、実習への全出席とともに、小論文、実習ノート等の提出を求める。先修科目については「教職課程等履修要項」を、また、授業目的・授業内容の詳細については「教育実習必携」及び「教職ハンドブック」を参照すること。		
授業方法 Course Format	原則として120時間以上の実習校での実習と、事前・事後指導については講義と演習形式を併用して行う。		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	1.オリエンテーション 2.事前講義1(教育実習の意義と心得)(講義) 3.事前講義2(「教育実習への抱負」)←レポート作成 4.事前講義3(教育実習と人権教育)講義 5.事前講義4(教育実習と障害児教育)講義 6.事前講義5(教育実習生を受け入れて)講義 7.事前講義6(模擬授業) 8.学校実習(実習校における観察・参加・実習) 9.事後講義1(「実習を終えて」発表) 10.事後講義2(「実習を終えて」発表) ※ 課題提出の後、次回の授業などにおいて講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	学校実習はもちろん、事前及び事後講義についても真摯な気持ちで臨むこと。

教科書 Required texts	プリントによる資料等を配布する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中に実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	実習校の学校長及び指導教諭による評価と、教育実習ノート、実習関係のレポート及び大学における実習事前・事後指導の成績、並びに実習校への訪問指導の際の評価などをもって総合的に評価する。
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_198297_1&cmp_tab_id=_234337_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年02月28日 12時36分58秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	通年／Year Round	集中・その他	通年／Year Round	未定

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48064001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】人権教育論 1／Principles of Teaching Human Rights		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	杉山 精一(SUGIYAMA SEIICHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	受講生が、人権と教育との深い関係について理解することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand about the deep relation fundamental human rights and education.		
到達目標/Learning Goals	①人権に関する幅広い知識を身につける ②人権を尊重する価値観を身につける ③人権を大切にする行動と態度を発揮できる		
到達目標(英文) Learning Goals	①Acquire a wide range of knowledge about human rights ②Acquire values that respect human rights ③Be able to demonstrate actions and attitudes that value human rights		
授業の概要・背景 Course Outline	様々な人権問題に触れることで人権意識を高め、中等教育現場で人権問題を取り上げることができるようにする。		
授業方法 Course Format	①基本的に対面講義を原則とする。 ②講義中は、学生自身が持ち込んだスマホやノートパソコンを使って課題提出の検索を行い、リサーチ結果について発言を求める。		
検索キーワード/Keywords	ジェンダー 入管問題 個人通報制度 LGBTQ ハンセン病 アイヌ新法 カネミ油症 強制不妊手術 医療的ケア児 ルッキズム 世界人権宣言 人権侵害制裁法		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	大学で「学ぶ」ということ	講義内容に関するアンケート用紙の記入と提出
第2回 Session 2	「情報を集める」ことについて: 杉山流情報収集術	情報の集め方に関して講義中に提示した課題に取り組む。
第3回 Session 3	人権教育のキーワード(世界人権宣言など)	課題①「人権教育:基本キーワード」の記入と提出。課題はLUNAを通じて提示する。
第4回 Session 4	人権に係る50人	課題②「人権に関する人物50人」に自分でリサーチした一人を加えて提出する。
第5回 Session 5	世界の人権教育の動向	課題③行政の人権問題の取り組みについて調べる。(イベント、啓発活動など)
第6回 Session 6	日本の人権教育の動向	課題④人権問題に取り組んでいる団体の活動を調べる。
第7回 Session 7	学校教育における人権教育の現状と課題	課題⑤人権に関する博物館・資料館があるのか調べる。
第8回 Session 8	文部科学省、各自治体の人権教育取り組みの実践例	自分が人権の問題と考えるテーマをひとつ選択して提出する。
第9回 Session 9	学校における人権教育取り組みの実践例	課題⑥のテーマについて、何を選択するか考え情報を集める。
第10回 Session 10	人権問題を具体的事例から考える①ジェンダー格差	課題⑥のテーマについて、集めた情報(取り組みや課題)を整理する
第11回 Session 11	” ②障がい者差別	課題⑥について、自分がどのような問題提起ができるのかまとめる。
第12回 Session 12	” ③人種差別	課題⑥を提出する。フィードバックはLUNAを通じて行う。
第13回 Session 13	” ④平和教育	平和教育に関する教育実践を調べてまとめる。
第14回 Session 14	学校における人権教育の課題	課題⑥関するレポートをシェアする。
第15回 Session 15	講義のまとめと今後の課題:救命措置(CPRとAED)について学ぼう)	西宮市が実施している「救命講習応急手当普及員」(インストラクター講習)に関して理解を深める。

教科書 Required texts	人権に関する様々な資料について、随時提示します。
参考文献・資料 Reference books	申 恵丰『国際人権入門 現場から考える』岩波新書 2020年。 毎日新聞取材班『にほんでいきる 外国からきた子どもたち』明石書店 2020年。 荒牧重人ほか『外国人の子ども白書 権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から』明石書店 2017年。 キム・ジヘ『差別はたいてい悪意のない人がする』大槻書店 2021年。 法務省『令和3年版 人権教育・啓発白書』勝美印刷 2021年。 大阪府人権協会『やってみよう！人権・部落問題プログラム 行動につなげる参加型学習』解放出版社2012年。 肥下彰男ほか『地球市民の人権教育 15歳からのレスンプラン』解放出版社 2015年。 人権教育の指導方法等に関する調査研究会編 「人権教育の指導方法等の在り方について(第三次とりまとめ)」文部科学省 2008年。 「2014年度版 人権教育資料集」関西学院大学。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	50%	課題⑥について、講義中に指示した「注意事項」に基づいて書いているか評価します。
	平常レポート／Individual reports(04)	50%	課題①②③④⑤の事項について、正しく記載されているか評価します。
	備考 Note 課題①②③④⑤については、調べた情報量も評価に加えます。 課題⑥については、「注意事項」に加えて提出した枚数の量も評価に加えます。		
備考 Note	講義中にリサーチした結果について、発言を求めます。		
更新日時/Date of Update	2022年02月15日 16時20分23秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	金曜2時限	春学期／Spring	B－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48064002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】人権教育論 2／Principles of Teaching Human Rights		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	杉山 精一(SUGIYAMA SEIICHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	受講生が、人権と教育との深い関係について理解することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand about the deep relation fundamental human rights and education.		
到達目標/Learning Goals	①人権に関する幅広い知識を身につける ②人権を尊重する価値観を身につける ③人権を大切にする行動と態度を発揮できる		
到達目標(英文) Learning Goals	①Acquire a wide range of knowledge about human rights ②Acquire values that respect human rights ③Be able to demonstrate actions and attitudes that value human rights		
授業の概要・背景 Course Outline	様々な人権問題に触れることで人権意識を高め、中等教育現場で人権問題を取り上げることができるようにする。		
授業方法 Course Format	①基本的に対面講義を原則とする。 ②講義中は、学生自身が持ち込んだスマホやノートパソコンを使って課題提出の検索を行い、リサーチ結果について発言を求める。		
検索キーワード/Keywords	ジェンダー 入管問題 個人情報制度 LGBTQ ハンセン病 アイヌ新法 カネミ油症 強制不妊手術 医療的ケア児 ルッキズム 世界人権宣言 人権侵害制裁法		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	大学で「学ぶ」ということ	講義内容に関するアンケート用紙の記入と提出
第2回 Session 2	「情報を集める」ことについて: 杉山流情報収集術	情報の集め方に関して講義中に提示した課題に取り組む。
第3回 Session 3	人権教育のキーワード(世界人権宣言など)	課題①「人権教育:基本キーワード」の記入と提出。課題はLUNAを通じて提示する。
第4回 Session 4	人権に係る50人	課題②「人権に関する人物50人」に自分でリサーチした一人を加えて提出する。
第5回 Session 5	世界の人権教育の動向	課題③行政の人権問題の取り組みについて調べる。(イベント、啓発活動など)
第6回 Session 6	日本の人権教育の動向	課題④人権問題に取り組んでいる団体の活動を調べる。
第7回 Session 7	学校教育における人権教育の現状と課題	課題⑤人権に関する博物館・資料館があるのか調べる。
第8回 Session 8	文部科学省、各自治体の人権教育取り組みの実践例	自分が人権の問題と考えるテーマをひとつ選択して提出する。
第9回 Session 9	学校における人権教育取り組みの実践例	課題⑥のテーマについて、何を選択するか考え情報を集める。
第10回 Session 10	人権問題を具体的事例から考える①ジェンダー格差	課題⑥のテーマについて、集めた情報(取り組みや課題)を整理する
第11回 Session 11	” ②障がい者差別	課題⑥について、自分がどのような問題提起ができるのかまとめる。
第12回 Session 12	” ③人種差別	課題⑥を提出する。フィードバックはLUNAを通じて行う。
第13回 Session 13	” ④平和教育	平和教育に関する教育実践を調べてまとめる。
第14回 Session 14	学校における人権教育の課題	課題⑥関するレポートをシェアする。
第15回 Session 15	講義のまとめと今後の課題:救命措置(CPRとAED)について学ぼう)	西宮市が実施している「救命講習応急手当普及員」(インストラクター講習)に関して理解を深める。

教科書 Required texts	人権に関する様々な資料について、随時提示します。
参考文献・資料 Reference books	申 恵丰『国際人権入門 現場から考える』岩波新書 2020年。 毎日新聞取材班『にほんでいきる 外国からきた子どもたち』明石書店 2020年。 荒牧重人ほか『外国人の子ども白書 権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から』明石書店 2017年。 キム・ジヘ『差別はたいてい悪意のない人がする』大槻書店 2021年。 法務省『令和3年版 人権教育・啓発白書』勝美印刷 2021年。 大阪府人権協会『やってみよう！人権・部落問題プログラム 行動につなげる参加型学習』解放出版社2012年。 肥下彰男ほか『地球市民の人権教育 15歳からのレスンプラン』解放出版社 2015年。 人権教育の指導方法等に関する調査研究会編 「人権教育の指導方法等の在り方について(第三次とりまとめ)」文部科学省 2008年。 「2014年度版 人権教育資料集」関西学院大学。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	50%	課題⑥について、講義中に指示した「注意事項」に基づいて書いているか評価します。
	平常レポート／Individual reports(04)	50%	課題①②③④⑤の事項について、正しく記載されているか評価します。
	備考 Note 課題①②③④⑤については、調べた情報量も評価に加えます。 課題⑥については、「注意事項」に加えて提出した枚数の量も評価に加えます。		
備考 Note	講義中にリサーチした結果について、発言を求めます。		
更新日時/Date of Update	2022年02月15日 16時20分53秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	金曜3時限	春学期／Spring	B－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48064003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】人権教育論 3／Principles of Teaching Human Rights		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	杉山 精一(SUGIYAMA SEIICHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	受講生が、人権と教育との深い関係について理解することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand about the deep relation fundamental human rights and education.		
到達目標/Learning Goals	①人権に関する幅広い知識を身につける ②人権を尊重する価値観を身につける ③人権を大切に作る行動と態度を発揮できる		
到達目標(英文) Learning Goals	①Acquire a wide range of knowledge about human rights ②Acquire values that respect human rights ③Be able to demonstrate actions and attitudes that value human rights		
授業の概要・背景 Course Outline	様々な人権問題に触れることで人権意識を高め、中等教育現場で人権問題を取り上げることができるようにする。		
授業方法 Course Format	①基本的に対面講義を原則とする。 ②講義中は、学生自身が持ち込んだスマホやノートパソコンを使って課題提出の検索を行い、リサーチ結果について発言を求める。		
検索キーワード/Keywords	ジェンダー 入管問題 個人情報制度 LGBTQ ハンセン病 アイヌ新法 カネミ油症 強制不妊手術 医療的ケア児 ルッキズム 世界人権宣言 人権侵害制裁法		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	大学で「学ぶ」ということ	講義内容に関するアンケート用紙の記入と提出
第2回 Session 2	「情報を集める」ことについて: 杉山流情報収集術	情報の集め方に関して講義中に提示した課題に取り組む。
第3回 Session 3	人権教育のキーワード(世界人権宣言など)	課題①「人権教育:基本キーワード」の記入と提出。課題はLUNAを通じて提示する。
第4回 Session 4	人権に係る50人	課題②「人権に関する人物50人」に自分でリサーチした一人を加えて提出する。
第5回 Session 5	世界の人権教育の動向	課題③行政の人権問題の取り組みについて調べる。(イベント、啓発活動など)
第6回 Session 6	日本の人権教育の動向	課題④人権問題に取り組んでいる団体の活動を調べる。
第7回 Session 7	学校教育における人権教育の現状と課題	課題⑤人権に関する博物館・資料館があるのか調べる。
第8回 Session 8	文部科学省、各自治体の人権教育取り組みの実践例	自分が人権の問題と考えるテーマをひとつ選択して提出する。
第9回 Session 9	学校における人権教育取り組みの実践例	課題⑥のテーマについて、何を選択するか考え情報を集める。
第10回 Session 10	人権問題を具体的事例から考える①ジェンダー格差	課題⑥のテーマについて、集めた情報(取り組みや課題)を整理する
第11回 Session 11	” ②障がい者差別	課題⑥について、自分がどのような問題提起ができるのかまとめる。
第12回 Session 12	” ③人種差別	課題⑥を提出する。フィードバックはLUNAを通じて行う。
第13回 Session 13	” ④平和教育	平和教育に関する教育実践を調べてまとめる。
第14回 Session 14	学校における人権教育の課題	課題⑥関するレポートをシェアする。
第15回 Session 15	講義のまとめと今後の課題:救命措置(CPRとAED)について学ぼう)	西宮市が実施している「救命講習応急手当普及員」(インストラクター講習)に関して理解を深める。

教科書 Required texts	人権に関する様々な資料について、随時提示します。
参考文献・資料 Reference books	申 恵丰『国際人権入門 現場から考える』岩波新書 2020年。 毎日新聞取材班『にほんでいきる 外国からきた子どもたち』明石書店 2020年。 荒牧重人ほか『外国人の子ども白書 権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から』明石書店 2017年。 キム・ジヘ『差別はたいてい悪意のない人がする』大槻書店 2021年。 法務省『令和3年版 人権教育・啓発白書』勝美印刷 2021年。 大阪府人権協会『やってみよう！人権・部落問題プログラム 行動につなげる参加型学習』解放出版社2012年。 肥下彰男ほか『地球市民の人権教育 15歳からのレスンプラン』解放出版社 2015年。 人権教育の指導方法等に関する調査研究会編 「人権教育の指導方法等の在り方について(第三次とりまとめ)」文部科学省 2008年。 「2014年度版 人権教育資料集」関西学院大学。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	50%	課題⑥について、講義中に指示した「注意事項」に基づいて書いているか評価します。
	平常レポート／Individual reports(04)	50%	課題①②③④⑤の事項について、正しく記載されているか評価します。
	備考 Note 課題①②③④⑤については、調べた情報量も評価に加えます。 課題⑥については、「注意事項」に加えて提出した枚数の量も評価に加えます。		
備考 Note	講義中にリサーチした結果について、発言を求めます。		
更新日時/Date of Update	2022年02月15日 16時21分28秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜2時限	秋学期／Fall	B－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48064004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】人権教育論 4／Principles of Teaching Human Rights		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	杉山 精一(SUGIYAMA SEIICHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	受講生が、人権と教育との深い関係について理解することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand about the deep relation fundamental human rights and education.		
到達目標/Learning Goals	①人権に関する幅広い知識を身につける ②人権を尊重する価値観を身につける ③人権を大切に作る行動と態度を発揮できる		
到達目標(英文) Learning Goals	①Acquire a wide range of knowledge about human rights ②Acquire values that respect human rights ③Be able to demonstrate actions and attitudes that value human rights		
授業の概要・背景 Course Outline	様々な人権問題に触れることで人権意識を高め、中等教育現場で人権問題を取り上げることができるようにする。		
授業方法 Course Format	①基本的に対面講義を原則とする。 ②講義中は、学生自身が持ち込んだスマホやノートパソコンを使って課題提出の検索を行い、リサーチ結果について発言を求める。		
検索キーワード/Keywords	ジェンダー 入管問題 個人情報制度 LGBTQ ハンセン病 アイヌ新法 カネミ油症 強制不妊手術 医療的ケア児 ルッキズム 世界人権宣言 人権侵害制裁法		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	大学で「学ぶ」ということ	講義内容に関するアンケート用紙の記入と提出
第2回 Session 2	「情報を集める」ことについて: 杉山流情報収集術	情報の集め方に関して講義中に提示した課題に取り組む。
第3回 Session 3	人権教育のキーワード(世界人権宣言など)	課題①「人権教育:基本キーワード」の記入と提出。課題はLUNAを通じて提示する。
第4回 Session 4	人権に係る50人	課題②「人権に関する人物50人」に自分でリサーチした一人を加えて提出する。
第5回 Session 5	世界の人権教育の動向	課題③行政の人権問題の取り組みについて調べる。(イベント、啓発活動など)
第6回 Session 6	日本の人権教育の動向	課題④人権問題に取り組んでいる団体の活動を調べる。
第7回 Session 7	学校教育における人権教育の現状と課題	課題⑤人権に関する博物館・資料館があるのか調べる。
第8回 Session 8	文部科学省、各自治体の人権教育取り組みの実践例	自分が人権の問題と考えるテーマをひとつ選択して提出する。
第9回 Session 9	学校における人権教育取り組みの実践例	課題⑥のテーマについて、何を選択するか考え情報を集める。
第10回 Session 10	人権問題を具体的事例から考える①ジェンダー格差	課題⑥のテーマについて、集めた情報(取り組みや課題)を整理する
第11回 Session 11	” ②障がい者差別	課題⑥について、自分がどのような問題提起ができるのかまとめる。
第12回 Session 12	” ③人種差別	課題⑥を提出する。フィードバックはLUNAを通じて行う。
第13回 Session 13	” ④平和教育	平和教育に関する教育実践を調べてまとめる。
第14回 Session 14	学校における人権教育の課題	課題⑥関するレポートをシェアする。
第15回 Session 15	講義のまとめと今後の課題:救命措置(CPRとAED)について学ぼう)	西宮市が実施している「救命講習応急手当普及員」(インストラクター講習)に関して理解を深める。

教科書 Required texts	人権に関する様々な資料について、随時提示します。
参考文献・資料 Reference books	申 恵丰『国際人権入門 現場から考える』岩波新書 2020年。 毎日新聞取材班『にほんでいきる 外国からきた子どもたち』明石書店 2020年。 荒牧重人ほか『外国人の子ども白書 権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から』明石書店 2017年。 キム・ジヘ『差別はたいてい悪意のない人がする』大槻書店 2021年。 法務省『令和3年版 人権教育・啓発白書』勝美印刷 2021年。 大阪府人権協会『やってみよう！人権・部落問題プログラム 行動につなげる参加型学習』解放出版社2012年。 肥下彰男ほか『地球市民の人権教育 15歳からのレスンプラン』解放出版社 2015年。 人権教育の指導方法等に関する調査研究会編 「人権教育の指導方法等の在り方について(第三次とりまとめ)」文部科学省 2008年。 「2014年度版 人権教育資料集」関西学院大学。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	50%	課題⑥について、講義中に指示した「注意事項」に基づいて書いているか評価します。
	平常レポート／Individual reports(04)	50%	課題①②③④⑤の事項について、正しく記載されているか評価します。
	備考 Note 課題①②③④⑤については、調べた情報量も評価に加えます。 課題⑥については、「注意事項」に加えて提出した枚数の量も評価に加えます。		
備考 Note	講義中にリサーチした結果について、発言を求めます。		
更新日時/Date of Update	2022年02月15日 16時23分21秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜3時限	秋学期／Fall	B－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48064005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】人権教育論 5/Principles of Teaching Human Rights		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	杉山 精一(SUGIYAMA SEIICHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	受講生が、人権と教育との深い関係について理解することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand about the deep relation fundamental human rights and education.		
到達目標/Learning Goals	①人権に関する幅広い知識を身につける ②人権を尊重する価値観を身につける ③人権を大切にする行動と態度を発揮できる		
到達目標(英文) Learning Goals	①Acquire a wide range of knowledge about human rights ②Acquire values that respect human rights ③Be able to demonstrate actions and attitudes that value human rights		
授業の概要・背景 Course Outline	様々な人権問題に触れることで人権意識を高め、中等教育現場で人権問題を取り上げることができるようにする。		
授業方法 Course Format	①基本的に対面講義を原則とする。 ②講義中は、学生自身が持ち込んだスマホやノートパソコンを使って課題提出の検索を行い、リサーチ結果について発言を求める。		
検索キーワード/Keywords	ジェンダー 入管問題 個人通報制度 LGBTQ ハンセン病 アイヌ新法 カネミ油症 強制不妊手術 医療的ケア児 ルッキズム 世界人権宣言 人権侵害制裁法		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	大学で「学ぶ」ということ	講義内容に関するアンケート用紙の記入と提出
第2回 Session 2	「情報を集める」ことについて: 杉山流情報収集術	情報の集め方に関して講義中に提示した課題に取り組む。
第3回 Session 3	人権教育のキーワード(世界人権宣言など)	課題①「人権教育:基本キーワード」の記入と提出。課題はLUNAを通じて提示する。
第4回 Session 4	人権に係る50人	課題②「人権に関する人物50人」に自分でリサーチした一人を加えて提出する。
第5回 Session 5	世界の人権教育の動向	課題③行政の人権問題の取り組みについて調べる。(イベント、啓発活動など)
第6回 Session 6	日本の人権教育の動向	課題④人権問題に取り組んでいる団体の活動を調べる。
第7回 Session 7	学校教育における人権教育の現状と課題	課題⑤人権に関する博物館・資料館があるのか調べる。
第8回 Session 8	文部科学省、各自治体の人権教育取り組みの実践例	自分が人権の問題と考えるテーマをひとつ選択して提出する。
第9回 Session 9	学校における人権教育取り組みの実践例	課題⑥のテーマについて、何を選択するか考え情報を集める。
第10回 Session 10	人権問題を具体的事例から考える①ジェンダー格差	課題⑥のテーマについて、集めた情報(取り組みや課題)を整理する
第11回 Session 11	” ②障がい者差別	課題⑥について、自分がどのような問題提起ができるのかまとめる。
第12回 Session 12	” ③人種差別	課題⑥を提出する。フィードバックはLUNAを通じて行う。
第13回 Session 13	” ④平和教育	平和教育に関する教育実践を調べてまとめる。
第14回 Session 14	学校における人権教育の課題	課題⑥関するレポートをシェアする。
第15回 Session 15	講義のまとめと今後の課題:救命措置(CPRとAED)について学ぼう)	西宮市が実施している「救命講習応急手当普及員」(インストラクター講習)に関して理解を深める。

教科書 Required texts	人権に関する様々な資料について、随時提示します。
参考文献・資料 Reference books	申 恵丰『国際人権入門 現場から考える』岩波新書 2020年。 毎日新聞取材班『にほんでいきる 外国からきた子どもたち』明石書店 2020年。 荒牧重人ほか『外国人の子ども白書 権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から』明石書店 2017年。 キム・ジヘ『差別はたいてい悪意のない人がする』大槻書店 2021年。 法務省『令和3年版 人権教育・啓発白書』勝美印刷 2021年。 大阪府人権協会『やってみよう！人権・部落問題プログラム 行動につなげる参加型学習』解放出版社2012年。 肥下彰男ほか『地球市民の人権教育 15歳からのレスンプラン』解放出版社 2015年。 人権教育の指導方法等に関する調査研究会編 「人権教育の指導方法等の在り方について(第三次とりまとめ)」文部科学省 2008年。 「2014年度版 人権教育資料集」関西学院大学。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	50%	課題⑥について、講義中に指示した「注意事項」に基づいて書いているか評価します。
	平常レポート／Individual reports(04)	50%	課題①②③④⑤の事項について、正しく記載されているか評価します。
	備考 Note 課題①②③④⑤については、調べた情報量も評価に加えます。 課題⑥については、「注意事項」に加えて提出した枚数の量も評価に加えます。		
備考 Note	講義中にリサーチした結果について、発言を求めます。		
更新日時/Date of Update	2022年02月15日 16時22分36秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	IV－301

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48064006	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】人権教育論 6/Principles of Teaching Human Rights		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期/Fall
担当者/Instructor	杉山 精一(SUGIYAMA SEIICHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンライン受講不可/Online attendance is NOT permitted.		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	受講生が、人権と教育との深い関係について理解することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand about the deep relation fundamental human rights and education.		
到達目標/Learning Goals	①人権に関する幅広い知識を身につける ②人権を尊重する価値観を身につける ③人権を大切にする行動と態度を発揮できる		
到達目標(英文) Learning Goals	①Acquire a wide range of knowledge about human rights ②Acquire values that respect human rights ③Be able to demonstrate actions and attitudes that value human rights		
授業の概要・背景 Course Outline	様々な人権問題に触れることで人権意識を高め、中等教育現場で人権問題を取り上げることができるようにする。		
授業方法 Course Format	①基本的に対面講義を原則とする。 ②講義中は、学生自身が持ち込んだスマホやノートパソコンを使って課題提出の検索を行い、リサーチ結果について発言を求める。		
検索キーワード/Keywords	ジェンダー 入管問題 個人通報制度 LGBTQ ハンセン病 アイヌ新法 カネミ油症 強制不妊手術 医療的ケア児 ルッキズム 世界人権宣言 人権侵害制裁法		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	大学で「学ぶ」ということ	講義内容に関するアンケート用紙の記入と提出
第2回 Session 2	「情報を集める」ことについて: 杉山流情報収集術	情報の集め方に関して講義中に提示した課題に取り組む。
第3回 Session 3	人権教育のキーワード(世界人権宣言など)	課題①「人権教育:基本キーワード」の記入と提出。課題はLUNAを通じて提示する。
第4回 Session 4	人権に係る50人	課題②「人権に関する人物50人」に自分でリサーチした一人を加えて提出する。
第5回 Session 5	世界の人権教育の動向	課題③行政の人権問題の取り組みについて調べる。(イベント、啓発活動など)
第6回 Session 6	日本の人権教育の動向	課題④人権問題に取り組んでいる団体の活動を調べる。
第7回 Session 7	学校教育における人権教育の現状と課題	課題⑤人権に関する博物館・資料館があるのか調べる。
第8回 Session 8	文部科学省、各自治体の人権教育取り組みの実践例	自分が人権の問題と考えるテーマをひとつ選択して提出する。
第9回 Session 9	学校における人権教育取り組みの実践例	課題⑥のテーマについて、何を選択するか考え情報を集める。
第10回 Session 10	人権問題を具体的事例から考える①ジェンダー格差	課題⑥のテーマについて、集めた情報(取り組みや課題)を整理する
第11回 Session 11	” ②障がい者差別	課題⑥について、自分がどのような問題提起ができるのかまとめる。
第12回 Session 12	” ③人種差別	課題⑥を提出する。フィードバックはLUNAを通じて行う。
第13回 Session 13	” ④平和教育	平和教育に関する教育実践を調べてまとめる。
第14回 Session 14	学校における人権教育の課題	課題⑥関するレポートをシェアする。
第15回 Session 15	講義のまとめと今後の課題:救命措置(CPRとAED)について学ぼう)	西宮市が実施している「救命講習応急手当普及員」(インストラクター講習)に関して理解を深める。

教科書 Required texts	人権に関する様々な資料について、随時提示します。
参考文献・資料 Reference books	申 恵丰『国際人権入門 現場から考える』岩波新書 2020年。 毎日新聞取材班『にほんでいきる 外国からきた子どもたち』明石書店 2020年。 荒牧重人ほか『外国人の子ども白書 権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から』明石書店 2017年。 キム・ジヘ『差別はたいてい悪意のない人がする』大槻書店 2021年。 法務省『令和3年版 人権教育・啓発白書』勝美印刷 2021年。 大阪府人権協会『やってみよう！人権・部落問題プログラム 行動につなげる参加型学習』解放出版社2012年。 肥下彰男ほか『地球市民の人権教育 15歳からのレスンプラン』解放出版社 2015年。 人権教育の指導方法等に関する調査研究会編 「人権教育の指導方法等の在り方について(第三次とりまとめ)」文部科学省 2008年。 「2014年度版 人権教育資料集」関西学院大学。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考になしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	50%	課題⑥について、講義中に指示した「注意事項」に基づいて書いているか評価します。
	平常レポート／Individual reports(04)	50%	課題①②③④⑤の事項について、正しく記載されているか評価します。
	備考 Note 課題①②③④⑤については、調べた情報量も評価に加えます。 課題⑥については、「注意事項」に加えて提出した枚数の量も評価に加えます。		
備考 Note	講義中にリサーチした結果について、発言を求めます。		
更新日時/Date of Update	2022年02月15日 16時22分59秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	火曜2時限	秋学期／Fall	VIII－302

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48066001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】環境教育論 1／Principles of Environmental Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	今井 良一(IMAI RYOICHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、環境問題について正確に理解しつつ、環境教育の重要性を知った上で、実際の教育現場で環境教育を実践するための能力を高めることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to accurately understand the environmental problems, to know the importance of environmental education, and to acquire the ability to conduct environmental education in the classroom.		
到達目標/Learning Goals	下記項目について修得することを到達時の目標とする。 ・環境問題に関する基礎的な、そして正確な知識を得る ・環境問題を解決するための方法を知る ・教育の現場で環境教育を教える方法を理解する		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・acquire basic and accurate knowledge of environmental problems, ・know how to solve environmental problems, ・understand how to provide environmental education in the classroom.		
授業の概要・背景 Course Outline	本講義では、地球温暖化や大気汚染、水質汚染、放射能汚染、食環境の悪化などの環境問題の原因と影響について正確に理解し、環境教育の必要性と重要性について考究する。その上で、子どもたちを含む弱者への深刻な影響について常に思いをはせる気持ちを育みつつ、持続可能な社会を構築して、子どもたちがかけがえのない豊かな地球を受け継ぐことを可能にする方法を考える。また、実際の教育現場で、学習した内容を児童生徒や一般市民に伝えることのできる能力を養う。		
授業方法 Course Format	講義形式で行なう。受講者には随時講義内容に対するコメントの提出を求める。 オンライン受講許可学生に対しては、「対面授業の内容を録音した録音データのオンデマンド配信＋板書内容の資料配信」にて対応する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	環境教育とは何かー子どもたちが持続可能な社会を受け継ぐためにー	【復習】 配布プリント(No.1)の見直し:資本主義社会と環境問題について 【予習】 第2回の授業に向けて、配布プリント(No.2)を読む
第2回 Session 2	学習指導要領のなかの環境教育	【復習】 配布プリント(No.2)の見直し:学習指導要領のなかでの環境教育の位置づけを確認する 【予習】 第3回の授業に向けて、教科書pp.7～33を読む。
第3回 Session 3	大気環境の悪化と原因 ー地球温暖化と大気汚染ー	【復習】 教科書と配布プリント(No.3)の見直し:地球温暖化や大気汚染の原因をしっかりと確認する 【予習】 第4回の授業に向けて、教科書pp.33～51を読む
第4回 Session 4	大気環境の悪化による子どもたちへの影響と対策ー熱中症やぜんそくなどの健康被害ー	【復習】 教科書と配布プリント(No.4)の見直し:健康被害とその対策についてしっかりと確認する 【予習】 第5回の授業に向けて、配布プリント(No.5)を読む
第5回 Session 5	児童・生徒・教師・指導者への環境教育の方法と実践1ー大気環境との関連でー	【復習】 配布プリント(No.5)の見直し:環境教育の実践方法を確認する 【予習】 第6回の授業に向けて、教科書pp.83～101を読む
第6回 Session 6	水質汚染と原因ー家庭排水・里山の荒廃・下水処理設備の不備などー	【復習】 教科書と配布プリント(No.6)の見直し:水環境の悪化状況について確認する 【予習】 第7回の授業に向けて、教科書pp.101～118を読む
第7回 Session 7	水質汚染による子どもたちへの影響と対策	【復習】 教科書と配布プリント(No.7)の見直し:水環境悪化への対策について考える 【予習】 第8回の授業に向けて、配布プリント(No.8)を読む
第8回	児童・生徒・教師・指導者への環境教育の方法と実践2ー水環境との関連でー	【復習】 配布プリント(No.8)の見直し:環境教育の実践方法を確認する

第8回 Session 8		【予習】 第9回の授業に向けて、教科書pp.125～143を読む
第9回 Session 9	東日本大震災（原発事故）の教訓－放射能から子どもたちを守るために－	【復習】 教科書と配布プリント（NO.9）の見直し：放射能汚染への対策について再確認する。 【予習】 第10回の授業に向けて、配布プリント（NO.10）を読む
第10回 Session 10	児童・生徒・教師・指導者への環境教育の方法と実践3－放射能との関連で－	【復習】 配布プリント（NO.10）の見直し：環境教育の実践方法を確認する 【予習】 第11回の授業に向けて、教科書pp.153～187、213～303を読む
第11回 Session 11	食環境の悪化と原因－食生活・輸入食品の不安・食品添加物など－	【復習】 教科書と配布プリント（NO.11）の見直し：食環境の悪化状況について再確認する。 【予習】 第12回の授業に向けて、教科書pp.147～153、164～168を読む
第12回 Session 12	食環境の悪化による子どもたちへの影響と対策(1)－生活習慣病－	【復習】 教科書と配布プリント（NO.12）の見直し：食環境の悪化から子どもたちを守る方法を確認する。 【予習】 第13回の授業に向けて、教科書pp.187～208を読む
第13回 Session 13	食環境の悪化による子どもたちへの影響と対策(2)－食中毒・アレルギー－	【復習】 教科書と配布プリント（NO.13）の見直し：食環境の悪化から子どもたちを守る方法を確認する。 【予習】 第14回の授業に向けて、配布プリント（NO.14）を読む
第14回 Session 14	児童・生徒・教師・指導者への環境教育の方法と実践4－食環境との関連で－	【復習】 配布プリント（NO.14）の見直し：環境教育の実践方法を確認する 【予習】 最終授業に向けて、これまでの総復習をする
第15回 Session 15	今後の環境教育とまとめ	【復習】 改めて確認をする

授業外学修 Study Required outside Class	復習により多くの時間をかけ、関連する図書や論文に目を通すこと。

教科書/Required texts	著者名：今井清一・今井良一 タイトル：増補改訂版 環境教育論－現代社会と生活環境－ 発行所：鳥影社 出版年：2020 ISBN：978-4-86265-810-4
参考文献・資料 Reference books	文部科学省「学習指導要領（環境教育にかかわる内容）」 環境省「環境教育実践事例集」
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	55%	
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	4回のレポート提出（LUNAIにWordファイルで提出）
	その他／Others(99)	5%	授業中の発表などの参加態度、積極性
	備考 Note 定期試験に変わるレポートが実施できなくなった場合は、平常レポートと同様にLUNAIにWordファイルでの提出に変更する。 オンライン受講許可学生の場合は、平常レポートとしてLUNAIにWORDファイルでの提出とする。		
更新日時/Date of Update		2022年02月21日 14時43分55秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜2時限	秋学期／Fall	B－203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48066002	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】環境教育論 2/Principles of Environmental Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	中西 敏昭(NAKANISHI TOSHIAKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	将来、教師になることを目指す学生が知識の習得だけに留まらず、自然の美しさ・奥深さに気づくことを目的とする。また、自然を大切にすることを心もった子どもを育てる人間教育としての環境教育を達成できることを目指す		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students intending to be teachers in the future, not only to acquire knowledge but also notice the beauty and depth of nature as well as to achieve methods for environmental education as a human education to nurture children with a heart that respects nature.		
到達目標/Learning Goals	・環境教育のインタープリターとして、生徒や一般市民に通用することができる。 ・生涯学習として地球環境問題や環境保全に関する行動ができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・be capable interpreters of environmental education for middle and high-school students and general public ・take actions based on lifelong learning for global environmental issues and environmental conservation		
授業方法 Course Format	・講義・発表・実践を行う。時には受講生からの質問や考察を交え参加型の授業の展開も目指します。 ・②④⑤⑧⑪⑭回の授業はZoom型オンライン授業で実施。その他は対面授業。ZoomのURLなどはLUNAの「お知らせ」で連絡します。 ・教材や課題等についてはLUNAで指示します。		
検索キーワード/Keywords	環境教育、環境問題、生態系、生物多様性、生涯学習、人間教育、インタープリター		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【対面】環境教育とは何か： “自然はみて・みて・みる” サツマイモやジャガイモのイモは、根か茎か？ 環境教育を取り巻く時代の状況や社会の状況を俯瞰するとともに、イントロダクションとして授業全体の内容を概説	【予習】生態系、生物多様性について調べておく
第2回 Session 2	【Zoom】生態系と生物多様性： “みんなちがって みんないい” 生物多様性は人間存在の基盤であることを認識する	【予習】DDTと生物濃縮について調べておく
第3回 Session 3	【対面】環境教育の方法と実践(1)： 生態系のつながり・命のつながりの面白さに着目する。”煮干しのお腹から海の環境を考えよう”(食物連鎖・生物濃縮と食生活など)	【復習】実習についてリポートを作成する 【予習】エネルギー問題(原子力発電を含む)の資料を収集する
第4回 Session 4	【Zoom】環境問題の話題提供1： エネルギー問題(原子力発電を含む)についての話題提供などをもとに、課題解決に向けてのプロセスを考える	【予習】予め提示された環境問題の資料を収集する
第5回 Session 5	【Zoom】環境問題の話題提供2： 地球温暖化やコロナ禍での環境問題の減少についての話題提供をもとに、課題解決に向けてのプロセスを考える	【復習】環境問題の一つを取り上げ、課題解決に向けての具体的な提案についてリポートを作成する 【予習】発表1の準備
第6回 Session 6	【対面】環境問題への私の提案(発表1)： ～ 第5回あるいは⑥のリポートについて	【予習】海外の環境教育について資料を収集する
第7回 Session 7	【対面】学校での環境教育1： ”ウサギ追いしかの山～” 唱歌・童謡に見る生き物たち フィールドワーク実施時の安全性の確保	【予習】ラーニングデザインを作成する
第8回 Session 8	【Zoom】学校での環境教育2:ラーニングデザインとは 学校で実施できる環境教育について「学び合い」によって、環境教育の充実を図る	【復習】ラーニングデザインによる学び合いで得られた「学校での環境教育の具体的な提案」をリポートする 【予習】発表2の準備
第9回 Session 9	【対面】学校での環境教育3:ESD(Education for Sustainable Development)とは ～第7回のリポートについて(発表2) ラーニングデザインを使った学校での環境教育	【復習】ESDについてリポートを作成する 【予習】フィールド学習のための準備をする
第10回 Session 10	【対面】環境教育の方法と実践(2):フィールド学習 ” 五感で感じる” 校内の樹木や草本の観察を通して、自然物への気づきを体験する	【復習】フィールド学習の目的や実習から得られた知見をリポートする
第11回 Session 11	【Zoom】野生生物の危機:”生き物は宝の山” 外来種の侵入・増殖による固有生態系の崩壊が起きている。外来生物がもたらす問題を取り上げるとともに、野生生物の重要性について考える	【復習】野生生物の重要性についてリポートする
第12回 Session 12	【対面】GIS(地理情報システム)の活用： ”ダルマガエルはどこにいるか”と”儲かるコンビニをどこにつくるか”は共通点がある	【復習】GISの活用方法についてリポートを作成する
第13回 Session 13	【対面】骨と歯の話および環境教育と道德教育	【予習】各受講生が環境教育実践の場で必要なインタープリターとしての役割を披露するための準備を行う
第14回	【Zoom】レイチェル・カーソンの世界:自然に感動できる豊かな感性(センス・オブ・ワンダー)を生涯持ち続けるには	【復習】レイチェル・カーソンの考え方と自分の環境教育に関する考え方についてリポートする

第14回 Session 14	環境教育の実践者を目指して 発表3: 自ら考え行動できる人間を育成するための課題について考察する。"Think Globally, Act Locally"	【復習】本授業の目標達成について自己評価を行う

教科書 Required texts	中学校学習指導要領, 中学校学習指導要領解説理科編, 高等学校学習指導要領, 高等学校学習指導要領理科編理数編(すべて文部科学省の最新版) 授業資料を授業中に配布する
参考文献・資料 Reference books	レイチェル・カーソン(青樹 築一訳)「沈黙の春」新潮文庫 1974 □ レイチェル・カーソン(上遠恵子訳)「センス・オブ・ワンダー」新潮社 1996 中西敏昭 「環境・ぼくたち・未来」保育社 2002□ 環境省>カテゴリ>環境教育・学習 http://www.eic.or.jp/category/ □ 環境省>自然環境局>自然環境・生物多様性 http://www.env.go.jp/nature/ □ 文部科学省>パンフレット環境教育の推進に向けて>主な環境関係法令□ http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/jizoku/kankyoku.htm
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	アンケート等
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	80%	内容評価
	その他／Others(99)	20%	講義やディスカッションへの意欲, 発表内容
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_195344_1&cmp_tab_id=_231384_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 16時26分10秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	VI-201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48068001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別支援教育概論 1／General Principles of Special Needs Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	中井 靖(YASUSHI NAKAI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	特別支援教育の意義および内容を学び、特別の支援を必要とする児童生徒に対する教育の基礎力を修得する。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance and content of special needs education, and acquire the basic skills of education for children with special needs.		
到達目標/Learning Goals	・特別支援教育の意義および内容を理解する。 ・特別の支援を必要とする児童生徒に対する教育の基礎力を身に付ける。		
到達目標(英文) Learning Goals	・Become familiar with the significance and content of special needs education; ・Gain the basic skills of education for children with special needs.		
授業の概要・背景 Course Outline	通常の学級に在籍する特別の支援を必要とする児童生徒が学習活動に参加している実感や達成感を持ちながら学び、生きる力を身に付けていけることができるよう、児童生徒の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応するために必要な知識や支援方法を講義する。		
授業方法 Course Format	対面授業で実施する。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大状況等により、オンライン授業(同時双方向型もしくはオンデマンド型)に切り替えることがある。 【オンライン受講許可学生対象】 同時双方向型オンライン授業で実施する。オンライン受講用URLは第1回目の授業までにLUNA等で通知する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	特別支援教育を学ぶ意義	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第2回 Session 2	視覚障害の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第3回 Session 3	聴覚障害の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第4回 Session 4	知的障害の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第5回 Session 5	肢体不自由の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第6回 Session 6	病弱の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第7回 Session 7	前半のまとめと授業中試験	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第8回 Session 8	発達障害の理解	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第9回 Session 9	自閉スペクトラム症の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第10回 Session 10	注意欠如・多動症の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第11回 Session 11	限局性学習症の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第12回 Session 12	特別支援教育の教育課程と相談支援体制	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第13回	母国語や貧困等による特別支援教育	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習

Session 13		【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第14回 Session 14	後半のまとめと授業中試験	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習

授業外学修 Study Required outside Class	平常レポートに対するフィードバックは適宜、授業時間内に行う。

教科書 Required texts	使用しない。
参考書/Reference books	著者名：文部科学省 タイトル：小学校学習指導要領（平成29年3月） 発行所：東洋館出版社 出版年：2018 ISBN：4491034605 著者名：文部科学省 タイトル：中学校学習指導要領（平成29年告示） 発行所：東山書房 出版年：2020 ISBN：4827815798 著者名：文部科学省 タイトル：高等学校学習指導要領（平成30年告示） 発行所：東山書房 出版年：2018 ISBN：4827815674
参考文献・資料 Reference books	適宜、提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、webまたはマークによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）

	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
成績評価 Grading	授業中試験／In-class examination(03)	50%	前半と後半（2回）
	平常レポート／Individual reports(04)	50%	確認小テスト、ミニツツペーパー
	備考 Note 新型コロナウイルス感染症拡大状況等により、授業中試験を平常授業時評価に切り替えることがある。 【オンライン受講許可学生対象】 成績評価は「授業中試験に代わるレポート（50％）」、「平常レポート（50％）」とする。		
更新日時/Date of Update	2022年03月09日 13時26分05秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G-202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48068002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別支援教育概論 2／General Principles of Special Needs Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	特別支援教育の意義、内容、方法および課題について学び、様々なニーズがある生徒への発達支援に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of special needs education. The course aims to get the ability to learn how to provide development supports to each students’ needs.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・特別支援教育の意義、内容、方法を理解する。 ・特別支援教育に関する具体的課題を理解する。 ・様々なニーズがある生徒を対象とした特別支援教育に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objective: ・Become familiar with the significance, content and methodology of special needs education; ・Become familiar with specific challenges of special needs education; ・Gain a basic ability to provide development supports to each students’ needs.		
授業の概要・背景 Course Outline	インクルーシブ教育システム構築のために不可欠とされる特別支援教育について考察する。さらに特別な支援が必要かつ教育的ニーズのある生徒の心身の発達、障害の特性および生活環境などについて理解を深め、それらの生徒の学習上・生活上の困難に対する対応と支援の方法について検討する。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	特別支援教育 インクルーシブ教育 発達障害 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	特別支援教育制度の意義・理念とその制度について	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	様々な障害に関する教育・心理・医療・法律上の概念・定義について	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	学習指導要領などにおける特別支援教育の概要	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	様々な障害のある生徒の理解と支援について(1)(各障害の概要など)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	様々な障害のある生徒の理解と支援について(2)(知的障害・情緒障害など)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	様々な障害のある生徒の理解と支援について(3)(視覚障害・聴覚障害など)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	様々な障害のある生徒の理解と支援について(4)(肢体不自由・病弱など)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	様々な障害のある生徒の理解と支援について(5)(発達障害の概要)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第9回 Session 9	様々な障害のある生徒の理解と支援について(6)(自閉スペクトラム症など)	【予習課題】95分 前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
	様々な障害のある生徒の理解と支援について(7)(限局性学	【予習課題】95分

第10回 Session 10	習症など)	前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	様々な障害のある生徒の理解と支援について(8)(注意欠如多動症など)	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	様々な障害のある生徒の理解と支援について(9)(その他の障害について)	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	母国語や貧困の問題等の児童生徒の学習・生活上の困難と対応(1)(母国語の問題、不登校児童生徒の課題を中心に)	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	母国語や貧困の問題等の児童生徒の学習・生活上の困難と対応(2)(貧困の問題徒を中心に)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次回の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領(平成29年4月告示) 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:特別支援学校高等部学習指導要領(平成31年2月告示) 発行所: 出版年:2019 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領(平成29年4月告示) 特別支援学校高等部学習指導要領(平成31年2月告示)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 15時06分41秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	春学期／Spring	金曜2時限	春学期／Spring	B－203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48068003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別支援教育概論 3／General Principles of Special Needs Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	中井 靖(YASUSHI NAKAI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	特別支援教育の意義および内容を学び、特別の支援を必要とする児童生徒に対する教育の基礎力を修得する。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance and content of special needs education, and acquire the basic skills of education for children with special needs.		
到達目標/Learning Goals	・特別支援教育の意義および内容を理解する。 ・特別の支援を必要とする児童生徒に対する教育の基礎力を身に付ける。		
到達目標(英文) Learning Goals	・Become familiar with the significance and content of special needs education; ・Gain the basic skills of education for children with special needs.		
授業の概要・背景 Course Outline	通常の学級に在籍する特別の支援を必要とする児童生徒が学習活動に参加している実感や達成感を持ちながら学び、生きる力を身に付けていけることができるよう、児童生徒の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応するために必要な知識や支援方法を講義する。		
授業方法 Course Format	対面授業で実施する。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大状況等により、オンライン授業(同時双方向型もしくはオンデマンド型)に切り替えることがある。 【オンライン受講許可学生対象】 同時双方向型オンライン授業で実施する。オンライン受講用URLは第1回目の授業までにLUNA等で通知する。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	特別支援教育を学ぶ意義	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第2回 Session 2	視覚障害の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第3回 Session 3	聴覚障害の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第4回 Session 4	知的障害の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第5回 Session 5	肢体不自由の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第6回 Session 6	病弱の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第7回 Session 7	前半のまとめと授業中試験	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第8回 Session 8	発達障害の理解	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第9回 Session 9	自閉スペクトラム症の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第10回 Session 10	注意欠如・多動症の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第11回 Session 11	限局性学習症の理解と支援	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第12回 Session 12	特別支援教育の教育課程と相談支援体制	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第13回	母国語や貧困等による特別支援教育	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習

Session 13		【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習
第14回 Session 14	後半のまとめと授業中試験	【予習課題】95分 授業計画を見て気になるキーワードを自己学習 【復習課題】95分 授業を振り返って疑問点を自己学習

授業外学修 Study Required outside Class	平常レポートに対するフィードバックは適宜、授業時間内に行う。

教科書 Required texts	使用しない。
参考書/Reference books	著者名：文部科学省 タイトル：小学校学習指導要領（平成29年3月） 発行所：東洋館出版社 出版年：2018 ISBN：4491034605 著者名：文部科学省 タイトル：中学校学習指導要領（平成29年告示） 発行所：東山書房 出版年：2020 ISBN：4827815798 著者名：文部科学省 タイトル：高等学校学習指導要領（平成30年告示） 発行所：東山書房 出版年：2018 ISBN：4827815674
参考文献・資料 Reference books	適宜、提示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、webまたはマークによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）

	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
成績評価 Grading	授業中試験／In-class examination(03)	50%	前半と後半（2回）
	平常レポート／Individual reports(04)	50%	確認小テスト、ミニツツペーパー
	備考 Note 新型コロナウイルス感染症拡大状況等により、定期試験を平常授業時評価に切り替えることがある。 【オンライン受講許可学生対象】 成績評価は「授業中試験に代わるレポート（50％）」、「平常レポート（50％）」とする。		
更新日時/Date of Update	2022年03月09日 13時30分00秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	月曜2時限	秋学期／Fall	G-202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48068004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別支援教育概論 4／General Principles of Special Needs Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	米山 直樹(YONEYAMA NAOKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	同時双方向型オンライン授業/Online format: Simultaneous and two-way		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	特別支援教育の意義、内容、方法および課題について学び、様々なニーズがある生徒への発達支援に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of special needs education. The course aims to get the ability to learn how to provide development supports to each students’ needs.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・特別支援教育の意義、内容、方法を理解する。 ・特別支援教育に関する具体的課題を理解する。 ・様々なニーズがある生徒を対象とした特別支援支援に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objective: ・Become familiar with the significance, content and methodology of special needs education; ・Become familiar with specific challenges of special needs education; ・Gain a basic ability to provide development supports to each students’ needs.		
授業の概要・背景 Course Outline	インクルーシブ教育システム構築のために不可欠とされる特別支援教育について考察する。さらに特別な支援が必要かつ教育的ニーズのある生徒の心身の発達、障害の特性および生活環境などについて理解を深め、それらの生徒の学習上・生活上の困難に対する対応と支援の方法について検討する。		
授業方法 Course Format	対面で授業を実施する。ただし、活動制限レベルの変更により授業方法を変更することがある。なお、授業の資料の配布方法については、履修者が確定するまでは毎回の授業計画のうち、「授業外学習」の欄にOneDriveのURLを貼付するので、そこからダウンロードすること。履修者確定後はLUNAのお知らせ機能を使って配布する。 オンライン受講許可学生に対しては個別にzoomのURLを連絡する。		
検索キーワード/Keywords	特別支援教育 インクルーシブ教育 発達障害 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	9月30日 特別支援教育とは	
第2回 Session 2	10月7日 学習指導要領について	
第3回 Session 3	10月14日 個別の指導計画および個別の教育支援計画の作成について(1)	
第4回 Session 4	10月21日 個別の指導計画および個別の教育支援計画の作成について(2)	
第5回 Session 5	10月28日 障害の理解と支援について(1)「合理的配慮」	
第6回 Session 6	11月4日 障害の理解と支援について(2)「子どもの発達と就学に向けた支援について」	
第7回 Session 7	11月11日 障害の特性についての理解「自閉スペクトラム症・自閉症スペクトラム障害」	
第8回 Session 8	11月18日 障害の特性についての理解「注意欠如多動症・注意欠如多動性障害」	
第9回 Session 9	11月25日 障害の特性についての理解「限局性学習症・学習障害」	
第10回 Session 10	12月2日 障害の特性についての理解「知的能力障害・知的障害」	
第11回 Session 11	12月9日 障害に対応した支援「応用行動分析:ABC分析・機能分析」	
第12回 Session 12	12月16日 障害に対応した支援「応用行動分析:課題分析」	
第13回 Session 13	12月23日 障害に対応した支援「学級支援:インクルージョン教育とポジティブ行動支援」	
第14回 Session 14	1月6日 外国にルーツのある子どもの学習・生活上の困難と対応	

授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと

教科書 Required texts	特に用いない。毎回、LUNAないしOneDriveを通じてパワーポイントの資料を配付する。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領(平成29年4月告示) 発行所: 出版年:2003 ISBN:978-4762823145 著者名:文部科学省 タイトル:特別支援学校高等部学習指導要領(平成31年2月告示) 発行所: 出版年:2010 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領(平成29年4月告示) 特別支援学校高等部学習指導要領(平成31年2月告示)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	70%	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	
	備考 Note 期間中に複数回実施する平常レポートと最後に実施する定期試験の合計点をもとに総合的に評価する。なお、新型コロナウイルスの感染状況により、成績評価方法に変更が生じる可能性もあるので、大学からのアナウンスに注意すること。		
更新日時/Date of Update	2022年01月18日 19時46分30秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	金曜1時限	秋学期／Fall	B-103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48068005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2022年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】特別支援教育概論 5／General Principles of Special Needs Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期／Fall
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format		
授業形態(オンライン受講許可学生) Course Implementation Format (For Students permitted to take classes online)	オンデマンドA型オンライン授業(時間割あり)/On-demand A(with timetable)		
特記事項/Special Instructions	本授業科目は、“オンライン授業60単位制限対象科目”ではありません。 The course is not subject to the 60-credit limit for online courses.		
授業目的/Course Purpose	特別支援教育の意義、内容、方法および課題について学び、様々なニーズがある生徒への発達支援に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of special needs education. The course aims to get the ability to learn how to provide development supports to each students’ needs.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・特別支援教育の意義、内容、方法を理解する。 ・特別支援教育に関する具体的課題を理解する。 ・様々なニーズがある生徒を対象とした特別支援教育に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objective: ・Become familiar with the significance, content and methodology of special needs education; ・Become familiar with specific challenges of special needs education; ・Gain a basic ability to provide development supports to each students’ needs.		
授業の概要・背景 Course Outline	インクルーシブ教育システム構築のために不可欠とされる特別支援教育について考察する。さらに特別な支援が必要かつ教育的ニーズのある生徒の心身の発達、障害の特性および生活環境などについて理解を深め、それらの生徒の学習上・生活上の困難に対する対応と支援の方法について検討する。		
授業方法 Course Format	講義形式 ※ 授業開始までにLUNA上の資料を印刷し、持参すること ※ LUNAのURLは下記の「URLリンク1」を参照すること 【オンライン受講許可学生対象】 4回目以降、「オンデマンド」で配信予定。授業の配信時期・配信予定などは『授業外学修』欄で確認すること。		
検索キーワード/Keywords	特別支援教育 インクルーシブ教育 発達障害 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	特別支援教育制度の意義・理念とその制度について	【予習課題】95分 前日までに第1回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第2回 Session 2	様々な障害に関する教育・心理・医療・法律上の概念・定義について	【予習課題】95分 前日までに第2回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第3回 Session 3	学習指導要領などにおける特別支援教育の概要	【予習課題】95分 前日までに第3回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第4回 Session 4	様々な障害のある生徒の理解と支援について(1)(各障害の概要など)	【予習課題】95分 前日までに第4回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第5回 Session 5	様々な障害のある生徒の理解と支援について(2)(知的障害・情緒障害など)	【予習課題】95分 前日までに第5回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第6回 Session 6	様々な障害のある生徒の理解と支援について(3)(視覚障害・聴覚障害など)	【予習課題】95分 前日までに第6回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第7回 Session 7	様々な障害のある生徒の理解と支援について(4)(肢体不自由・病弱など)	【予習課題】95分 前日までに第7回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第8回 Session 8	様々な障害のある生徒の理解と支援について(5)(発達障害の概要)	【予習課題】95分 前日までに第8回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第9回 Session 9	様々な障害のある生徒の理解と支援について(6)(自閉スペクトラム症など)	【予習課題】95分 前日までに第9回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
	様々な障害のある生徒の理解と支援について(7)(限局性学	【予習課題】95分

第10回 Session 10	習症など)	前日までに第10回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第11回 Session 11	様々な障害のある生徒の理解と支援について(8)(注意欠如多動症など)	【予習課題】95分 前日までに第11回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第12回 Session 12	様々な障害のある生徒の理解と支援について(9)(その他の障害について)	【予習課題】95分 前日までに第12回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第13回 Session 13	母国語や貧困の問題等の児童生徒の学習・生活上の困難と対応(1)(母国語の問題、不登校児童生徒の課題を中心に)	【予習課題】95分 前日までに第13回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと
第14回 Session 14	母国語や貧困の問題等の児童生徒の学習・生活上の困難と対応(2)(貧困の問題徒を中心に)	【予習課題】95分 前日までに第14回の資料等をLUNAで配信する。事前に内容を確認し、予習を行うこと 【復習課題】95分 授業終了後、授業内容について復習を行うこと

授業計画 Overview for each class	課題提出の後、次の授業において講評を口頭などで伝える。
授業外学修 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領(平成29年4月告示) 発行所: 出版年:2017 ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:特別支援学校高等部学習指導要領(平成31年2月告示) 発行所: 出版年:2019 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領(平成29年4月告示) 特別支援学校高等部学習指導要領(平成31年2月告示)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー(DP)・カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表(授業科目一覧等)は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	定期試験90%、平常レポート10%
	備考 Note 【オンライン受講許可学生対象】 平常レポート 100%とし、LUNAでレポート課題を課す(計5回)。第4回目以降にLUNAにテーマ・提出期限などを掲載するので確認すること。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/portal/execute/tabs/tabAction?tab_tab_group_id=_1_1		
更新日時/Date of Update	2022年01月14日 15時07分49秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2022年度	秋学期／Fall	水曜3時限	秋学期／Fall	IV－401